MAXART

PX-7500/PX-7500S/PX-9500/PX-9500S

ユーザーズガイド

機能・操作方法など、本機を使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。

また、各種トラブルの解決方法や、お客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。目的に応じて必要な章をお読みください。

NPD1494-01c

ご注意

①本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
②本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
③本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたらご連絡ください。
④運用した結果の影響については、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
⑤本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
⑥エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

もくじ

プリンタソフトウェアの使い方（Windows）

プリンタソフトウェアの使い方（Mac OS 9）

プリンタソフトウェアの使い方（Mac OS X）

目的別印刷方法

簡単なネットワーク共有の方法

オプションと消耗品

メンテナンス

困ったときは

操作パネルの使い方

付録

本書の見方

取扱説明書の種類と使い方

開梱と設置作業を行われる方へ	プリンタの搬入後、梱包箱から取り出して設置するまでの作業について説明しています。作業を安全に行うために、必ず本書の手順に従ってください。
セットアップガイド	プリンタをご使用になる前の作業が記載されています。 プリンタ本体の準備、プリンタドライバのインストールについて記載されています。
使い方ガイド（冊子）	プリンタの基本的な使い方、日常のメンテナンスなどについて記載されています。プリンタの近くに置いてご活用ください。
ユーザーズガイド (CD-ROM 収録)	プリンタの機能、操作方法など本製品を使用していく上で必要となる情報が詳しく記載されている説明書です。ご使用の目的に応じて、必要な章をお読みください。 また、各種トラブルの解決方法なども記載されています。「印刷できない」などのトラブルでインフォメーションセンターなどにお問い合わせいただく前に、お読みください。 ユーザーズガイドは、製品添付のプリンタソフトウェア CD-ROM に PDF（Portable Document Format）ファイルとして収録されています。このファイルをお読みいただくには、Adobe 社の Acrobat Reader または Adobe Reader が必要です。

本文中のマークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は、必ずお読みください。なお、それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

！注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性が想定される内容およびプリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しないと想定される内容、必ずお守りいただきたい操作を示しています。
参考	補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。
用語[*1]	用語に関する補足説明を記載していることを示しています。
☞	関連した内容の参照ページを示しています。

Windows の表記について

Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP と表記しています。また、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP を総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は、「Windows 98/Me」のように Windows の表記を省略することがあります。

Mac OS の表記について

本製品が対応している Mac OS のバージョンは以下の通りです。
Mac OS 9.1 ～ 9.2.x
Mac OS X v 10.2 以降
本書中では、上記各オペレーティングシステムをまとめて、それぞれ「Mac OS 9」、「Mac OS X」と表記することがあります。

掲載している画面について

お使いの機種により表示される画面が異なる場合があります。

プリンタソフトウェアの使い方（Windows）

ここでは、本機に添付のソフトウェアについて説明しています。

プリンタソフトウェアの構成

本機の「プリンタドライバ」と「プリンタドライバユーティリティ」が同梱の CD-ROM に収録されています。

プリンタドライバ

プリンタドライバは、コンピュータから受け取った印刷データをプリンタに送るためのソフトウェアです。プリンタを使用するためにはプリンタドライバをコンピュータにインストールする（組み込む）必要があります。
☞ セットアップガイド「4. プリンタソフトウェアをインストールします」

プリンタドライバの主な機能は次の通りです。

- コンピュータから受け取った印刷データをプリンタに送ります。
- 印刷方向や用紙サイズなどの印刷条件を設定します。

本製品のプリンタドライバには基本的な機能のほかに、「写真を最適に補正して印刷する機能」や「縮小して印刷する機能」などの便利な機能がたくさん搭載されています。エプソンプリンタの機能をフルに活用いただけるよう、本製品専用のプリンタドライバのご使用をお勧めします。

最新のプリンタドライバを使用することで、さらに快適に印刷ができるようになる場合があります。必要に応じてご確認ください。
☞ 本書 393 ページ「プリンタドライバのバージョンアップ」

プリンタドライバユーティリティ

プリンタドライバユーティリティは、プリンタドライバのインストール時に自動的にインストールされます。
プリンタドライバユーティリティには以下の機能があります。
☞ 本書 141 ページ「ユーティリティの使い方」

EPSON プリンタウィンドウ !3	インク残量やエラー情報を表示します。
ノズルチェック	ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認します。
ヘッドクリーニング	プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの目詰まりを除去します。
ギャップ調整	プリントヘッドのズレを修正します。
プリンタ情報	インクカートリッジの装着情報を取得します。
MAXART リモートパネル	プリンタの各種メンテナンスを行うソフトウェアを起動します。

プリンタドライバの起動方法

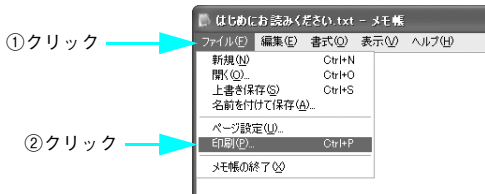
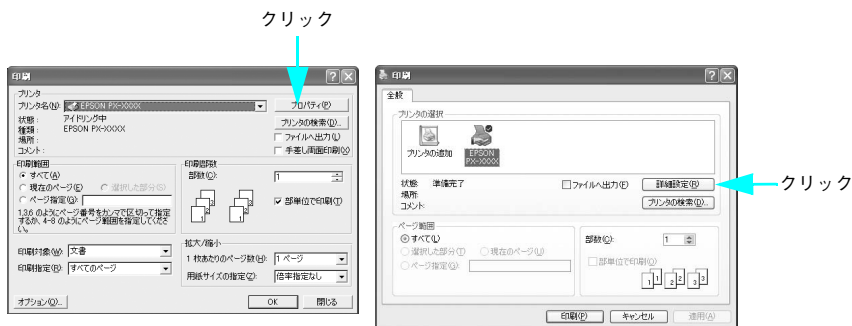
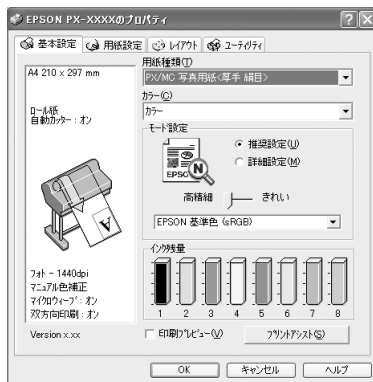
プリンタドライバの設定画面には、以下の 2 つの方法があります。

- アプリケーションソフトから表示する方法
  印刷設定をしたいときは、この方法で画面を表示します。

- ［スタート］メニューから表示する方法
  ノズルチェックやヘッドクリーニングなどのメンテナンス機能を実行したいときや、アプリケーションソフトに共通する印刷設定をしたいときなどは、この方法で設定画面を表示します。

アプリケーションソフトから表示する

印刷設定をしたいときは、この方法で画面を表示します。
お使いのアプリケーションソフトによって、手順が異なる場合があります。
その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

1 **アプリケーションソフトで、［ファイル］－［印刷］をクリックします。**

2 **本機を選択して、［プロパティ］（または［詳細設定］など）をクリックします。**

プリンタドライバの設定画面が表示されます。

［スタート］メニューから表示する

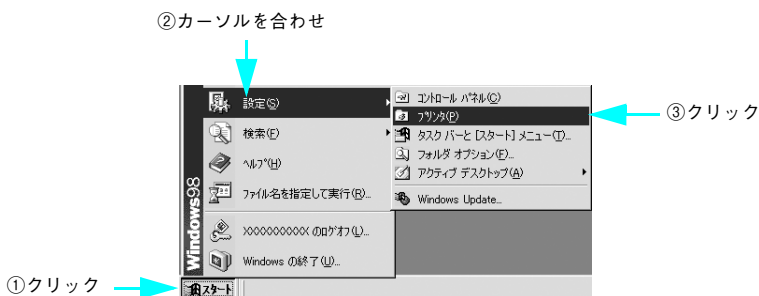
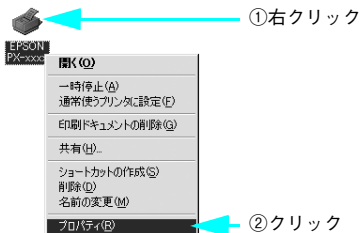
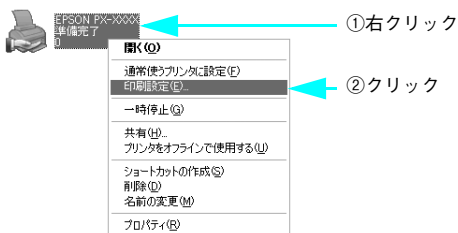
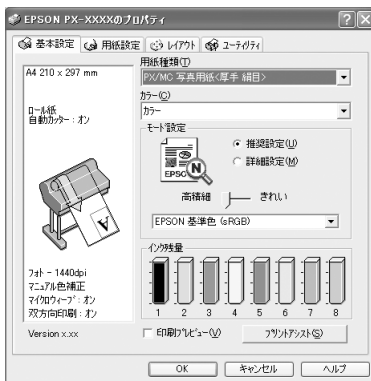
プリンタドライバの設定画面は、アプリケーションソフトを起動せずに、［スタート］メニューから表示することもできます。ノズルチェックやヘッドクリーニングなどのメンテナンス機能を実行したいときや、アプリケーションソフトに共通する印刷設定をしたいときなどは、この方法で設定画面を表示します。

1 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを開きます。

- **Windows XP の場合**

［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。

- **Windows XP 以外の場合**

［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 **Windows 98/Me の場合は、本機のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。**
Windows XP/2000 の場合は、本機のアイコンを右クリックして、［印刷設定］をクリックします。

プリンタドライバの設定画面が表示されます。ここでの設定が、アプリケーションソフトからプリンタドライバを表示したときの初期設定になります。

初期設定の変更方法

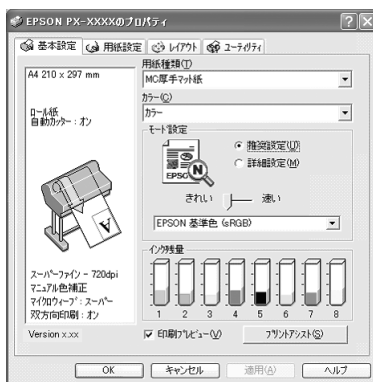
印刷前にプリンタドライバを表示したときの設定（初期設定）をよく使う設定にすると便利です。以下の手順に従って初期設定を変更してください。

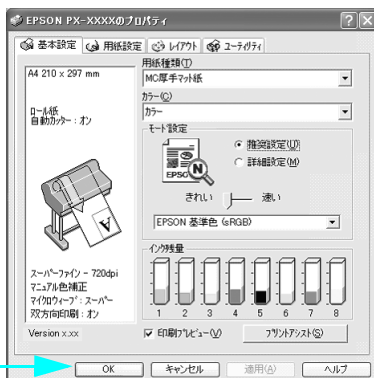
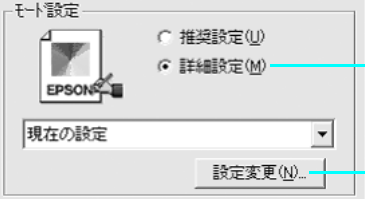
操作手順

1 **［スタート］メニューからプリンタドライバの設定画面を表示します。**

☞ 本書 18 ページ「［スタート］メニューから表示する」

2 **各画面（［基本設定］［用紙設定］［レイアウト］）の項目を、よく使う設定に変更します。**

＊以下は［基本設定］画面です。

3 **［OK］をクリックします。**

ここでの設定が、アプリケーションソフトからプリンタドライバを表示したときの初期設定になります。

以上で初期設定の変更は終了です。

プリンタドライバの設定

プリンタドライバの各画面、各項目の説明は、「ヘルプ」をご覧ください。

［基本設定］画面

①	用紙種類	印刷する用紙の種類を、一覧の中から選択します。 印刷する用紙によって選択する用紙種類が異なりますので、各用紙の取扱説明書を確認して、用紙種類を選択してください。
②	カラー	印刷の目的に合わせて、カラー / モノクロ写真（PX-7500/PX-9500 のみ）/ 黒 から選択します。［用紙種類］の設定によっては、選択できない項目もあります。

<table>
<tr><td>③</td><td>モード設定</td><td>印刷のモードを下記の 2 つから選択します。
■推奨設定
プリンタドライバに印刷の設定を自動的にさせるときに選択します。［ 推奨設定 ］では、ドライバが自動的に用紙の種類に合わせて、設定を調整して印刷します。［ 用紙種類 ］の設定によっては、［ きれい ］－［ 速い ］、または［ 高精細 ］－［ きれい ］から設定を選択できます。
なお、用紙種類によって設定できる項目は異なります。
■詳細設定
手動で設定するときに選択します。［ 詳細設定 ］のリストボックスと［ 設定変更 ］ボタンが有効になります。
詳細を設定するには、［ 設定変更 ］をクリックして、［ 手動設定 ］画面を開きます。
リストボックスから、設定を選択することもできます。また、［ 手動設定 ］画面で設定を保存している場合には、このリストボックスに「設定名」が登録されています。
<table>
<tr><td>現在の設定</td><td>［設定変更］ボタンをクリックすると、現在の設定が表示されます。</td></tr>
<tr><td>超高精細</td><td>最高の印刷品質が得られる設定で印刷するモードです。</td></tr>
<tr><td>高精細</td><td>高い印刷品質が得られる設定で印刷するモードです</td></tr>
<tr><td>オートフォトファイン</td><td>書類の中の画像を自動的にカラー調整して印刷します。</td></tr>
</table>
* ご利用の用紙種類によっては、選択できないモードがあります。</td></tr>
<tr><td>④</td><td>インク残量</td><td>インクの残量が表示されます。以下の場合は、表示がグレーアウトされます。*
• プリンタの電源がオフになっている場合。
• インターフェイスケーブルが抜けている、またはしっかり接続されていない場合。
• プリンタとの通信ができない場合。
* ブラックインクの種類変更が可能な機種の場合は、カートリッジオプションが表示されます。</td></tr>
<tr><td>⑤</td><td>プリントアシスト</td><td>クリックすると電子マニュアルが表示されます。</td></tr>
<tr><td>⑥</td><td>印刷プレビュー</td><td>このチェックボックスをチェックすると、印刷を実行する前にプレビュー画面が表示され、印刷結果を画面で確認できます。</td></tr>
<tr><td>⑦</td><td>現在の設定</td><td>プリンタの現在の設定状態を表示します。</td></tr>
</table>

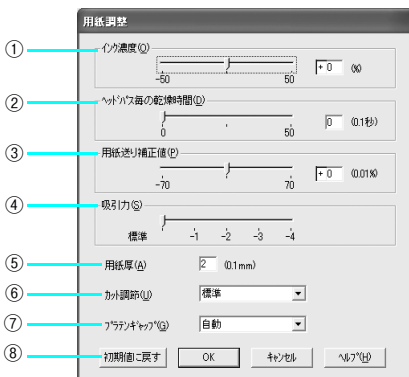
［手動設定］画面

<table>
<tr><td>①</td><td>用紙種類</td><td>印刷する用紙の種類を、一覧の中から選択します。
印刷する用紙によって選択する用紙種類が異なりますので、各用紙の取扱説明書を確認して、用紙種類を選択してください。</td></tr>
<tr><td>②</td><td>カラー</td><td>印刷の目的に合わせて、カラー / モノクロ写真（PX-7500/PX-9500 のみ）/ 黒 から選択します。［用紙種類］の設定によっては、選択できない項目もあります。</td></tr>
<tr><td>③</td><td>印刷品質</td><td>印刷の品質を、一覧の中から選択します。印刷品質は、用紙種類の設定に合わせる必要があります。［印刷品質］の設定の前に、［用紙種類］を設定してください。
<table>
<tr><th>設定値</th><th>品質 *1</th><th>速度 *2</th></tr>
<tr><td>ドラフト</td><td>1</td><td>5</td></tr>
<tr><td>ファイン - 360dpi</td><td>2</td><td>4</td></tr>
<tr><td>スーパーファイン - 720dpi</td><td>3</td><td>3</td></tr>
<tr><td>フォト - 1440dpi</td><td>4</td><td>2</td></tr>
<tr><td>スーパーフォト -2880dpi</td><td>5</td><td>1</td></tr>
</table>
*1 品質：印刷品質を表しています。数値が大きい方がきれいに印刷できます。
*2 速度：印刷の速さを表しています。数値が大きい方が速く印刷できます。

ご利用のプリンタ / 用紙によって、設定できない項目があります</td></tr>
</table>

④	マイクロウィーブ	このチェックボックスをチェックすると、印刷ムラが少なくなります。 ■［スーパー］ 印刷ムラの多いとき、このチェックボックスをチェックすると、さらに印刷ムラが少なくなります。ただし、印刷速度が多少遅くなります。
⑤	双方向印刷	チェックすると、プリントヘッドが戻るときにも印刷します。より高速に印刷できますが、印刷品質は多少低下します。
⑥	左右反転	左右を反転させて印刷する場合は、このチェックボックスをオンにします。
⑦	スムージング （文字 / 輪郭）	文字や図形の輪郭をなめらかにします。
⑧	Web スムージング	インターネットからダウンロードした低解像度のイラストやロゴなどの輪郭をなめらかにします。
⑨	用紙調整	［用紙調整］画面を表示します。
⑩	保存 / 削除	［手動設定］画面で、詳細を変更して名前をつけて保存する場合、保存した設定（設定名）を削除する場合には、このボタンをクリックします。 名前をつけて保存した設定は、［基本設定］画面の［詳細設定］のリストボックスで選択できます。
⑪	プリンタカラー調整	■マニュアル色補正 プリンタドライバで印刷データの色補正を行います。 本書 28 ページ「［マニュアル色補正］を選択した場合」 ■オートフォトファイン !6 エプソン独自画像補正技術オートフォトファイン !6 を使用し、印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。 本書 35 ページ「［オートフォトファイン !6］を選択した場合」 **！注 意** オートフォトファイン！6 は、「カラー」を設定したときのみ、選択できます。画像のサイズやコンピュータの性能によっては印刷時間が長くなる場合があります。 ■オフ（色補正なし） ドライバでは色補正を行いません。使用するアプリケーションでカラーマネージメントをする場合など、ICM プロファイル（色補正データ）を作成する際の基準色を印刷するときにはこの設定を選択します。 ■ ICM（Image Color Matching） Windows の ICM（Image Color Maching）を使用して、画面上の表示に最も近い色で印刷します。 本書 32 ページ「［ICM］を選択した場合」

［用紙調整］画面

［印刷］画面で［用紙調整］を選択すると、以下の画面が表示されます。エプソン純正専用紙以外の用紙をお使いになる場合は、この画面でお使いになる用紙（ユーザー用紙）の特性に合わせて項目を設定します。

操作パネルでは、ユーザー用紙を 10 種類まで登録できます。

☞ 本書 273 ページ「本機でのユーザー用紙設定」

①	インク濃度	インク濃度（濃淡）を標準値からの割合で調整します。インク濃度は、スライドバーを左（より薄い -50%）または右（より濃い +50%）へ動かすか、ボックスに直接数値を入力して設定します（初期値：0%）。 エプソン 純正専用紙以外の用紙を使った際にインクがにじむ場合はインク濃度を－（左）に、薄すぎる場合には＋（右）に調整し、用紙の適性に合わせてください。
②	ヘッドパス毎の乾燥時間	インクが乾燥するまでプリントヘッドの往復移動を停止する時間（乾燥時間）を設定します。インク乾燥時間は、スライドバーを左端（標準 0 秒）から右（最長 +5 秒）へ動かすか、ボックスに直接秒数（0.1 秒単位）を入力して設定します（初期値：0 秒）。 参考 • インク濃度を上げたときなどインクが乾きにくいことがありますので、必要に応じて調整してください。 • 用紙によっては、乾燥しにくいときがあります。このようなときは乾燥時間を長めに設定してください。 • インクの乾燥中に［カット / 排紙］ボタンを押すと、乾燥を中断して指定の動作を行います。
③	用紙送り補正値	用紙送りの補正値を調整します。補正値は、スライドバーを左（より少なく -70）または右（より多く +70）へ動かすか、ボックスに直接数値（0.01% 単位）を入力して設定します。 プリンタの個体差によって、エプソン純正専用紙以外では、用紙に合わせて性格に紙が送られるように調整する必要があります。また、エプソン純正専用紙でも紙送りがずれることがあります。このようなときに、用紙送りを補正します。
④	吸引力	用紙をプラテン上で安定させるための吸着力を標準値からの割合で設定します。用紙の吸引力は、スライドバーを左端（標準 100%）から、-1（84%）、-2（66%）、-3（50%）、-4（34%）へ動かして設定します（初期値：100%）。用紙が薄いと、吸着力が強すぎてロール紙をセットしにくかったり、うまく紙送りされないことがあります。このようなときは吸着力を弱めに設定してください。
⑤	用紙厚	用紙厚を設定します。用紙厚は 0.1mm 単位で 1 から 15 までの間で直接数値を入力します（初期値は選択されている［用紙種類］によって異なります）。エプソン純正専用紙以外の用紙を使うときに、その用紙の厚さを正確に設定できます。
⑥	カット調節	ロール紙自動カット時のカッターの圧力を 3 段階に設定します。メニューから［標準］、［薄紙］、［厚紙、高速］、［厚紙、低速］のいずれかを選択します（初期値：標準）。 参考 薄い用紙を強くカットすると、カット端で用紙が破れることがあります。このようなときは用紙厚に合わせて［薄紙］に設定してください。

⑦	プラテンギャップ	プリントヘッドと用紙の間隔（プラテンギャップ）を設定します。プラテンギャップは、メニューから［自動］、［より広め］、［広め］、［標準］、［狭い］のいずれかを選択します。通常は［自動］を選択してください（初期値：自動）。
⑧	［初期値に戻す］	［用紙調整］画面の設定値をすべて初期値に戻します。

［マニュアル色補正］を選択した場合

［プリンタカラー調整］で［マニュアル色補正］を選択すると、画面下部の表示が次のようになり、各種の設定が行えるようになります。［カラー］で選択の選択により、［マニュアル色補正］で設定できる項目が異なります。

○：設定できます。
ー：設定できません。

設定できる項目	［カラー］を選択	［モノクロ写真］を選択	［黒］を選択
［色補正方法］リストボックス	○	ー	ー
［ガンマ］リストボックス	○	ー	○
明度	○	○	○
コントラスト	○	○	○
彩度	○	ー	ー
シアン / マゼンタ / イエロー	○	ー	ー
［モノクロ色調］リストボックス	ー	○	ー
［調子］リストボックス	ー	○	ー
シャドウ領域階調	ー	○	ー
ハイライト領域階調	ー	○	ー
最高濃度	ー	○	ー
白地にかぶり効果を与える	ー	○	ー
水平移動 / 垂直移動	ー	○	ー

■［カラー］または［黒］を選択したとき

<table>
<tr><td>①</td><td>色補正方法</td><td>印刷の目的に合わせて一覧の中から補正方法を選択します。
■自然な色あい
PX-7500S/PX-9500S の初期値です。自然な発色状態になるようにエプソン独自の色作りで色処理をします。
■あざやかな色あい
彩度（鮮やかさ）を上げ、色味を強くするようにエプソン独自の色作りで処理をします。
■ EPSON 基準色（sRGB）（PX-7500/PX-9500 のみ）
PX-7500/PX-9500 の初期値です。s RGB の色基準に合わせた色処理をします。他のエプソン製プリンタと互換性をもった色作りをします。
■ Adobe RGB（PX-7500/PX-9500 のみ）
Adobe RGB の色域を前提とした色処理をします。</td></tr>
<tr><td>②</td><td>ガンマ</td><td>「ガンマ」は、画像の中間調部分の階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位です。[ガンマ] 値を変更することで、画像の暗い部分（シャドウ）や明るい部分（ハイライト）に大きな影響を与えずに、その中間部分の明るさだけを調整できます。
■ 1.5　ガンマ値 1.8 に比べて柔らかい感じの画像を印刷します。
■ 1.8　初期値です。
■ 2.2　ガンマ値 1.8 に比べて硬い感じの画像を印刷します。ガンマ値 1.8 の画像でメリハリがない場合に使用してください。</td></tr>
<tr><td>③</td><td>明度</td><td>画像全体の明るさを調整します。標準を 0 として、-25 ～ +25％の間で、マイナス（－）方向には暗く、プラス（+）方向には明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。</td></tr>
<tr><td>④</td><td>コントラスト</td><td>画像の明暗比を調整します。標準を 0 として、-25 ～ +25％の間で調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差がなくなります。</td></tr>
<tr><td>⑤</td><td>彩度</td><td>画像の彩度（色のあざやかさ）を調整します。標準を 0 として、-25 ～ +25％の間で調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。逆に彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。[カラー] で［黒］を選択した場合は調整できません。</td></tr>
<tr><td>⑥</td><td>シアン / マゼンタ / イエロー</td><td>それぞれの強さを調整します。標準を 0 として、-25 ～ +25％の間で調整します。
［カラー］で［黒］を選択した場合は調整できません。
<table>
<tr><th></th><th>(－)◀―　0　―▶(＋)</th></tr>
<tr><td>シアン</td><td>赤色を強くします。　青緑（シアン）を強くします。</td></tr>
<tr><td>マゼンタ</td><td>緑色を強くします。　赤紫（マゼンタ）を強くします。</td></tr>
<tr><td>イエロー</td><td>青色を強くします。　黄色（イエロー）を強くします。</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

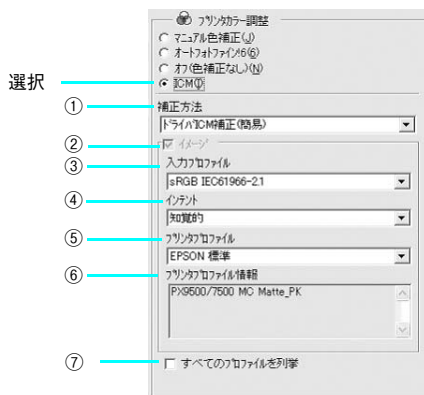
■［モノクロ写真］を選択したとき

①	プレビューウィンドウ	設定した色調のサンプル画像が表示されます。
②	モノクロ色調	代表的な色調が選択できます。 純黒調（ニュートラル）、冷黒調（クール）、温黒調（ウォーム）、セピアから選択します。 より詳細な調整をするには③～⑦を使用します。このとき、「手動設定」の表示になります。
③	調子	調子を変更します。次の項目から選択します。 軟調、標準、やや硬調、硬調（初期値）、より硬調
④	詳細設定	スライドバーを動かして設定します。数値入力もできます。
⑤	白地にかぶり効果を与える	チェックボックスをチェックすると、微量のインクを画像全体に付加して印刷することで、白色部分（紙地）と色のある部分との質感の差をなくします。 「使い方ガイド」（冊子）の巻頭には、この機能の効果を強調した印刷サンプルが掲載されています。
⑥	色調	色調の一覧です。マウスでクリックすると、クリックした部分の色調が設定されます。
⑦	座標入力	⑥での座標位置を表示します。数値入力もできます。
⑧	用紙調整	エプソン純正専用紙以外の用紙を使用する場合に、この画面で用紙（ユーザー用紙）の特性に合わせて項目を設定します。
⑨	保存 / 削除	設定を保存できます。 • 設定を保存する場合は、［保存 / 削除］をクリックした後、名称を入力して、［保存］をクリックします。 • 保存した設定は、「基本設定」のモード設定で［詳細設定］を選択すると、呼び出すことができます。 • 保存した設定を削除する場合は、［保存 / 削除］をクリックした後、削除したい設定をリストから選択し、［削除］をクリックします。

［ICM］を選択した場合

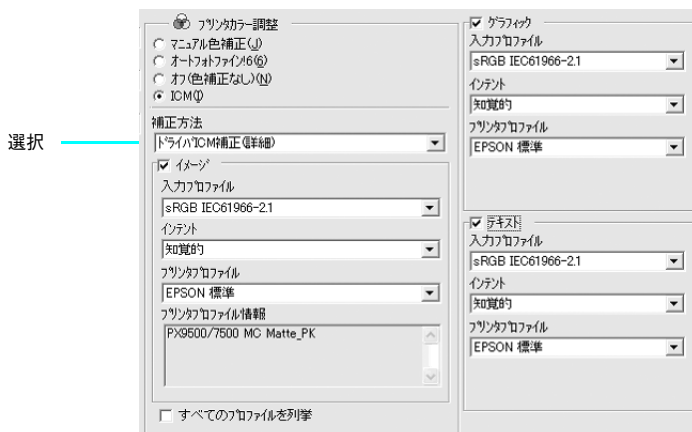
［プリンタカラー調整］で［ICM］を選択すると、Windows2000/XP では、画面下部の表示が次のようになります。
Windows98/Me の場合、「ホスト ICM 補正」が自動的に選択され、下記の①〜⑤の項目は表示されません。
また、［補正方法］での選択により、データに対して設定できる選択肢が異なります。

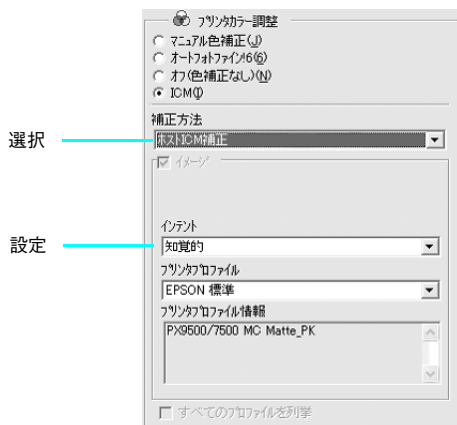
①	補正方法	下記の 3 つから補正方法を選択できます ■ドライバ ICM 補正（簡易） ドライバ側で入出力のカラープロファイルを設定します。 ■ドライバ ICM 補正（詳細） イメージデータ、グラフィックデータ、テキストデータに対してそれぞれ個別にカラープロファイルおよびインテント方法を設定できます。 ■ホスト ICM 補正 アプリケーション側でカラースペース/入力プロファイルを設定した場合に使用します。

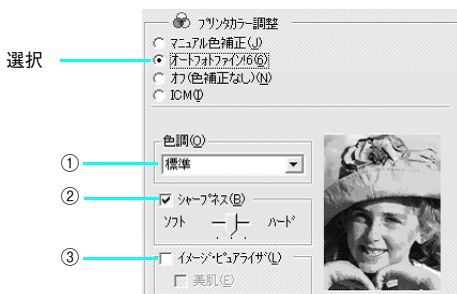
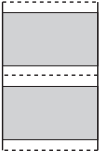
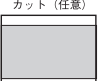
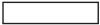
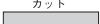
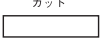
■［ドライバ ICM 補正（簡易)］を選択したとき

②	イメージ	［ドライバ ICM 補正（簡易)］を選択すると、自動的にチェックされ、③〜⑤の設定ができます。
③	入力プロファイル	印刷するデータのカラープロファイルを選択します。

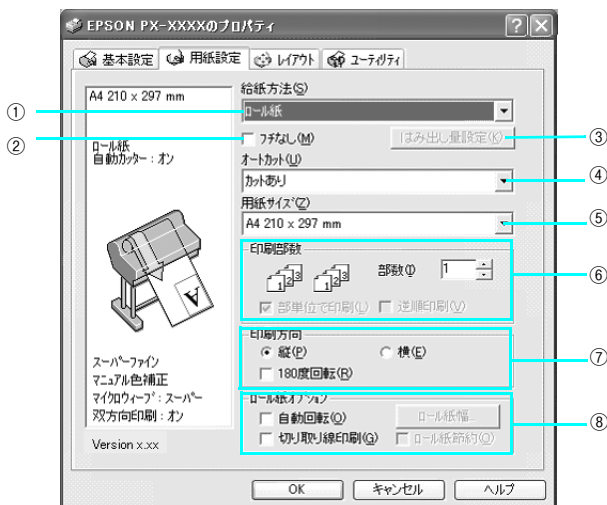
④	インテント	指定されたプロファイルを元に、印刷用にデータ変換するときの条件を指定します。 ■彩度 彩度を保持して変換を行います。 ■知覚的 視覚的に自然なイメージになるように変換します。画像データが広範囲な色域を使用している場合に使用します。 ■相対的な色域を維持 元データの色域座標と印刷時の色域座標が一致するように、さらに白色点（色温度）の座標値が一致するように変換します。多くのカラーマッチング時に使用されます。 ■絶対的な色域を維持 元データも印刷データも絶対的な色域座標に割り当てて変換します。従って、元データと印刷データの白色点（色温度）は色調補正されません。ロゴカラーの印刷など、特殊な用途で使用します。
⑤	プリンタプロファイル	印刷時（出力時）に適用されるカラープロファイルが表示されます。通常は印刷する用紙に合ったプロファイルが自動的に選択されます。
⑥	プロファイル情報	選択したプロファイルの情報を表示します。
⑦	すべてのプロファイルを列挙	チェックすると、入力、出力（印刷）で設定可能なすべてのカラープロファイルがリストを表示します。

■［ドライバ ICM 補正（詳細）］を選択したとき

前出の表の②［イメージ］だけでなく、［グラフィック］や［テキスト］などのデータに対しても補正をかけられるようになります。

■［ホスト ICM 補正］を選択したとき

アプリケーション側でカラースペース / 入力プロファイルを設定した場合 に使用します。

［オートフォトファイン !6］を選択した場合

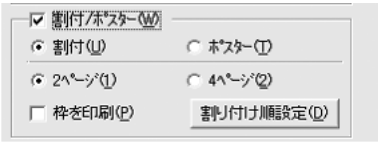
［プリンタカラー調整］で［オートフォトファイン !6］を選択すると、画面下部の表示が次のようになります。
ただし、PX-7500/PX-9500 では［色調］の項目はありません。

①	色調 （PX-7500S/PX-9500S のみ）	下記の 3 つから色調を変更できます ■標準 標準的な色調に補正して印刷します。 ■セピア 印刷データの色を、セピア調の色調になるよう調整して印刷します。 ■モノクロ 印刷データの色を、白黒になるよう調整して印刷します。
②	シャープネス	画像の輪郭を強調する場合に選択します。加える効果の強弱は、［ソフト / ハード］のスライドバーで調整します。
③	イメージ・ピュアライザ	チェックすると、デジタルカメラで撮影した写真データに最適な補正をして印刷します。 ［美肌］：人物の肌色部分を滑らかにします。 **参考** • オートフォトファイン！6 は 1677 万色（24bit）の色情報を持った画像データに対して、もっとも有効に機能します。256 色などの少ない色情報の画像データには、有効に機能しません。アプリケーションソフトなどで色数を増やしてください。 • エプソン製デジタルカメラまたはスキャナなどでオートフォトファイン機能を使用して取り込んだ画像を印刷する場合、プリンタドライバのオートフォトファイン !6 は使用しないでください。

［用紙設定］画面

［用紙設定］画面では、印刷の方向や印刷の部数などを設定できます。［用紙サイズ］の設定項目は、必ずアプリケーションソフトで設定している用紙サイズに合わせてください。設定が合っていないと、レイアウトが崩れたり、部分的に印刷されない場合があります。

①	給紙方法	給紙方法を選択します。 ■ロール紙 ロール紙に印刷する場合 ■ロール紙 長尺モード 長尺モードでロール紙に印刷する場合 ■単票紙 給紙スロットや前方に手差しして、定形紙に印刷する場合
②	フチなし	［左右フチなし］または［四辺フチなし］印刷するときに、チェックを付けます。 **！注意** 用紙の種類やサイズによっては、フチなし印刷ができません。
③	はみ出し量設定	［フチなし］をチェックすると表示されます。 本書 39 ページ「［はみ出し量設定］画面」

④	オートカット	ロール紙のカット方法を指定します。 ■カットあり プリンタドライバで設定した用紙サイズに［ロール紙余白］を加えた長さでカットします。 ■カットなし カットしません。印刷後に任意の位置でカットしてください。 ［フチなし］をチェックした場合は、以下の 4 項目から選択します。 本書 149 ページ「フチなし印刷」 カットなし / 左右フチなし / 四辺フチなし（1カット） / 四辺フチなし（2カット） カット（任意） カット ページ間を1回カット 次ページ上端カット（2回目） 前ページ終端カット（1回目） 排紙方向
⑤	用紙サイズ	［給紙方法］で ［ロール紙 長尺モード］を選択した場合、［ページサイズ］となります。 印刷する 用紙サイズ / ページサイズを 一覧の中から選択します。 一覧の中から［ ユーザー定義サイズ ］を選択すると、［ ユーザー定義サイズ ］画面が表示されます。任意のサイズを設定するときは、この画面でサイズを定義して［OK］をクリックします。
⑥	印刷部数	印刷の部数を、［ 部数 ］ボックスで選択します。 ■部単位印刷 2 部以上印刷する場合で、1 部ごとに印刷します。 ■逆順印刷 最終ページから印刷を行います。
⑦	印刷方向	文書を印刷する方向を選択します。 印刷イメージを 180 度回転して印刷するときは、［180 度回転 ］チェックボックスをオンにします。

⑧	ロール紙オプション	［給紙方法］から 「ロール紙」または「ロール紙長尺」を選択すると有効になります。 ■自動回転 縦長の印刷データが、ロール紙の紙幅に納まる場合に 90 度回転させてロール紙に横長にレイアウトして出力します。ロール紙を無駄なく使いたいときに選択してください。選択すると、［ロール紙幅］ボタンが有効になります。 ■ロール紙幅 クリックして表示される［ロール紙幅］画面で、プリンタにセットされているロール紙の幅を設定します。 ■切り取り線印刷 ページの右端と下端に切り取り線（実線）を印刷します。 ■ロール紙節約 データの最後に余白部分がある場合に、ページの下端まで紙送りをせずに印刷を停止します。データの最後の余白が不必要な場合に選択してください。

［はみ出し量設定］画面

［はみ出し量設定］画面は、［用紙設定］画面で［フチなし］をチェックした場合にのみ有効です。

①	フチなし印刷方法設定	■自動拡大 プリンタドライバが画像サイズを、印刷用紙サイズ以上に拡大して印刷します。 ■カスタム設定 プリンタドライバは、画像サイズを変更しません。あらかじめアプリケーションソフトで、実際の用紙サイズより大きめに印刷データを作成しておきます。通常、印刷データを実際の用紙サイズより左右に 3mm ずつ（合計 6mm）はみ出すように作成します。
②	はみ出し量設定	［自動拡大］を選択した場合、拡大による次の 3 種類から選択します。 ■少ない 左右 1.5mm ■標準 左右 3mm ■多い 左 3mm、右 5mm（画像の左右方向の中心軸は右に 1mm 偏ります） **！注意** 用紙の保存湿度など、決めたれた環境を外れた条件で保存したり使用した場合、はみ出し量を「多い」に設定しても印刷結果に余白が発生する場合があります。印刷用紙は決められた環境下で保存し使用してください。また、自動拡大で期待通りのフチなし印刷ができない場合は、「カスタム設定」を使用してください。

［レイアウト］画面

［レイアウト］画面印刷データを拡大/縮小したり、割付印刷やポスター印刷ができます。

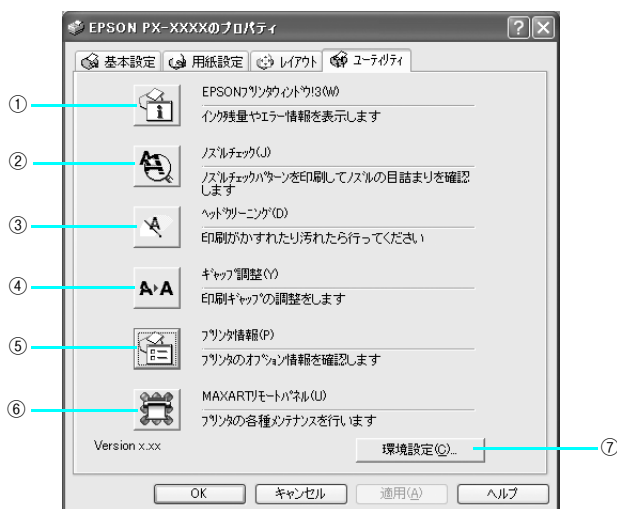
①	拡大 / 縮小	拡大 / 縮小印刷を設定します。 ［出力用紙］の項目には、プリンタにセットする用紙サイズを選択してください。［用紙設定］画面の［用紙サイズ］で選択されている用紙サイズで作成された印刷データを［出力用紙］に合わせて拡大 / 縮小します。 ■フィットページ チェックすると出力用紙サイズに合わせて自動的に拡大／縮小します。このとき［出力用紙］で、プリンタにセットする用紙サイズを選 択してください。［用紙設定］画面の［用紙サイズ］で選択されている用紙 サイズで作成された印刷データを［出力用紙］に合わせて拡大 / 縮小 します。 ■任意倍率 任意に倍率を設定します。
②	割付 / ポスター	■割付 2 ページ、または 4 ページ分のデータを 1 枚の用紙に割り付けて印刷します。 本書 262 ページ「割付印刷（Mac OS 9 以外）」 割付/ポスター(W)　割付(U)　ポスター(T)　2ページ(1)　4ページ(2)　枠を印刷(P)　割り付け順設定(D) ［割り付け順設定］画面の例 割り付けるページの順番を選択します。 割り付け順設定　割り付け順序　左から右方向(L)　右から左方向(R)　上から下方向(P)　OK　キャンセル　ヘルプ(H)

<table>
<tr><td></td><td></td><td>■ポスター
1 ページのデータを拡大して複数枚（2 ページ、4 ページ、9 ページ、16 ページ）の用紙に印刷します。
☞ 本書 247 ページ「ポスター印刷（拡大分割して印刷）（Windows のみ）」
Windows 98/Me では、以下の制限事項があります。
• 2 ページ（2x1 ページ）ポスターはできません
• 用紙サイズが大きい場合、枚数の選択ができない場合があります。

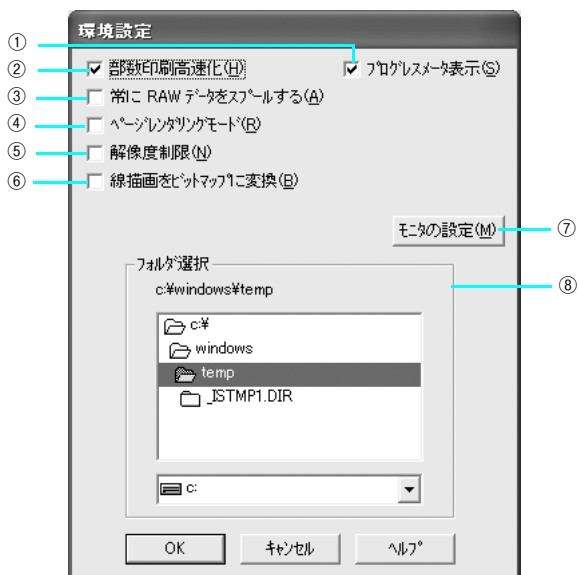
[設定] 画面の例
マウスでページ部分をクリックして反転表示することで、印刷しないページを設定できます。

[ガイドを印刷] をチェックすると、ページを貼り合わせるときのガイドを印刷します。
<table><tr><td>貼り合わせガイドを印刷</td><td>各ページの四辺に貼り合わせるためのガイドと、貼り合わせた際に重なる部分を印刷します。ページを貼り合わせるときに、ガイドを重ねてから切り取ることにより、連結部分をきれいに合わせることができます。</td></tr><tr><td>枠を印刷</td><td>ページごとに切り取り線を印刷します。余白を切り取るときに便利です。</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>③</td><td>長尺 / 拡大処理の最適化</td><td>通常はチェックを付けてください。チェックを外すと、アプリケーションによっては出力可能な長さが制限されますが、図形や文字の乱れ（チェックした場合の問題）が改善される場合があります。</td></tr>
</table>

［ユーティリティ］画面

［ユーティリティ］画面では、プリンタをメンテナンスするための各種機能を実行できます。各機能を使用する前にプリンタの電源をオンにしてください。

①	EPSON プリンタウィンドウ !3	EPSON プリンタウィンドウ！3 を起動します。プリンタの現在の状態、インク残量、エラー状態などを確認できます。 ☞ 本書 63 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 の見方」
②	ノズルチェック	プリントヘッドの目詰まりを確認するパターンを印刷します。プリンタが目詰まりを起こしているかどうかわかります。
③	ヘッドクリーニング	プリントヘッドのクリーニングを開始します。
④	ギャップ調整	ギャップ調整ユーティリティを起動します。このユーティリティは、双方向印刷をしていて、縦の罫線がずれたり、黒色とほかの色との間にすき間が空くときに使用します。 ギャップ調整ユーティリティを使用するときは、起動後の画面上の指示に従って操作してください。
⑤	プリンタ情報	使用している黒（ブラック）インクの情報を表示します。ブラックインク種類を変更したときは、ここからインク情報を更新します。
⑥	MAXART リモートパネル	プリンタの各種メンテナンスを行うユーティリティを起動します。 ☞ 本書 71 ページ「MAXART リモートパネル」
⑦	環境設定	印刷の速度や進捗表示などを設定します。 ☞ 本書 43 ページ「［環境設定］画面」

［環境設定］画面

［環境設定］画面では、プログレスメータの表示や EPSON プリンタウィンドウ !3 の表示（モニタ）を設定できます。
［ユーティリティ］画面の［環境設定］をクリックすると表示されます。

①	プログレスメータ表示	印刷実行時、プログレスメータを表示します。EPSON プリンタウィンドウ！3 がインストールされていないと選択できません。 ☞ 本書 48 ページ「プログレスメータで確認する」
②	部数印刷高速化	複数部印刷の速度を高速化するときにチェックします。
③	常に RAW データをスプールする	チェックされているときは、RAW 形式でデータをスプールします。 通常の EMF 形式でスプールされたデータが正しく印刷されない場合に選択します。メモリ不足、ディスク容量不足による問題や、印刷スピードの遅さなどが解消される場合があります。
④	ページレンダリングモード	印刷中にプリントヘッドが数分間止まるような場合にチェックしてください。
⑤	解像度制限	アプリケーション側で用紙の長さ（ピクセル数）に制限がある場合にチェックすると、制限値以上の長さの用紙に印刷できます。ただし、描画は粗くなります。
⑥	線描画をビットマップに変換する	印刷中にプリントヘッドが数分間止まるような場合や、「常に RAW データをスプールする」、「ページレンダリングモード」をチェックしても問題が解消されない場合にチェックしてください。

⑦	モニタの設定	このボタンをクリックすると、［ モニタの設定 ］画面が表示され、EPSON プリンタウィンドウ！3 に関する設定ができます。 本書 64 ページ「モニタの設定」
⑧	フォルダ選択	部数印刷高速化機能を使用する際に、一時的に印刷データを保存するフォルダを選択できます。通常、変更する必要はありません。

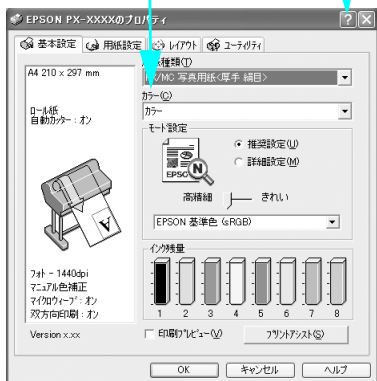
ヘルプ機能

プリンタドライバの各画面、各項目の説明は、「ヘルプ」をご覧ください。
ヘルプを表示させるには、以下の 2 つの方法があります。

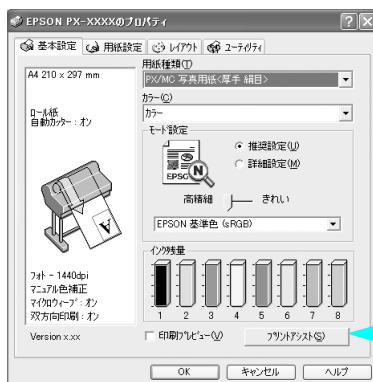
[方法 1]

知りたいプリンタドライバの項目上で、マウスの右ボタンをクリックして、[ヘルプ] をクリックします。

[方法 2]

プリンタドライバ画面の右上にある ? をクリックして、ポインタの形状が ? に変わったら、知りたい項目をクリックします。

プリントアシスト機能

プリンタドライバの［プリントアシスト］をクリックすると、「プリントアシスト」（電子マニュアル）が表示されます。

- 電子マニュアルがインストールされていない場合、お使いのコンピュータがインターネット接続環境にあるときは、インターネットを経由してエプソンのホームページに接続されます。
- 電子マニュアルは同梱の CD-ROM に収録されており、通常はプリンタドライバと一緒にコンピュータにインストールされます。

印刷状況の確認

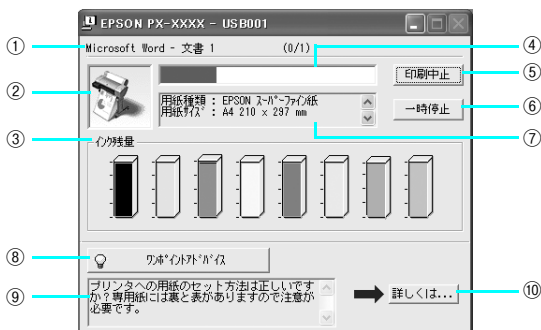
以下の画面で印刷状況が確認できます。

- プログレスメータ
  コンピュータの印刷処理状況やインク残量・データ情報などを確認できるほか、印刷を中止できます。
  ☞ 本書 48 ページ「プログレスメータで確認する」

- スプールマネージャ（Windows 98/Me）
  印刷データの情報や印刷待ちのデータなどを確認できるほか、印刷を中止・削除できます。
  ☞ 本書 49 ページ「スプールマネージャ（Windows 98/Me）で確認する」

「EPSON プリンタウィンドウ !3 」がインストールされていないときは、プログレスメータは表示されません。

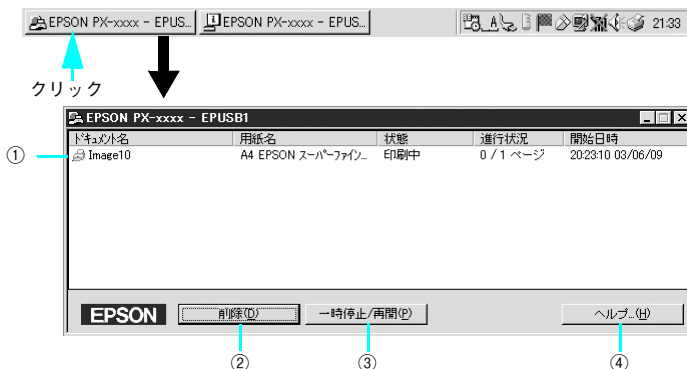
プログレスメータで確認する

プログレスメータは、印刷を実行すると画面右下に表示されます。
コンピュータの印刷処理状況やインク残量・データ情報などを確認できるほか、印刷を中止できます。

①	印刷データ情報	印刷しているファイルの名称と出力ページ数、および印刷中のページ番号を表示します。
②	状態表示	アイコンによって現在のプリンタの状態を表示します。
③	インク残量	インク残量の目安を表示します。
④	進行状況	コンピュータ上の印刷処理にかかる時間を予測し、進行状況を表示します。
⑤	[印刷中止]	印刷を中止します。
⑥	[一時停止]	印刷を一時停止します。
⑦	プリンタドライバ設定情報	プリンタドライバで設定した値を表示します。
⑧	[ワンポイントアドバイス]	ワンポイントアドバイス情報の表示 / 非表示を切り替えます。
⑨	ワンポイントアドバイス情報	プリンタを使用する上でのポイントとなるアドバイスを表示します。
⑩	[詳しくは]	ワンポイントアドバイス情報に表示された内容の具体的な対処方法を表示します。

印刷データによっては、画面右上に印刷終了までの目安となる時間が表示されます。

「プログレスメータ」が表示されていないときは、EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動することで、プリンタの状態が確認できます。

スプールマネージャ（Windows 98/Me）で確認する

スプールマネージャは、印刷実行中も別の作業ができるように、印刷データを一時的にハードディスクに蓄え、プリンタに出力する機能を持っています。
スプールマネージャは、印刷を実行すると画面下のタスクバー上に表示され、クリックすると開きます。印刷データの情報や印刷待ちのデータなどを確認できるほか、印刷の中止・削除を実行できます。

①	印刷ジョブ一覧	印刷中のデータの名称・用紙サイズ・状態・進行状況・印刷実行日時が表示されます。
②	［削除］	印刷を中止して印刷データを削除します。 削除する印刷データをクリックしてからこのボタンをクリックします。 印刷データが選択されていない場合は、一番上の印刷データが削除されます。
③	［一時停止 / 再開］	印刷を一時停止 / 再開します。 停止する印刷データをクリックしてからこのボタンをクリックします。
④	［ヘルプ］	ヘルプ情報を表示します。 このボタンをクリックすると、スプールマネージャの詳細を参照できます。

印刷中に問題が起こったときは

インクがなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ!3 の［プリンタ詳細］ウィンドウにエラーメッセージを表示します。
この場合は［対処方法］をクリックし、メッセージに従って対処してください。

プリンタドライバの削除

プリンタドライバのバージョンアップや再インストールを行うときは、まずインストールされているドライバを削除（アンインストール）します。

- Windows XP で削除する場合は、「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーでログオンする必要があります。「制限」アカウントのユーザーでは削除できません。なお、Windows XP をインストールしたときのユーザーは、「コンピュータの管理者」アカウントになっています。
- Windows 2000 で削除する場合は、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンする必要があります。

プリンタドライバの削除

1 起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。

2 Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。

- **Windows XP の場合**

  ［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。

- **Windows 98/Me/2000 の場合**

  ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックします。

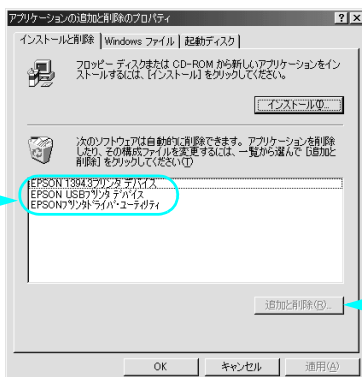
3 ［プログラムの追加と削除］または［アプリケーションの追加と削除］を開きます。

- **Windows XP の場合**

  ［プログラムの追加と削除］をクリックします。

- **Windows 98/Me/2000 の場合**

  ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

4 ［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］を選択して［変更と削除］または［追加と削除］をクリックします。

Windows 98/Me の場合、インストールが不完全なまま終了していると［USB プリンタデバイス］の項目が表示されないことがあります。その場合は、プリンタソフトウェア CD-ROM 内の［Epusbun.exe］ファイルを実行してください。

①コンピュータに「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

②［エクスプローラ］などで CD-ROM に収録されたファイルを表示させます。

③［Win9x］フォルダをダブルクリックして開きます。

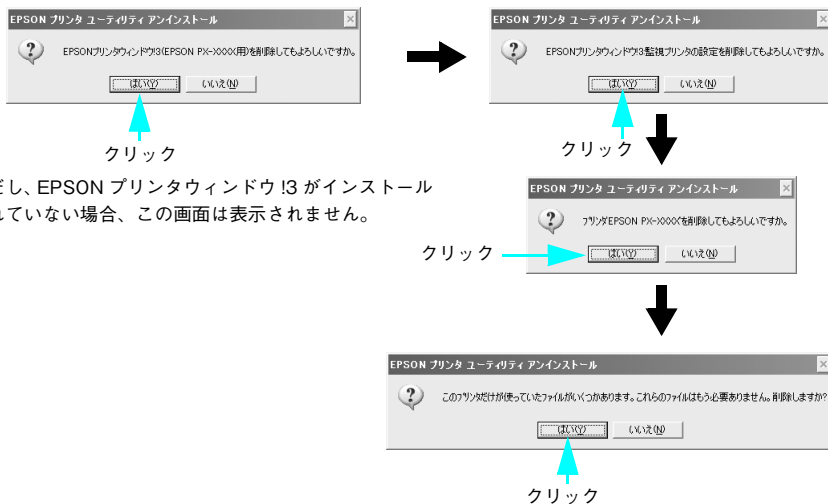
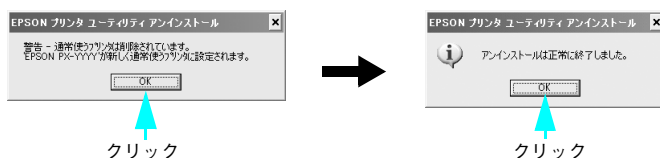
④［Epusbun.exe］アイコンをダブルクリックします。

5 本機のアイコンをクリックし［OK］をクリックします。

6 画面の内容を確認しながら［はい］をクリックします。

ただし、EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされていない場合、この画面は表示されません。

7 ［OK］をクリックします。

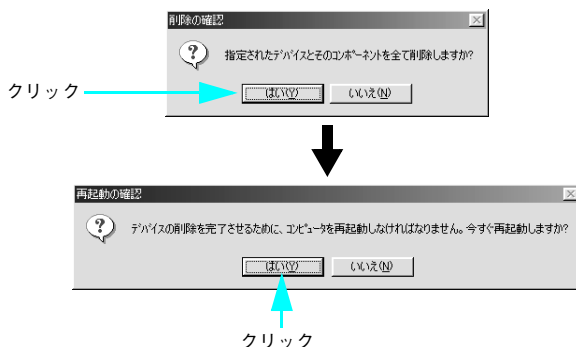
以上でプリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除（アンインストール）は終了です。プリンタドライバを再インストールする場合はコンピュータを再起動してください。

プリンタドライバは、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットしたときに自動的に表示される画面からも削除できます。

USB デバイスドライバの削除（Windows 98/Me のみ）

USB デバイスドライバは、Windows 98 /Me で USB 接続をご利用の場合にのみ必要なドライバです。
本書 50 ページ「プリンタドライバの削除」の手順 ❹ で「EPSON USB プリンタデバイス」を選択し、以下の手順を続けてください。

- USB デバイスドライバを削除する場合は、先にプリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除してください。
- USB デバイスドライバを削除すると、USB 接続しているほかのエプソン製プリンタも利用できなくなります。

［はい］をクリックします。

コンピュータが再起動します。

USB デバイスドライバを正常に削除できない場合は、「プリンタソフトウェア CD-ROM」の［WIN9X］フォルダに登録されている［EPUSBUN.EXE］を実行してください。実行後は、画面の指示に従って操作を進めます。

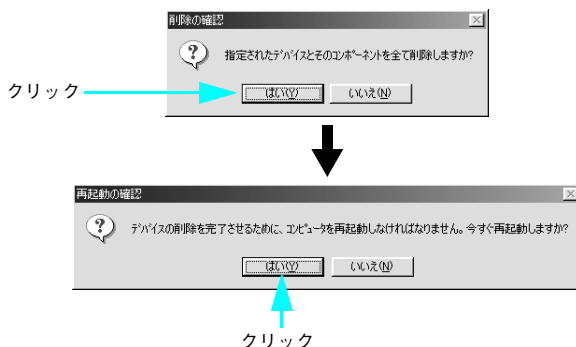
以上で USB デバイスドライバの削除は終了です。

IEEE1394 デバイスドライバの削除（Windows 98/Me のみ）

IEEE1394 デバイスドライバは、Windows 98 /Me で IEEE1394 接続をご利用の場合にのみ必要なドライバです。
本書 50 ページ「プリンタドライバの削除」の手順 ❹ で「EPSON 1394.3 プリンタデバイス」を選択し、以下の手順を続けてください。

- IEEE1394 デバイスドライバを削除する場合は、先にプリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除してください。
- IEEE1394 デバイスドライバを削除すると、IEEE1394 接続しているほかのエプソン製プリンタも利用できなくなります。

［はい］をクリックします。

コンピュータが再起動します。

以上で IEEE1394 デバイスドライバの削除は終了です。

印刷の中止方法

ここでは印刷を中止する方法を説明します。

①	データ転送中	コンピュータから中止したいデータを選んで中止します。 • プリンタ側での操作は不要です。
②	データ転送中 / 印刷中	コンピュータとプリンタの両方で中止の操作をします。 • コンピュータから中止の操作をしても、プリンタ側で中止の操作を行わないと、プリンタに蓄積されているデータが印刷され続けることがあります。 • プリンタで中止の操作をしても、コンピュータ側から中止の操作を行わないと、プリンタリセット後にコンピュータに蓄積されているデータが再送信され、印刷され続けることがあります。 • プリンタ側で中止した場合、他の印刷データもすべて削除されます。
③	印刷中	プリンタ側で中止の操作を行います。 • コンピュータからは中止できません。 • 他の印刷データもすべて削除されます。

コンピュータで中止する

プログレスメータが表示されているとき

1 **プログレスメータの［印刷中止］をクリックします。**

プログレスメータが表示されていないとき

プログレスメータが表示されていないときは、以下の手順で中止してください。

1 **［スタート］メニューから［プリンタと FAX］または［プリンタ］を開きます。**

- Windows XP

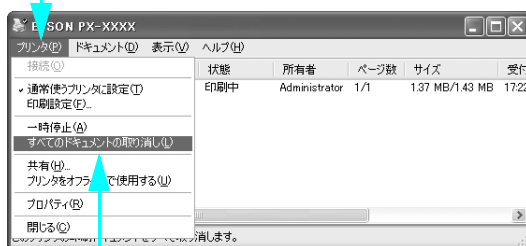
①［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷ へ進みます。
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③［プリンタと FAX］をクリックします。

- Windows 98/Me/2000

［スタート］－［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

2 **本機のアイコンをダブルクリックします。**

3 **中止したい印刷データをクリックし、［削除］をクリックします。**

特定の印刷データだけを削除する場合は、印刷データを選択し、［ドキュメント］メニューの［キャンセル］をクリックします。すべての印刷データを削除するときは、［プリンタ］メニュー内の［すべてのドキュメントの取り消し］または［印刷ドキュメントの削除］をクリックします。

プリンタへのデータ転送が終了している場合、上記画面に印刷データは表示されません。その場合は、プリンタのリセットだけで印刷が中止されます。

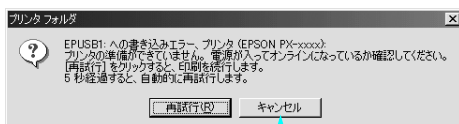
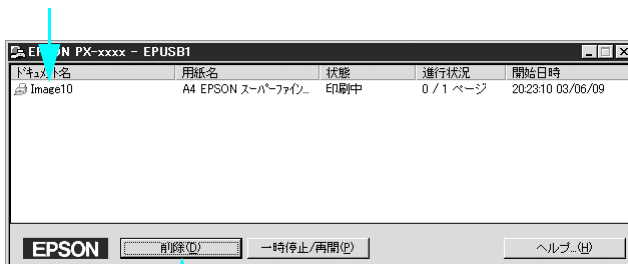
プリンタ本体で中止する

1. ［ポーズ］ボタン（ ◯／II ）を 3 秒以上押してプリンタをリセットします。

印刷途中であっても、プリンタをリセットします。リセット後、印刷可能状態になるまで時間がかかる場合があります。印刷中の用紙の処理は、ディスプレイに表示されているアイコンによって以下のように異なります。

アイコン	用紙種類	処理
	ロール紙自動カット	用紙サイズ分紙送りをしてから、自動的に用紙がカットされます。
	ロール紙カッターオフ	印刷が中止されます。パネル設定モードで［切り取り線］を［ON］に設定している場合は切り取り線を印刷します。 ［用紙送り］ボタン（ ▽ / △ ）を押して、カットしたい位置まで紙送りし、オプションのマニュアルカッターユニットや市販のカッターなどを使ってロール紙から用紙を切り離してください。
	単票紙	用紙送りされます。

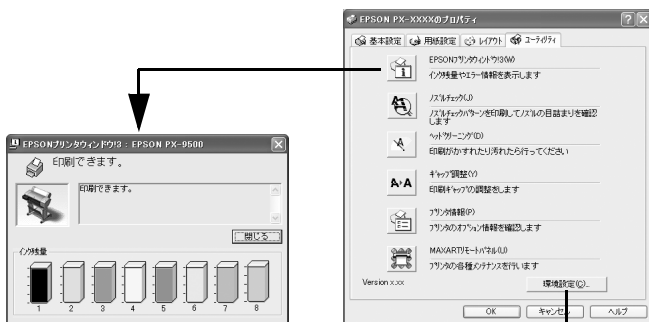
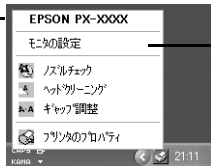
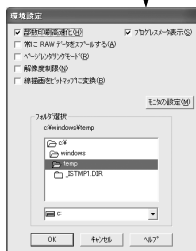
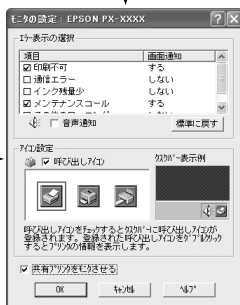
2 **コンピュータに以下の画面が表示されたら［キャンセル］をクリックします。**

次の画面が表示されるまでに、少し時間がかかります。

［キャンセル］をクリックした後に、次の画面が表示された場合は、印刷を中止する印刷データをクリックし、［削除］をクリックしてください。

ユーティリティの使い方

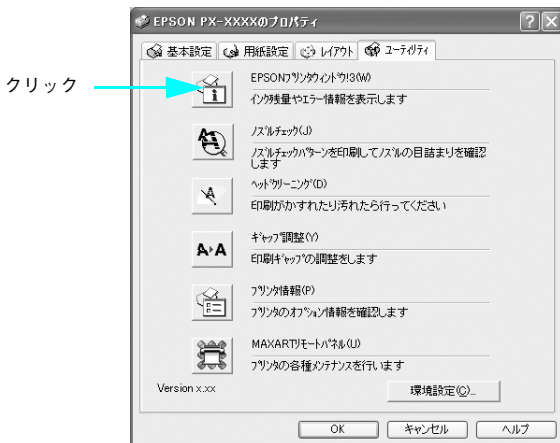
プリンタドライバのユーティリティでは、プリンタの状態を確認したりメンテナンスの機能が実行できます。
プリンタドライバユーティリティには以下の機能があります。

EPSON プリンタウィンドウ !3	インク残量やエラー情報を表示します。
ノズルチェック	ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認します。
ヘッドクリーニング	プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの目詰まりを除去します。
ギャップ調整	プリントヘッドのズレを修正します。
プリンタ情報	インクカートリッジの装着情報を取得します。
MAXART リモートパネル	プリンタの各種メンテナンスを行うソフトウェアが起動します。

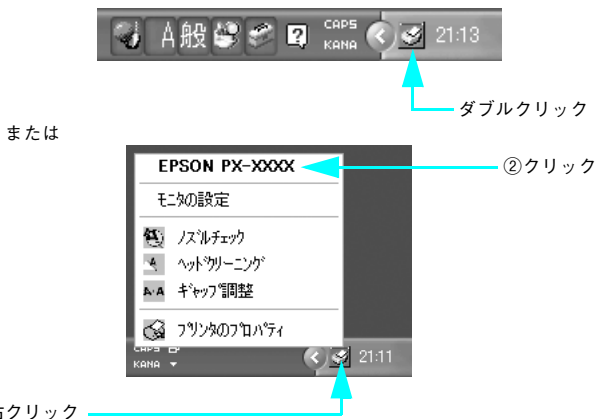
EPSON プリンタウィンドウ !3

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、プリンタの状態を確認して、エラーメッセージやインク残量などを画面上に表示するユーティリティです。プリンタの詳しい状態を知るには、［プリンタ詳細］ウィンドウを開きます。印刷開始と同時にプリンタの状態をモニタし始め、問題があればエラーメッセージを表示します。対処方法を表示させることもできます。また、プリンタドライバの設定画面や Windows のタスクバーから呼び出して、プリンタの状態を確かめることもできます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 は 2 通りの方法で起動できます。このウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。

[方法 1]

プリンタドライバのプロパティ画面を開き、[ユーティリティ] の [EPSON プリンタウィンドウ !3] ボタンをクリックします。

[方法 2]

[モニタの設定] 画面で [呼び出しアイコン] を選択すると、Windows のタスクバーに EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンが表示されます。このアイコンを右クリックして、メニューから本機をクリックします。

☞ 本書 65 ページ「[モニタの設定] 画面」

EPSON プリンタウィンドウ !3 の見方

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

①	プリンタ	プリンタの状態がグラフィックで表示します。
②	メッセージ	プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法を表示します。
③	［閉じる］	ウィンドウを閉じるときにクリックします。
④	インク残量	インクカートリッジのインク残量の目安を表示します。
⑤	メンテナンスタンク空き容量	メンテナンスタンク空き容量の割合（%）を表示します。

インクがなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウにエラーメッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。

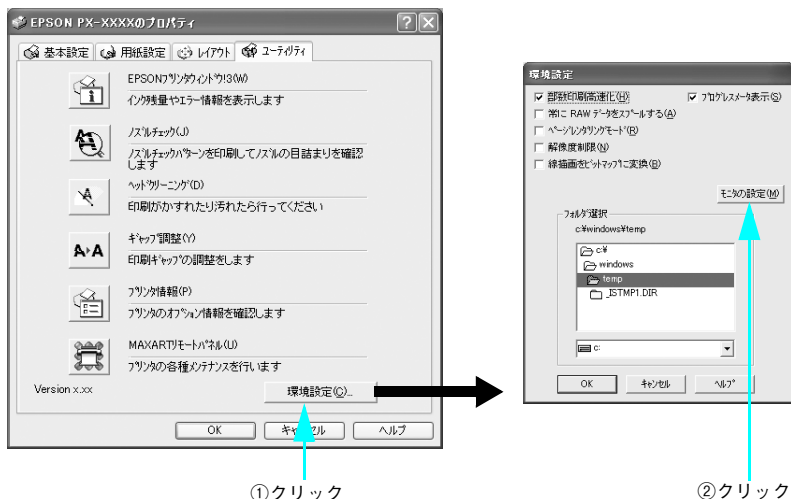
☞ 本書 49 ページ「印刷中に問題が起こったときは」

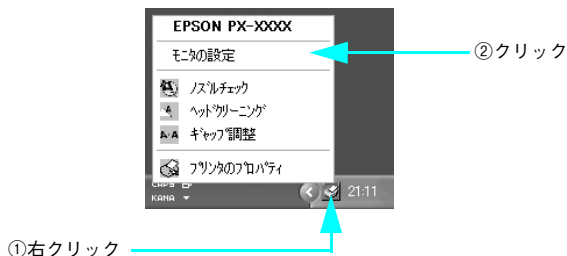
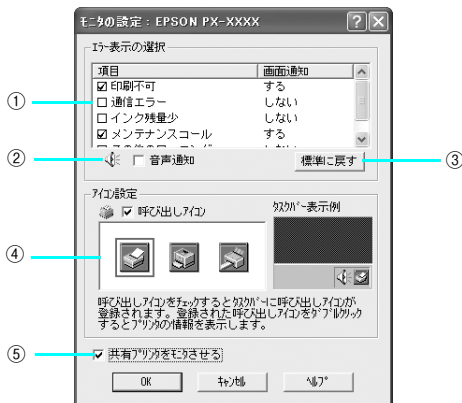
モニタの設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ機能を設定します。どのような場合にエラー表示するか、音声通知するか、共有プリンタをモニタするかなどを設定します。
☞ 本書 65 ページ「[モニタの設定］画面」

［モニタの設定］画面を開く方法は、2 通りあります。

［方法 1］

［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開き、［ユーティリティ］の［環境設定］をクリックします。続いて［環境設定］画面の［モニタの設定］をクリックします。

［方法 2］

［方法 1］で開いた［モニタの設定］画面で［呼び出しアイコン］を選択すると、Windows のタスクバーに EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンが表示されます。このアイコンを右クリックして、メニューから［モニタの設定］をクリックします。

- ［モニタの設定］画面

①	エラー表示の選択	プリンタがどのようなエラー状態のときに画面通知するかを選択します。通知が必要な項目をチェックします。
②	音声通知	エラー発生時に音声でも通知します。 お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。
③	［標準に戻す］	［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻すときにクリックします。
④	アイコン設定	［呼び出しアイコン］をチェックすると、EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンがタスクバーに表示されます。表示するアイコンは、本機に合わせて選択します。 タスクバーに表示されたアイコンを右クリックすると、メニューが表示されて［モニタの設定］画面を開くことができます。
⑤	共有プリンタをモニタさせる	チェックすると、ほかのコンピュータから共有プリンタをモニタさせることができます。 ☞ 本書 280 ページ「Windows でのプリンタの共有」

EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、通常プリンタドライバを削除するときに同時に削除されますが、ここでは EPSON プリンタウィンドウ !3 だけを削除（アンインストール）する手順を説明します。

- Windows XP で削除する場合は、「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーでログオンする必要があります。「制限」アカウントのユーザーでは削除できません。なお、Windows XP をインストールしたときのユーザーは、「コンピュータの管理者」アカウントになっています。
- Windows 2000 で削除する場合は、管理者権限のあるユーザー（Administratorsグループに属するユーザー）でログオンする必要があります。

1 プリンタの電源をオフにし、インターフェイスケーブルを取り外します。

2 Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。

- **Windows XP の場合**

  ［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。

- **Windows 98/Me/2000 の場合**

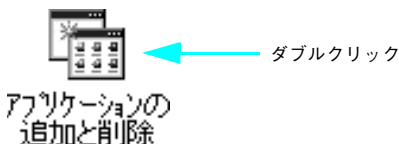
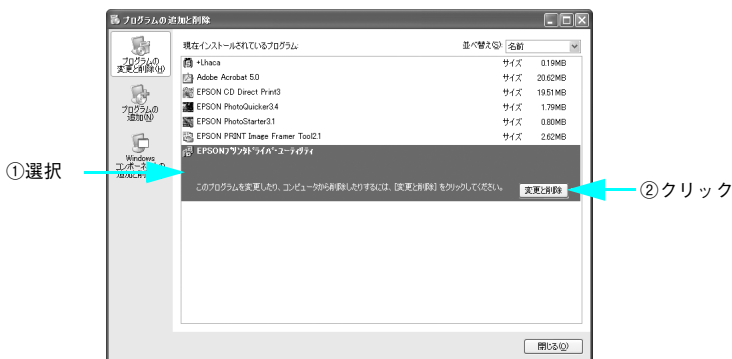
  ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックします。

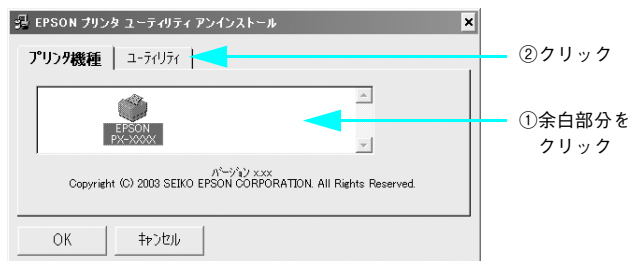
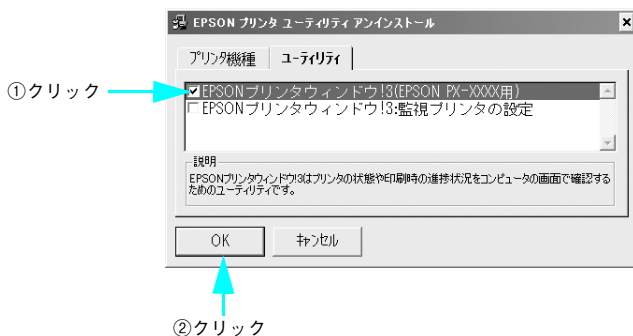
3 ［プログラムの追加と削除］または［アプリケーションの追加と削除］を開きます。

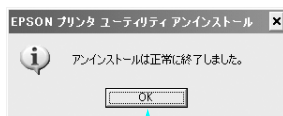
- **Windows XP の場合**

  ［プログラムの追加と削除］をクリックします。

- **Windows 98/Me/2000 の場合**

  ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

4 ［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］を選択して［変更と削除］または［追加と削除］をクリックします。

5 プリンタドライバのアイコン表示のない余白部分をクリックして、［ユーティリティ］タブをクリックします。

余白部分をクリックすることで、どのプリンタドライバも選択していない状態にします。

6 本機用の［EPSON プリンタウィンドウ!3］をチェックして、［OK］をクリックします。

7 ［はい］をクリックします。

8 ［OK］をクリックします。

以上で EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除（アンインストール）は終了です。

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットしたときに自動的に表示される画面からも削除できます。

ノズルチェック

ノズルチェックとは、プリントヘッド[*1]のノズル[*2]が目詰まりしているかどうかを確認するためのパターンを印刷する機能です。ノズルチェックパターンの印刷がかすれたり、すき間が開く場合は、ヘッドクリーニングを実行して、目詰まりを除去してください。

☞ 本書 368 ページ「ノズルチェック」

*1　プリントヘッド：用紙にインクを吹き付けて印刷する部分。外部からは見えない位置にある。

*2　ノズル：インクを吐出するための、非常に小さな孔（あな）。

- ノズルチェックパターン印刷は、プリンタの操作パネルからの操作でも行えます。
- インクエンドランプが点灯中は実行できません。

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングとは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。印刷がかすれたり、すき間が開くようになったら、次の手順に従ってヘッドクリーニングしてください。

☞ 本書 372 ページ「ヘッドクリーニング」

- ヘッドクリーニングはインクカートリッジすべてのインクを同時に使います。文字がかすれたり、画像が明らかに変な色で印刷されるなどの症状が出るとき以外は、必要ありません。
- 厚紙をセットした状態でヘッドクリーニングを実行することはできません。
- ヘッドクリーニングをした後は、必ずノズルチェックパターン印刷などで印刷結果を確認してください。
- ヘッドクリーニングは、インクエンドランプの点滅または点灯時には行えません。まずインクカートリッジを交換してください。
  ☞ 本書 342 ページ「インクカートリッジの交換」
- ヘッドクリーニングは、プリンタの操作パネルからの操作もできます。
  ☞ 本書 372 ページ「ヘッドクリーニング」

ギャップ調整

印刷をしていて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドのギャップを調整してください。ギャップ調整は、エプソン純正専用紙（普通紙を除く）を使用して行います。

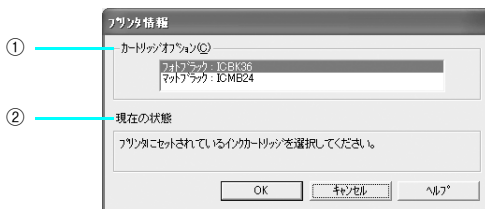
☞ 本書 378 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」

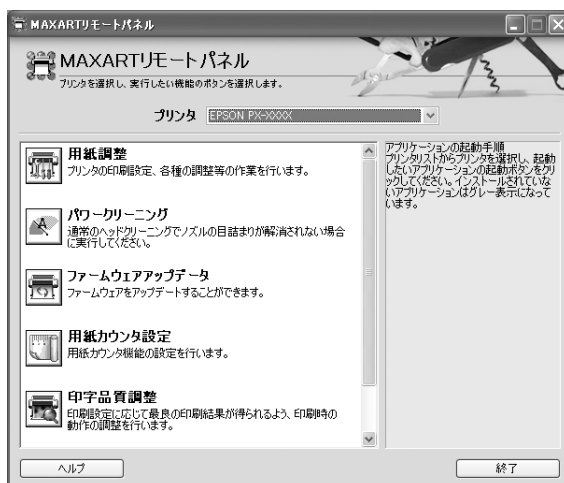
正常な印刷結果

ぼけたような印刷結果

- すべての調整パターン印刷には、PX-7500/PX-7500S で約 7 分、PX-9500/PX-9500S で約 11 分かかります。ロール紙を約 26cm 使用します。
- 「MAXART リモートパネル」からギャップ調整を行うと、より厳密に調整できます。
  ☞ 本書 71 ページ「MAXART リモートパネル」

プリンタ情報（PX-7500/PX-9500 のみ）

インクカートリッジの装着情報や、色の再現性を向上させるためのプリンタの ID 情報を取得します。どちらのプリンタ情報も、EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしている場合にのみ自動的に取得されます。

①	カートリッジオプション	セットしているインクカートリッジを選択します。
②	現在の状態	現在の状態を示すメッセージを表示します。

MAXART リモートパネル

プリンタの各種メンテナンスが行えます。目的に応じてメニューを選択してください。
詳細は［ヘルプ］をクリックしてください。

用紙調整

用紙調整には次のメニューがあります。

自動調整	印刷ギャップ調整 / ノズルチェック / クリーニングを自動で行うメニューがあります。
ユーザー用紙登録	使用する用紙に合わせて印刷関連の設定を調整し、その設定をプリンタに登録できます。
ユーザー用紙切替	ユーザー用紙登録で行った設定を呼び出し、プリンタで使用するユーザー用紙設定を切り替えます。
時刻設定	プリンタ内部の日時を設定します。
プリンタ情報	プリンタで保存している情報を表示したり、ステータスシートの印刷ができます。
ギャップ調整 ＜双方向印刷＞	ギャップ調整シートを印刷し、印刷結果を確認して、双方向印刷時のプリントヘッドのズレを色ごとに修正できます。
ギャップ調整 ＜単方向印刷＞	ギャップ調整シートを印刷し、印刷結果を確認して、単方向印刷時のプリントヘッドのズレを色ごとに修正できます。

パワークリーニング

通常より強力なヘッドクリーニングをします。
プリンタドライバや、プリンタの操作パネルなどから行う通常のヘッドクリーニングでノズルの目詰まりが解消しないときにのみ実行します。
パワークリーニングにはインクレバーの操作が必要になりますので、プリンタから離れずに、操作パネルの指示に従ってレバーを上げ下げしてください。

ファームウェアアップデータ

プリンタ本体を制御しているプログラムであるファームウェアファイルをプリンタに送り、プリンタのファームウェアを最新の状態に(アップデート)します。

用紙カウンタ設定

プリンタにセットしている用紙の残量をカウントし、残りの長さや枚数が指定した数値より少なくなると、警告メッセージを表示するように設定ができます。

印字品質調整

用紙種類、給紙装置、印刷品質の印刷設定に応じて、最良の印刷結果が得られるように印刷時の動作を調整し、プリンタに登録できます。ここでは、用紙送り量の調整とマイクロウィーブの調整ができます。

プリンタ監視

プリンタの状態を確認して、エラーメッセージやインク残量などを画面上に表示できます。
また、プリントジョブ情報の履歴や、プリンタの保守情報(発生したサービスコール)の履歴を一覧表示することもできます。

プリンタソフトウェアの使い方（Mac OS 9）

ここでは、本機に添付のソフトウェアについて説明しています。

プリンタソフトウェアの構成

本機の「プリンタドライバ」と「プリンタドライバユーティリティ」が同梱の CD-ROM に収録されています。

プリンタドライバ

プリンタドライバは、コンピュータから受け取った印刷データをプリンタに送るためのソフトウェアです。プリンタを使用するためにはプリンタドライバをコンピュータにインストールする（組み込む）必要があります。

☞ セットアップガイド「4. プリンタソフトウェアをインストールします」

プリンタドライバの主な機能は次の通りです。

- コンピュータから受け取った印刷データをプリンタに送ります。
- 印刷方向や用紙サイズなどの印刷条件を設定します。

本製品のプリンタドライバには基本的な機能のほかに、「写真を最適に補正して印刷する機能」や「縮小して印刷する機能」などの便利な機能がたくさん搭載されています。エプソンプリンタの機能をフルに活用いただけるよう、本製品専用のプリンタドライバのご使用をお勧めします。

最新のプリンタドライバを使用することで、さらに快適に印刷ができるようになる場合もあります。必要に応じてご確認ください。

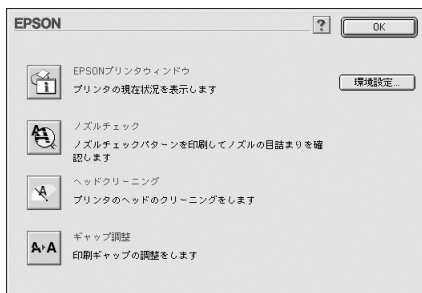
☞ 本書 393 ページ「プリンタドライバのバージョンアップ」

プリンタドライバユーティリティ

プリンタドライバユーティリティには以下の機能があります。

☞ 本書 60 ページ「ユーティリティの使い方」

EPSON プリンタウィンドウ	インク残量やエラー情報を表示します。
ノズルチェック	ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認します。
ヘッドクリーニング	プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの目詰まりを除去します。
ギャップ調整	プリントヘッドのズレを修正します。

- プリンタドライバユーティリティは、プリンタドライバのインストール時に自動的にインストールされます。
- Mac OS 9 では、プリンタドライバユーティリティから MAXART リモートパネルを起動できません。デスクトップにある［MAXART リモートパネル］アイコンをダブルクリックするか、［Applications］フォルダにある［MAXART リモートパネル］アイコンをダブルクリックして起動してください。
  ☞ 本書 111 ページ「MAXART リモートパネル」

プリンタドライバの起動方法

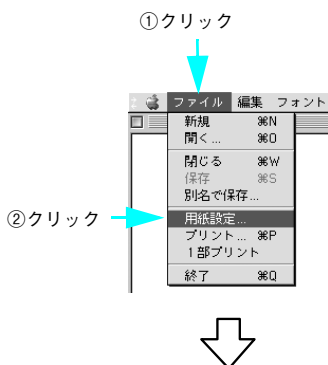
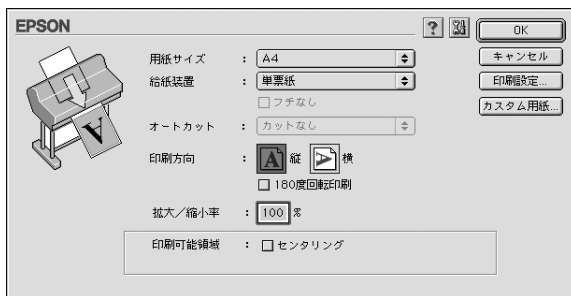
プリンタドライバの設定画面は、以下の 2 種類があり、それぞれ表示する手順が異なります。

［印刷］画面	印刷品質に関する設定をする画面です。
［用紙設定］画面	用紙設定に関する設定（用紙サイズなど）をする画面です。

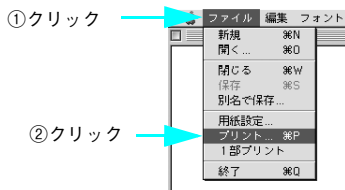
お使いのアプリケーションソフトによって、画面を表示する手順が異なる場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

［用紙設定］画面を表示する

［用紙設定］画面は、以下の手順で表示します。

アプリケーションソフトで、［ファイル］－［用紙設定］をクリックします。

［用紙設定］画面が表示されます。

［印刷］画面を表示する

［印刷］画面は、以下の手順で表示します。

アプリケーションソフトで、［ファイル］－［プリント］をクリックします。

［印刷］画面が表示されます。

プリンタドライバの設定

プリンタドライバの設定画面では、以下の項目を設定します。

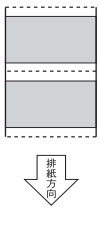
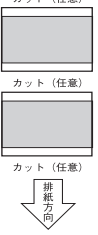
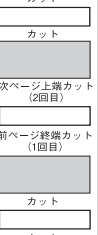
［印刷］画面

①	部数	印刷の部数を設定します。
②	ページ	書類の全ページを印刷するか、特定のページを印刷するかを選択します。
③	用紙種類	印刷する用紙の種類を、一覧の中から選択します。
④	カラー	インクの種類を選択します。印刷の目的に合わせて、［カラー］／［モノクロ写真］（PX-7500/PX-9500 のみ）／［黒］のいずれかを選択します。 ［モード］で［詳細設定］を選択している場合は、［詳細設定］画面で選択した［カラー］の設定が表示されます。

⑤	モード	■推奨設定 印刷の設定を自動的に行う（推奨設定）か、手動で行う（詳細設定）かを選択します。 プリンタドライバに印刷の設定を自動的にさせるときに選択します。［推奨設定］では、ドライバが自動的に用紙とインクの種類に合わせて、設定を調整して印刷します。 • ［用紙種類］の設定によっては、［きれい］－［速い］、または［高精細］－［きれい］から設定を選択できます。 • 色補正方法を以下のいずれかの設定を選択できます。

［カラー］項目　［カラー］選択時	
自然な色合い	PX-7500S/PX-9500S の初期値です。自然な発色状態になるようにエプソン独自の色作りで色処理をします。
あざやかな色合い	彩度（鮮やかさ）を上げ、色味を強くするようにエプソン独自の色作りで処理をします。
EPSON 基準色（sRGB）（PX-7500/PX-9500のみ）	PX-7500/PX-9500 の初期値です。初期値です。sRGB の色基準に合わせた色処理をします。他のエプソン製プリンタと互換性をもった色作りをします。
Adobe RGB（PX-7500/PX-9500のみ）	Adobe RGB の色域を前提とした色処理をします。

［カラー］項目　［モノクロ写真］選択時（PX-7500/PX-9500 のみ）	
純黒調（ニュートラル）	モノクロ写真のための標準色補正を適用します。
冷黒調（クール）	モノクロ写真に冷たい感じの色補正を適用します。
温黒調（ウォーム）	モノクロ写真に暖かい感じの色補正を適用します。
セピア	モノクロ写真をセピア調の色補正を適用します。

■詳細設定
［詳細設定］を選択すると、［設定変更］ボタンが有効になります。詳細な設定をするには、［設定変更］ボタンをクリックして、［詳細設定］画面を開きます。

現在の設定	［設定変更］ボタンをクリックすると、現在の設定が表示されます。
超高精細	最高の印刷品質が得られる設定で印刷するモードです。
高精細	高い印刷品質が得られる設定で印刷するモードです
ColorSync	ColorSync を使用して、色変換された印刷をします。
オートフォトファイン	書類の中の画像を自動的にカラー調整して印刷します。

<table>
<tr><td>⑥</td><td>アイコン</td><td>
<table>
<tr><td></td><td>［ユーティリティ］画面が表示されます。
本書 83 ページ「［ユーティリティ］画面」</td></tr>
<tr><td></td><td>［レイアウト］画面が表示されます。フィットページ印刷などのレイアウト機能の設定ができます。
本書 84 ページ「［レイアウト］画面」</td></tr>
<tr><td></td><td>［バックグラウンド印刷］画面が表示されます。バックグラウンド印刷では、印刷するデータが複数ある場合の優先順位や、書類を印刷する時刻を指定できます。
本書 85 ページ「［バックグラウンド印刷］画面」</td></tr>
<tr><td></td><td>インクの残量を確認できます。
本書 106 ページ「EPSON プリンタウィンドウの見方」</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>⑦</td><td>プレビュー／ファイル保存／印刷モードアイコン</td><td>アイコンをクリックするたびに、プレビューモード／ファイル保存モード／印刷モードが切り替わります。</td></tr>
<tr><td>⑧</td><td>実行ボタン</td><td>⑦で設定したモードによって、プレビュー／ファイル保存／印刷を実行します。</td></tr>
</table>

［用紙設定］画面

①	用紙サイズ	印刷する用紙サイズを一覧の中から選択します。
②	給紙装置	給紙方法を選択します。 ■ロール紙（xx） xx はロール紙幅 ロール紙に印刷するときに、一致するロール紙幅の項目を選択します。 ■ロール紙 長尺モード 用紙の上下余白（マージン）を 0mm にして長尺紙として印刷するときに選択します。 ■単票紙 単票紙に印刷するときに選択します。
③	フチなし	［左右フチなし］または［四辺フチなし］印刷するときに、チェックを付けます。用紙の種類やサイズによっては、フチなし印刷ができません。またプリンタの設定によって、フチなし印刷のモード（左右フチなし・四辺フチなし）が変わります。詳しくは取扱説明書を参照してください。
④	はみ出し量	このボタンをクリックすると、四辺フチなし印刷時のはみ出し量を調整できます。

⑤	オートカット	ロール紙のカット方法を選択します。 ■カットあり プリンタドライバで設定した用紙サイズに、［ロール紙余白］を加えた長さでカットします。 ■カットなし カットしません。印刷後に任意の位置でカットしてください。 ［フチなし］をチェックした場合は、以下の 4 項目から選択します。 本書 149 ページ「フチなし印刷」 カットなし：排紙方向 左右フチなし：カット（任意）／カット（任意）／カット（任意）／排紙方向 四辺フチなし（1カット）：カット／カット／ページ間を1回カット／カット／カット／排紙方向 四辺フチなし（2カット）：カット／カット／次ページ上端カット（2回目）／前ページ終端カット（1回目）／カット／カット／排紙方向
⑥	印刷方向	文書を印刷する方向を選択します。 ■ 180 度回転印刷 チェックボックスをチェックすると、印刷イメージを 180 度回転して印刷します。
⑦	印刷可能領域	［給紙装置］で［単票紙 ］を選択すると有効になります。 ■センタリング 用紙の上下左右の余白を均等にして、用紙の中央に印刷します。 ただし、物理的な印刷可能領域は狭くなります。
⑧	ロール紙 オプション	［給紙装置］で［ロール紙］を選択すると有効になります。 ■自動回転 縦長の印刷データが、ロール紙の紙幅に納まる場合に 90 度回転させてロール紙を横長にレイアウトして出力します。［ロール紙 長尺モード］を選択した場合は設定できません。ロール紙を無駄なく使いたいときにチェックします。 ■ページ枠印刷 印刷データに合わせて、用紙に切り取り線（実線）を印刷します。 ■ロール紙節約 ［給紙装置］で［ロール紙 長尺モード］を選択した場合に選択可能になります。印刷データの最後を印刷すると、その位置から数行分、用紙を送り出し、動作を停止します。
⑨	印刷設定	［印刷設定］ダイアログが表示されます。印刷条件を設定するときは、このボタンをクリックします。
⑩	カスタム用紙	［カスタム用紙］ダイアログが表示されます。任意のサイズを設定するときは、このボタンをクリックします。

［ユーティリティ］画面

［ユーティリティ］画面は、［印刷］画面または［用紙設定］画面の をクリックして開きます。

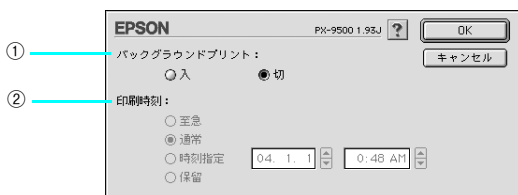
①	EPSON プリンタウィンドウ	EPSON プリンタウィンドウを起動します。 プリンタの現在の状態、インク残量、エラー状態などが確認できます。
②	ノズルチェック	プリントヘッドの目詰まりを確認するパターンを印刷します。 プリントヘッドが目詰まりを起こしているかどうかがわかります。
③	ヘッドクリーニング	プリントヘッドのクリーニングを開始します。
④	ギャップ調整	ギャップ調整ユーティリティを起動します。 このユーティリティは、双方向印刷をしていて縦の罫線がずれたり、黒色と他の色との間にすき間があいたり、写真などの印刷結果がピントがぼけたようになったときに使用します。 ギャップ調整ユーティリティは、起動後の画面上の指示にしたがって操作してください。
⑤	環境設定 ...	エラーやワーニングを検出したときの通知方法、スプールファイル保存フォルダやコピー印刷ファイル保存フォルダの指定、印刷前にエラーやインクエンドを確認するか否かの設定、印刷データをハードディスクに保存した後にプリンタへ送信するか否かの設定ができます。

［レイアウト］画面

［レイアウト］画面は、［印刷］画面の をクリックして開きます。

①	フィットページ	チェックすると出力用紙サイズに合わせて自動的に拡大／縮小します。このとき［出力用紙サイズ］の項目では、プリンタにセットする用紙サイズを選択してください。［用紙設定］画面の［用紙サイズ］で選択されている用紙サイズで作成された印刷データを［出力用紙サイズ］に合わせて拡大 / 縮小します。 本書 254 ページ「拡大 / 縮小印刷」
②	印刷順序	［部単位で印刷］をチェックすると、2 部以上印刷する場合に、一部ずつ印刷できます。 ［逆順印刷］をチェックすると、最終ページから印刷します。

［バックグラウンド印刷］画面

［ユーティリティ］画面は、［印刷］画面または［用紙設定］画面の をクリックして開きます。

①	バックグラウンドプリント	バックグラウンドプリントを設定します。 ■切 バックグラウンドプリントを切に設定すると印刷速度を向上させることができます。ただし、印刷中は Macintosh を他の作業に使用することはできません。 ■入 書類を印刷中でも Macintosh を使用できます。 ただし、ご利用の Macintosh によっては、印刷に時間がかかることがあります。
②	印刷時刻	バックグラウンドプリントでの印刷時刻を設定します。 ■至急 プリントキュー内の他の印刷データよりも優先的に印刷します。 ■通常 プリントキュー内に入れられた順に印刷します。 ■時刻指定 指定された日付と時刻に書類を印刷します。 ■保留 書類はプリントされずプリントキュー内に置かれたままになります。

［詳細設定］画面

［印刷］画面で［詳細設定］を選択して［設定変更］をクリックすると、以下の画面が表示されます。この画面では印刷に関する項目を設定します。
画面内の各項目は、［用紙種類］、［カラー］、［印刷品質］の組み合わせで選択できる項目が決まります。設定を変更できない項目は、薄いグレーで表示されます。

＜ PX-9500 の場合＞

<table>
<tr><td>①</td><td>用紙種類</td><td>印刷する用紙の種類を、ポップアップメニューの中から選択します。</td></tr>
<tr><td>②</td><td>カラー</td><td>印刷の目的に合わせて、カラー / モノクロ写真（PX-7500/PX-9500 のみ）/ 黒 から選択します。［用紙種類］の設定によっては、選択できない項目もあります。

参考
用紙に関する情報は、使い方ガイド（冊子）「用紙について」をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>③</td><td>印刷品質</td><td>印刷の品質を、ポップアップメニューの中から選択します。
<table><tr><th>設定値</th><th>品質 *1</th><th>速度 *2</th></tr><tr><td>ドラフト</td><td>1</td><td>5</td></tr><tr><td>ファイン - 360dpi</td><td>2</td><td>4</td></tr><tr><td>スーパーファイン - 720dpi</td><td>3</td><td>3</td></tr><tr><td>フォト - 1440dpi</td><td>4</td><td>2</td></tr><tr><td>スーパーフォト -2880dpi</td><td>5</td><td>1</td></tr></table>*1 品質：印刷品質を表しています。数値が大きい方がきれいに印刷できます。
*2 速度：印刷の速さを表しています。数値が大きい方が速く印刷できます。
ご利用のプリンタ / 用紙によって、設定できない項目があります</td></tr>
</table>

④	マイクロウィーブスーパー	行ごとのムラを少なくしたい場合に選択します。ただし、印刷時間が長くなります。 **参考** ［マイクロウィーブスーパー］は、［用紙種類］と［印刷品質］の組み合わせによって選択できないことがあります。
⑤	双方向印刷	プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するので、高速で印刷できます。ただし、印刷品質が低下する場合があります。
⑥	左右反転	左右を反転させて印刷する場合はチェックします。
⑦	Web スムージング	インターネットからダウンロードした低解像度のイラストやロゴなどの輪郭を滑らかにします。
⑧	［用紙調整］	用紙関連の調整（インク濃度、乾燥時間、用紙送り補正値、用紙厚、吸引力、カット調整）を行います。 本書 25 ページ「［用紙調整］画面」
⑨	［保存 / 削除］	［詳細設定］画面の設定を保存したり、削除します。
⑩	プリンタのカラー調整	■マニュアル色補正 プリンタドライバで印刷データの色補正を行います。 本書 88 ページ「［マニュアル色補正］を選択した場合」 ■オートフォトファイン !6 エプソン独自画像補正技術オートフォトファイン !6 を使用し、印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。 本書 90 ページ「［オートフォトファイン !6］を選択した場合」 **！注意** オートフォトファイン！6 は、「カラー」を設定したときのみ、選択できます。画像のサイズやコンピュータの性能によっては印刷時間が長くなる場合があります。 ■ ColorSync ColorSync によるカラーマッチングを行います。 本書 91 ページ「［ColorSync］を選択した場合」 ■オフ（色補正なし） ドライバによる色補正を行いません。アプリケーション側でカラーマネージメントを行う場合や、ColorSync 用プロファイル（色補正データ）を作成する際のカラーチャートの印刷を行うときに選択します。

［マニュアル色補正］を選択した場合

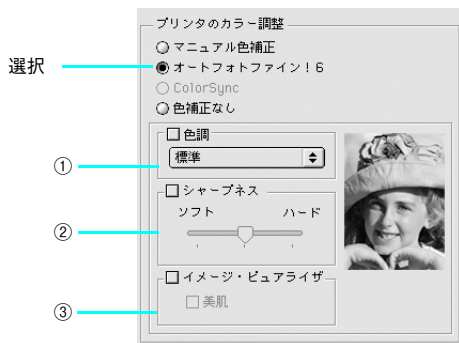
［プリンタのカラー調整］で［マニュアル色補正］を選択すると、画面下部の表示が次のようになります。

①	色補正方法	■自然な色あい PX-7500S/PX-9500S の初期値です。本製品で自然な発色状態になるようにエプソン独自の色作りで色処理をします。 ■あざやかな色あい 本製品で彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くするようにエプソン独自の色作りで処理をします。 ■ EPSON 基準色（sRGB）（PX-7500/PX-9500 のみ） PX-7500/PX-9500 の初期値です。sRGB の色基準に合わせた色処理をします。従来の MAXART プリンタと互換性を持った色作りをします。 ■ Adobe RGB （PX-7500/PX-9500 のみ） Adobe RGB の色域を前提とした色処理をします。
②	ガンマ	［ガンマ］は、画像の中間調部分の階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位です。［ガンマ］値を変更することで、画像の暗い部分（シャドウ）や明るい部分（ハイライト）に大きな影響を与えずに、その中間部分の明るさだけを調整できます。 ■ 1.5 ガンマ値 1.8 に比べて柔らかい感じの画像を印刷します。 ■ 1.8 初期値です。 ■ 2.2 ガンマ値 1.8 に比べ硬い感じの画像を印刷します。ガンマ値 1.8 の画像でメリハリがない場合に使用してください。

<table>
<tr><td>③</td><td>スライドバー</td><td>■明度
画像全体の明るさを調整します。標準を 0 として、− 25 ～+ 25% の間で、マイナス（−）方向には暗く、プラス（+）方向には明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。
■コントラスト
画像の明暗比を調整します。標準を 0 として、− 25 ～+ 25% の間で調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。
■彩度
画像の彩度（色のあざやかさ）を調整します。標準を 0 として、− 25 ～+ 25% の間で調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。［カラー］で［黒］を選択した場合は調整できません。
■シアン / マゼンタ / イエロー
それぞれの強さを調整します。標準を 0 として、− 25 ～+ 25% の間で調整します。［カラー］で［黒］を選択した場合は調整できません。

<table><tr><th></th><th>（−）◀―</th><th>0</th><th>―▶（+）</th></tr><tr><td>シアン</td><td>赤色を強くします。</td><td></td><td>青緑（シアン）を強くします。</td></tr><tr><td>マゼンタ</td><td>緑色を強くします。</td><td></td><td>赤紫（マゼンタ）を強くします。</td></tr><tr><td>イエロー</td><td>青色を強くします。</td><td></td><td>黄色（イエロー）を強くします。</td></tr></table>
参考
通常はスライドバーでの調整は必要ありません。必要に応じて調整してください。</td></tr>
</table>

［オートフォトファイン !6］を選択した場合

［プリンタのカラー調整］で［オートフォトファイン !6］を選択すると、画面下部の表示が次のようになります。
ただし、PX-7500/PX-9500 では［色調］の項目はありません。

①	色調 （PX-7500S/ PX-9500S のみ）	■標準 標準的な色調に補正して印刷します。 ■セピア 印刷データの色を、セピア調の色調になるよう調整して印刷します。 ■モノクロ 印刷データの色を、白黒になるよう調整して印刷します。
②	シャープネス	画像の輪郭を強調します。 加える効果の強弱は、［弱 / 強］のスライドバーで調整します。
③	イメージ・ピュアライザ	チェックすると、デジタルカメラで撮影した写真データに最適な補正をして印刷します。 ［美肌］をチェックすると、人物に適した色補正をします。 参考 • オートフォトファイン!6は1677万色（24bit）の色情報を持った画像データに対してもっとも有効に機能します。256 色などの少ない色情報の画像データには有効に機能しません。アプリケーションソフトなどで色数を増やしてから印刷してください。 • エプソン製デジタルカメラまたはスキャナなどでオートフォトファイン機能を使用して取り込んだ画像を印刷する場合、プリンタドライバのオートフォトファイン !6 は使用しないでください。

[ColorSync] を選択した場合

[プリンタのカラー調整] で [ColorSync] を選択すると、画面下部の表示が次のようになります。

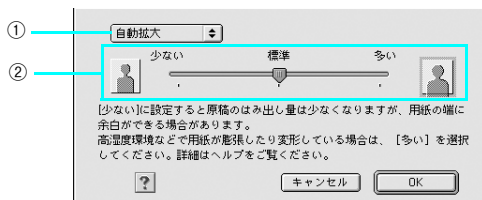
①	プロファイル	通常は、[EPSON 標準] を選択してください。 ■ EPSON 標準 本機からの印刷用に最適化されています。[用紙種類] で選択したエプソン純正用紙用のプロファイルが適用されます。 ■その他 通常は選択できません。アプリケーションソフトなどによってはプロファイルが添付されているものがあり、それらをインストールした場合にのみ、選択可能となります。通常の印刷では、[EPSON 標準] 以外を選択する必要はありません。
②	マッチング方法	■自然な色あい 自然な発色状態になるように処理をします。写真などの印刷に適しています。 ■あざやかな色あい 画面の彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くする色処理を行います。グラフや図表などの印刷に適しています。 ■特定色マッチ 特定色（例えばコーポレートカラーなど）を印刷する際に選択します。それぞれの特定色をできる限り正しく印刷されるような色処理を行います。 参考 [ColorSync] の設定は、カラー印刷の場合のみ選択します。必ず、ColorSync に対応したアプリケーションを使用してください。

[用紙調整] 画面

[印刷] 画面で [用紙調整] を選択すると、以下の画面が表示されます。エプソン純正専用紙以外の用紙を使う場合は、この画面で使う用紙（ユーザー用紙）の特性に合わせて項目を設定します。

①	インク濃度	インク濃度（濃淡）を標準値からの割合で調整します。インク濃度は、スライドバーを左（より薄い -50%）または右（より濃い +50%）へ動かすか、ボックスに直接数値を入力して設定します（初期値：0%）。 エプソン 純正専用紙以外の用紙を使った際にインクがにじむ場合はインク濃度を－（左）に、薄すぎる場合には＋（右）に調整し、用紙の適性に合わせてください。

②	ヘッドパス毎の乾燥時間	インクが乾燥するまでプリントヘッドの往復移動を停止する時間（乾燥時間）を設定します。インク乾燥時間は、スライドバーを左端（標準 0 秒）から右（最長 +5 秒）へ動かすか、ボックスに直接秒数（0.1 秒単位）を入力して設定します（初期値：0 秒）。 **参考** • インク濃度を上げたときなどインクが乾きにくいことがありますので、必要に応じて調整してください。 • 用紙によっては、乾燥しにくいときがあります。このようなときは乾燥時間を長めに設定してください。 • インクの乾燥中に［カット / 排紙］ボタンを押すと、乾燥を中断して指定の動作を行います。
③	用紙送り補正値	用紙送りの補正値を調整します。補正値は、スライドバーを左（より少なく -70）または右（より多く +70）へ動かすか、ボックスに直接数値（0.01% 単位）を入力して設定します（初期値：0）。単位は 0.01％です。 プリンタの個体差によって、エプソン純正専用紙を使っても用紙送りがずれることがあります。また、エプソン純正専用紙以外でも用紙に合わせて正確に用紙が送られるように調整する必要があります。このようなときに、用紙送りを調整します。
④	吸引力	用紙をプラテン上で安定させるための吸着力を標準値からの割合で設定します。用紙の吸引力は、スライドバーを左端（標準 100%）から、-1（84%）、-2（66%）、-3（50%）、-4（34%）へ動かして設定します（初期値：100%）。 用紙が薄いと、吸着力が強すぎてロール紙をセットしにくかったり、うまく紙送りされないことがあります。このようなときは吸着力を弱めに設定してください。
⑤	用紙厚	用紙厚を設定します。用紙厚は 0.1mm 単位で 1 から 15 までの間で直接数値を入力します（初期値は選択されている［用紙種類］によって異なります）。 エプソン純正専用紙以外の用紙を使うときに、その用紙の厚さを正確に設定できます。
⑥	カット調節	ロール紙自動カット時のカッターの圧力を 3 段階に設定します。メニューから［標準］、［薄紙］、［厚紙、高速］、［厚紙、低速］のいずれかを選択します（初期値：標準）。 **参考** 薄い用紙を強くカットすると、カット端で用紙が破れることがあります。このようなときは用紙厚に合わせて［薄紙］に設定してください。
⑦	プラテンギャップ	プリントヘッドと用紙の間隔（プラテンギャップ）を設定します。プラテンギャップは、メニューから［自動］、［より広め］、［広め］、［標準］、［狭い］のいずれかを選択します。通常は［自動］を選択してください（初期値：自動）。
⑧	［デフォルト］	［用紙調整］画面の設定値をすべて初期値に戻します。

はみ出し量設定画面

四辺フチなし印刷時のはみ出し量を調整できます。
この画面では、［詳細設定］画面で設定した内容を保存、または変更できます。また、すでにある設定の削除もできます。

①	拡大方法	■自動拡大 印刷データを用紙サイズより左右に 3mm ずつ拡大し、はみ出させることでフチなし印刷します。上下は左右と同じ比率で拡大します。自動的に印刷データを拡大して印刷するため、簡単にフチなし印刷ができます。ただし、はみ出した部分（左右 3mm、上下は用紙サイズを越えた部分）は印刷されません。本番の印刷の前に、試し印刷することをお勧めいたします。 ■カスタム設定（原寸維持） 印刷データを拡大せずに、左右それぞれを 3mm ずつカットすることでフチなし印刷します。そのため、原寸のままフチなし印刷ができます。ただし、あらかじめアプリケーション側で、用紙サイズより左右方向が 6mm 大きくなるように印刷データを作成する必要があります。上下方向は仕上がりサイズのままで印刷します。
②	はみ出し量の設定	四辺フチなし印刷時のはみ出し量を調整できます。 通常は、［標準］にしてください。確実に余白のない印刷を行うことができます。 ［少ない］を選択することによって、はみ出し量を少なくすることができますが、用紙の端に余白ができる場合があります。

ヘルプ機能

プリンタドライバの各画面、各項目の説明は、「ヘルプ」をご覧ください。ヘルプを表示させたいときはプリンタドライバ画面の上にある[?]をクリックします。

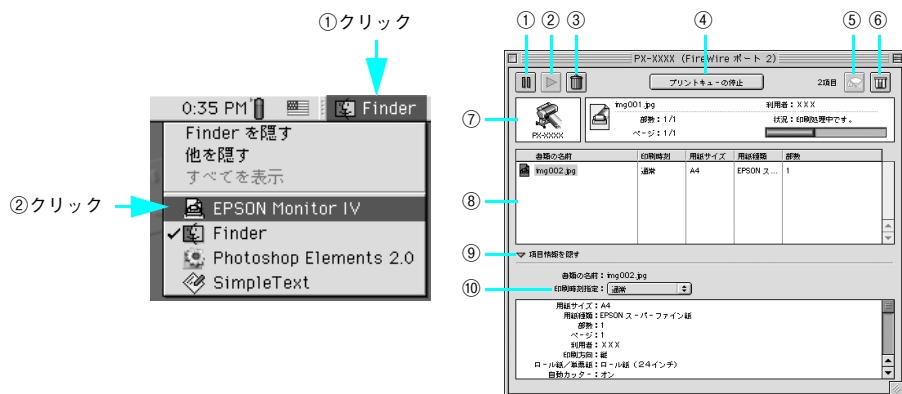
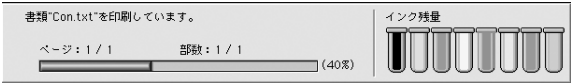
- ［印刷］画面

- ［用紙設定］画面

印刷状況の確認

EPSON Monitor IV で印刷状況を確認できます。

EPSON Monitor IV で確認する

EPSON Monitor IV を使って、バックグラウンドプリントと、現在印刷しているジョブやこれから印刷するジョブを確認したり、印刷を中止したりできます。
EPSON Monitor IV を表示するには、印刷中に画面右上のアプリケーションメニューから［EPSON Monitor IV］を選択します。印刷していないときは、ハードディスク内の［システムフォルダ］ー［機能拡張フォルダ］にある［EPSON Monitor IV］アイコンをダブルクリックします。

①		印刷中のデータおよびスプールファイルリストの中から選択された印刷データを一時保留状態にします。
②		保留状態を解除します。 印刷中のデータおよびスプールファイルリストの中から保留状態になっているデータを選択して、ボタンをクリックしてください。
③		印刷中のデータおよびスプールファイルリストの中から選択された印刷データを削除します。
④	［プリントキューの停止］	印刷の停止と解除（開始）を選択します。 ［プリントキューの停止］を選択すると、すべての印刷を停止します（印刷データは、Mac OS を終了してもすべて保持されます）。 この場合、［プリントキューの開始］を選択することで、印刷が開始されます。
⑤		プリントヘッドのノズルをクリーニングします。印刷中は実行できません。
⑥		インク残量モニタを表示します。
⑦	状態表示部	印刷中の書類の名称や進行状況などを表示します。

⑧	スプールファイルリスト	印刷待ちのジョブを表示します。
⑨	項目情報を隠す / 表示	項目情報（画面下部の表示）の表示 / 非表示を切り替えます。
⑩	項目情報	状態表示部またはスプールファイルリストから選択したジョブの名称やプリンタドライバの設定状況などを表示します。「印刷時刻指定」では、［至急］［通常］［保留］［印刷時刻指定］を選択でき、印刷の順番が指定できます。 ■至急 プリントキュー内のほかの印刷データより優先して印刷するときに選択します。 ■通常 プリントキューに記憶された順番で印刷するときに選択します。 ■印刷時刻指定 印刷を実行する日時を指定できます。 ■保留 印刷データをプリントキューに記憶した状態のままにするときに選択します。

バックグラウンドプリントを［切］に設定してあると、以下の画面が表示され、印刷の進行状況とインクの残量のみが表示されます。

印刷中に問題が起こったときは

インクがなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウの［プリンタ詳細］ウィンドウにエラーメッセージを表示します。
この場合は［対処方法］をクリックし、メッセージに従って対処してください。

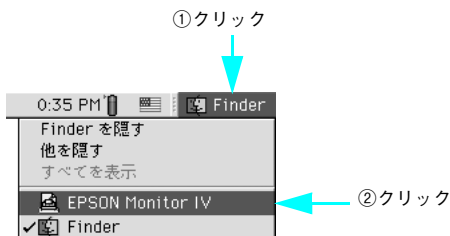
PX-7500S/PX-9500S の場合は 4 色、PX-7500/PX-9500 の場合は 9 色の各インクカートリッジの型番が表示されます。

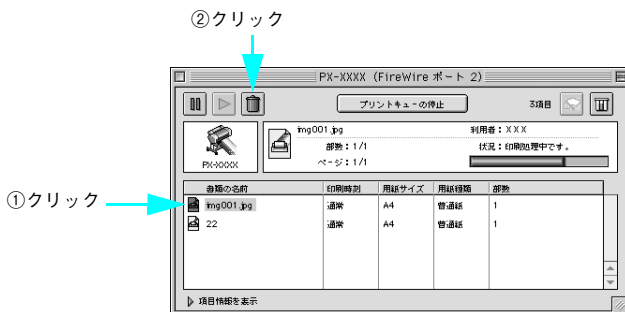
印刷の中止方法

ここでは印刷を中止する方法を説明します。

①	データ転送中	コンピュータから中止したいデータを選んで中止します。 • プリンタ側での操作は不要です。
②	データ転送中 / 印刷中	コンピュータとプリンタの両方で中止の操作をします。 • コンピュータから中止の操作をしても、プリンタ側で中止の操作を行わないと、プリンタに蓄積されているデータが印刷され続けることがあります。 • プリンタで中止の操作をしても、コンピュータ側から中止の操作を行わないと、プリンタリセット後にコンピュータに蓄積されているデータが再送信され、印刷され続けることがあります。 • プリンタ側で中止した場合、他の印刷データもすべて削除されます。
③	印刷中	プリンタ側で中止の操作を行います。 • コンピュータからは中止できません。 • 他の印刷データもすべて削除されます。

コンピュータで中止する

1 **バックグラウンドプリント使用時はアプリケーションメニューから［EPSON Monitor IV］を選択します。**

バックグラウンドプリント未使用時はコマンド（ ⌘ ）キーを押したままピリオド（.）キーを押すことで正常に印刷が終了します。

2 **中止したい印刷データをクリックし、 をクリックします。**

印刷が中止されます。画面に印刷キャンセルに関する画面が表示されたときは、画面の表示に従ってください。

プリンタで中止する

［ポーズ］ボタン（ ◯／II ）を 3 秒以上押してプリンタをリセットします。

印刷途中であっても、プリンタをリセットします。リセット後、印刷可能状態になるまで時間がかかる場合があります。印刷中の用紙の処理は、ディスプレイに表示されているアイコンによって以下のように異なります。

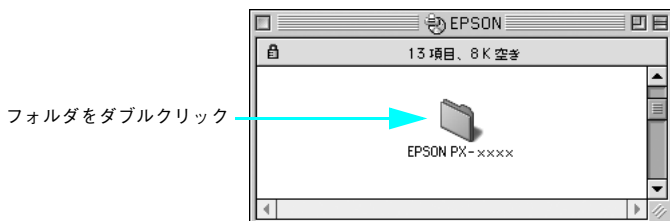
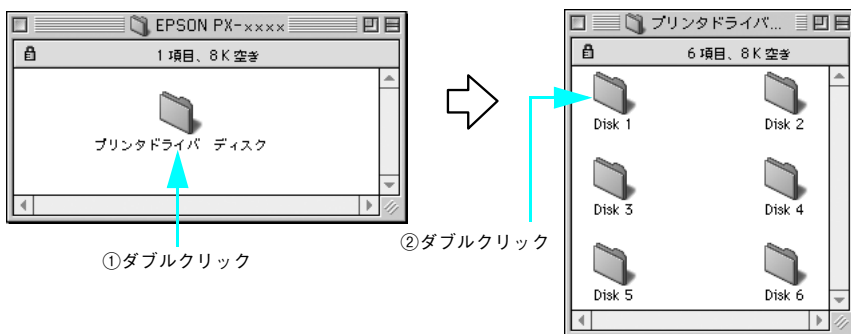
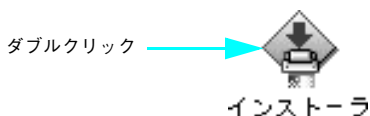
アイコン	用紙種類	処理
	ロール紙自動カット	用紙サイズ分紙送りをしてから、自動的に用紙がカットされます。
	ロール紙カッターオフ	印刷が中止されます。パネル設定モードで［切り取り線］を［ON］に設定している場合は切り取り線を印刷します。 ［用紙送り］ボタン（ ▽ / △ ）を押して、カットしたい位置まで紙送りし、オプションのマニュアルカッターユニットや市販のカッターなどを使ってロール紙から用紙を切り離してください。
	単票紙	用紙送りされます。

プリンタドライバの削除

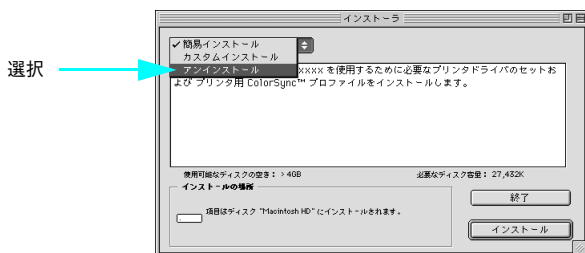
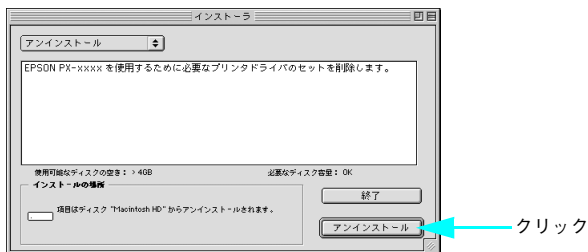
プリンタドライバのバージョンアップや再インストールを行うときは、まずインストールされているドライバを削除（アンインストール）します。

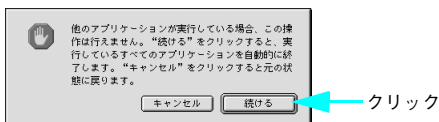
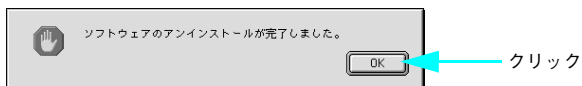
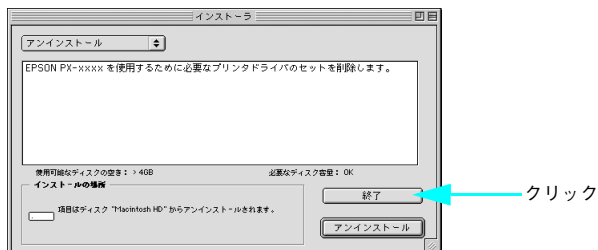
1. 起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。

2. 「プリンタソフトウェア CD-ROM」を Mac OS にセットします。

3. 本機のフォルダを開きます。

4. ［プリンタドライバディスク］フォルダ内の［Disk 1］フォルダを開きます。

5. ［インストーラ］アイコンをダブルクリックします。

6 ［続ける］をクリックします。

7 使用許諾契約書の画面が表示されたら［同意］をクリックします。

8 画面左上のメニューから［アンインストール］を選択します。

9 ［アンインストール］をクリックします。

10 起動しているアプリケーションソフトが強制的に終了されても問題がないかを確認し、［続ける］をクリックします。

アプリケーションソフトを強制的に終了することで作成中のデータが消えてしまうような場合は、［キャンセル］をクリックしてアンインストールを中断し、アプリケーションソフトを終了してから、やり直してください。

⑪ ［OK］をクリックします。

⑫ ［終了］をクリックします。

以上でプリンタドライバの削除は終了です。

ユーティリティの使い方

プリンタドライバのユーティリティでは、プリンタの状態を確認したりメンテナンスの機能が実行できます。
プリンタドライバユーティリティには以下の機能があります。

EPSON プリンタウィンドウ	インク残量やエラー情報を表示します。
ノズルチェック	ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認します。
ヘッドクリーニング	プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの目詰まりを除去します。
ギャップ調整	プリントヘッドのズレを修正します。

Mac OS 9 では、プリンタドライバユーティリティから MAXART リモートパネルを起動できません。デスクトップにある［MAXART リモートパネル］アイコンをダブルクリックするか、［Applications］フォルダにある［MAXART リモートパネル］アイコンをダブルクリックして起動してください。
☞ 本書 111 ページ「MAXART リモートパネル」

EPSON プリンタウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウとは、プリンタの状態を確認して、エラーメッセージやインク残量などを画面上に表示するユーティリティです。

エラーメッセージ（プリンタのエラー）は、EPSON プリンタウィンドウの画面を開いていなくても、エラーが発生すると自動的に画面上に表示されます。

EPSON プリンタウィンドウ は、3 通りの方法で起動できます。

［方法 1］

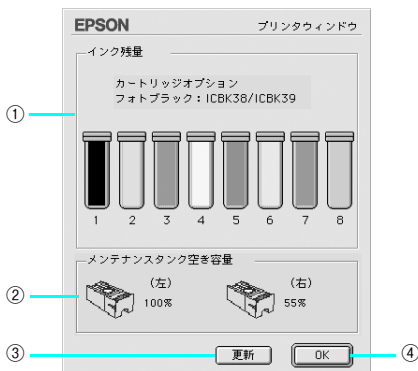
［印刷］画面を開いて をクリックします。

［方法 2］

［印刷］画面または［用紙設定］画面の をクリックして［ユーティリティ］画面を開きます。［ユーティリティ］画面の アイコンをクリックします。

［方法 3］

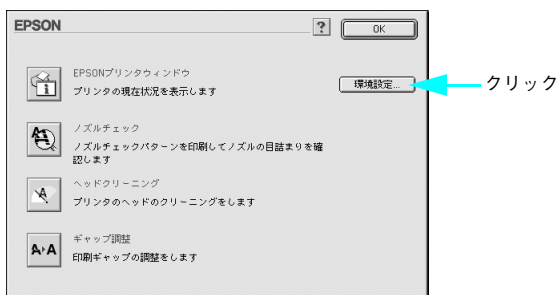
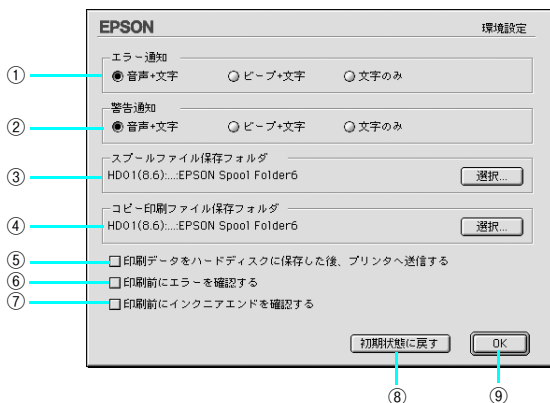
セレクタで［バックグラウンドプリント］を［入］に設定していると、印刷実行時に［EPSON Monitor IV］が起動します。［EPSON Monitor IV］の をクリックします。

EPSON プリンタウィンドウの見方

①	インク残量	インクカートリッジのインク残量の目安を表示します。
②	メンテナンスタンク空き容量	メンテナンスタンク空き容量の割合（%）を表示します。
③	[更新]	最新のプリンタの状態を取得して画面を更新します。
④	[OK]	EPSON プリンタウィンドウを終了します。

インクがなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウの［プリンタ詳細］ウィンドウにエラーメッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。

☞ 本書 97 ページ「印刷中に問題が起こったときは」

モニタの設定

EPSON プリンタウィンドウのモニタ機能を設定します。エラーの通知方法や、印刷実行前に確認する項目などを設定できます。モニタの設定を行うために、［環境設定］画面を開きます。［ユーティリティ］画面を開いて、［環境設定］をクリックします。

- ［環境設定］画面

①	エラー通知	プリンタで発生したエラーの通知方法を選択します。
②	警告通知	警告の通知方法を選択します。
③	スプールファイル保存フォルダ	印刷データを一時的に保存しておくためのフォルダを変更する場合は［選択］をクリックしてください。
④	コピー印刷ファイル保存フォルダ	同じ印刷データを複数枚印刷する際に、一時的に印刷データを保存しておくためのフォルダを変更する場合は、［選択］をクリックしてください。
⑤	印刷データをハードディスクに保存した後、プリンタへ送信する	印刷データを一旦ハードディスクに保存してから、プリンタに送信します。同じデータを複数部印刷する場合に印刷速度が向上することがあります。また、動作の遅いコンピュータで使用すると、印刷中一時的にプリントヘッドが停止するようなことが回避され、印刷品質の低下を防ぐことができます。

⑥	印刷前にエラーを確認する	印刷を実行する前に、プリンタでエラーが発生していないかどうかを確認する場合にチェックします。
⑦	印刷前にインクニアエンドを確認する	印刷を実行する前に、インク残量が少ないかどうか確認する場合にチェックします。
⑧	[初期状態に戻す]	設定値を購入時の状態に戻します。
⑨	[OK]	環境設定を保存して終了します。

ノズルチェック

ノズルチェックとは、プリントヘッド[*1]のノズル[*2]が目詰まりしているかどうかを確認するためのパターンを印刷する機能です。ノズルチェックパターンの印刷がかすれたり、すき間が空く場合は、ヘッドクリーニングを実行して、目詰まりを除去してください。

☞ 本書 368 ページ「ノズルチェック」

*1　プリントヘッド：用紙にインクを吹き付けて印刷する部分。外部からは見えない位置にある。

*2　ノズル：インクを吐出するための、非常に小さな孔（あな）。

- ノズルチェックパターン印刷は、プリンタの操作パネルからの操作でも行えます。
- インクエンドランプが点灯中は実行できません。

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングとは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。印刷がかすれたり、印刷結果にスジが入るようになったら、次の手順に従ってヘッドクリーニングしてください。

☞ 本書 372 ページ「ヘッドクリーニング」

- ヘッドクリーニングはインクカートリッジすべてのインクを同時に使います。文字がかすれたり、画像が明らかに変な色で印刷されるなどの症状が出るとき以外は、必要ありません。
- 厚紙をセットした状態でヘッドクリーニングを実行することはできません。
- ヘッドクリーニングをした後は、必ずノズルチェックパターン印刷などで印刷結果を確認してください。
- ヘッドクリーニングは、インクエンドランプの点滅または点灯時には行えません。まずインクカートリッジを交換してください。
  ☞ 本書 342 ページ「インクカートリッジの交換」
- ヘッドクリーニングは、プリンタの操作パネルからの操作もできます。
  ☞ 本書 372 ページ「ヘッドクリーニング」

ギャップ調整

印刷をしていて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドのギャップを調整してください。ギャップ調整は、エプソン純正専用紙（普通紙を除く）を使用して行います。

本書 378 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」

正常な印刷結果

ぼけたような印刷結果

- すべての調整パターン印刷には、PX-7500/PX-7500S で約 7 分、PX-9500/PX-9500S で約 11 分かかります。ロール紙を約 26cm 使用します。
- 「MAXART リモートパネル」からギャップ調整を行うと、より厳密に調整できます。
  本書 111 ページ「MAXART リモートパネル」

MAXART リモートパネル

プリンタの各種メンテナンスが行えます。目的に応じてメニューを選択してください。詳細は［ヘルプ］をクリックしてください。
Mac OS 9 では、プリンタドライバユーティリティから MAXART リモートパネルを起動できません。デスクトップにある［MAXART リモートパネル］アイコンをダブルクリックするか、［Applications］フォルダにある［MAXART リモートパネル］アイコンをダブルクリックして起動してください。

用紙調整

用紙調整には次のメニューがあります。

自動調整	印刷ギャップ調整 / ノズルチェック / クリーニングを自動で行うメニューがあります。
ユーザー用紙登録	使用する用紙に合わせて印刷関連の設定を調整し、その設定をプリンタに登録できます。
ユーザー用紙切替	ユーザー用紙登録で行った設定を呼び出し、プリンタで使用するユーザー用紙設定を切り替えます。
日時設定	プリンタ内部の日時を設定します。
プリンタ情報	プリンタで保存している情報を表示したり、ステータスシートの印刷ができます。
ギャップ調整 ＜双方向印刷＞	ギャップ調整シートを印刷し、印刷結果を確認して、双方向印刷時のプリントヘッドのズレを色ごとに修正できます。
ギャップ調整 ＜単方向印刷＞	ギャップ調整シートを印刷し、印刷結果を確認して、単方向印刷時のプリントヘッドのズレを色ごとに修正できます。

パワークリーニング

通常より強力なヘッドクリーニングをします。
プリンタドライバや、プリンタの操作パネルなどから行う通常のヘッドクリーニングでノズルの目詰まりが解消しないときにのみ実行します。
パワークリーニングにはインクレバーの操作が必要になりますので、プリンタから離れずに、操作パネルの指示に従ってレバーを上げ下げしてください。

ファームウェアアップデータ

プリンタ本体を制御しているプログラムであるファームウェアファイルをプリンタに送り、プリンタのファームウェアを最新の状態に (アップデート）します。

用紙カウンタ設定

プリンタにセットしている用紙の残量をカウントし、残りの長さや枚数が指定した数値より少なくなると、警告メッセージを表示するように設定ができます。

印字品質調整

用紙種類、給紙装置、印刷品質の印刷設定に応じて、最良の印刷結果が得られるように印刷時の動作を調整し、プリンタに登録できます。ここでは、用紙送り量の調整とマイクロウィーブの調整ができます。

プリンタ監視

プリンタの状態を確認して、エラーメッセージやインク残量などを画面上に表示できます。
また、プリントジョブ情報の履歴や、プリンタの保守情報（発生したサービスコール）の履歴を一覧表示することもできます。

プリンタソフトウェアの使い方（Mac OS X）

ここでは、本製品に添付のソフトウェアについて説明しています。

プリンタソフトウェアの構成

本機の「プリンタドライバ」と「プリンタドライバユーティリティ」が同梱の CD-ROM に収録されています。

プリンタドライバ

プリンタドライバは、コンピュータから受け取った印刷データをプリンタに送るためのソフトウェアです。プリンタを使用するためにはプリンタドライバをコンピュータにインストールする（組み込む）必要があります。

☞ セットアップガイド「4. プリンタソフトウェアをインストールします」

プリンタドライバの主な機能は次の通りです。

- コンピュータから受け取った印刷データをプリンタに送ります。
- 印刷方向や用紙サイズなどの印刷条件を設定します。

本製品のプリンタドライバには基本的な機能のほかに、「写真を最適に補正して印刷する機能」や「縮小して印刷する機能」などの便利な機能がたくさん搭載されています。エプソンプリンタの機能をフルに活用いただけるよう、本製品専用のプリンタドライバのご使用をお勧めします。

最新のプリンタドライバを使用することで、さらに快適に印刷ができるようになる場合もあります。必要に応じてご確認ください。

☞ 本書 393 ページ「プリンタドライバのバージョンアップ」

プリンタドライバユーティリティ

プリンタドライバユーティリティには以下の機能があります。
☞ 本書 141 ページ「ユーティリティの使い方」

EPSON プリンタウィンドウ	インク残量やエラー情報を表示します。
ノズルチェック	ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認します。
ヘッドクリーニング	プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの目詰まりを除去します。
ギャップ調整	プリントヘッドのズレを修正します。
MAXART リモートパネル	プリンタの各種メンテナンスを行うソフトウェアが起動します。
プリントアシスト	電子マニュアルを起動します。

プリンタドライバユーティリティは、プリンタドライバのインストール時に自動的にインストールされます。

プリンタドライバの起動方法

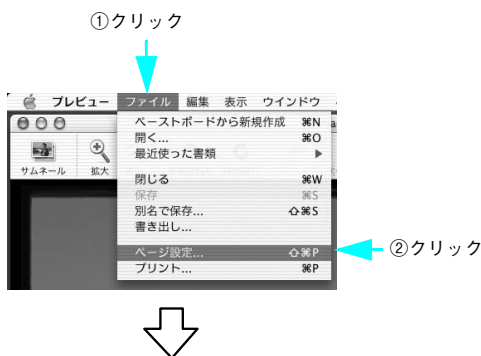
プリンタドライバの設定画面は、以下の 2 種類あり、それぞれ表示する手順が異なります。

［印刷］画面	印刷品質に関する設定をする画面です。
［用紙設定］画面	用紙設定に関する設定（用紙サイズなど）をする画面です。

お使いのアプリケーションソフトによって、画面を表示する手順が異なる場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

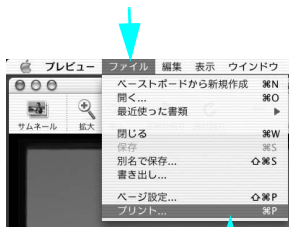
［用紙設定］画面を表示する

［用紙設定］画面は、以下の手順で表示します。

アプリケーションソフトで、［ファイル］－［ページ設定］または［用紙設定］をクリックします。

［用紙設定］画面が表示されます。
「用紙サイズ」の項目では、用紙サイズ、フチなし方法、給紙方法、印刷領域を選択できます。

［印刷］画面を表示する

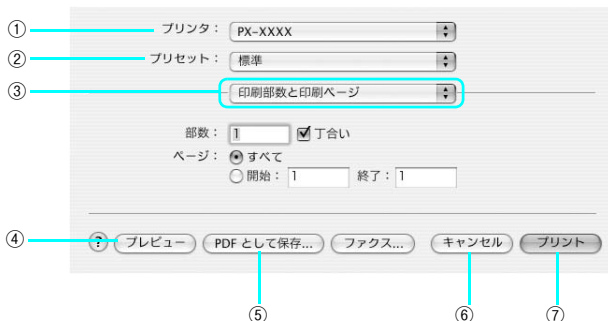
［印刷］画面は、以下の手順で表示します。

アプリケーションソフトで、［ファイル］－［プリント］をクリックします。

［印刷］画面が表示されます。

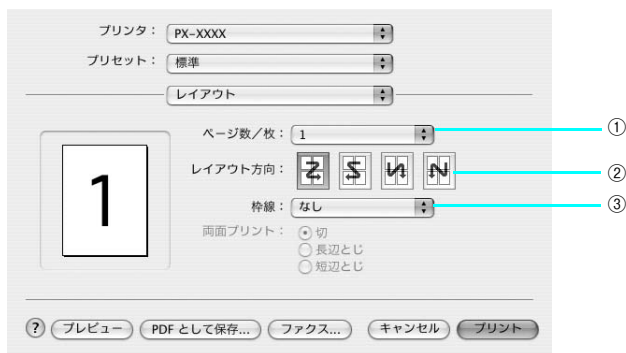
プリンタドライバの設定

プリンタドライバの設定画面では、以下の項目を設定します。

［印刷］画面

［印刷］画面で［用紙調整］を選択すると、以下の画面が表示されます。エプソン純正専用紙以外の用紙を使う場合は、この画面で使う用紙（ユーザー用紙）の特性に合わせて項目を設定します。

①	プリンタ	印刷に使用するプリンタを選択します。また、［プリンタリストを編集］を選択すると、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］の［プリンタリスト］を開くことができます。
②	プリセット	［プリント］ダイアログのすべての設定を保存し、後でまとめて呼び出すことができます。
③	設定ダイアログメニュー	［プリント］ダイアログの設定画面を切り替えます。
④	プレビュー	印刷イメージを画面で確認できます。（モノクロ印刷の場合も、カラーで表示されます。）
⑤	PDF として保存	印刷する代わりに、PDF ファイルとして保存できます。
⑥	キャンセル	印刷を中止します。
⑦	プリント	印刷を実行します。

[レイアウト] 画面

[印刷] 画面で [レイアウト] を選択すると、連続したページを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷できます。

①	ページ数 / 枚	1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。
②	レイアウト方向	割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。
③	枠線	割り付けた各ページの周りに枠線を印刷するときに、線の種類を選択します。

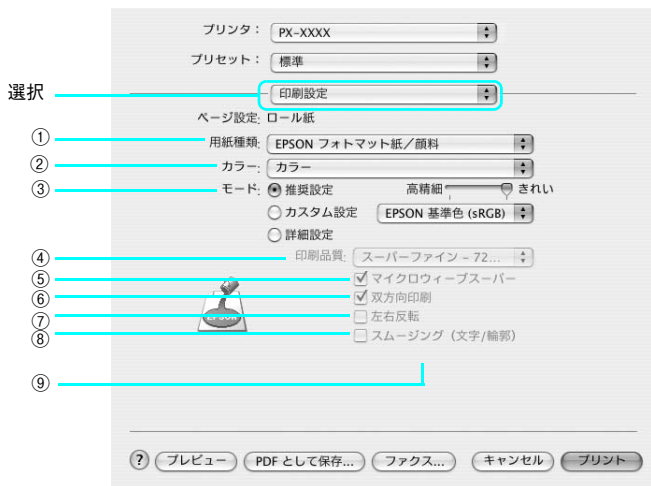
[出力オプション] 画面

[プリント] ダイアログで [出力オプション] を選択すると、印刷する代わりにファイルとして保存できます。

①	ファイルとして保存	印刷する代わりにファイルとして保存する場合に、チェックマークを付けます。
②	フォーマット	ファイルとして保存する場合の保存形式（フォーマット）を選択します。
③	保存	ファイルとして保存する場合は、[保存] になります。クリックして保存先を指定してから、さらに [保存] をクリックしてください。

［印刷設定］画面

［印刷］画面で［印刷設定］を選択すると、以下の画面が表示されます。この画面では印刷に関する項目を設定します。

- ［モード］で［詳細設定］を選択すると、［詳細設定］の項目が有効になります。
- 画面内の各項目は、［用紙種類］、［カラー］、［印刷品質］の組み合わせで選択できる項目が決まります。設定を変更できない項目は、薄いグレーで表示されます。

［ページ設定］の項目は、［用紙設定］で選択した用紙サイズなどによって、表示される名称が異なります。

①	用紙種類	印刷する用紙の種類を、ポップアップメニューの中から選択します。
②	カラー	印刷の目的に合わせて、カラー / モノクロ写真（PX-7500/PX-9500 のみ）/ 黒 から選択します。［用紙種類］の設定によっては、選択できない項目もあります。

<table>
<tr><td>③</td><td>モード</td><td>印刷のモードを、ポップアップメニューの中から選択します。
■推奨設定
プリンタドライバに印刷の設定を自動的にさせるときに選択します。［ 推奨設定 ］では、ドライバが自動的に用紙の種類に合わせて、設定を調整して印刷します。［ 用紙種類 ］の設定によっては、［ きれい ］－［ 速い ］、または［ 高精細 ］－［ きれい ］から設定を選択できます。
なお、用紙種類によって設定できる項目は異なります。
<table>
<tr><td>自然な色あい</td><td>PX-7500S/PX-9500S の初期値です。自然な発色状態になるようにエプソン独自の色作りで色処理をします。</td></tr>
<tr><td>あざやかな色あい</td><td>画面の彩度を上げ、色味を強くするようにエプソン独自の色作りで処理をします。</td></tr>
<tr><td>EPSON 基準色（sRGB）（PX-7500/PX-9500 のみ）</td><td>PX-7500/PX-9500 の初期値です。ｓRGB の色基準に合わせた色処理をします。他のエプソン製プリンタと互換性をもった色作りをします。</td></tr>
<tr><td>Adobe RGB（PX-7500/PX-9500 のみ）</td><td>Adobe RGB の色域を前提とした色処理をします。</td></tr>
</table>
■カスタム設定
一覧の中から、印刷に用いる設定を選択します。
なお、ご利用の用紙種類によって設定できないモードがあります（PX-7500S/PX-9500S では［超高精細］を選択できません）。
<table>
<tr><td>超高精細</td><td>最高の印刷品質が得られる設定で印刷するモードです。</td></tr>
<tr><td>高精細</td><td>高い印刷品質が得られる設定で印刷するモードです</td></tr>
<tr><td>ColorSync</td><td>ColorSync を使用して、色変換された印刷をします。</td></tr>
</table>
■詳細設定
印刷品質や印刷の詳細設定をする場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>④</td><td>印刷品質</td><td>印刷の品質を、一覧の中から選択します。印刷品質は、用紙種類の設定に合わせる必要があります。［印刷品質］の設定の前に、［用紙種類］を設定してください。
<table>
<tr><th>設定値</th><th>品質 *1</th><th>速度 *2</th></tr>
<tr><td>ドラフト</td><td>1</td><td>5</td></tr>
<tr><td>ファイン - 360dpi</td><td>2</td><td>4</td></tr>
<tr><td>スーパーファイン - 720dpi</td><td>3</td><td>3</td></tr>
<tr><td>フォト - 1440dpi</td><td>4</td><td>2</td></tr>
<tr><td>スーパーフォト -2880dpi</td><td>5</td><td>1</td></tr>
</table>
*1 品質：印刷品質を表しています。数値が大きい方がきれいに印刷できます。
*2 速度：印刷の速さを表しています。数値が大きい方が速く印刷できます。
ご利用のプリンタ / 用紙によって、設定できない項目があります</td></tr>
</table>

⑤	マイクロウィーブスーパー	行ごとのムラを少なくしたい場合に選択します。ただし、印刷時間が長くなります。 **参考** ［マイクロウィーブスーパー］は、［用紙種類］と［印刷品質］の組み合わせによって選択できないことがあります。
⑥	双方向印刷	プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するので、高速に印刷できます。ただし、印刷品質が低下する場合があります。
⑦	左右反転	左右を反転させて印刷する場合はチェックします。
⑧	スムージング（文字 / 輪郭）	チェックすると、テキストや線画の輪郭を滑らかにします。ただし、印刷時間が長くなります。 **参考** ［スムージング］は、［用紙種類］と［印刷品質］の組み合わせによって選択できないことがあります。
⑨	モノクロ色調 (PX-7500/PX-9500 のみ)	［カラー］項目で、［モノクロ写真］を選択した場合に、以下の項目を設定できます。［モノクロ色調］ボックスでは、印刷の目的に合わせて一覧の中から補正方法を選択します。 ■純黒調（ニュートラル） モノクロ写真のための標準色補正を適用します。 ■冷黒調（クール） モノクロ写真に冷たい感じの色補正を適用します ■温黒調（ウォーム） モノクロ写真に暖かい感じの色補正を適用します。 ■セピア モノクロ写真をセピア調の色補正を適用します。 ■現在の設定 ［プリンタのカラー調整］画面で、各項目を調整している場合に選択できます。

［プリンタのカラー調整］画面

［印刷］画面で［プリンタのカラー調整］を選択すると、以下の画面が表示されます。この画面ではカラー調整の方法を設定します。
［ColorSync］または［オフ（色補正なし）］を選択すると、画面下部の項目はグレーアウトされて無効となります。

①	設定項目	設定は以下の項目から選択します。 ■マニュアル色補正 プリンタドライバで印刷データの色補正を行います。 手動で色補正するときにクリックします。［カラー］で何を選んだかによって、設定できる項目が変わります。 （画面下部のポップアップメニューとスライドバーが有効になります） 本書 124 ページ「［マニュアル色補正］を選択した場合」 ■ ColorSync ColorSync によるカラーマッチングを行います。 ■オフ（色補正なし） ドライバによる色補正を行いません。アプリケーション側でカラーマネージメントを行う場合や、ColorSync 用プロファイル（色補正データ）を作成する際のカラーチャートの印刷を行うときに選択します。

［マニュアル色補正］を選択した場合

［マニュアル色補正］を選択すると、画面下部の表示が有効になります。

①	色補正方法	■自然な色あい PX-7500S/PX-9500S の初期値です。本製品で自然な発色状態になるようにエプソン独自の色作りで色処理をします。 ■あざやかな色あい 本製品で彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くするようにエプソン独自の色作りで処理をします。 ■ EPSON 基準色（sRGB）（PX-7500/PX-9500 のみ） PX-7500/PX-9500 の初期値です。sRGB の色基準に合わせた色処理をします。従来の MAXART プリンタと互換性をもった色作りをします。 ■ Adobe RGB（PX-7500/PX-9500 のみ） Adobe RGB の色域を前提とした色処理をします。
②	ガンマ	［ガンマ］は、画像の中間調部分の階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位です。［ガンマ］値を変更することで、画像の暗い部分（シャドウ）や明るい部分（ハイライト）に大きな影響を与えずに、その中間部分の明るさだけを調整できます。 ■ 1.5 ガンマ値 1.8 に比べて柔らかい感じの画像を印刷します。 ■ 1.8 初期値です。 ■ 2.2 ガンマ値 1.8 に比べ硬い感じの画像を印刷します。ガンマ値 1.8 の画像でメリハリがない場合に使用してください。

<table>
<tr>
<td>③</td>
<td>スライドバー</td>
<td>
■明度
画像全体の明るさを調整します。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で、マイナス（－）方向には暗く、プラス（＋）方向には明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。
■コントラスト
画像の明暗比を調整します。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。
■彩度
画像の彩度（色のあざやかさ）を調整します。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。［インク］で［黒］を選択した場合は調整できません。
それぞれの強さを調整します。標準を 0 として、－ 25 ～＋ 25% の間で調整します。［インク］で［黒］を選択した場合は調整できません。
<table>
<tr><th></th><th>（－）◀―― 0</th><th>――▶（＋）</th></tr>
<tr><td>シアン</td><td>赤色を強くします。</td><td>青緑（シアン）を強くします。</td></tr>
<tr><td>マゼンタ</td><td>緑色を強くします。</td><td>赤紫（マゼンタ）を強くします。</td></tr>
<tr><td>イエロー</td><td>青色を強くします。</td><td>黄色（イエロー）を強くします。</td></tr>
</table>
参考
• 通常はスライドバーでの調整は必要ありません。必要に応じて調整してください。
• スライドバーが表示されていないときは、［詳細設定］の左にある三角形をクリックすると表示されます。
</td>
</tr>
</table>

モノクロ印刷の場合（PX-7500/PX-9500 のみ）

［印刷設定］画面の［カラー］で、［モノクロ写真］を選択した場合は、以下の設定ができます。

①	プレビューウィンドウ	設定した色調のサンプル画像が表示されます。
②	モノクロ色調	代表的な色調が選択できます。 純黒調（ニュートラル）、冷黒調（クール）、温黒調（ ウォーム ）、セピアから選択します。 より詳細な調整をするには③～⑦を使用します。このとき、「手動設定」の表示になります。 ■純黒調（ニュートラル） モノクロ写真のための標準色補正を適用します。 ■冷黒調（クール） モノクロ写真に冷たい感じの色補正を適用します ■温黒調（ウォーム） モノクロ写真に暖かい感じの色補正を適用します。 ■セピア モノクロ写真をセピア調の色補正を適用します。 ■現在の設定 各項目の設定を調整した場合に表示されます。
③	調子	画像の暗い部分（シャドウ）や明るい部分（ハイライト）に大きな影響を与えずに、その中間部分の明るさを調整できます。 ■より硬調 「硬調」に比べてにより硬い感じに調整します。 ■硬調 「標準」に比べて硬い感じに調整します。 ■やや硬調 「標準」に比べてやや硬い感じに調整します。 ■標準 本機での印刷に合った調整が行われます。 ■軟調 「標準」に比べて軟らかな感じに調整します。

④	詳細設定	スライドバーを動かして設定します。数値入力もできます。 ■明度 画像全体の明るさをバーで調整できます。標準を 0 として、− 25 〜+ 25% の間で調整できます。マイナス(−)方向にバーを移動するとデータが暗くなり、プラス(+)方向に移動すると明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。 ■コントラスト 画像の明暗比をバーで調整できます。標準を 0 として、− 25 〜+ 25% の間で調整できます。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。 ■シャドウ領域階調 最も暗くしたい部分だけの階調特性を調整できます。 ■ハイライト領域階調 最も明るくしたい部分だけの階調特性を調整できます。 ■最高濃度 最高(最大)濃度を調整できます。
⑤	白地にかぶり効果を与える	チェックボックスをチェックすると、微量のインクを画像全体に付加して印刷することで、白色部分(紙地)と色のある部分との質感の差をなくします。 本書の巻頭には、この機能の効果を強調した印刷サンプルが掲載されています。
⑥	色調	色調の一覧です。マウスでクリックすると、クリックした部分の色調が設定されます。
⑦	座標入力	⑥での座標位置を表示します。数値入力もできます。

［用紙調整］画面

［印刷］画面で［用紙調整］を選択すると、以下の画面が表示されます。エプソン純正専用紙以外の用紙をお使いになる場合は、この画面でお使いになる用紙（ユーザー用紙）の特性に合わせて項目を設定します。

①	インク濃度	インク濃度（濃淡）を標準値からの割合で調整します。インク濃度は、スライドバーを左（より薄い -50%）または右（より濃い +50%）へ動かすか、ボックスに直接数値を入力して設定します（初期値：0%）。 エプソン 純正専用紙以外の用紙を使った際にインクがにじむ場合はインク濃度を－（左）に、薄すぎる場合には＋（右）に調整し、用紙の適性に合わせてください。
②	ヘッドパス毎の乾燥時間	インクが乾燥するまでプリントヘッドの往復移動を停止する時間（乾燥時間）を設定します。インク乾燥時間は、スライドバーを左端（標準 0 秒）から右（最長 +5 秒）へ動かすか、ボックスに直接秒数（0.1 秒単位）を入力して設定します（初期値：0 秒）。 **参考** • インク濃度を上げたときなどインクが乾きにくいことがありますので、必要に応じて調整してください。 • 用紙によっては、乾燥しにくいときがあります。このようなときは乾燥時間を長めに設定してください。 • インクの乾燥中に［実行］ボタン（ ）を押すと、乾燥を中断して指定の動作を行います。

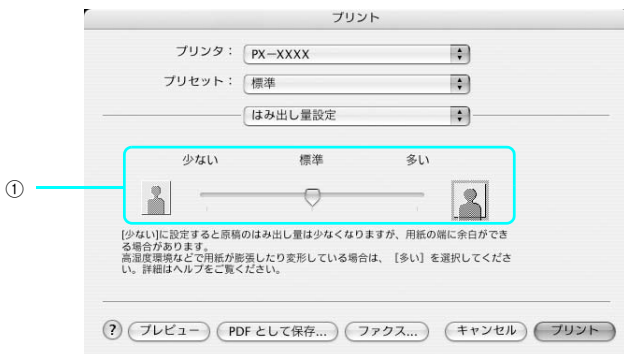
③	用紙送り補正値	用紙送りの補正値を調整します。補正値は、スライドバーを左（より少なく -70）または右（より多く +70）へ動かすか、ボックスに直接数値（0.01% 単位）を入力して設定します。 プリンタの個体差によって、エプソン純正専用紙を使っても用紙送りがずれることがあります。また、エプソン純正専用紙以外でも用紙に合わせて正確に用紙が送られるように調整する必要があります。このようなときに、用紙送りを調整します。
④	用紙厚	用紙厚を設定します。用紙厚は 0.1mm 単位で 1 から 15 までの間で直接数値を入力します（初期値は選択されている［用紙種類］によって異なります）。エプソン純正専用紙以外の用紙を使うときに、その用紙の厚さを正確に設定できます。
⑤	吸引力	用紙をプラテン上で安定させるための吸着力を標準値からの割合で設定します。用紙の吸引力は、スライドバーを左端（標準 100%）から、-1（84%）、-2（66%）、-3（50%）、-4（34%）へ動かして設定します（初期値：100%）。用紙が薄いと、吸着力が強すぎてロール紙をセットしにくかったり、うまく紙送りされないことがあります。このようなときは吸着力を弱めに設定してください。
⑥	カット調節	ロール紙自動カット時のカッターの圧力を 3 段階に設定します。メニューから［標準］、［薄紙］、［厚紙、高速］、［厚紙、低速］のいずれかを選択します（初期値：標準）。 **参考** 薄い用紙を強くカットすると、カット端で用紙が破れることがあります。このようなときは用紙厚に合わせて［薄紙］に設定してください。
⑦	プラテンギャップ	プリントヘッドと用紙の間隔（プラテンギャップ）を設定します。プラテンギャップは、メニューから［自動］、［より広め］、［広め］、［標準］、［狭い］のいずれかを選択します。通常は［自動］を選択してください（初期値：自動）。
⑧	［デフォルト］	［用紙調整］画面の設定値をすべて初期値に戻します。

[ロール紙オプション] 画面

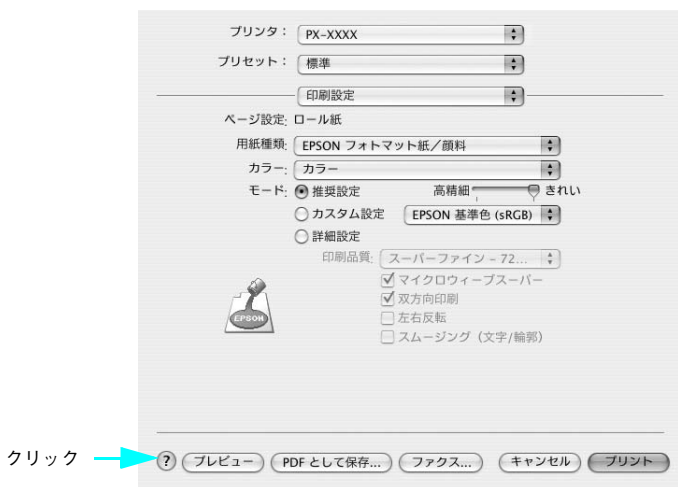
［用紙設定］画面の ［用紙サイズ］で「ロール紙」を選択すると有効になります。

①	オートカット	ロール紙のカット方法を指定します。 ■カットあり プリンタドライバで設定した用紙サイズに［ロール紙余白］を加えた長さでカットします。 ■カットなし カットしません。印刷後に任意の位置でカットしてください。 ［用紙サイズ選択］画面で「フチなし」が含まれる項目を選択した場合は、以下の 4 項目から選択します。 ☞ 本書 149 ページ「フチなし印刷」
②	ロール紙オプション	■ページ枠印刷 印刷データに合わせて、用紙に切り取り線（実線）を印刷します。 用紙サイズ選択画面で「フチなし」が含まれる項目を選択した場合は選択できません。 ■ロール紙節約 印刷データの最後を印刷すると、その位置から数行分、用紙を送り出し、動作を停止します。 用紙サイズ選択画面で「 長尺モード」が含まれる項目を選択した場合に選択できます。

［はみ出し量設定］画面

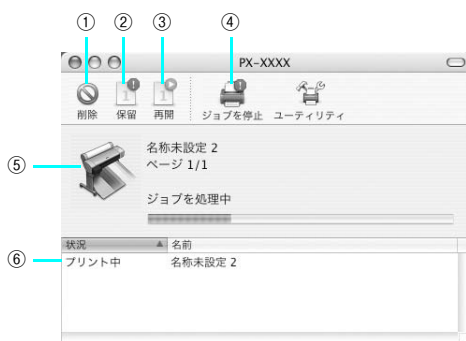
四辺フチなし印刷時のはみ出し量を調整します。

①	はみ出し量設定	四辺フチなし印刷時のはみ出し量を調整できます。 通常は、［標準］にしてください。確実に余白のない印刷を行うことができます。 ［少ない］を選択することによって、はみ出し量を少なくすることができますが、用紙の端に余白ができる場合があります。

ヘルプ機能

プリンタドライバの各画面、各項目の説明は、「ヘルプ」をご覧ください。
ヘルプを表示させたいときは画面左下の ? をクリックします。

印刷状況の確認

プリンタ設定ユーティリティで印刷状況を確認できます。

プリンタ設定ユーティリティで確認する

プリンタ設定ユーティリティでは、現在印刷しているジョブやこれから印刷するジョブを確認したり、印刷を中止したりできます。プリンタ設定ユーティリティの表示をするには、印刷中に Dock から該当するアイコンをクリックし、表示されたプリンタリストで［プリント中］と表示されているプリンタをダブルクリックします。

①	［削除］	印刷中のデータおよびスプールファイルリストの中から選択された印刷データを削除します。
②	［保留］	印刷中のデータおよびスプールファイルリストの中から選択された印刷データを一時保留状態にします。
③	［再開］	保留状態を解除します。 印刷中のデータおよびスプールファイルリストの中から保留状態になっているデータを選択して、ボタンをクリックしてください。
④	［ジョブを停止］	印刷の停止と解除（開始）を選択します。［ジョブの停止］を選択すると、すべての印刷を停止します（印刷データは、Mac OS を終了してもすべて保持されます）。この場合［ジョブの開始］を選択すると、印刷を開始します。
⑤	状態表示部	印刷中のジョブの名称や進行状況などを表示します。
⑥	スプールファイルリスト	印刷待ちのジョブを表示します。

Mac OS X v10.2 以前の場合は「プリントセンター」、Mac OS X v10.3 以降の場合は「プリンタ設定ユーティリティ」という名称になります。

印刷中に問題が起こったときは

インクがなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、エラーメッセージを表示します。[対処方法] ボタンがある場合はクリックし、メッセージに従って対処してください。

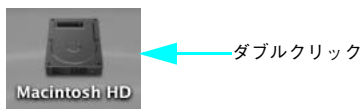
PX-7500S/PX-9500S の場合は 4 色、PX-7500/PX-9500 の場合は 9 色の各インクカートリッジの型番が表示されます。

印刷の中止方法

ここでは印刷を中止する方法を説明します。

①	データ転送中	コンピュータから中止したいデータを選んで中止します。 • プリンタ側での操作は不要です。
②	データ転送中 / 印刷中	コンピュータとプリンタの両方で中止の操作をします。 • コンピュータから中止の操作をしても、プリンタ側で中止の操作を行わないと、プリンタに蓄積されているデータが印刷され続けることがあります。 • プリンタで中止の操作をしても、コンピュータ側から中止の操作を行わないと、プリンタリセット後にコンピュータに蓄積されているデータが再送信され、印刷され続けることがあります。 • プリンタ側で中止した場合、他の印刷データもすべて削除されます。
③	印刷中	プリンタ側で中止の操作を行います。 • コンピュータからは中止できません。 • 他の印刷データもすべて削除されます。

コンピュータで中止する

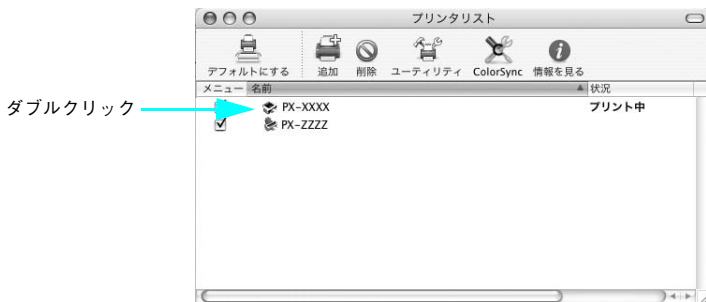
1 **プリンタの電源をオンにしてハードディスクのアイコンをダブルクリックします。**

［Macintosh HD］というアイコンはお使いの環境によって異なります

2 **［アプリケーション］をクリックして［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。**

［ユーティリティ］フォルダが表示されない場合は、ウィンドウ右のスライドバーを使って画面をスクロールします

3 **［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。**

［プリンタ設定ユーティリティ］は Mac OS X v10.2.x 以前は［プリントセンター］という名称です。

4 ［プリント中］と表示されているプリンタをダブルクリックします。

5 中止したい印刷データをクリックし、［削除］をクリックします。

画面に印刷キャンセルに関する画面が表示されたときは、画面の指示に従ってください。これで印刷が中止されます。

プリンタ本体で中止する

［ポーズ］ボタン（ ◯／II ）を 3 秒以上押してプリンタをリセットします。

印刷途中であっても、プリンタをリセットします。リセット後、印刷可能状態になるまで時間がかかる場合があります。印刷中の用紙の処理は、ディスプレイに表示されているアイコンによって以下のように異なります。

アイコン	用紙種類	処理
	ロール紙自動カット	用紙サイズ分紙送りをしてから、自動的に用紙がカットされます。
	ロール紙カッターオフ	印刷が中止されます。パネル設定モードで［切り取り線］を［ON］に設定している場合は切り取り線を印刷します。 ［用紙送り］ボタン（ ▽ / △ ）を押して、カットしたい位置まで紙送りし、オプションのマニュアルカッターユニットや市販のカッターなどを使ってロール紙から用紙を切り離してください。
	単票紙	用紙送りされます。

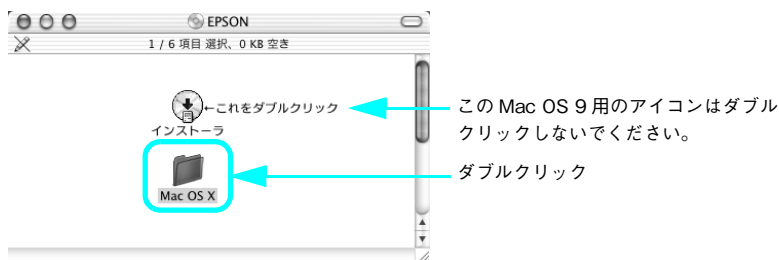
プリンタドライバの削除

プリンタドライバのバージョンアップや再インストールを行うときは、まずインストールされているドライバを削除（アンインストール）します。

プリンタドライバのアンインストール

1. **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

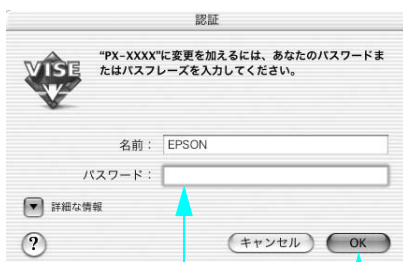
2. **「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。**

3. **［Mac OS X］フォルダをダブルクリックします。**

上の画面が表示されないときは、デスクトップ上の［EPSON］アイコンをダブルクリックします。

4. **［プリンタドライバ］フォルダをダブルクリックします。**

5 **本機のアイコンをダブルクリックします。**

6 **次の画面が表示されたら、Mac OS X にログインしているユーザーのパスワードを入力し、［OK］をクリックします。**

プリンタドライバのアンインストールには管理者の権限が必要です。
必ず管理者権限を持つユーザーでログオンしてください。

7 **［続ける］をクリックします。**

8 **使用許諾契約書の画面が表示されたら、内容を確認して［同意］をクリックします。**

9 リストから［アンインストール］を選択し、［アンインストール］をクリックします。

10 ［OK］をクリックします。

この後は、画面の指示に従ってアンインストールを進めてください。

11 アンインストールが終了したら、［終了］をクリックします。

以上でプリンタドライバの削除は終了です。

プリンタリストの名称削除

プリンタドライバを削除しても、プリンタリストにプリンタ名が残っていることがあります。そのプリンタ名を選択して印刷を実行しても、エラーが発生して印刷できません。完全にプリンタを削除するには、以下の手順を実行してください。

1 プリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティを開きます。

2 プリンタリストから削除したいプリンタ名を選択します。

3 ［削除］をクリックし、プリンタ名を削除します。

以上でプリンタリストの名称削除は終了です。

ユーティリティの使い方

プリンタドライバのユーティリティでは、プリンタの状態を確認したりメンテナンスの機能が実行できます。
プリンタドライバユーティリティには以下の機能があります。

EPSON プリンタウィンドウ	インク残量やエラー情報を表示します。
ノズルチェック	ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認します。
ヘッドクリーニング	プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの目詰まりを除去します。
ギャップ調整	プリントヘッドのズレを修正します。
MAXART リモートパネル	プリンタの各種メンテナンスを行うソフトウェアを起動します。
プリントアシスト	電子マニュアルを起動します。

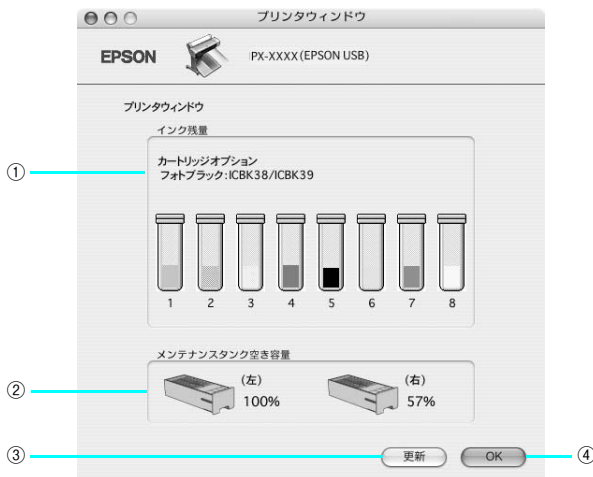
EPSON プリンタウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウとは、プリンタの状態を確認して、エラーメッセージやインク残量などを画面上に表示するユーティリティです。

エラーメッセージ（プリンタのエラー）は、EPSON プリンタウィンドウの画面を開いていなくても、エラーが発生すると自動的に画面上に表示されます。

EPSON プリンタウィンドウの起動は、以下の手順で行います。

［EPSON Printer Utility］画面を開いて［EPSON プリンタウィンドウ］をクリックします。

EPSON プリンタウィンドウの見方

①	インク残量	インクカートリッジのインク残量の目安を表示します。
②	メンテナンスタンク空き容量	メンテナンスタンク空き容量の割合（%）を表示します。
③	[更新]	最新のプリンタの状態を取得して画面を更新します。
④	[OK]	EPSON プリンタウィンドウを終了します。

参考

インクがなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、エラーメッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。

☞ 本書 49 ページ「印刷中に問題が起こったときは」

ノズルチェック

ノズルチェックとは、プリントヘッド[*1]のノズル[*2]が目詰まりしているかどうかを確認するためのパターンを印刷する機能です。ノズルチェックパターンの印刷がかすれたり、すき間が開く場合は、ヘッドクリーニングを実行して、目詰まりを除去してください。

☞ 本書 368 ページ「ノズルチェック」

*1　プリントヘッド：用紙にインクを吹き付けて印刷する部分。外部からは見えない位置にある。

*2　ノズル：インクを吐出するための、非常に小さな孔（あな）。

- ノズルチェックパターン印刷は、プリンタの操作パネルからの操作でも行えます。
- インクエンドランプが点灯中は実行できません。

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングとは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。印刷がかすれたり、印刷結果にスジが入るようになったら、次の手順に従ってヘッドクリーニングしてください。

☞ 本書 372 ページ「ヘッドクリーニング」

- ヘッドクリーニングはインクカートリッジすべてのインクを同時に使います。文字がかすれたり、画像が明らかに変な色で印刷されるなどの症状が出るとき以外は、必要ありません。
- 厚紙をセットした状態でヘッドクリーニングを実行することはできません。
- ヘッドクリーニングをした後は、必ずノズルチェックパターン印刷などで印刷結果を確認してください。
- ヘッドクリーニングは、インクエンドランプの点滅または点灯時には行えません。まずインクカートリッジを交換してください。
  ☞ 本書 342 ページ「インクカートリッジの交換」
- ヘッドクリーニングは、プリンタの操作パネルからの操作もできます。
  ☞ 本書 372 ページ「ヘッドクリーニング」

ギャップ調整

印刷をしていて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドのギャップを調整してください。ギャップ調整は、エプソン純正専用紙（普通紙を除く）を使用して行います。

本書 378 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」

正常な印刷結果

ぼけたような印刷結果

- すべての調整パターン印刷には、PX-7500/PX-7500S で約 7 分、PX-9500/PX-9500S で約 11 分かかります。ロール紙を約 26cm 使用します。
- 「MAXART リモートパネル」からギャップ調整を行うと、より厳密に調整できます。
  本書 145 ページ「MAXART リモートパネル」

MAXART リモートパネル

プリンタの各種メンテナンスが行えます。目的に応じてメニューを選択してください。
詳細は［ヘルプ］をクリックしてください。

用紙調整

用紙調整には次のメニューがあります。

自動調整	印刷ギャップ調整 / ノズルチェック / クリーニングを自動で行うメニューがあります。
ユーザー用紙登録	使用する用紙に合わせて印刷関連の設定を調整し、その設定をプリンタに登録できます。
ユーザー用紙切替	ユーザー用紙登録で行った設定を呼び出し、プリンタで使用するユーザー用紙設定を切り替えます。
日時設定	プリンタ内部の日時を設定します。
プリンタ情報	プリンタで保存している情報を表示したり、ステータスシートの印刷ができます。
ギャップ調整＜双方向印刷＞	ギャップ調整シートを印刷し、印刷結果を確認して、双方向印刷時のプリントヘッドのズレを色ごとに修正できます。
ギャップ調整＜単方向印刷＞	ギャップ調整シートを印刷し、印刷結果を確認して、単方向印刷時のプリントヘッドのズレを色ごとに修正できます。

パワークリーニング

通常より強力なヘッドクリーニングをします。
プリンタドライバや、プリンタの操作パネルなどから行う通常のヘッドクリーニングでノズルの目詰まりが解消しないときにのみ実行します。
パワークリーニングにはインクレバーの操作が必要になりますので、プリンタから離れずに、操作パネルの指示に従ってレバーを上げ下げしてください。

ファームウェアアップデータ

プリンタ本体を制御しているプログラムであるファームウェアファイルをプリンタに送り、プリンタのファームウェアを最新の状態に(アップデート)します。

用紙カウンタ設定

プリンタにセットしている用紙の残量をカウントし、残りの長さや枚数が指定した数値より少なくなると、警告メッセージを表示するように設定ができます。

用紙情報登録ツール（Mac OS X のみ）

印刷時に表示される［プリント］画面の［プリセット（ソフトウェアなどに登録されている設定値)］の設定をエクスポート（書き出し）またはインポート（取り込み）できます。次回同じ設定で印刷するときに、設定を簡単に呼び出せます。

印字品質調整

用紙種類、給紙装置、印刷品質の印刷設定に応じて、最良の印刷結果が得られるように印刷時の動作を調整し、プリンタに登録できます。ここでは、用紙送り量の調整とマイクロウィーブの調整ができます。

プリンタ監視

プリンタの状態を確認して、エラーメッセージやインク残量などを画面上に表示できます。
また、プリントジョブ情報の履歴や、プリンタの保守情報（発生したサービスコール）の履歴を一覧表示することもできます。

プリントアシスト

「プリンタドライバユーティリティ」の［プリントアシスト］をクリックすると、次の内容が表示されます。

- 困ったときは
- MAXART サポートページへのリンク

- 電子マニュアルがインストールされていない場合、お使いのコンピュータがインターネット接続環境にあるときは、インターネットを経由してエプソンのホームページに接続されます。
- 電子マニュアルは同梱のCD-ROM に収録されており､通常はプリンタドライバと一緒にコンピュータにインストールされます。

目的別印刷方法

ここでは、印刷の手順やプリンタドライバの詳細な設定などについて、印刷の目的別に説明します。

フチなし印刷

標準の印刷では、プリンタの構造上どうしても余白ができてしまい、用紙全面に印刷することはできません。ただし、フチなし印刷機能を使うことで、フチ（余白）のない印刷ができます。ロール紙の場合は四辺フチなし印刷、単票紙の場合は左右フチなし印刷となります。フチなし印刷の方法には、次の 2 種類があります。

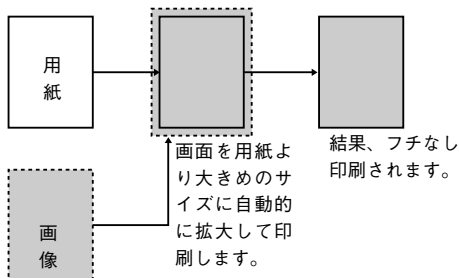
- 自動拡大
- カスタム設定（原寸維持）

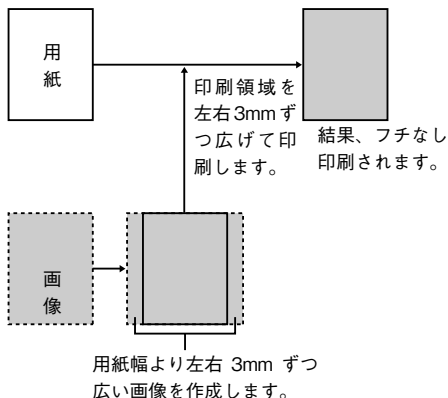
プリンタドライバの [自動拡大] では、拡大によるはみ出し量を、次の 3 種類から選択できます。

- 少ない：左右 1.5mm
- 標準：左右 3mm
- 多い：左 3mm、右 5mm（画像の左右方向の中心軸は右に 1mm 偏ります）

プリンタドライバの［フチなし印刷設定］

自動拡大

プリンタドライバが画像サイズを印刷用紙のサイズより左右に 3mm ずつ拡大し、はみ出させることでフチなし印刷します。上下は左右と同じ比率で拡大します。自動的に印刷データを拡大して印刷するため、簡単にフチなし印刷ができます。ただし、はみ出した部分（左右 3mm、上下は用紙サイズを越えた部分）は印刷されません。
ロール紙の四辺フチなし印刷の場合、設定によって上端・下端カット動作が異なります。
本書 191 ページ「フチなし印刷時のロール紙カット動作について」

カスタム設定（原寸維持）

プリンタドライバは画像サイズを変更しません。あらかじめアプリケーションソフトで実際の用紙サイズより大きめに印刷データを作成しておくことでフチなし印刷を実現します。通常、実際の用紙サイズより左右 3mm（合計 6mm）はみ出すように印刷データを作成します。上下方向は仕上がりサイズのままで印刷します。ロール紙の四辺フチなし印刷の場合、設定によって上端・下端カット動作が異なります。
本書 191 ページ「フチなし印刷時のロール紙カット動作について」

* フチなし印刷時のカット動作については、本書 191 ページ「フチなし印刷時のロール紙カット動作について」をご覧ください。

フチなし印刷の対応用紙

フチなし印刷できる用紙は次の通りです。

フチなし印刷対応用紙サイズ

用紙幅
254mm/10 インチ
300mm
329mm/13 インチ /A3 ノビ
406mm/16 インチ
432mm/17 インチ
B2
A1
610mm/24 インチ
B1
914mm/36 インチ
1118mm/44 インチ

- 「ユーザー定義サイズ」（Windows）または「カスタム用紙」（Mac OS 9 / Mac OS X）でも、フチなし印刷対応の用紙幅を設定すると、フチなし印刷ができます。
- ロール紙幅より狭い用紙サイズの画像データを作成した場合、右側はフチなしとなるように手動でカットしてください。
- ロール紙、単票紙ともに、用紙の種類によっては印刷品質が低下したり、フチなし印刷ができない場合があります。

フチなし印刷対応用紙＜エプソン純正専用紙＞

ロール紙

○：フチなし印刷の推奨用紙
△：フチなし印刷可能用紙＊
×：フチなし印刷不可用紙
＊　フチなし印刷を設定して印刷することは可能ですが、印刷品質が低下したり、用紙の伸縮によりフチができてしまう可能性があります。

用紙名称	用紙幅	四辺フチなし印刷
PX/MC写真用紙ロール＜厚手光沢＞	約406mm(16インチ)	○
	約610mm（24インチ）	
	約914mm(36インチ)	
	約1118mm(44インチ)	
PX/MC写真用紙ロール＜厚手半光沢＞	約406mm(16インチ)	○
	約610mm（24インチ）	
	約914mm(36インチ)	
	約1118mm(44インチ)	
PX/MC写真用紙ロール＜厚手絹目＞	約254mm(10インチ)	○
	約406mm(16インチ)	
	約610mm（24インチ）	
	約914mm(36インチ)	
	約1118mm(44インチ)	
PX/MC写真用紙ロール＜厚手微光沢＞	約406mm(16インチ)	○
	約610mm（24インチ）	
	約914mm(36インチ)	
	約1118mm(44インチ)	
MC写真用紙ロール＜光沢＞	約610mm（24インチ）	○
	約914mm(36インチ)	
	約1118mm(44インチ)	
MC写真用紙ロール＜半光沢＞	約610mm（24インチ）	○
	約914mm(36インチ)	
	約1118mm(44インチ)	
MCフォトスタンダード紙ロール＜光沢＞	約420mm（16.5インチ）	×
	約610mm（24インチ）	○
	約914mm(36インチ)	
	約1118mm(44インチ)	

用紙名称	用紙幅	四辺フチなし印刷
MC フォトスタンダード紙ロール＜半光沢＞	約 420mm（16.5 インチ）	×
	約 610mm（24 インチ）	○
	約 914mm(36 インチ)	
	約 1118mm(44 インチ)	
MC 厚手マット紙ロール	約 610mm（24 インチ）	○
	約 914mm(36 インチ)	
	約 1118mm(44 インチ)	
PX マット紙ロール＜薄手＞	約 420mm（16.5 インチ）	×
	約 515mm（B2）	○
	約 594mm（A1）	
	約 728mm（B1）	
PX/MC プレミアムマット紙ロール	約 432mm（17 インチ）	△
	約 610mm（24 インチ）	
	約 914mm(36 インチ)	
	約 1118mm(44 インチ)	
Textured Fine Art/ PX/MC コットン画材用紙ロール	約 432mm（17 インチ）	△
	約 610mm（24 インチ）	
	約 1118mm(44 インチ)	
MC 画材用紙ロール	約 610mm（24 インチ）	△
	約 914mm(36 インチ)	
	約 1118mm(44 インチ)	
MC マット合成紙 2 ロール	約 432mm（17 インチ）	△
	約 610mm（24 インチ）	
	約 914mm(36 インチ)	
	約 1118mm(44 インチ)	
MC マット合成紙 2 ロール＜のり付き＞	約 610mm（24 インチ）	△
	約 914mm(36 インチ)	
	約 1118mm(44 インチ)	
光沢フィルムロール	約 610mm（24 インチ）	△
	約 914mm(36 インチ)	
	約 1118mm(44 インチ)	
MC/PM クロスロール＜防炎＞	約 610mm（24 インチ）	△
	約 1118mm(44 インチ)	

用紙名称	用紙幅	四辺フチなし印刷
PX プルーフ用紙ロール＜微光沢＞	約 329mm（A3 ノビ）	△
	約 432mm（17 インチ）	
	約 610mm（24 インチ）	
	約 914mm(36 インチ)	
	約 1118mm(44 インチ)	
PX 上質普通紙ロール	約 420mm（16.5 インチ）	×
普通紙ロール	約 610mm（24 インチ）	△
	約 914mm(36 インチ)	
	約 1118mm(44 インチ)	

単票紙

○：フチなし印刷の推奨用紙
△：フチなし印刷可能用紙 *
×：フチなし印刷不可用紙
* フチなし印刷を設定して印刷することは可能ですが、印刷品質が低下したり、用紙の伸縮によりフチができてしまう可能性があります。

用紙名称	用紙幅	左右フチなし印刷
写真用紙＜光沢＞	A3 ノビ	△
写真用紙＜絹目調＞	A3 ノビ	△
フォトマット紙 / 顔料専用	A3 ノビ	△
PX マット紙＜薄手＞	A2	×
スーパーファイン紙	A4	×
	A3	
	A3 ノビ	△
画材用紙 / 顔料専用	A3 ノビ	△
Velvet Fine Art Paper	A3 ノビ	△
UltraSmooth Fine Art Paper	A3 ノビ	△
PX/MC プレミアムマットボード紙	B2	△
	B1	
PX プルーフ用紙＜微光沢＞	A3 ノビ	△
両面上質普通紙＜再生紙＞	A4	×
	A3	

※ 単票紙は左右フチなし印刷です。

アプリケーションの設定

アプリケーション側で、フチなし印刷向けに印刷データの作成と設定をします。(「自動拡大」と「カスタム設定（原寸維持)」で異なります)。
ここでは、フチなし印刷の一般的な設定方法について説明します。
Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Microsoft PowerPoint、Microsoft Word での設定と印刷方法については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 166 ページ「アプリケーションごとの設定例」

自動拡大でフチなし印刷する場合

アプリケーションソフトの［用紙設定］で、用意した紙サイズを設定し、印刷データの作成と設定は以下のようにします。

- 用紙サイズいっぱいになるように印刷データを作成します。
- 余白設定できる場合は、余白を「0mm」に設定します。

カスタム設定（原寸維持）でフチなし印刷する場合

アプリケーションソフトの［用紙設定］で用意した紙サイズを設定し、以下のように印刷データの作成と設定をします。

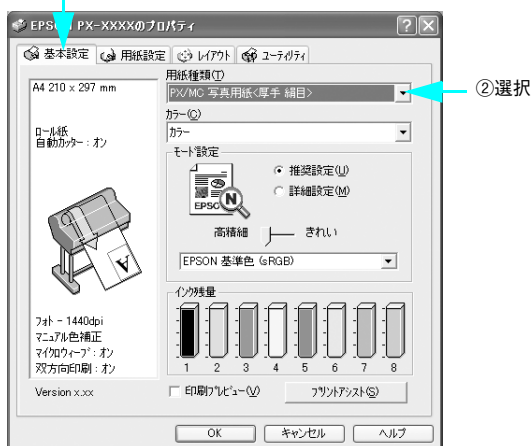
- 用紙サイズより左右各 3mm(計 6mm) 広くなるように印刷データを作成します。
- 余白設定できる場合は、余白を「0mm」に設定します。

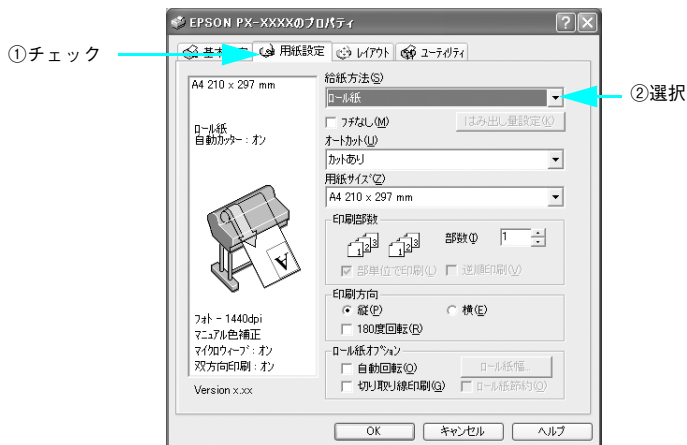
自動拡大と原寸維持の設定方法については、以下のページも参考にしてください。
☞ 使い方ガイド（冊子)「自動拡大と原寸維持の設定方法」

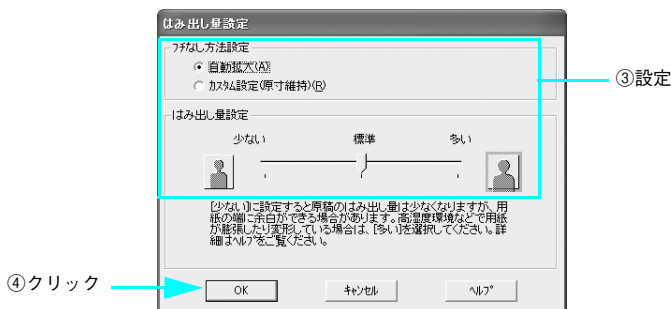
プリンタドライバの設定

Windows の場合

1. **プリンタドライバの設定画面を表示します。**
☞ 本書 16 ページ「プリンタドライバの起動方法」

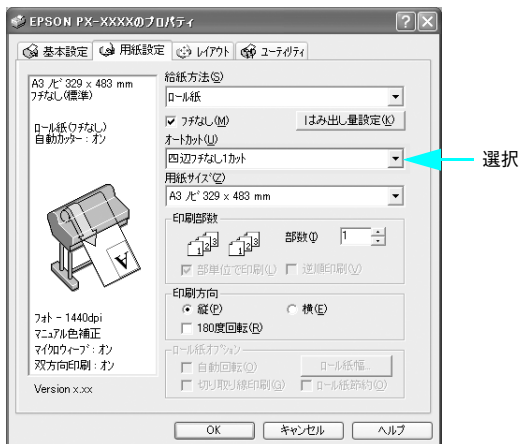
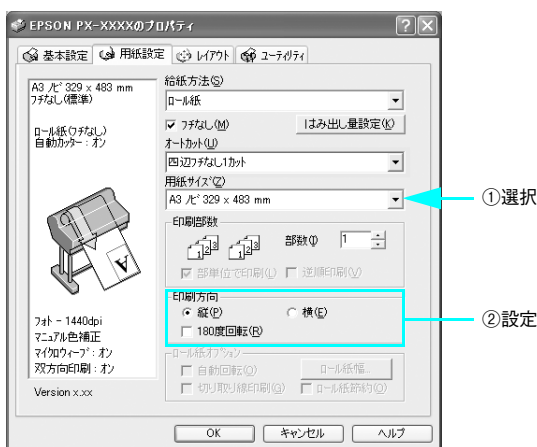
2. **［基本設定］タブをクリックし、［用紙種類］を選択します。**
セットした用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を選択します。
☞ 本書 301 ページ「エプソン純正専用紙」

3 ［用紙設定］タブをクリックし、［給紙方法］を選択します。

使用する用紙	［給紙方法］の設定
ロール紙	［ロール紙］
	［ロール紙 長尺モード］
単票紙	［単票紙］

4 **［フチなし］をチェックし、［はみ出し量設定］をクリックして、フチなし印刷の方法を［自動拡大］または［カスタム設定（原寸維持）］から選択します。**

ロール紙 長尺モードでは［カスタム設定（原寸維持）」に固定されます。
「自動拡大」を選択した場合は、はみ出し量を設定できます。

❺ ロール紙に印刷する場合は、［オートカット］を選択します。

単票紙に印刷する場合は、❻ に進みます。

［給紙方法］の設定	［オートカット］の設定
ロール紙	［四辺フチなし 1 カット］
	［四辺フチなし 2 カット］
	［左右フチなし］
	［カットなし］

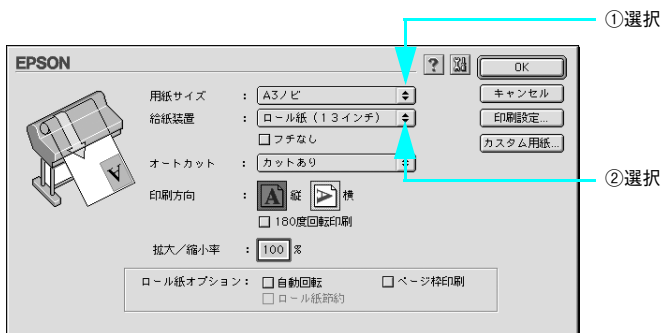
☞ 使い方ガイド（冊子）「フチなし印刷時のロール紙カット動作について」

❻ アプリケーションソフトで設定した印刷データサイズに合わせて、［用紙サイズ］と［印刷方向］を設定します。

❼ ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

Mac OS 9 の場合

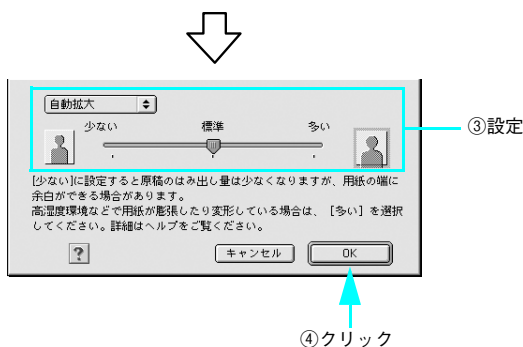
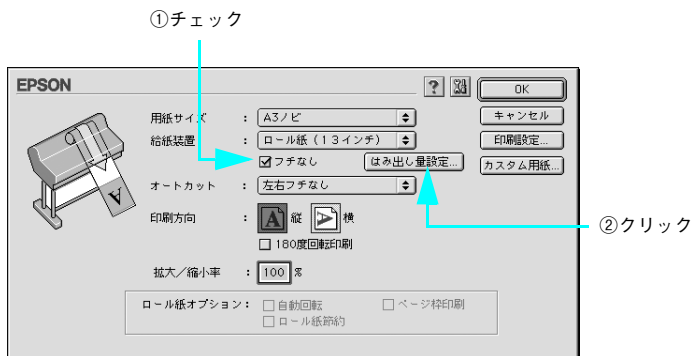
1 プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。

☞ 本書 76 ページ「［用紙設定］画面を表示する」

2 ［用紙サイズ］と［給紙装置］を選択します。

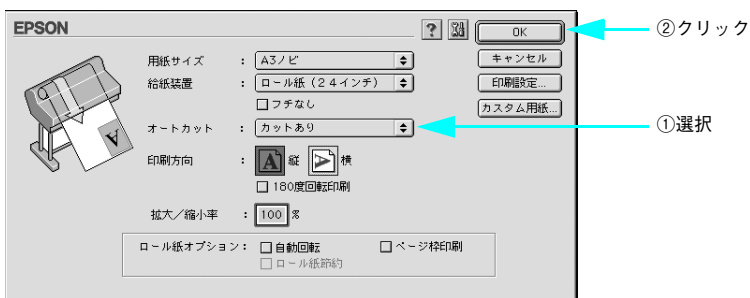
印刷用紙	給紙装置の設定
ロール紙	［ロール紙（任意のサイズ）］
	［ロール紙 長尺モード］
単票紙	［単票紙］

アプリケーションソフトで設定した印刷データサイズに合わせて、［用紙サイズ］と［印刷方向］を設定します。このとき、ロール紙幅より狭い［用紙サイズ］を選択した場合、右側はフチなしとなるように手動でカットしてください。

3 ［フチなし］をチェックし、［はみ出し量設定］をクリックします。フチなし印刷の方法を［自動拡大］または［カスタム設定（原寸維持）］から選択します。

ロール 紙長尺モードでは［カスタム設定（原寸維持）］に固定されます。
「自動拡大」を選択した場合は、はみ出し量を設定できます。

4 **ロール紙に印刷する場合は［オートカット］を設定して［OK］をクリックして画面を閉じます。**

単票紙に印刷する場合は、5 に進みます。

［給紙装置］の設定	［オートカット］の設定
［ロール紙（任意のサイズ）］ ［ロール紙 長尺モード］	［四辺フチなし 1 カット］
	［四辺フチなし 2 カット］
	［左右フチなし］
	［カットなし］

本書 191 ページ「フチなし印刷時のロール紙カット動作について」

5 **プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。**

本書 77 ページ「［印刷］画面を表示する」

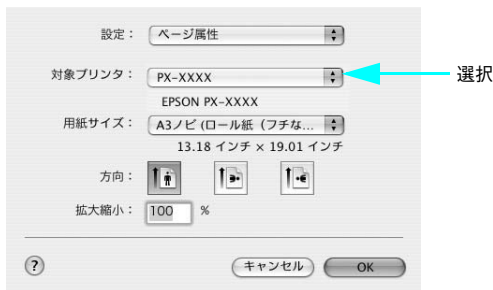
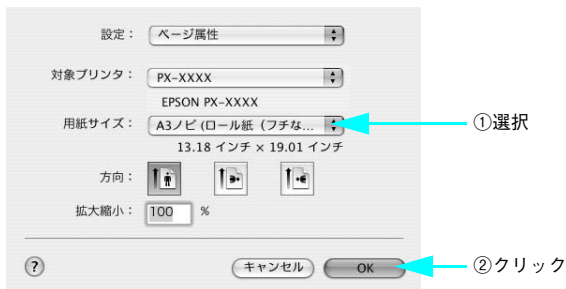
6 **［用紙種類］を選択し、［印刷］をクリックして印刷を実行します。**

セットした用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を選択します。

使い方ガイド（冊子）「エプソン純正専用紙」

Mac OS X の場合

1. **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**
☞ 本書 116 ページ「［用紙設定］画面を表示する」

2. **［対象プリンタ］で本機を選択します。**

3. **［用紙サイズ］で、フチなし印刷の方法（自動拡大（原寸維持）など）を選択し、［OK］をクリックして画面を閉じます。**
アプリケーションソフトで設定した印刷データサイズに合わせて、［用紙サイズ］と［印刷方向］を設定します。
☞ 使い方ガイド（冊子）「自動拡大と原寸維持の設定方法」

4 **プリンタドライバの［印刷］画面を表示し、❷ で選択した項目が［プリンタ］に表示されていることを確認して、リストから［はみ出し量設定］をクリックします。**

スライドバーを使ってはみ出し量を設定できます。

☞ 本書 117 ページ「［印刷］画面を表示する」

5 **リストから［印刷設定］を選択して、［用紙種類］を選択します。**

［プリンタ］で違う項目が表示されている場合は、選択し直してください。［用紙種類］は、セットした用紙の種類に合わせて選択します。

6 **ロール紙に印刷する場合は、リストから［ロール紙オプション］を選択し、［オートカット］を設定します。単票紙に印刷する場合は、7 に進みます。**

[用紙設定] 画面の [用紙サイズ] の設定	［オートカット］の設定
ロール紙	［四辺フチなし 1 カット］
	［四辺フチなし 2 カット］
	［左右フチなし］
	［カットなし］

本書 191 ページ「フチなし印刷時のロール紙カット動作について」

四辺フチなし 1 カットを選択して、1 部のみ印刷する場合は、四辺フチなし 2 カットと同じ動作をします。2 部以上続けて印刷する場合は、1 枚目の上端と最終部の下端のみ余白が残らないように 1mm 内側をカットします。

7 **［プリント］をクリックして印刷を実行します。**

アプリケーションごとの設定例

ここでは、Windows 版の Adobe Photoshop CS、Adobe Illustrator、Microsoft Word、Microsoft PowerPoint を例に、それぞれのアプリケーションでフチなし印刷する場合の設定と印刷方法を説明します。

Adobe Photoshop CS の場合

1. Adobe Photoshop CS を起動します。

2. ［ファイル］－［新規］を選択します。

3. フチなし印刷するための画像サイズを設定し、［OK］をクリックします。

<table>
<tr><th>拡大方法</th><th colspan="2">画像サイズの設定方法</th></tr>
<tr><td>自動拡大でフチなし印刷</td><td colspan="2">用紙サイズと同じサイズに設定</td></tr>
<tr><td rowspan="2">カスタム設定（原寸維持）でフチなし印刷する</td><td>幅</td><td>用紙サイズより 6mm 広いサイズ</td></tr>
<tr><td>高さ</td><td>用紙サイズと同じサイズに設定
（[四辺フチなし 2 カット]の場合は 2mm 高いサイズ）
☞ 本書 171 ページ</td></tr>
</table>

以下は A1 サイズ（594 × 841mm）の用紙にフチなし印刷する場合の例です。

- **自動拡大の場合**

- **カスタム設定（原寸維持）の場合**

4 **印刷する画像を作成したら、［ファイル］－［プリント］を選択します。**

5 **次の画面が表示された場合は［続行］をクリックします。**

6 **本機を選択して、［プロパティ］をクリックます。**

7 ［用紙設定］タブをクリックし、セットした用紙に合わせて［給紙方法］を選択します。

8 **［フチなし］をチェックし、［はみ出し量設定］をクリックして、フチなし印刷の方法を［自動拡大］または［カスタム設定（原寸維持）］から選択します。**

「自動拡大」を選択した場合は、はみ出し量を設定できます。

❾ **ロール紙に印刷する場合は、［オートカット］を設定します。**

設定内容については、以下のページをご覧ください。

☞ 本書 191 ページ「フチなし印刷時のロール紙カット動作について」

❿ **❼ で［ロール紙］を選択し、❽ で［カスタム設定（原寸維持）］を選択した場合は、［用紙サイズ］から［ユーザー定義サイズ］を選択します。**

［単票紙］を選択した場合や、［自動拡大］を選択した場合は、⓬ へ進みます。

⑪ ［ユーザー定義用紙サイズ］画面で、［用紙長さ］を以下のように設定し、［保存］をクリックして、［OK］をクリックします。

❽ で選択したフチなし印刷方法	設定する用紙の長さ	
［四辺フチなし 1 カット］	［用紙長さ］	用紙サイズと同じサイズに設定
	［用紙幅］	
［四辺フチなし 2 カット］	［用紙長さ］	印刷する用紙サイズより 2mm 長いサイズ
	［用紙幅］	用紙サイズと同じサイズ

印刷データが 1 つしかない場合は、［四辺フチなし 1 カット］を選択しても［四辺フチなし 2 カット］と同じ動作となるため、［四辺フチなし 2 カット］を選択した場合と同じ設定をします。

以下は A1 サイズ（594 × 841mm）の用紙に［四辺フチなし 2 カット］でフチなし印刷する場合の例です。

⑫ ［OK］をクリックしてプリンタドライバの［用紙設定］画面を閉じ、印刷画面の［OK］をクリックして印刷を実行します。

Adobe Photoshop Elements 3.0 の場合

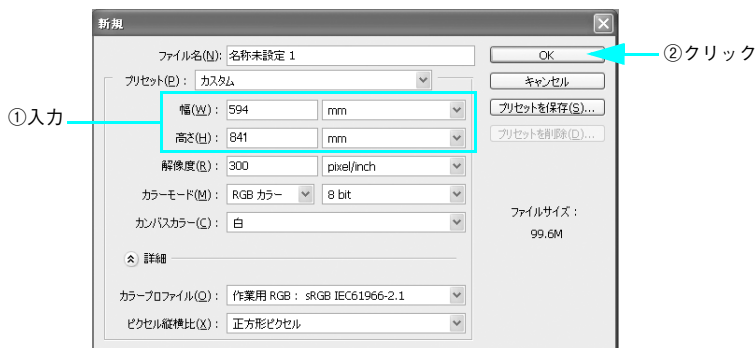
1. Adobe Photoshop Elements 3.0 を起動します。

2. ［ファイル］－［新規］－［白紙ファイル］を選択します。

3. フチなし印刷するための画像サイズを設定し、［OK］をクリックします。

拡大方法	画像サイズの設定方法	
自動拡大でフチなし印刷	用紙サイズと同じサイズに設定	
カスタム設定（原寸維持）でフチなし印刷する	幅	用紙サイズより 6mm 広いサイズ
	高さ	用紙サイズと同じサイズに設定

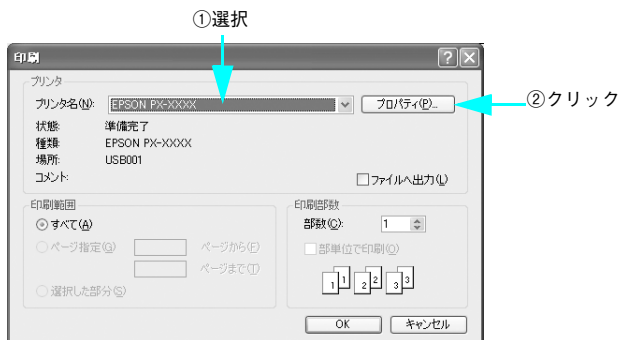
以下は A1 サイズ（594 × 841mm）の用紙にフチなし印刷する場合の例です。

- **自動拡大の場合**

- カスタム設定（原寸維持）の場合

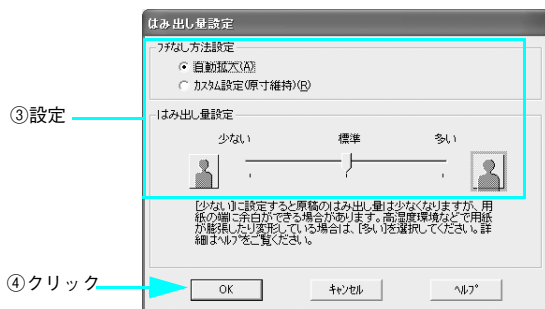
4 印刷する画像を作成したら、［ファイル］－［プリント］を選択します。

5 ［プリントプレビュー］画面で［プリント］をクリックします。

6 次の画面が表示された場合は［OK］をクリックします。

7 本機を選択して、［プロパティ］をクリックます。

8 ［用紙設定］タブをクリックし、セットした用紙に合わせて［給紙方法］を選択します。

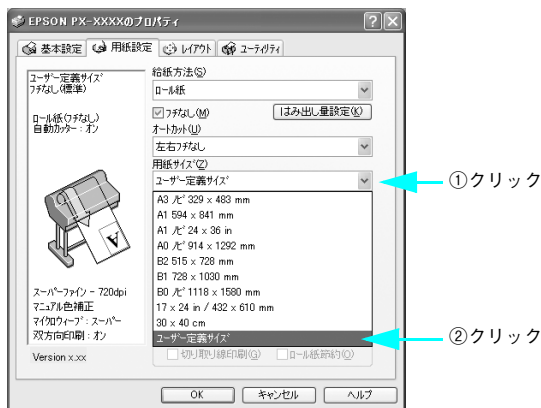
9 **［フチなし］をチェックし、［はみ出し量設定］をクリックしてフチなし印刷の方法を［自動拡大］または［カスタム設定（原寸維持）］から選択します。**

「自動拡大」を選択した場合は、はみ出し量を設定できます。

10 **ロール紙に印刷する場合は、［オートカット］を設定します。**

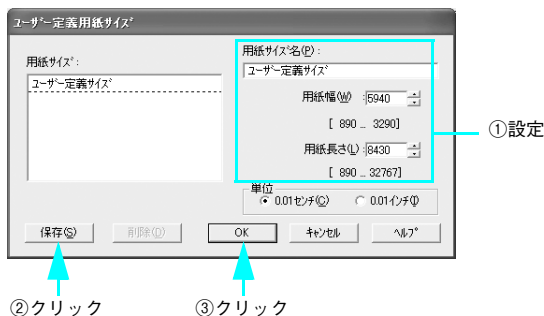
設定内容については、以下のページをご覧ください。

☞ 本書 191 ページ「フチなし印刷時のロール紙カット動作について」

11 **❽ で［ロール紙］を選択し、❾ で［カスタム設定（原寸維持）］を選択した場合は、［用紙サイズ］から［ユーザー定義サイズ］を選択します。**

［単票紙］を選択した場合や、［自動拡大］を選択した場合は、⓭ へ進みます。

12 **［ユーザー定義用紙サイズ］画面で、［用紙長さ］を以下のように設定し、［保存］をクリックして、［OK］をクリックします。**

❽ で選択したフチなし印刷方法	設定する用紙の長さ	
［四辺フチなし 1 カット］	［用紙長さ］	用紙サイズと同じサイズに設定。ただし、印刷データが 1 つしかない場合は、［四辺フチなし 2 カット］を選択したときと同じ動作となるため、［四辺フチなし 2 カット］を選択した場合と同じ設定をします。
	［用紙幅］	
［四辺フチなし 2 カット］	［用紙長さ］	印刷する用紙サイズより 2mm 長いサイズ
	［用紙幅］	用紙サイズと同じサイズ

以下は A1 サイズ（594 × 841mm）の用紙に［四辺フチなし 2 カット］でフチなし印刷する場合の例です。

13 **［OK］をクリックしてプリンタドライバの［用紙設定］画面を閉じ、印刷画面の［OK］をクリックして印刷を実行します。**

Adobe Illustrator の場合

1. Adobe Illustrator を起動します。

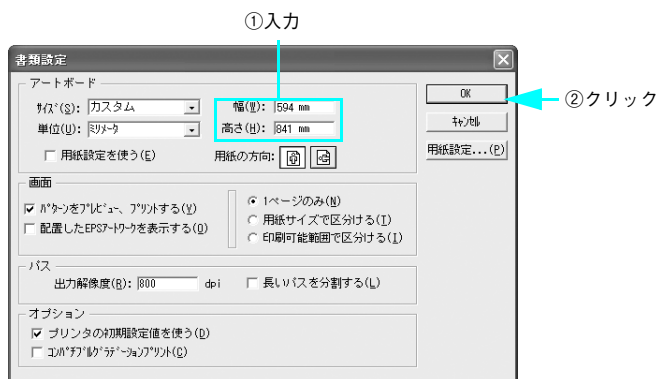
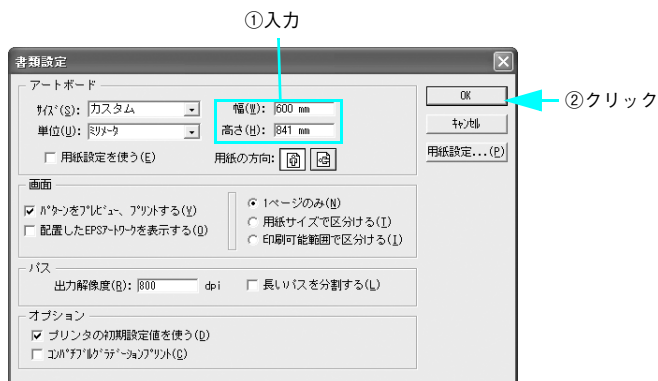
2. ［ファイル］メニューから［新規］を選択して新規書類を作成します。

3. ［ファイル］メニューから［書類設定］を選択します。

4. フチなし印刷するための画像サイズを設定し、［OK］をクリックします。

拡大方法	画像サイズの設定方法	
自動拡大でフチなし印刷	用紙サイズと同じサイズに設定	
カスタム設定（原寸維持）でフチなし印刷する	幅	用紙サイズより 6mm 広いサイズ
	高さ	用紙サイズと同じサイズ

以下は A1 サイズ（594 × 841mm）の用紙にフチなし印刷する場合の例です。

- 自動拡大の場合

- カスタム設定（原寸維持）の場合

5 印刷するジョブを作成したら、［ファイル］メニューから［書類設定］を選択します。

6 本機を選択して、［プロパティ］をクリックます。

7 ［用紙設定］タブをクリックし、セットした用紙に合わせて［給紙方法］を選択します。

8 **［フチなし］をチェックし、［はみ出し量設定］をクリックして、フチなし印刷の方法を［自動拡大］または［カスタム設定（原寸維持）］から選択します。**

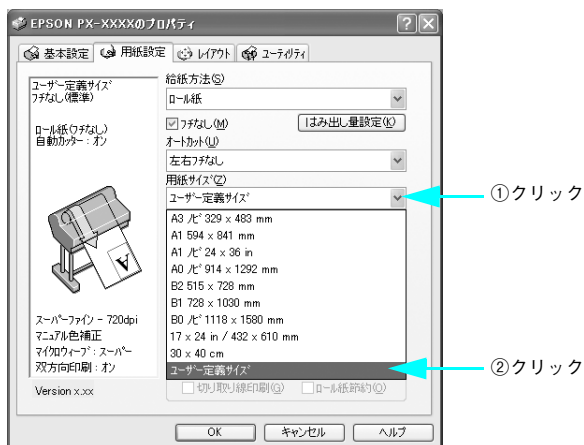
「自動拡大」を選択した場合は、はみ出し量を設定できます。

❾ **ロール紙に印刷する場合は、［オートカット］を設定します。**

設定内容については、以下のページをご覧ください。

☞ 本書 156 ページ「プリンタドライバの設定」

❿ **❼ で［ロール紙］を選択し、❽ で［カスタム設定（原寸維持）］を選択した場合は、［用紙サイズ］から［ユーザー定義サイズ］を選択します。**

［単票紙］を選択した場合や、［自動拡大］を選択した場合は、手順 ⓬ へ進みます。

⑪ ［ユーザー定義用紙サイズ］画面で、［用紙長さ］を以下のように設定し、［保存］をクリックして、［OK］をクリックします。

❾ で選択したフチなし印刷方法	設定する用紙の長さ	
［四辺フチなし 1 カット］	［用紙長さ］	用紙サイズと同じサイズに設定
	［用紙幅］	
［四辺フチなし 2 カット］	［用紙長さ］	印刷する用紙サイズより 2mm 長いサイズ
	［用紙幅］	用紙サイズと同じサイズ

印刷データが 1 つしかない場合は、［四辺フチなし 1 カット］を選択しても［四辺フチなし 2 カット］と同じ動作となるため、［四辺フチなし 2 カット］を選択した場合と同じ設定をします。

以下は A1 サイズ（594 × 841mm）の用紙に［四辺フチなし 2 カット］でフチなし印刷する場合の例です。

⑫ ［OK］をクリックしてプリンタドライバの［用紙設定］画面を閉じ、［OK］をクリックして Adobe Illustrator の［用紙設定］画面を閉じます。

⑬ ［OK］をクリックして［書類設定］画面を閉じ、［ファイル］メニューから［プリント］を選択して印刷を実行します。

Microsoft Word 2003 の場合

1. Microsoft Word 2003 を起動します。

2. ［ファイル］メニューから［新規作成］を選択して新規文書を作成します。

3. ［ファイル］メニューから［印刷］を選択して［印刷］画面を表示し、本機を選択して、［プロパティ］をクリックます。

4. ［用紙設定］タブをクリックし、セットした用紙に合わせて［給紙方法］を選択します。

5 ［フチなし］をチェックし、［はみ出し量設定］をクリックして、フチなし印刷の方法を［自動拡大］または［カスタム設定（原寸維持）］から選択します。

「自動拡大」を選択した場合は、はみ出し量を設定できます。

6 ロール紙に印刷する場合は、［オートカット］を設定します。

設定内容については、以下のページをご覧ください。

☞ 本書 156 ページ「プリンタドライバの設定」

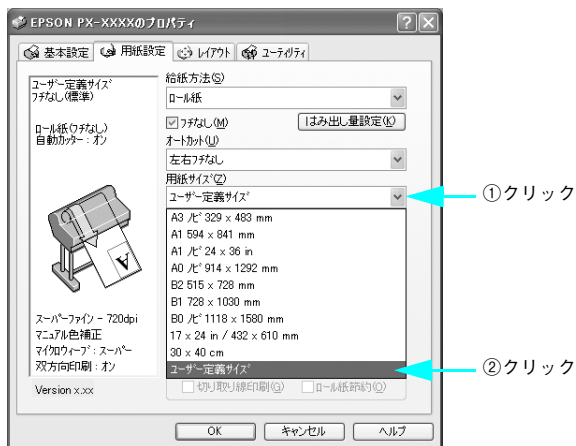
7 ❹で［ロール紙］を選択し、❺で［カスタム設定（原寸維持）］を選択した場合は、［用紙サイズ］から［ユーザー定義サイズ］を選択します。

［単票紙］を選択した場合や、［自動拡大］を選択した場合は、❾へ進みます。

8 ［ユーザー定義用紙サイズ］画面で、［用紙長さ］を以下のように設定して、［OK］をクリックします。

❻で選択したフチなし印刷方法	設定する用紙の長さ	
［四辺フチなし 1 カット］	［用紙長さ］	用紙サイズと同じサイズに設定
	［用紙幅］	
［四辺フチなし 2 カット］	［用紙長さ］	印刷する用紙サイズより 2mm 長いサイズ
	［用紙幅］	用紙サイズと同じサイズ

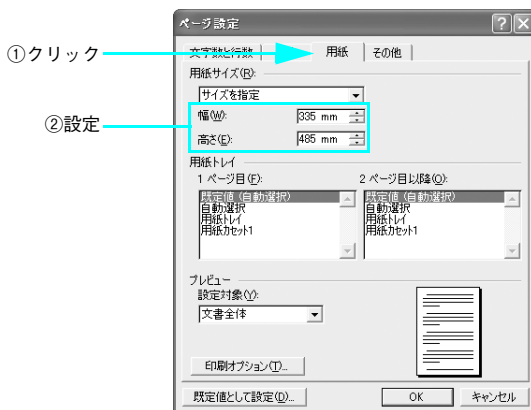
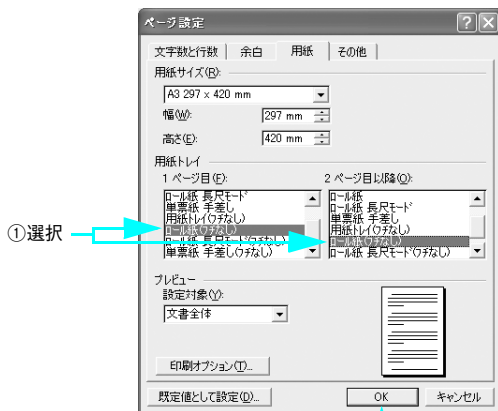
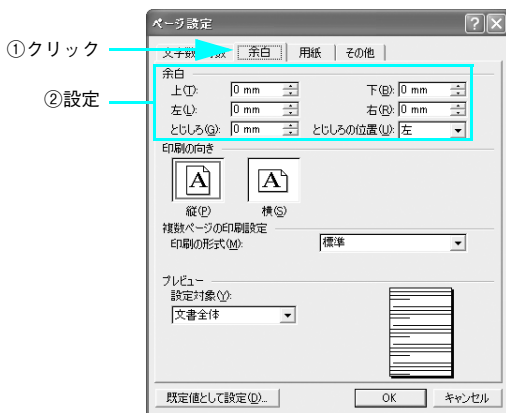
印刷データが 1 つしかない場合は、［四辺フチなし 1 カット］を選択しても［四辺フチなし 2 カット］と同じ動作となるため、［四辺フチなし 2 カット］を選択した場合と同じ設定をします。

以下は A3 ノビサイズ（329 × 483mm）の用紙に［四辺フチなし 2 カット］でフチなし印刷する場合の例です。

9 ［OK］をクリックしてプリンタドライバの［用紙設定］画面を閉じ、［閉じる］をクリックして Microsoft Word の［印刷］画面を閉じます。

10 ［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択し、［用紙］タブをクリックして、画面で［幅］と［高さ］を以下のように設定します。

6 で選択したフチなし印刷方法	設定する用紙の長さ	
［四辺フチなし 1 カット］	［用紙長さ］	用紙サイズと同じサイズに設定
	［用紙幅］	印刷する用紙サイズより 6mm 長いサイズ
［四辺フチなし 2 カット］	［用紙長さ］	印刷する用紙サイズより 2mm 長いサイズ
	［用紙幅］	印刷する用紙サイズより 6mm 長いサイズ

印刷データが 1 つしかない場合は、［四辺フチなし 1 カット］を選択しても［四辺フチなし 2 カット］と同じ動作となるため、［四辺フチなし 2 カット］を選択した場合と同じ設定をします。

以下は A3 ノビサイズ（329 × 483mm）の用紙に［四辺フチなし 2 カット］でフチなし印刷する場合の例です。

⑪ 同じ画面の「用紙トレイ」で、[1 ページ目]と[2 ページ目以降]にそれぞれ印刷する用紙に合わせて、[ロール紙(フチなし)]または[単票紙(フチなし)]を選択して、[OK]をクリックします。

⑫ [余白]タブをクリックし、[上]、[下]、[左]、[右]すべて 0mm に設定します。

⑬ [ファイル]メニューから[印刷]を選択して印刷を実行します。

Microsoft PowerPoint 2003 の場合

1. **Microsoft PowerPoint 2003 を起動します。**

2. **新規プレゼンテーションを作成します。**
   プレゼンテーションの作成方法については Microsoft PowerPoint の「ヘルプ」をご覧ください。

3. **［ファイル］メニューから［印刷］を選択して［印刷］画面を表示し、本機を選択して、［プロパティ］をクリックます。**

4. **［用紙設定］タブをクリックし、セットした用紙に合わせて［給紙方法］を選択します。**

5 **［フチなし］をチェックし、［はみ出し量設定］をクリックして、フチなし印刷の方法を［自動拡大］または［カスタム設定（原寸維持）］から選択します。**

「自動拡大」を選択した場合は、はみ出し量を設定できます。

6 **ロール紙に印刷する場合は、［オートカット］を設定します。**

設定内容については、以下のページをご覧ください。

☞ 本書 191 ページ「フチなし印刷時のロール紙カット動作について」

7 **❹ で［ロール紙］を選択し、❺ で［カスタム設定（原寸維持）］を選択した場合は、［用紙サイズ］から［ユーザー定義サイズ］を選択します。**

［単票紙］を選択した場合や、［自動拡大］を選択した場合は、❾ へ進みます。

8 **［ユーザー定義用紙サイズ］画面で、［用紙長さ］を以下のように設定して、［OK］をクリックします。**

❻ で選択したフチなし印刷方法	設定する用紙の長さ	
［四辺フチなし 1 カット］	［用紙長さ］	用紙サイズと同じサイズに設定
	［用紙幅］	
［四辺フチなし 2 カット］	［用紙長さ］	印刷する用紙サイズより 2mm 長いサイズ
	［用紙幅］	用紙サイズと同じサイズ

印刷データが 1 つしかない場合は、［四辺フチなし 1 カット］を選択しても［四辺フチなし 2 カット］と同じ動作となるため、［四辺フチなし 2 カット］を選択した場合と同じ設定をします。

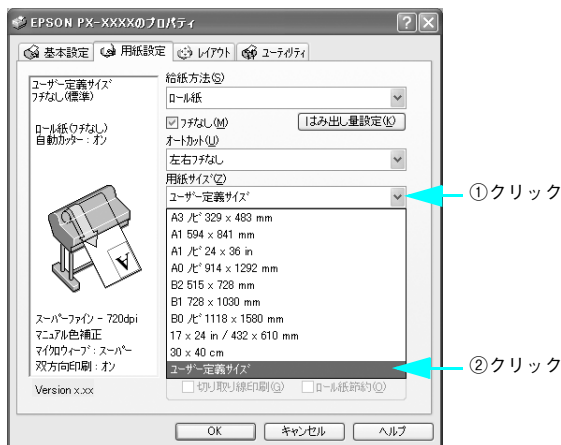
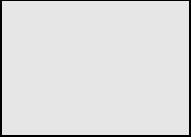
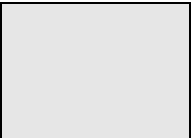
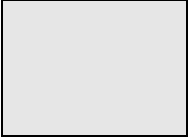
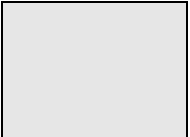
以下は A1 サイズ（594 × 841mm）の用紙に［四辺フチなし 2 カット］でフチなし印刷する場合の例です。

9. ［OK］をクリックしてプリンタドライバの［用紙設定］画面を閉じ、［キャンセル］をクリックして Microsoft PowerPoint の［印刷］画面を閉じます。

10. ［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択し、［ページ設定］画面で［幅］と［高さ］を以下のように設定して、［OK］をクリックします。

❻ で選択したフチなし印刷方法	設定する用紙の長さ	
［四辺フチなし 1 カット］	［用紙長さ］	用紙サイズと同じサイズに設定
	［用紙幅］	
［四辺フチなし 2 カット］	［用紙長さ］	印刷する用紙サイズより 2mm 長いサイズ
	［用紙幅］	用紙サイズと同じサイズ

印刷データが 1 つしかない場合は、［四辺フチなし 1 カット］を選択しても［四辺フチなし 2 カット］と同じ動作となるため、［四辺フチなし 2 カット］と同じ設定をします。

以下は A1 サイズ（594 × 841mm）の用紙に［四辺フチなし 2 カット］でフチなし印刷する場合の例です。

11. ［ファイル］メニューから［印刷］を選択して［印刷］画面を表示し、［用紙サイズに合わせて印刷する］をチェックして、［OK］をクリックして印刷を実行します。

フチなし印刷時のロール紙カット動作について

ロール紙を使ってフチなし印刷を行う場合は、プリンタドライバの設定（「フチなし」/「オートカット」）によって、用紙カット動作が以下のように異なります。

	左右フチなし	四辺フチなし （1 カット）	四辺フチなし （2 カット）
プリンタドライバの設定	フチなし：オン オートカット：左右フチなし	フチなし：オン オートカット：四辺フチなし 1 カット	フチなし：オン オートカット：四辺フチなし 2 カット
プリンタの動作	カット（任意） カット（任意） カット（任意）	カット カット ページ間を 1 回でカット カット カット	カット カット 前ページ終端カット（1 回目） 次ペー上端カット（2 回目） カット カット

	左右フチなし	四辺フチなし （1 カット）	四辺フチなし （2 カット）
備考	プリンタドライバの初期設定は「左右フチなし」です。	• 上端は印刷動作を中断してカットするため、画像によっては多少色むらが発生する場合があります。 • カット位置がズレていると連続するページの画像がわずかに上下端に残る場合がありますが、印刷時間は短くなります。 • 1 カットを選択して 1 部のみ印刷する場合は「四辺フチなし（2 カット）」と同じ動作をします。複数部数を連続して印刷する場合には 1 枚目の上端と連続部の下端のみ、余白が残らないように 1mm 内側をカットします。	• 上端は印刷動作を中断してカットするため、画像によっては多少色むらが発生する場合があります。 • 上下端に余白が残らないように、画像の内側でカットしますので指定サイズより2mm程度短くなります。 • 前ページの終端をカットした後、紙送りしてから次ページの上端をカットするため、80 〜 130mm 程度の切れ端が発生しますが、より正確にカットできます。

- カット動作を「サイレントカット」に設定すると、静かできれいにカットできます。またカット時に発生する紙粉を押さえることができます。ただし、カットの速度は通常よりも遅くなります。
  ☞ 本書 459 ページ「[プリンタ設定] メニュー」
- 「カットなし」の場合は、ロール紙はカットされません（手動でカットします）。

色合いを調整して印刷

本製品のプリンタドライバには、印刷データに対してカラーマネージメントを行うための設定と、プリンタドライバのみで、よりきれいな印刷を行う色調整が用意されています。いずれの場合も、印刷用の元データを加工せずに色調整を行い印刷します。

カラーマネージメント

- ドライバ ICM 補正によるカラーマネージメント
- ホスト ICM/ColorSync によるカラーマネージメント
- アプリケーションによるカラーマネージメント

プリンタドライバによる色調整

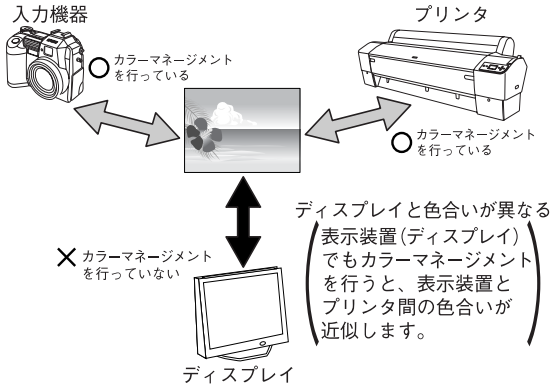
- プリンタドライバによる色調整
- オートフォトファイン !6 による自動調整（Mac OS X 以外）

カラーマネジメントについて

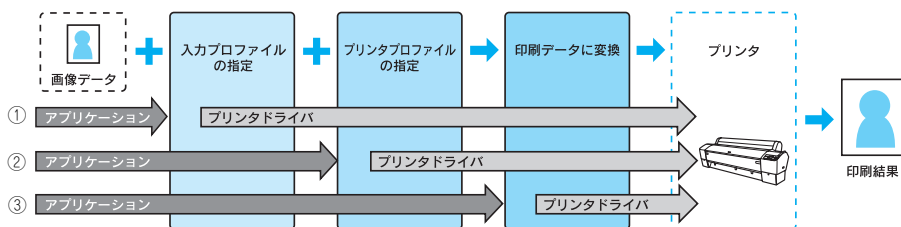
カラーマネージメントシステム（CMS）

画像データを印刷（または表示）する場合、入力装置や出力装置の特性の違いのため、絶対的な色領域に対して色とデータの割り当て（座標値）がずれてしまいます。そのため、同じ画像データを扱っていても装置により印刷結果が異なって見えてしまいます。この装置間の色のズレを補正する方法として、OS や画像処理用のアプリケーションソフトには、カラーマネージメントシステムが用意されています。
Mac OS には ColorSync、Windows には ICM というカラーマネージメントシステムが搭載されています。プリンタドライバでカラーマネージメントを行う場合も、この OS のカラーマネージメントシステムを利用します。このマネージメントシステムでは、装置間のカラーマッチングを行う方法として ICC プロファイルと呼ばれる色情報の定義ファイルを使用します。プリンタの場合は、機種ごとに、さらに用紙種類ごとに ICC プロファイルが用意されています（デジタルカメラなどでは、sRGB や AdobeRGB などの色領域をプロファイルとして指定する場合があります）。
カラーマネージメントでは、データの処理時に入力側装置のプロファイルを入力プロファイル（またはソースプロファイル）、プリンタ側をプリンタプロファイル（またはアウトプットプロファイル）と呼びます。

！注 意

デジタルカメラやスキャナで取り込んだ画像をプリンタで印刷すると、多くの場合、ディスプレイで見た色と、実際の印刷結果の色合いにズレが生じます。その原因は、「取り込み」、「表示」、「印刷」の 3 者間で、色の発色方法が異なるためです。
各装置間の色合いのズレを少なくするために、それぞれの装置間でカラーマネージメントを行ってください。画像データに対して、取り込み装置とプリンタの間でカラーマネージメントを行っても、取り込み装置とディスプレイの間でカラーマネージメントが行われていないと、ディスプレイの表示と印刷結果の色合いは異なってしまいます。

カラーマネージメントの方法

本機でカラーマネージメントを行うには、次の３つの方法があります。

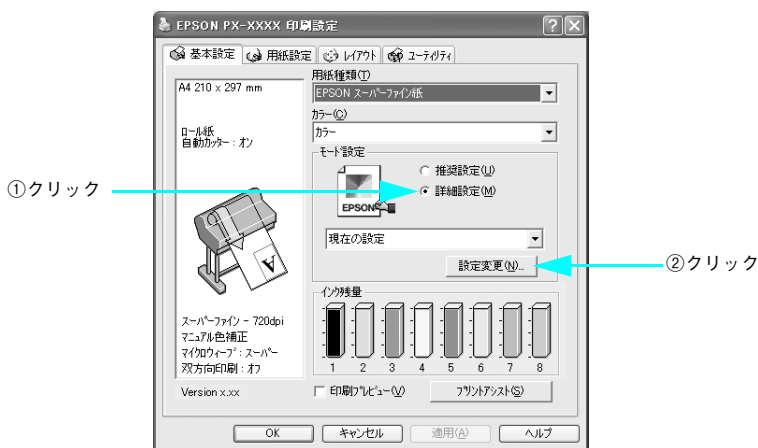
カラー マネジメント	入力 プロファイル指定	プリンタ プロファイル指定	内容
①ドライバ ICM	プリンタドライバ	プリンタドライバ	すべてのプロファイル指定をプリンタドライバで行いカラーマネージメントします。Windows 2000/XP のみで使用可能です。ICM カラーマネージメントに対応していないアプリケーションから印刷するときにもカラーマネージメントを行うことができます。カラーマネージメントに対応したアプリケーションでは、印刷時のマネージメント機能を無効（カラースペースを変更しない）にしてください。 本書 196 ページ「ドライバ ICM 補正によるカラーマネージメント（Windows 2000/XP のみ）」
② ICM/ColorSync	アプリケーション	プリンタドライバ	OS のカラーマネージメント機能を利用して印刷するため、Windows と Mac OS では、印刷色に差が出る場合があります。アプリケーションソフトは、ICM または ColorSync のカラーマネージメントに対応している必要があります。 本書 199 ページ「ホスト ICM/ColorSync によるカラーマネージメント」
③アプリケーション	アプリケーション	アプリケーション	すべてのプロファイル指定をアプリケーションソフトで行い、カラーマネージメントします。プリンタドライバ側では、カラー補正をオフ（色調整なし）にします。アプリケーションソフトが独自にカラーマネージメント機能を搭載している場合に、この方法を選択できます。 本書 202 ページ「アプリケーションソフトによるカラーマネージメント」

ドライバICM補正によるカラーマネージメント（Windows 2000/XPのみ）

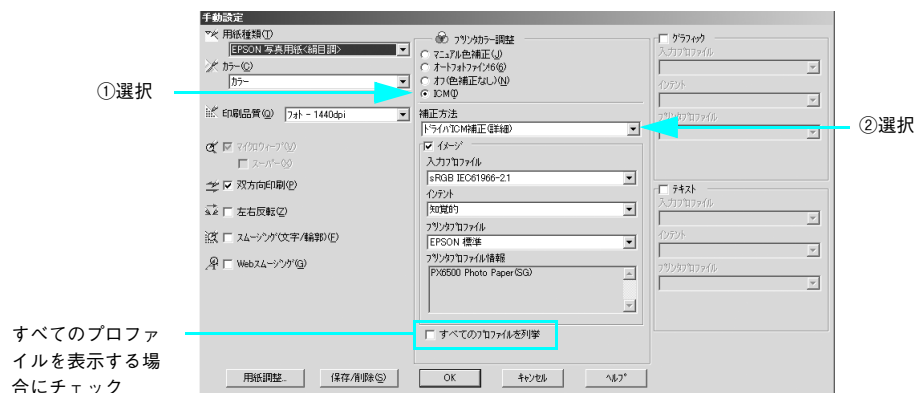
印刷する画像データの入力プロファイルとプリンタプロファイルをプリンタドライバで管理して印刷します。
カラーマネージメント機能に対応したアプリケーションソフトから本機能を利用する場合は、アプリケーション側のカラーマネージメント機能をオフにしてください。カラーマネージメント機能に対応していないアプリケーションソフトで本機能を利用する場合は、❸ 以降の手順でカラーマッチング処理を行います。
ここでは Adobe Photoshop CS を例に説明します（画面は Windows）。

1 **Adobe Photoshop の［ファイル］－［プリントプレビュー］をクリックして、表示された画面の［その他のオプションを表示］をチェックします。**

2 **［カラーマネジメント］を選択して、［ソースカラースペース］の［ファイル］をチェックします。［プリントカラースペース］の［プロファイル］メニューで［カラースペースを変換しない］を選択して、［完了］をクリックします。**

3 ［ファイル］－［プリント］を選択して、本機のプリンタドライバの［基本設定］画面を表示します。

4 ［詳細設定］を選択して、［設定変更］をクリックします。

5 ［プリンタカラー調整］の［ICM］を選択して、［補正方法］メニューから［ドライバICM 補正（簡易）］または［ドライバ ICM 補正（詳細）］を選択します。

［ドライバ ICM 補正（詳細）］を選択すると、写真画像のようなイメージデータのほか、グラフィックデータやテキストデータに対して個別にプロファイルとインテントを指定できます。

［すべてのプロファイルを列挙］をチェックすると、コンピュータに登録されているすべてのプロファイルを表示して選択できます。
［OK］をクリックすると元の画面に戻ります。

- **インテント**
  指定されたプロファイルを元に、印刷用にデータ変換するときの条件を指定します。

彩度	彩度を保持して変換を行います。
知覚的	視覚的に自然なイメージになるように変換します。画像データが広範囲な色域を使用している場合に使用します。
相対的な色域を維持	元データの色域座標と印刷時の色域座標が一致するように、さらに白色点（色温度）の座標値が一致するように変換します。多くのカラーマッチング時に使用されます。
絶対的な色域を維持	元データも印刷データも絶対的な色域座標に割り当てて変換します。従って、元データと印刷データの白色点（色温度）は色調補正されません。ロゴカラーの印刷など、特殊な用途で使用します。

6　その他の項目を確認して、［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

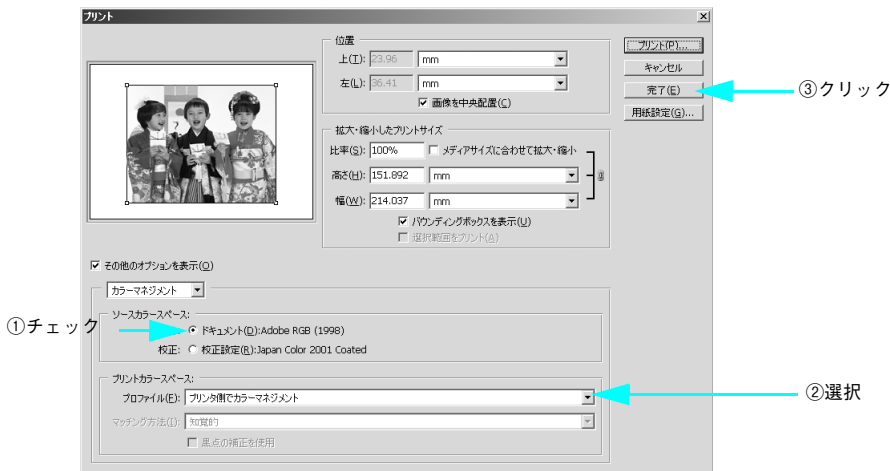
ホスト ICM/ColorSync によるカラーマネージメント

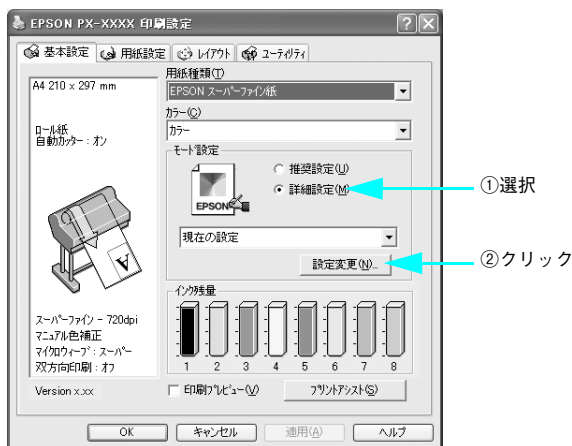
OS のカラーマネージメントをプリンタドライバで行います。画像データはアプリケーションソフトなどで、あらかじめ入力機器やシステムに合わせてカラーマネージメントされている必要があります。

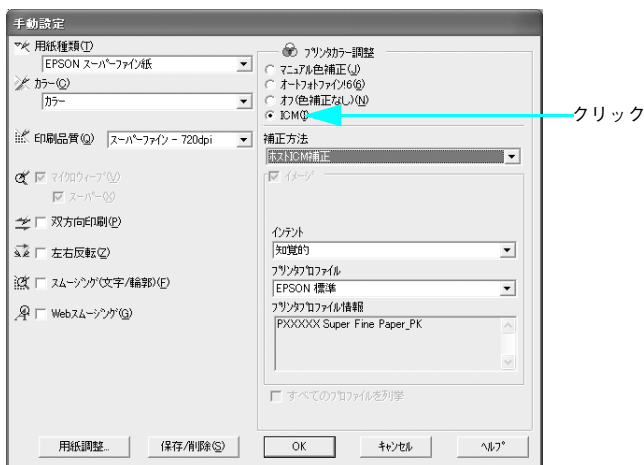
> **! 注意**
> - 画像データは、あらかじめ入力プロファイルが埋め込まれた状態のものを使用してください。
> - アプリケーションソフトは、ICM または ColorSync に対応している必要があります。

ここでは Adobe Photoshop CS を例に説明します（画面は Windows）。

1 Adobe Photoshop の［ファイル］－［プリントプレビュー］をクリックして、表示された画面の［その他のオプションを表示］をチェックします。

2 ［カラーマネジメント］を選択して、［ソースカラースペース］の［ファイル］をチェックします。［プリントカラースペース］の［プロファイル］メニューで［プリンタ側でカラーマネジメント］を選択して、［完了］をクリックします。

3 ［ファイル］－［プリント］をクリックして、本機のプリンタドライバの［印刷］画面（Mac OS X、Mac OS 9）または［基本設定］画面を表示します。

4 ［詳細設定］を選択して、［設定変更］をクリックします。

5 **［プリンタカラー調整］の［ICM］（Windows）または［ColorSync］（Mac OS）を選択します。さらに、Windows 2000/XP では、［補正方法］メニューで［ホスト ICM 補正］を選択します。Mac OS では ColorSync を選択します。**

［入力プロファイル］には、あらかじめアプリケーションソフトなどで設定した ICC プロファイルが設定され、［プリンタプロファイル］には、用紙種類に対応した ICC プロファイルが自動的に設定されます。Photoshop の場合、［インテント］は「知覚的」に固定されます。

6 **その他の項目を確認して、［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

アプリケーションソフトによるカラーマネージメント

カラーマネージメントシステムに対応したアプリケーションソフトを使用すると、画像データの入力プロファイルとプリンタプロファイルの設定をアプリケーションソフトで行い印刷できます。この場合、プリンタドライバのカラー調整は「オフ（色調整なし）」にします。カラーマネージメントシステムとして Mac OS の ColorSync や Windows の ICM を使用しないので、印刷結果に OS による違いが発生しません。設定の詳細については、アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

基本的な手順は次の通りです。
① アプリケーションソフトで画像データの入力プロファイルとプリンタプロファイルの設定をする。
② プリンタドライバのカラー調整をオフにして印刷する。

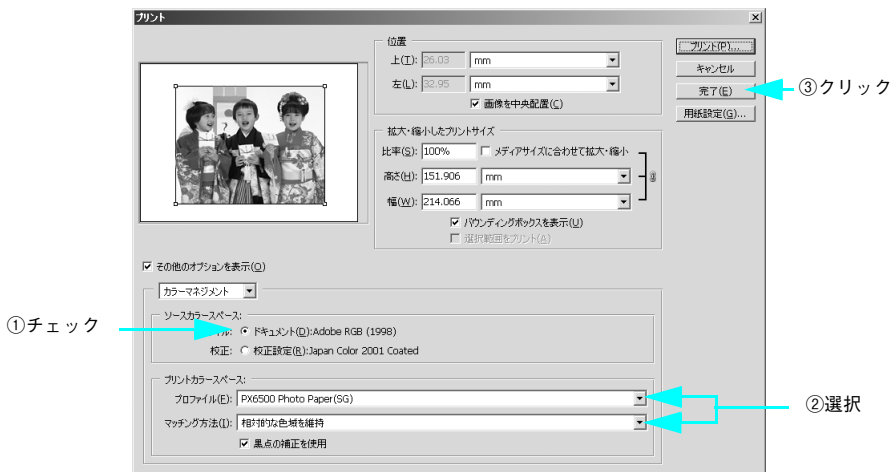
Windows98/Me 上で「アプリケーションソフトによるカラーマネージメント」を行う場合は、以下の方法で、あらかじめ本機用の ICC プロファイルをインストールしてください。

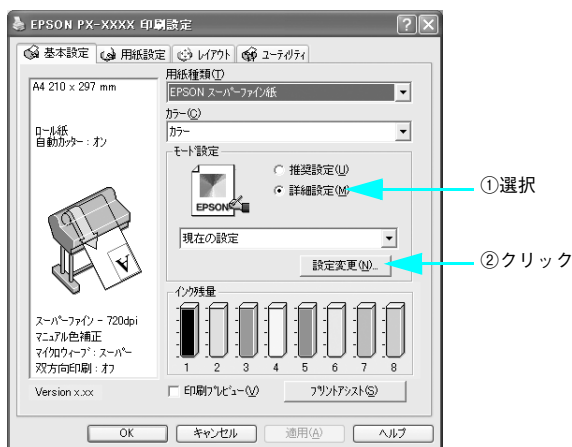
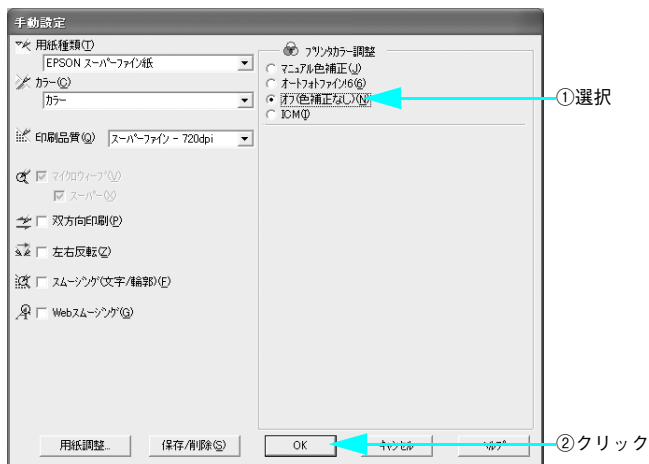
- 本機に添付されているプリンタソフトウェア CD-ROM の［ICC_Kit］フォルダにある［ICCSETUP.EXE］をダブルクリックしてください。必要な ICC プロファイルがコンピュータ上にインストールされます。

ここでは Adobe Photoshop CS を例に説明します（画面は Windows）。

1 **Adobe Photoshop の［ファイル］－［プリントプレビュー］をクリックして、表示された画面の［その他のオプションを表示］をチェックします。**

2 ［カラーマネジメント］を選択して、［ソースカラースペース］の［ファイル］をチェックします。［プリントカラースペース］の［プロファイル］メニューで印刷に使用する用紙の ICC プロファイルと［マッチング方法］を選択して、［完了］をクリックします。

☞ 使い方ガイド（冊子）「用紙の仕様と設定」

3 ［ファイル］－［プリント］をクリックして、プリンタドライバの［印刷］画面（Mac OS 9、Mac OS X）または［基本設定］画面を表示します。

4 ［詳細設定］を選択して、［設定変更］をクリックします。

5 ［プリンタカラー調整］の［オフ（色補正なし）］を選択して、［OK］をクリックします。

6 その他の項目を確認して、［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

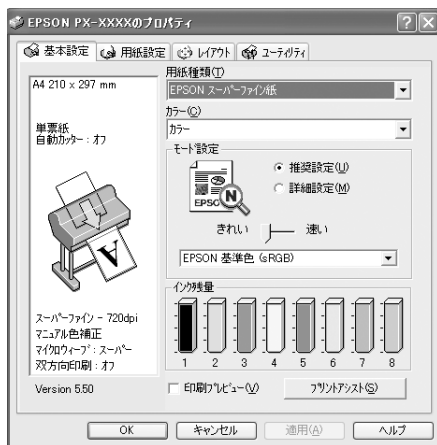
プリンタドライバによる色調整

プリンタドライバによる手動色調整

印刷するデータの色合いや明度などを、プリンタドライバ上で微調整して印刷します。使用しているアプリケーションソフトにカラー調整機能が無く、さらに手動でカラー調整する場合などに使用します。

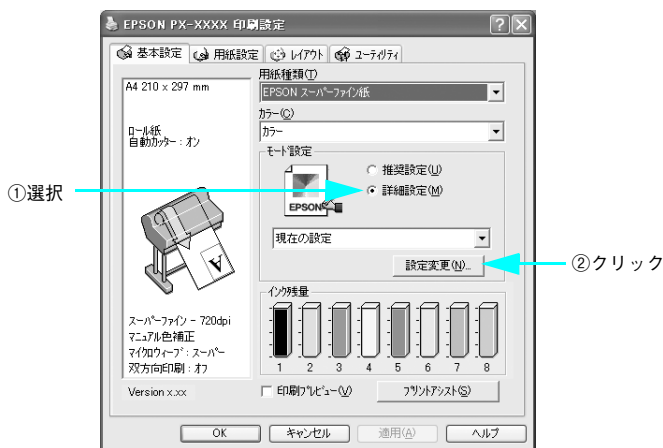
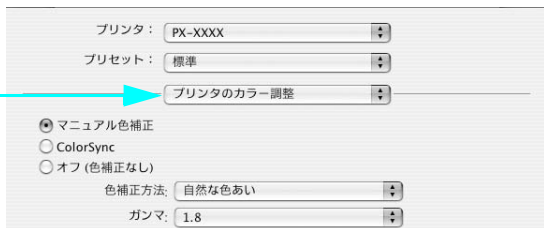
1 プリンタドライバの［基本設定］画面（Windows）または［印刷］画面（Mac OS X、Mac OS 9）を表示します。

Windows☞ 本書 16 ページ「プリンタドライバの起動方法」
Mac OS 9☞ 本書 76 ページ「プリンタドライバの起動方法」
Mac OS X☞ 本書 116 ページ「プリンタドライバの起動方法」

- Windows の場合

- Mac OS 9 の場合

- Mac OS X の場合

2 Windows または Mac OS 9 の場合は、［詳細設定］を選択して、［設定変更］をクリックします。Mac OS X の場合は、リストから［プリンタのカラー調整］を選択します。

- Windows の場合

- Mac OS 9 の場合

- Mac OS X の場合

3 ［マニュアル色補正］を選択し、以下に説明する①から⑥の各項目を設定します。

- Windows の場合

- Mac OS 9 の場合

- Mac OS X の場合

①	色補正方法	次の「色補正方法」の設定に従い、印刷するデータの色バランスを整えます。 ■自然な色あい PX-7500S/PX-9500S の初期値です。機種毎にエプソン独自の色作りをしており、自然な発色状態になるように色処理をします。 ■あざやかな色あい 機種毎にエプソン独自の色作りをしており、彩度を上げ、色味を強くする処理をします。 ■ EPSON 基準色（sRGB）（PX-7500/PX-9500 のみ） PX-7500/PX-9500 の初期値。sRGB の色基準に合わせた色処理をします。従来の MAXART との互換性を持っています。 ■ Adobe RGB（PX-7500/PX-9500 のみ） Adobe RGB の色基準に合わせた色処理をします。
②	ガンマ	画像の明るい部分と暗い部分に影響を与えずに、その中間部分の明るさを調整します。 ■ 1.5 1.8 よりも、柔らかい感じの印刷をします。 ■ 1.8 本プリンタドライバの初期値です。 ■ 2.2 1.8 よりも硬い感じの印刷をします。
③	明度	画像全体の明るさを調整します。標準を 0 として、－ 25％～＋ 25％の間で、マイナス（－）方向には暗く、プラス（＋）方向には明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。
④	コントラスト	画像の明暗比を調整します。標準を 0 として、－ 25％～＋ 25％の間で調整します。プラス（＋）方向にスライドさせると、コントラストが上がり、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。マイナス（－）方向にスライドさせると、コントラストが落ち、画像の明暗の差が少なくなります。

⑤	彩度	画像の彩度（色のあざやかさ）を調整します。標準を 0 として、－ 25%～＋ 25%の間で調整します。プラス（＋）方向にスライドさせると、彩度が上がり色味が強くなります。マイナス（－）方向にスライドさせると彩度が落ちて色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。 ［カラー］で［黒］を選択した場合は調整できません。
⑥	シアン マゼンタ イエロー	それぞれの色の強さを調整します。標準を 0 として、－ 25%～＋ 25%の間で調整します。［カラー］で［黒］を選択した場合は調整できません。

4 その他の設定を確認して、［OK］（Windows）、［印刷］（Mac OS 9）、［プリント］（Mac OS X）をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

- Mac OS X の場合、［印刷］画面の［プリセット］で［別名で保存］を選択すると、ここでの設定を保存しておくことができます。保存した設定値は、［プリセット］で選択して呼び出します。
- Windows または Mac OS 9 の場合、［手動設定］画面の［保存 / 削除］をクリックすると、ここでの設定を保存しておくことができます。保存した設定値は、［基本設定］画面（Windows）、［印刷］画面（Mac OS 9）のリストボックスから呼び出します。

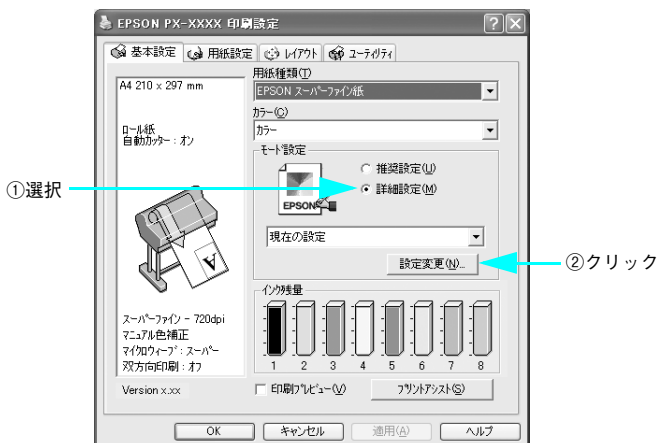
オートフォトファイン !6 による自動調整（Mac OS X 以外）

オートフォトファイン !6 は、画像データを最適な状態に自動色補正します。シャープネスなどの特殊効果も加えて印刷できます。画像データにカラーマネージメント情報がない場合や、手軽に色調整を行う場合に使用します。画像データの色領域を PX-7500S/PX-9500S では sRGB、PX-7500/PX-9500 では Adobe RGB と想定して、より好ましい色に調整して印刷します。

1 **プリンタドライバの［基本設定］画面（Windows）または［印刷］画面（Mac OS 9）を表示します。**

Windows☞ 本書 16 ページ「プリンタドライバの起動方法」
Mac OS 9☞ 本書 76 ページ「プリンタドライバの起動方法」

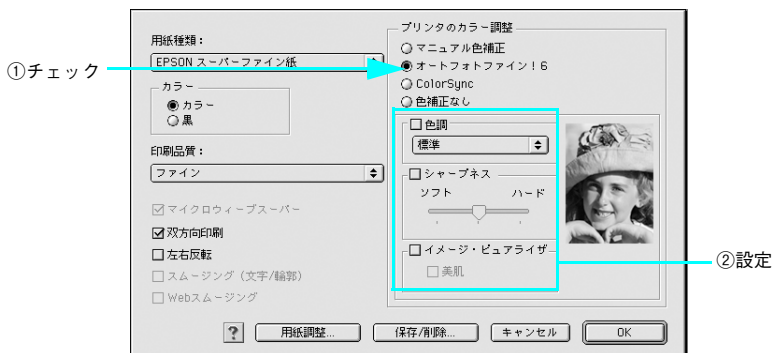
2 **［詳細設定］を選択して、［設定変更］をクリックします。**

- Windows の場合

- Mac OS 9 の場合

3 ［オートフォトファイン !6］をチェックして、印刷データにかける効果を選択します。

［色調］を変更できるのは PX-7500S/PX-9500S のみです。

- **Windows の場合**

- **Mac OS 9 の場合**

- ［色調］は「標準」「セピア」「モノクロ」から選択します。(PX-7500S/PX-9500Sのみ)
- ［シャープネス］では、ソフト / ハード（Windows）または弱 / 強（Mac OS 9）のスライドバーで、効果の強さを調節できます。
- ［イメージピュアライザ］ではデジタルカメラ画像などのノイズを低減します。また、「美肌」効果オン / オフの選択をします（「標準」「セピア」のみ適用できます）。

4 **その他の設定を確認して、［OK］（Windows）または［印刷］（Mac OS 9）をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

モノクロ印刷

モノクロ印刷について

モノクロ印刷には、以下の２種類があります。

種類	ドライバのカラー設定	用途
モノクロ印刷	黒	CAD 図面の線画など、黒インクだけで印刷します。
モノクロ写真 （PX-7500/PX-9500 のみ）	モノクロ写真	モノクロ写真印刷用の詳細設定画面を使って、アプリケーションで加工することなく、階調豊かなモノクロ写真印刷が可能です。印刷時に補正されるだけでデータそのものは変更しません。

PX-7500/PX-9500 では、マットブラックインクとフォトブラックインクの使い分けができます。マットブラックインクとフォトブラックインクによって選択可能な用紙種類が異なりますので、必要に応じてブラックインクの種類変更を行ってください。
本書 351 ページ「ブラックインク種類変更（PX-7500/PX-9500 のみ）」
使い方ガイド（冊子）「用紙の仕様と設定 」

モノクロ印刷についての詳細は、以下を参照してください。
本書 213 ページ「モノクロ印刷の設定」

モノクロ写真印刷についての詳細は、以下を参照してください。
本書 216 ページ「モノクロ写真印刷の詳細設定（PX-7500/PX-9500 のみ）」

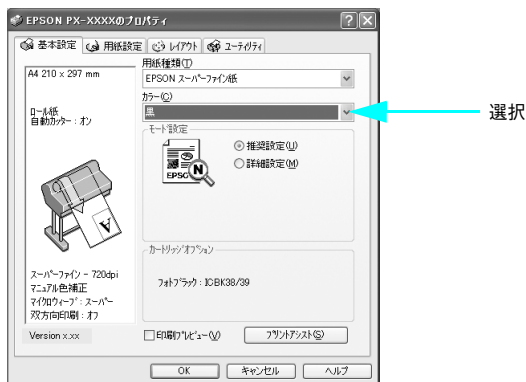
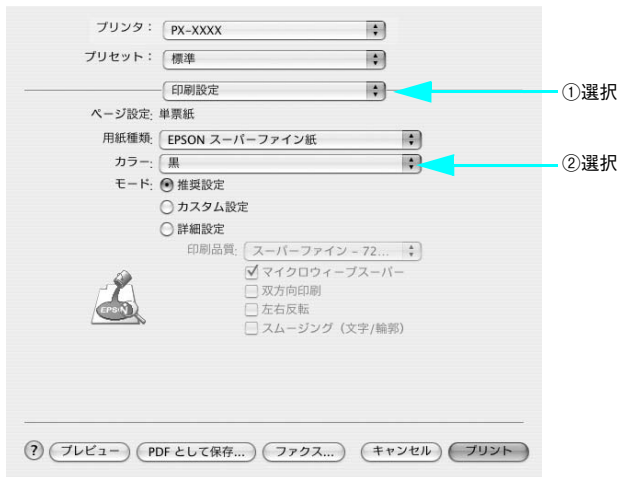
モノクロ印刷に適した用紙についての詳細は、以下を参照してください。
使い方ガイド（冊子）「用紙の仕様と設定」

モノクロ印刷で使用している場合でも、クリーニングを行うと黒インク以外のインクも消費します。

モノクロ印刷の設定

CAD 図面や線画など、黒をくっきりさせるモノクロ印刷を行うときは、プリンタドライバのカラー設定で「黒」を設定します。

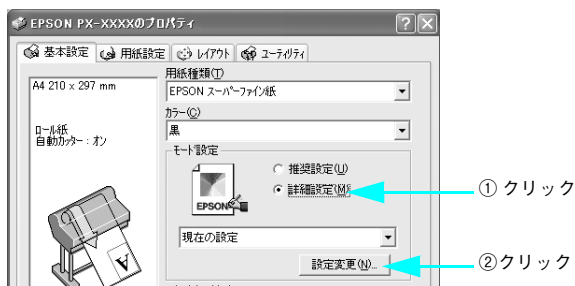
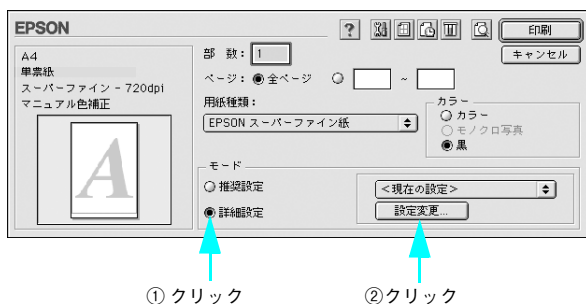
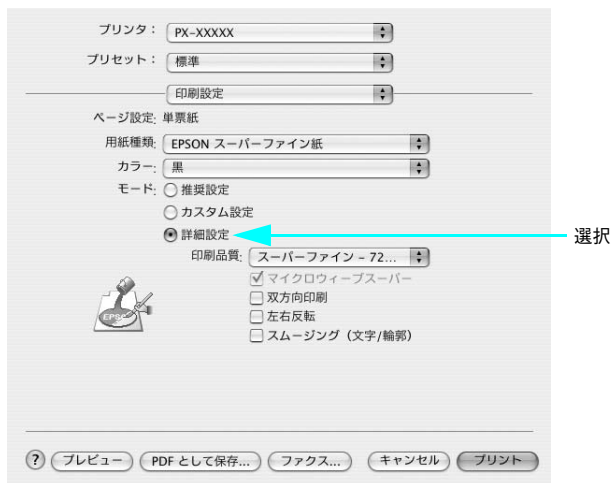
1 プリンタドライバの［基本設定］画面で、［黒］を選択し、各項目を設定します。

Windows☞ 本書 16 ページ「プリンタドライバの起動方法」
Mac OS 9☞ 本書 77 ページ「［印刷］画面を表示する」
Mac OS X☞ 本書 117 ページ「［印刷］画面を表示する」

- Windows

- Mac OS 9

- Mac OS X

2 **必要に応じて [詳細設定] を選択し、[設定変更] をクリックします。**

Mac OS X の場合は［詳細設定］をクリックすると［詳細設定］画面が表示されます。

- Windows

- Mac OS 9

• Mac OS X

3 **以降はカラー印刷と同様の手順で設定をします。**

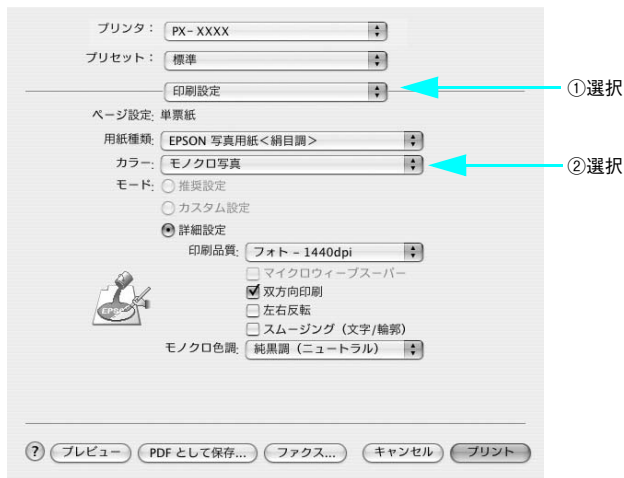
☞ 本書 205 ページ「プリンタドライバによる色調整」

モノクロ写真印刷の詳細設定（PX-7500/PX-9500 のみ）

PX-7500/PX-9500 では､プリンタドライバのモノクロ写真印刷用の詳細設定画面を使って、アプリケーションで加工することなく、階調豊かなモノクロ写真印刷が可能です（印刷時に補正を行うだけで、データそのものは変更されません）。
モノクロ写真印刷は、モノクロ写真印刷に適した用紙で行う必要があります。詳細は、以下を参照してください。
☞ 使い方ガイド（冊子）「用紙の仕様と設定」

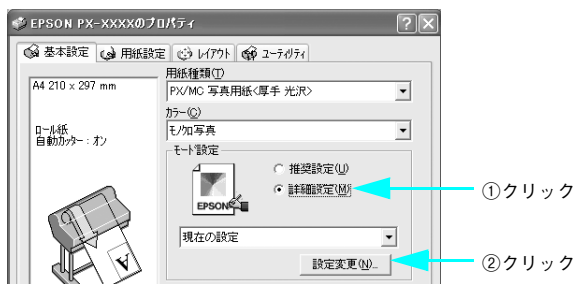
1 **プリンタドライバの［基本設定］画面で［モノクロ写真］（PX-9500）を選択し、各項目を設定します。**

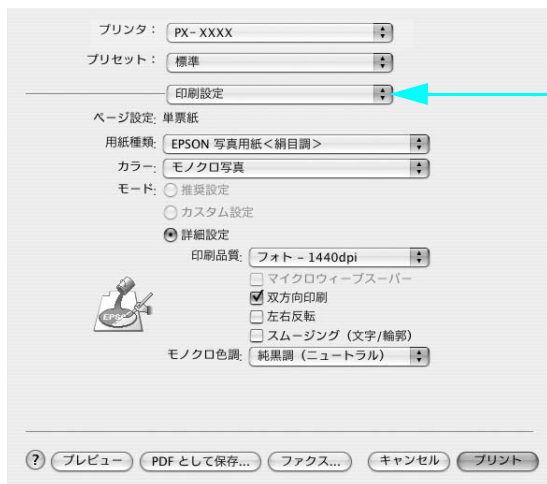
Windows☞ 本書 16 ページ「プリンタドライバの起動方法」
Mac OS 9☞ 本書 77 ページ「［印刷］画面を表示する」
Mac OS X☞ 本書 117 ページ「［印刷］画面を表示する」

- Windows

- Mac OS 9

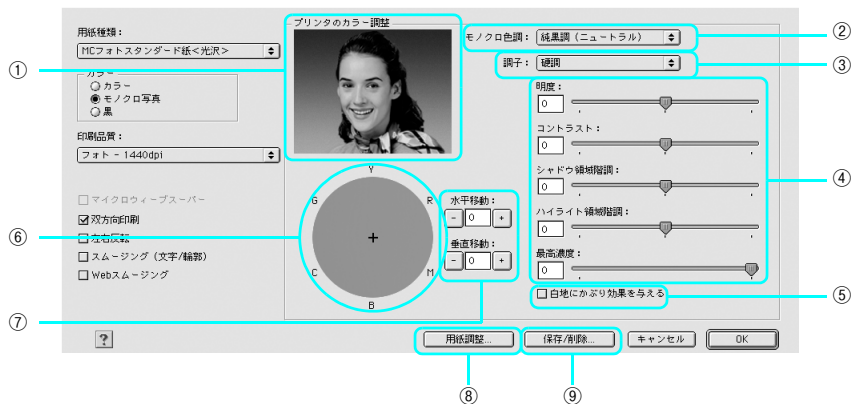
- Mac OS X

2 ［詳細設定］を選択し、［設定変更］をクリックします。

- Windows

- Mac OS 9

- **Mac OS X**
  OS X の場合は、[プリンタのカラー調整] をクリックしてから手順 ❸ に進みます。

❸ 各項目を設定します。

- **Windows**

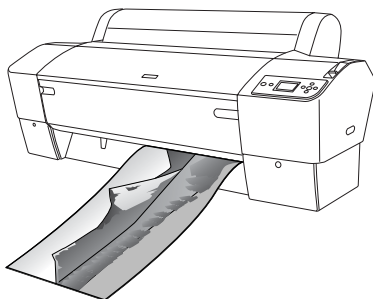
- Mac OS 9

- Mac OS X

①	プレビューウィンドウ	設定した色調のサンプル画像が表示されます。
②	モノクロ色調	代表的な色調が選択できます。 純黒調（ニュートラル）、冷黒調（クール）、温黒調（ ウォーム ）、セピアから選択します。 より詳細な調整をするには③～⑦を使用します。このとき、「手動設定」の表示になります。
③	調子	調子を変更します。次の項目から選択します。 軟調、標準、やや硬調、硬調、より硬調
④	詳細設定	スライドバーを動かして設定します。数値入力もできます。
⑤	白地にかぶり効果を与える	チェックボックスをチェックすると、微量のインクを画像全体に付加して印刷することで、白色部分（紙地）と色のある部分との質感の差をなくします。 本書の巻頭には、この機能の効果を強調した印刷サンプルが掲載されています。
⑥	色調	色調の一覧です。マウスでクリックすると、クリックした部分の色調が設定されます。
⑦	座標入力	⑥での座標位置を表示します。数値入力もできます。
⑧	用紙調整	エプソン純正専用紙以外の用紙を使用する場合に、この画面で用紙（ユーザー用紙）の特性に合わせて項目を設定します。
⑨	保存 / 削除	設定を保存できます。 • 設定を保存する場合は、［保存 / 削除］をクリックした後、名称を入力して、［保存］をクリックします。 • 保存した設定は、「基本設定」のモード設定で［詳細設定］を選択すると、呼び出すことができます。 • 保存した設定を削除する場合は、［保存 / 削除］をクリックした後、削除したい設定をリストから選択し、［削除］をクリックします。

4 設定が終わったら、［OK］をクリックします。

以上で設定は完了です。

長尺印刷

ロール紙を使って、横断幕や垂れ幕、パノラマ写真などを印刷できます。

長尺印刷には、以下の 2 種類があります。

プリンタドライバの［給紙方法］	使用可能なアプリケーションソフト
ロール紙	一般的な文書作成ソフト、画像編集ソフトなど
［ロール紙 長尺モード］	長尺印刷対応ソフト

印刷可能な用紙サイズは、以下の通りです。

	PX-7500/PX-7500S	PX-9500/PX-9500S
用紙幅	203mm ～ 610mm	203mm ～ 1118mm
用紙長さ*	Windows 2000/XP：最大 15000mm Windows 98/Me： 最大 2300mm Mac OS 9： 最大 2301.2mm Mac OS X： 最大 15240mm	Windows 2000/XP： 最大 15000mm Windows 98/Me： 最大 2300mm Mac OS 9： 最大 2301.2mm Mac OS X： 最大 15240mm

* 長尺印刷対応のアプリケーションソフトを使用すれば、「用紙長さ」以上の印刷も可能です。ただし、実際に印刷可能な長さは、アプリケーションソフトの仕様、プリンタにセットした用紙の長さ、コンピュータの環境などにより変わります。

アプリケーションの設定

アプリケーション側で、長尺印刷向けに印刷データの作成と設定をします。
アプリケーション側では、印刷したい用紙サイズの等倍、または任意の倍率で縮小した「ユーザー定義サイズ」で原稿を作成し、プリンタドライバの［拡大／縮小］－［フィットページ］機能（Mac OS X 以外）を使用して印刷します。
Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint、での設定と印刷方法については、以下のページを参照してください。

本書 230 ページ「アプリケーションごとの設定例（Windows のみ）」

プリンタドライバの設定

Windows の場合

1 プリンタドライバの設定画面を表示します。

☞ 本書 16 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2 ［基本設定］タブをクリックし、［用紙種類］を選択します。

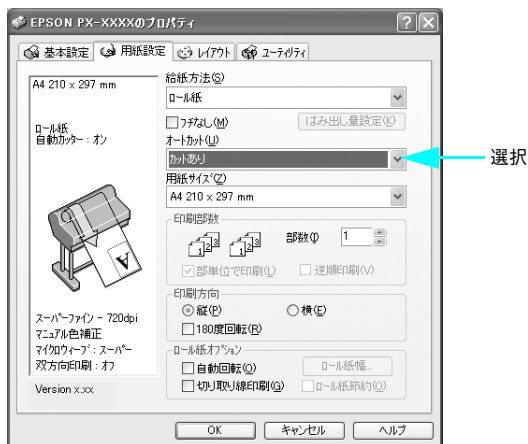
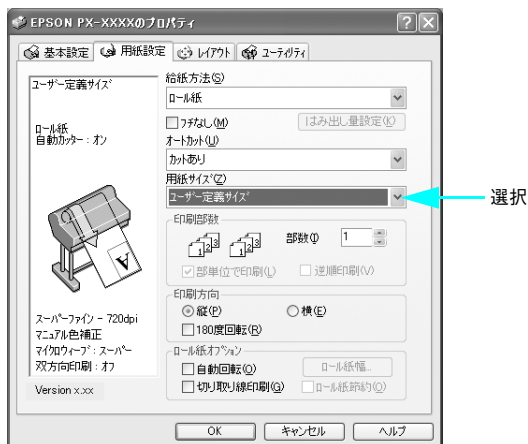
プリンタにセットした用紙の種類に合わせて［用紙種類］を選択します。

☞ 本書 301 ページ「エプソン純正専用紙」

［印刷プレビュー］をチェックすると、印刷を実行する前にプレビュー画面が表示され、印刷イメージを確認できます。

3 ［用紙設定］タブをクリックし、［給紙方法］で［ロール紙］または［ロール紙 長尺モード］を選択します。

［ロール紙 長尺モード］は、長尺印刷対応のアプリケーションソフトでのみ使用できます。

4 ［オートカット］で、［カットあり］または［カットなし］を選択します。

5 ［用紙サイズ］で、アプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

［ユーザー定義サイズ］で自由に用紙サイズを設定できます。

OS	項目	PX-7500/PX-7500S	PX-9500/PX-9500S
Windows2000/XP	用紙幅	89mm ～ 610mm	89mm ～ 1118mm
	用紙長さ	127mm ～ 15000mm	127mm ～ 15000mm
Windows98/Me	用紙幅	89mm ～ 610mm	89mm ～ 1118mm
	用紙長さ	127mm ～ 2300mm	127mm ～ 2300mm

印刷可能な用紙のサイズは、本書 221 ページを参照してください。

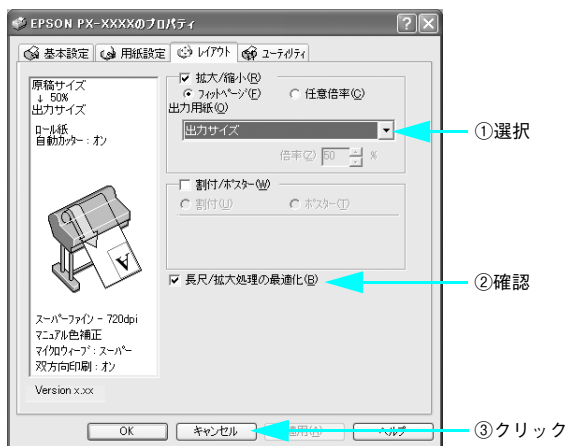
長尺印刷対応のアプリケーションソフトの場合、［給紙方法］で［ロール紙 長尺モード］を選択すれば［ユーザー定義サイズ］を設定する必要ありません。プリンタにセットした用紙のサイズを選択し、8 へ進んでください。

［ユーザー定義サイズ］の作成方法は、以下を参照してください。

本書 230 ページ「アプリケーションごとの設定例（Windows のみ）」

6 ［レイアウト］タブをクリックして、［拡大 / 縮小］をチェックし、［フィットページ］を選択します。

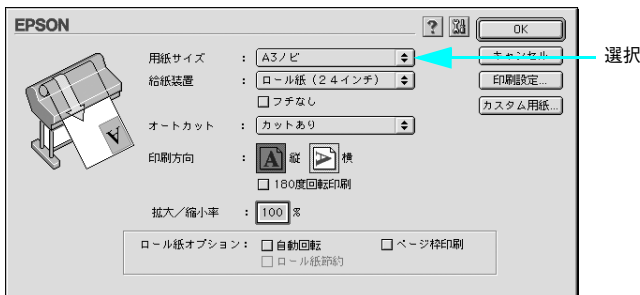
長尺印刷対応のアプリケーションソフトの場合、［給紙方法］で［ロール紙 長尺モード］を選択すれば［フィットページ］を選択する必要ありません。8 へ進んでください。

7 ［出力用紙］に印刷したい用紙のサイズを設定し、［長尺 / 拡大処理の最適化］にチェックが付いていることを確認し、［OK］をクリックします。

8 ［印刷］をクリックして、印刷を実行します。

Mac OS 9 の場合

1 **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**

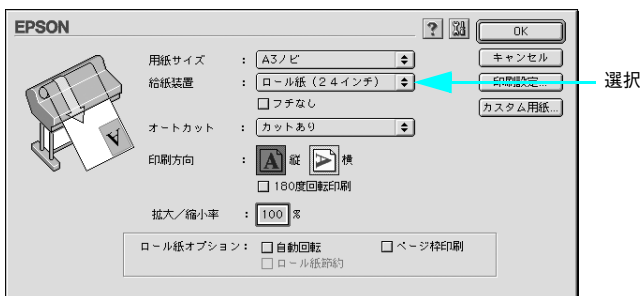
☞ 本書 76 ページ「プリンタドライバの起動方法」

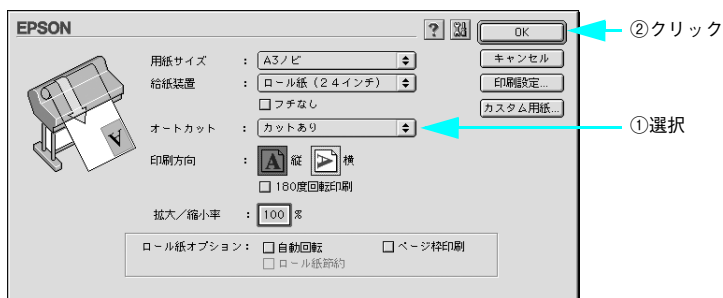
2 **［用紙サイズ］で、アプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。**

［カスタム用紙］で自由に用紙サイズを設定できます。

項目	PX-7500/PX-7500S	PX-9500/PX-9500S
用紙幅	89mm ～ 610mm	89mm ～ 1118mm
用紙長さ	127mm ～ 2301.2mm	127mm ～ 2301.2mm

印刷可能な用紙のサイズは、本書 221 ページを参照してください。

長尺印刷対応のアプリケーションソフトの場合、［給紙装置］で［ロール紙 長尺モード］を選択すれば［カスタム用紙］を設定する必要ありません。プリンタにセットした用紙のサイズを選択し、8 へ進んでください。

3 **［給紙装置］で、［ロール紙］または［ロール紙　長尺モード］を選択します。**

［ロール紙 長尺モード］は、長尺印刷対応のアプリケーションでのみ使用できます。

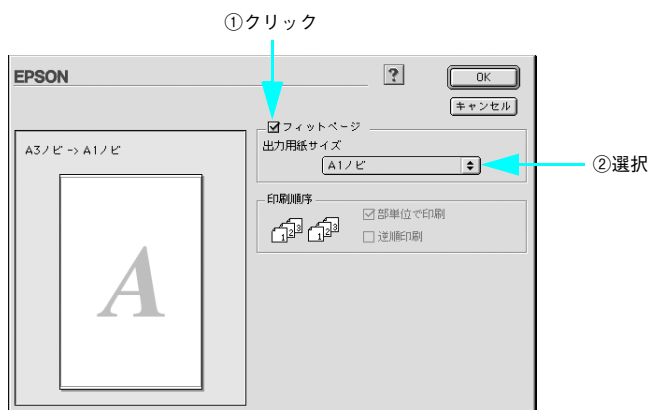
4 ［オートカット］で［カットあり］または［カットなし］を選択して、[OK］をクリックします。

5 プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。

☞ 本書 77 ページ「[印刷］画面を表示する」

6 をクリックします。

参考

- 長尺印刷対応のアプリケーションソフトの場合、［給紙装置］で［ロール紙長尺モード］を選択すれば［フィットページ］を設定する必要ありません。❽ へ進んでください。
- ［用紙設定］画面から［印刷設定］をクリックして表示される［印刷設定］画面には、は表示されません。必ず以下のページに記載されている方法で［印刷］画面を表示してください。
☞ 本書 76 ページ「プリンタドライバの起動方法」

7 ［フィットページ］をチェックし、［出力用紙サイズ］から印刷したい用紙のサイズを選択します。

8 ［OK］をクリックして画面を閉じ、そのほかの設定を確認して、印刷を実行します。

Mac OS X の場合

1 **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**

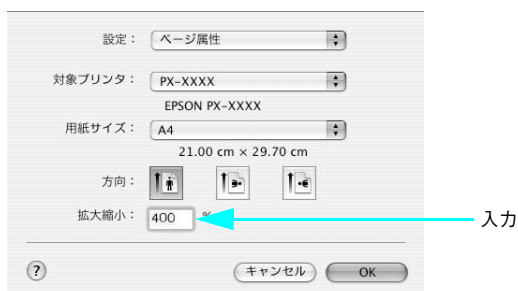
☞ 本書 116 ページ「［用紙設定］画面を表示する」

2 **［対象プリンタ］で本機を選択し、［用紙サイズ］で、アプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。**

［カスタム用紙］で自由に用紙サイズを設定できます。

項目	PX-7500/PX-7500S	PX-9500/PX-9500S
用紙幅	89mm ～ 610mm	89mm ～ 1118mm
用紙長さ	127mm ～ 15240mm	127mm ～ 15240mm

印刷可能な用紙のサイズは、本書 221 ページを参照してください。ただし、Mac OS X の標準機能を利用した拡大・縮小印刷のみ、可能です。

3 **印刷する用紙のサイズに合わせて、アプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを拡大する倍率を指定します。**

4 **［OK］をクリックして画面を閉じ、［印刷］画面を表示して印刷を実行します。**

アプリケーションごとの設定例（Windows のみ）

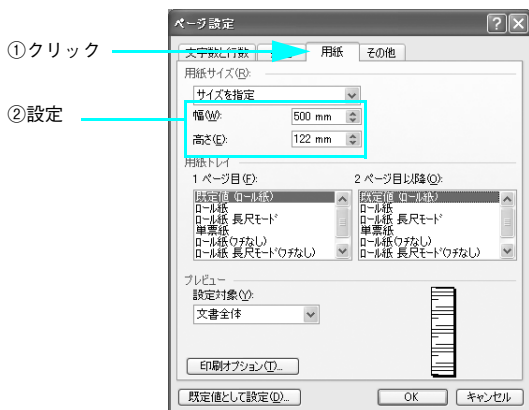
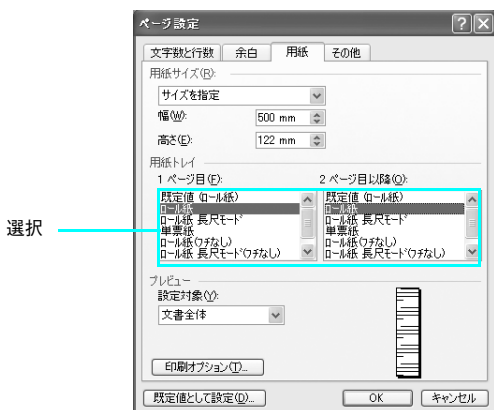
ここでは、Microsoft Word 2003 、Microsoft Excel 2003、Microsoft PowerPoint 2003 を例に、それぞれのアプリケーションで長尺印刷する場合の設定と印刷方法を説明します。

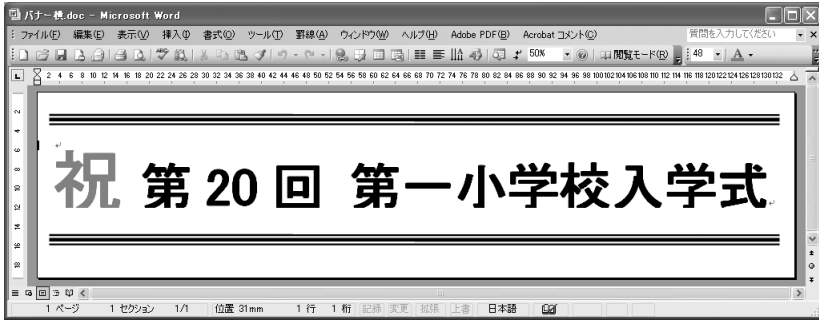
Microsoft Word 2003 の場合

A1 ノビ（24 インチ（610mm））幅のロール紙で、長さ 2.5m（2500mm）の横断幕を作成します。
Microsoft Word では、実寸の４分の 1 に縮小した原稿を作成します。

1. Microsoft Word 2003 を起動します。

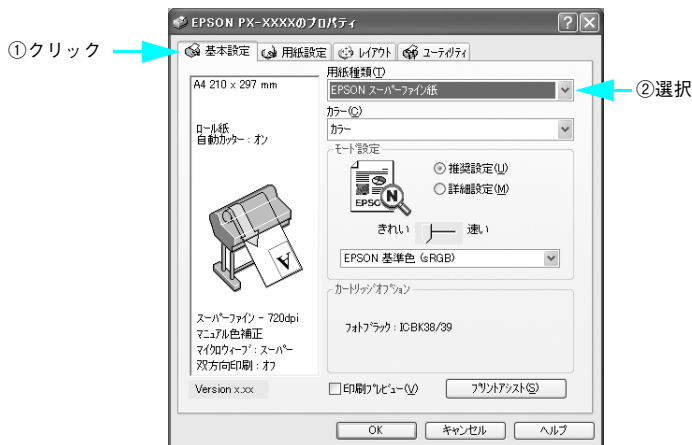
2 ［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択し、［用紙］タブをクリックして、［幅］と［高さ］を以下のように設定します。

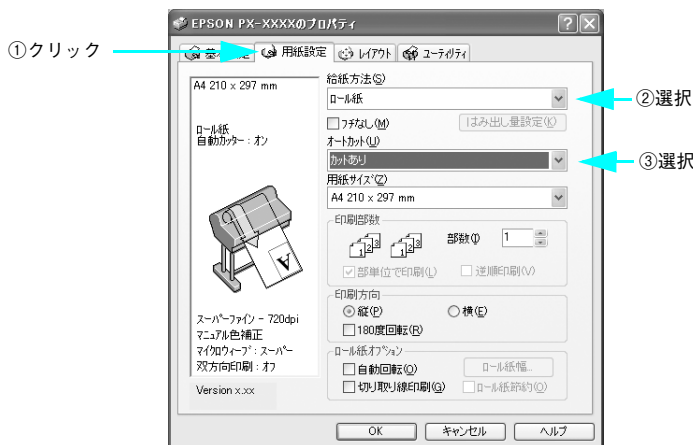
項目	設定値
［幅］	2.5m（2500mm）の 5 分の 1 ＝ 500mm
［高さ］	A1 ノビ（610mm）の 5 分の 1 ＝ 122mm

3 同じ画面の［用紙トレイ］で、［1 ページ目］と［2 ページ目以降］とも［ロール紙］を選択します。

4 必要に応じて、その他の項目を設定し、［OK］をクリックします。

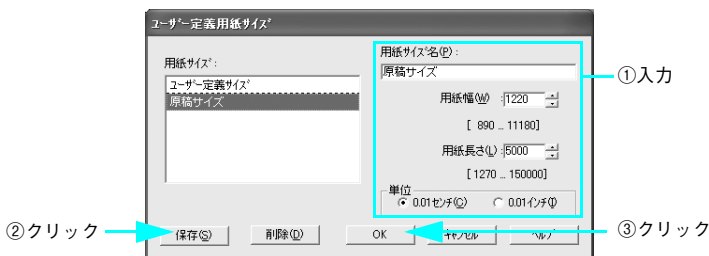
5 Microsoft Word 2003 で原稿を作成します。

6 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択し、本機を選択して、「プロパティ」をクリックします。

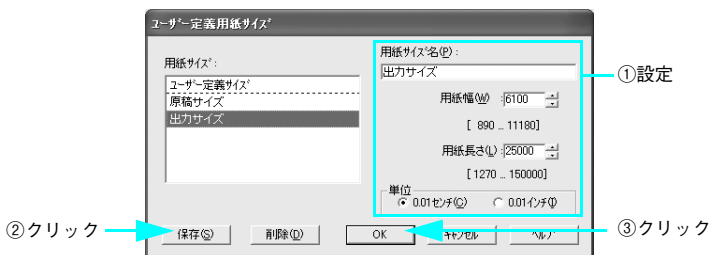
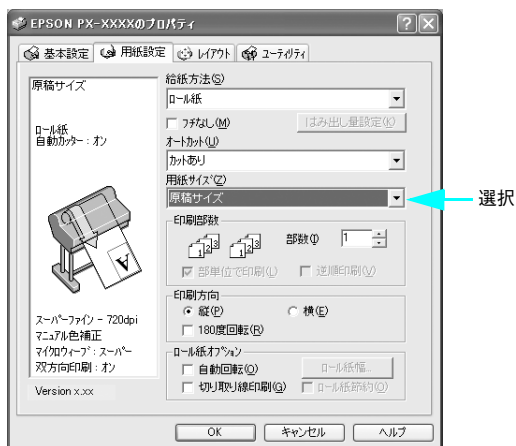
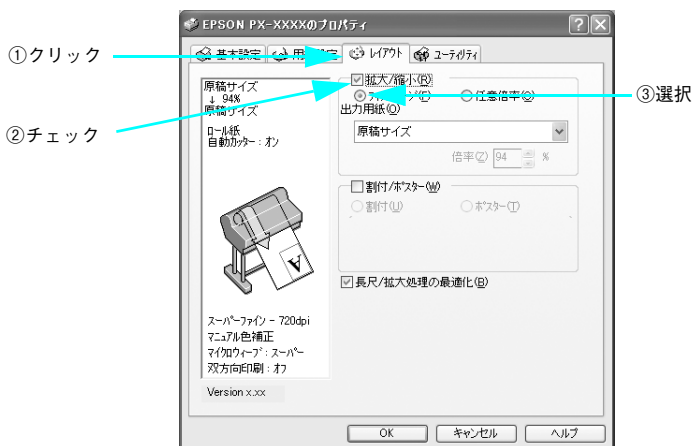
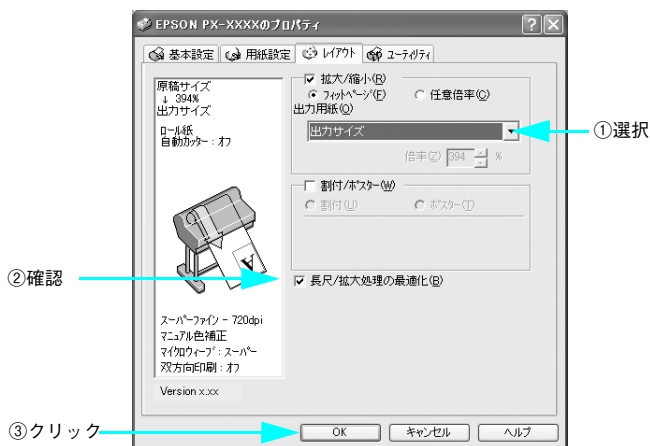
7 **［基本設定］タブをクリックし、［用紙種類］を選択します。**

プリンタにセットした用紙の種類に合わせて［用紙種類］を選択します。

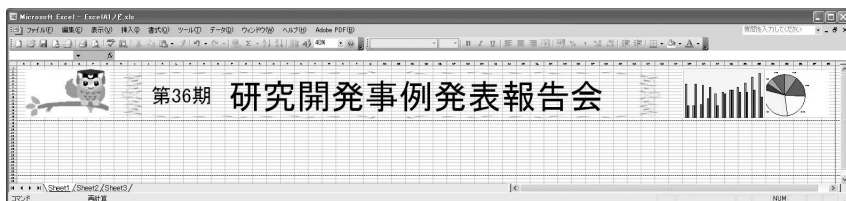
☞ 本書 301 ページ「エプソン純正専用紙」

［印刷プレビュー］をチェックすると、印刷を実行する前にプレビュー画面が表示され、印刷イメージを確認できます。

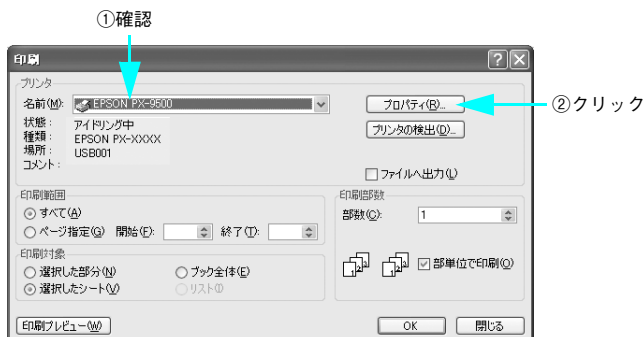
8 **［用紙設定］タブをクリックし、［給紙方法］を［ロール紙］に設定し、［オートカット］で［カットあり］または［カットなし］を選択します。**

9 ［用紙サイズ］に、アプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを設定します。

［ユーザー定義サイズ］を選択し、［用紙サイズ名］、［用紙幅］、［用紙長さ］を入力し、［保存］をクリックしてから、［OK］をクリックします。

10 9 と同様にして、印刷する用紙のサイズを設定します。

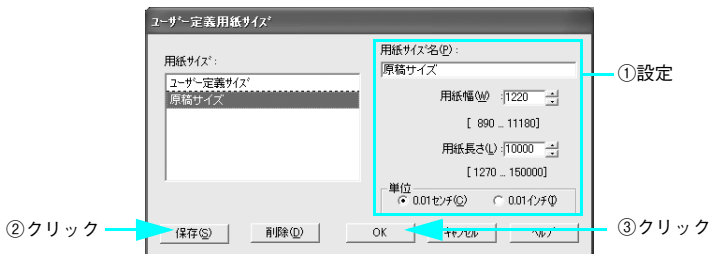
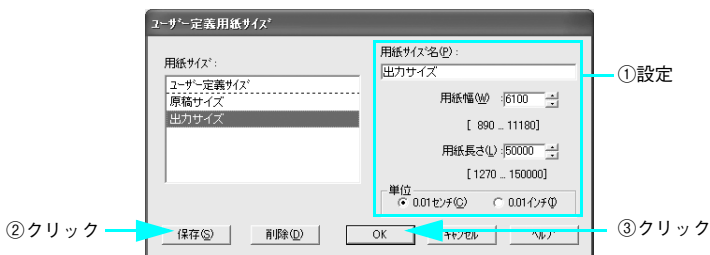
［用紙サイズ名］、［用紙幅］、［用紙長さ］を入力し、［保存］してから［OK］をクリックします。

11 ［用紙サイズ］に、9 で設定した原稿のサイズを設定します。

⓬ ［レイアウト］タブをクリックし、［拡大 / 縮小］をチェックし、［フィットページ］をクリックします。

⓭ ［出力用紙］から、⓾ で設定した［出力サイズ］を選択し、［長尺 / 拡大処理の最適化］にチェックが付いていることを確認し、［OK］をクリックします。

⓮ ［印刷］をクリックして、印刷を実行します。

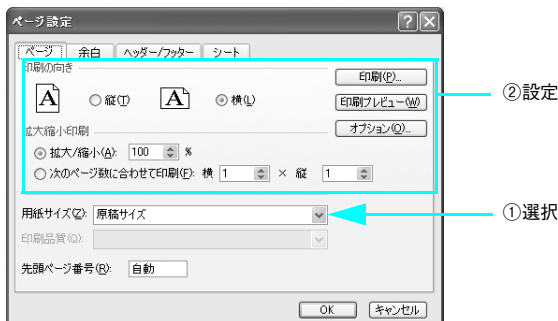
Microsoft Excel 2003 の場合

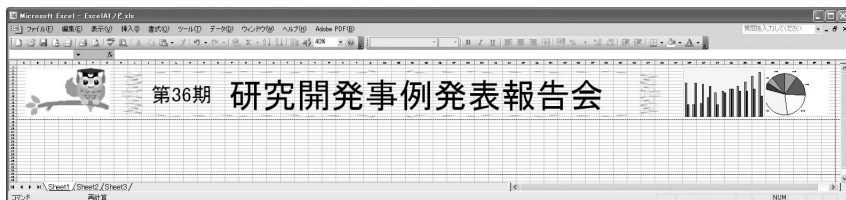
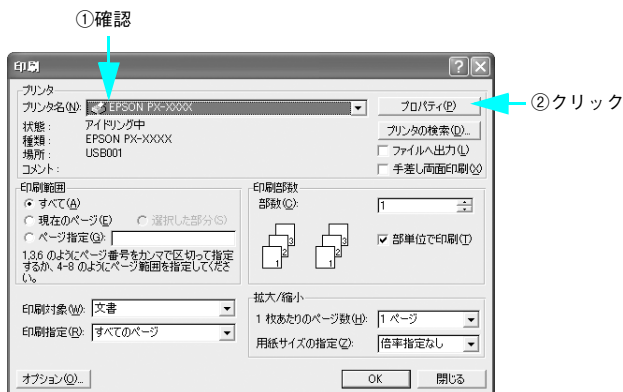
A1 ノビ（610mm）幅のロール紙で、長さ 5m（5000mm）の横断幕を作成します。
Microsoft Excel では、実寸の 5 分の 1 に縮小した原稿を作成します。

1. **Microsoft Excel 2003 を起動します。**

2. **作成する原稿のサイズと、印刷する用紙のサイズを設定します。**
［ファイル］メニューから［印刷］を選択し、本機を選択して、「プロパティ」をクリックします。

3. **［用紙設定］タブをクリックし、［用紙サイズ］から「ユーザー定義サイズ」を選択し、アプリケーションソフトで作成する原稿のサイズを以下のように設定します。**

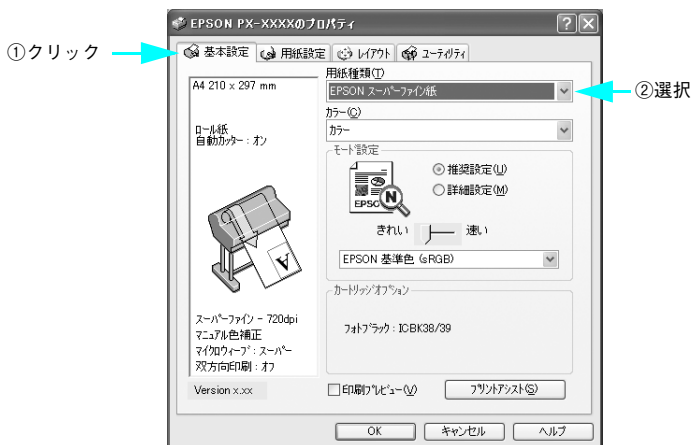
項目	設定値
［幅］	A1 ノビ（610mm）の 5 分の 1 ＝ 122mm
［高さ］	5m（5000mm）の 5 分の 1 ＝ 1000mm

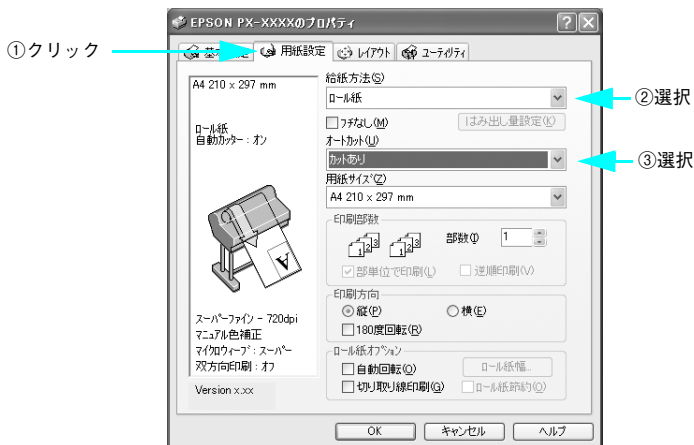
［用紙サイズ名］、［用紙幅］、［用紙長さ］を入力し、［保存］をクリックします。

4 **❸ と同様にして、印刷する用紙のサイズを設定します。**
［用紙サイズ名］、［用紙幅］、［用紙長さ］を入力し、［保存］してから［OK］をクリックします。

5 **［OK］をクリックし、プリンタウィンドウの画面を閉じます。**

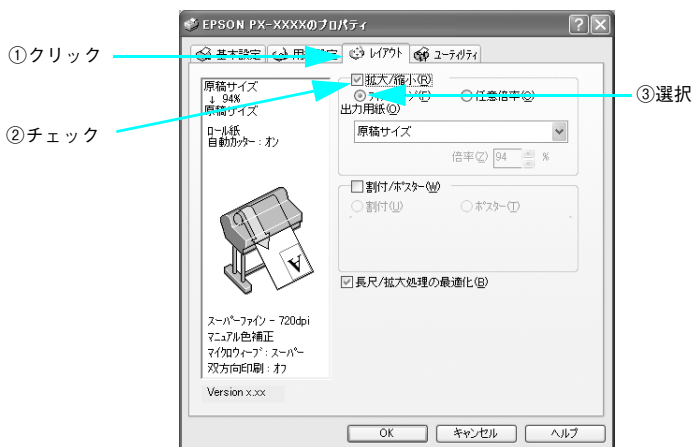
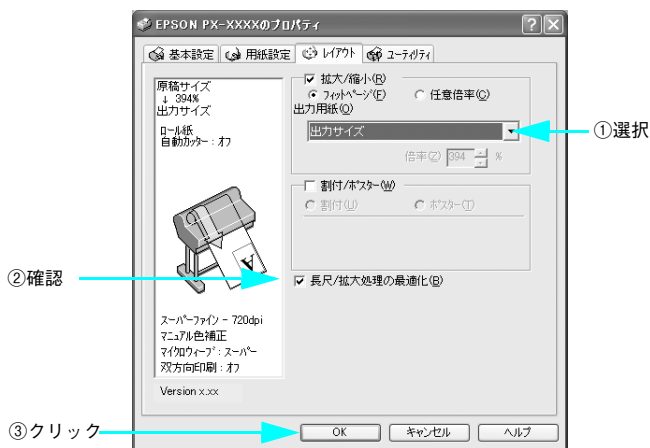
6 **［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択し、［ページ］タブをクリックし、［用紙サイズ］から、❸ で設定した［原稿サイズ］を選択します。**
必要に応じてその他の項目も設定します。

7 **［OK］をクリックして画面を閉じます。**

8 Microsoft Excel 2003 で原稿を作成します。

9 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択し、本機を選択して、［プロパティ］をクリックします。

10 ［基本設定］タブをクリックし、［用紙種類］を選択します。

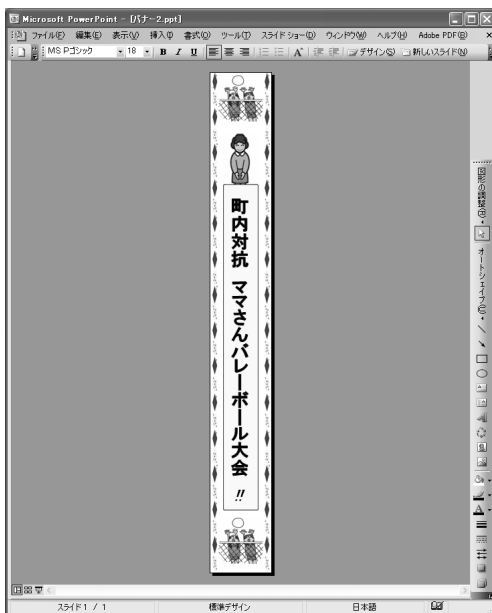
プリンタにセットした用紙の種類に合わせて［用紙種類］を選択します。

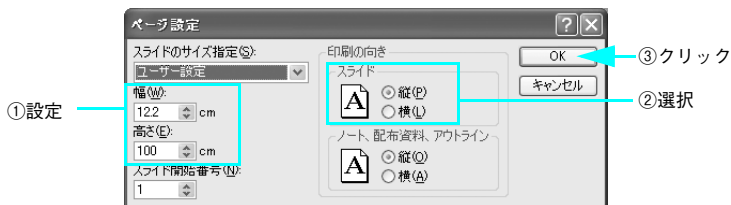
☞ 本書 301 ページ「エプソン純正専用紙」

［印刷プレビュー］をチェックすると、印刷を実行する前にプレビュー画面が表示され、印刷イメージを確認できます。

⑪ ［用紙設定］タブをクリックし、［給紙方法］を［ロール紙］に設定し、［オートカット］で［カットあり］または［カットなし］を選択します。

⑫ ［用紙サイズ］から、❸ で設定した［原稿サイズ］を選択します。

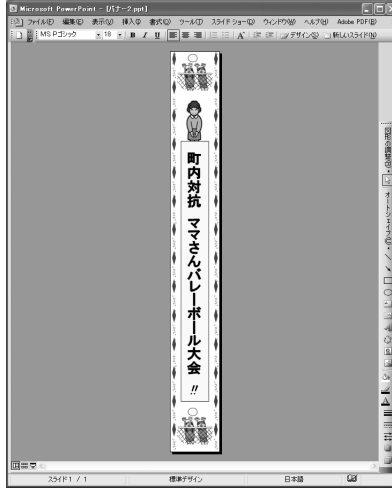
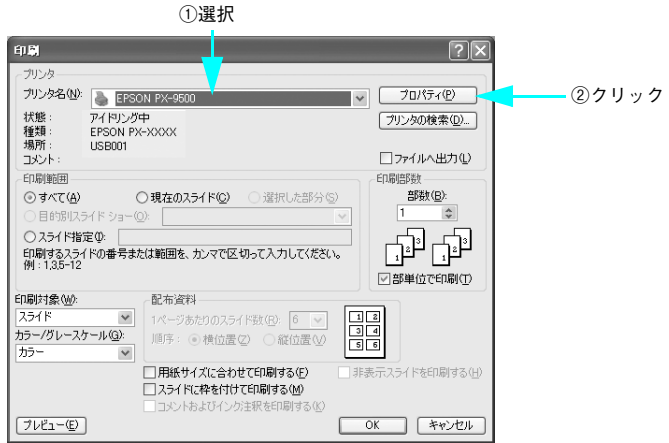
⑬ ［レイアウト］タブをクリックし、［拡大 / 縮小］をチェックし、［フィットページ］を選択します。

⑭ ［出力用紙］から、❹ で設定した［出力サイズ］を選択し、［長尺 / 拡大処理の最適化］にチェックが付いていることを確認し、［OK］をクリックします。

⑮ ［印刷］をクリックして、印刷を実行します。

Microsoft PowerPoint 2003 の場合

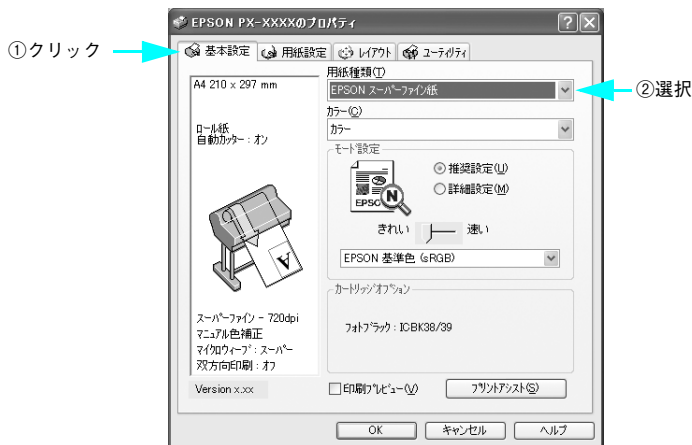
A1 ノビ（610mm）幅のロール紙で、長さ 5m（5000mm）の垂れ幕を作成します。PowerPoint では、実寸の 5 分の 1 に縮小した原稿を作成します。

1. Microsoft PowerPoint 2003 を起動します。

2. ［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択し、［用紙］タブをクリックして、［幅］と［高さ］を以下のように設定します。

項目	設定値
［幅］	A1 ノビ（610mm）の 5 分の 1 ＝ 12.2cm（122mm）
［高さ］	5m（5000mm）の 5 分の 1 ＝ 100cm（1000mm）

3. ［OK］をクリックして画面を閉じます。

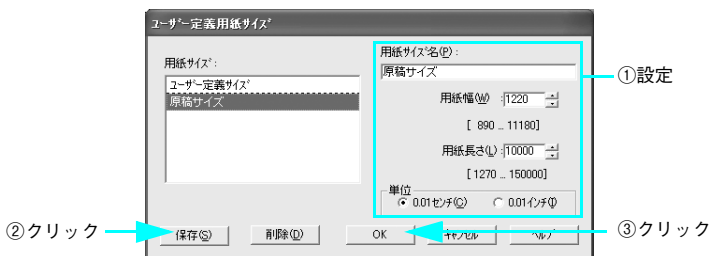
4 Microsoft PowerPoint 2003 で原稿を作成します。

5 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択し、本機を選択して、「プロパティ」をクリックします。

6 **［基本設定］タブをクリックし、［用紙種類］を選択します。**

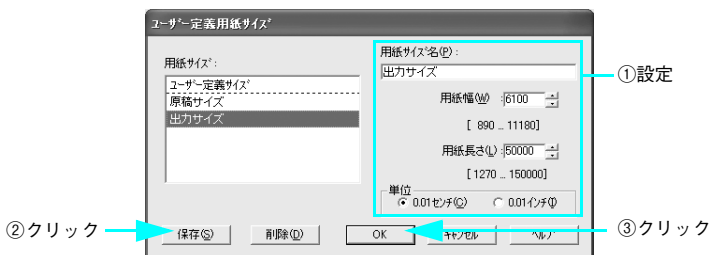
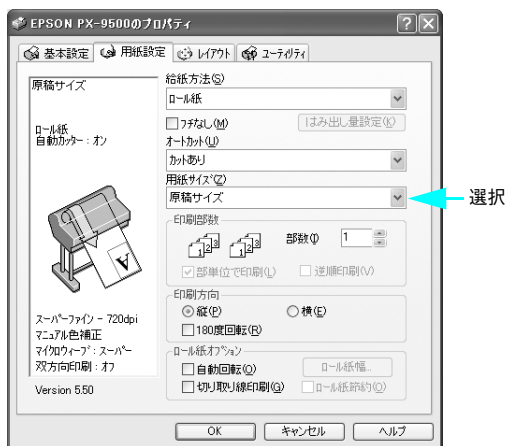
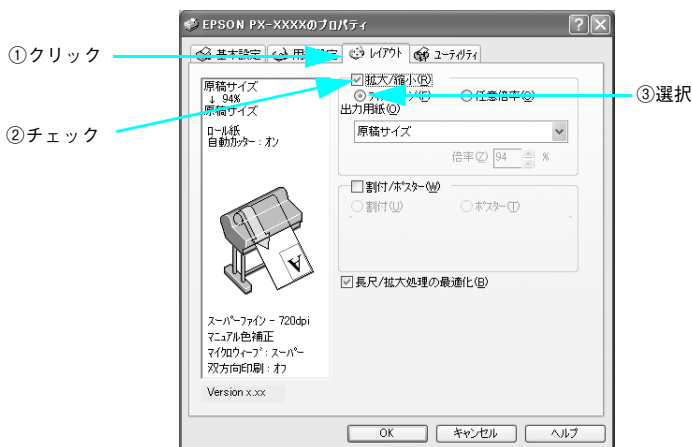
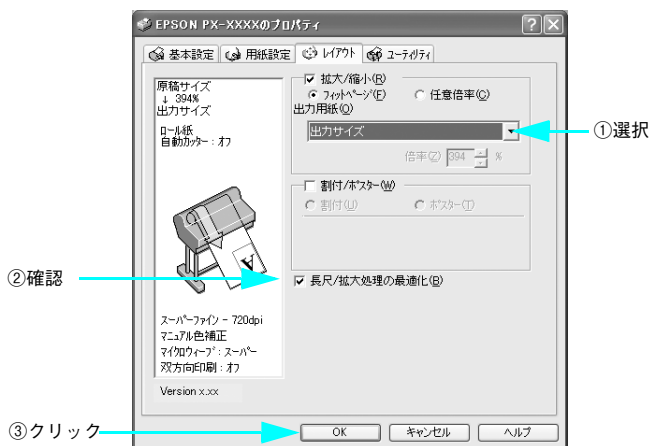
プリンタにセットした用紙の種類に合わせて［用紙種類］を選択します。

☞ 本書 301 ページ「エプソン純正専用紙」

［印刷プレビュー］をチェックすると、印刷を実行する前にプレビュー画面が表示され、印刷イメージを確認できます。

7 **［用紙設定］タブをクリックし、［給紙方法］を［ロール紙］に設定し、［オートカット］で［カットあり］または［カットなし］を選択します。**

8 ［用紙サイズ］に、アプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを設定します。

［ユーザー定義サイズ］を選択し、［用紙サイズ名］、［用紙幅］、［用紙長さ］を入力し、［保存］をクリックしてから、［OK］をクリックします。

9 8 と同様にして、印刷する用紙のサイズを設定します。

［用紙サイズ名］、［用紙幅］、［用紙長さ］を入力し、［保存］してから［OK］をクリックします。

10 ［用紙サイズ］から、8 で設定した［原稿サイズ］を選択します。

⑪ ［レイアウト］タブをクリックし、［拡大 / 縮小］をチェックし、［フィットページ］を選択します。

⑫ ［出力用紙］から、⑨ で設定した［出力サイズ］を選択し、［長尺 / 拡大処理の最適化］にチェックが付いていることを確認し、［OK］をクリックします。

⑬ ［印刷］をクリックして、印刷を実行します。

厚紙印刷

本機では、用紙厚 0.5mm 〜 1.5mm の厚紙を印刷できます。

用紙のセット方法

厚紙（用紙厚 0.5mm 〜 1.5mm）は、通常の単票紙とはセット方法が異なります。詳細は以下を参照してください。

☞ 使い方ガイド（冊子）「厚紙のセット」

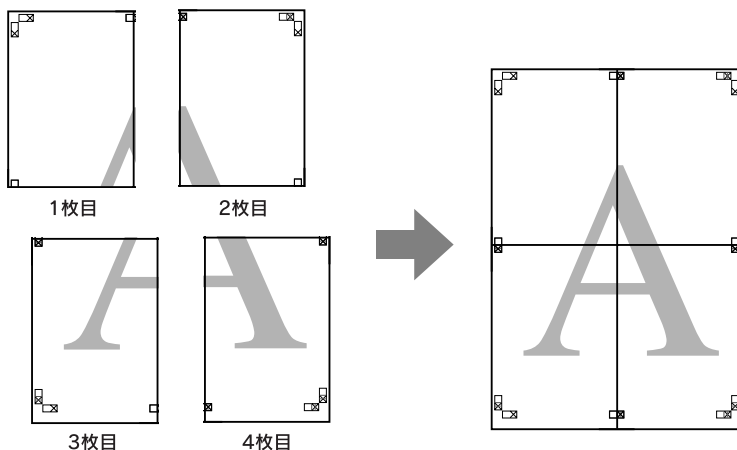
用紙の種類と設定

用紙の種類や適切な設定については、以下を参照してください。

☞ 使い方ガイド（冊子）「用紙の仕様と設定」

- エプソン純正専用紙以外の用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙の取扱説明書や用紙の購入先にお問い合わせください。
- 用紙は印刷する直前にセットすることをお勧めします。用紙を本機にセットしたまま放置すると、紙面に用紙抑えローラの跡が付くことがあります。

ポスター印刷（拡大分割して印刷）（Windows のみ）

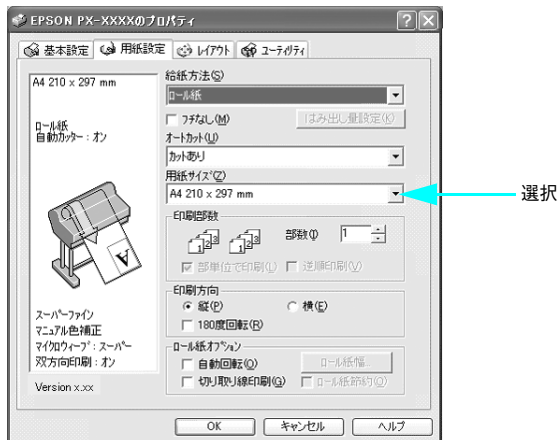
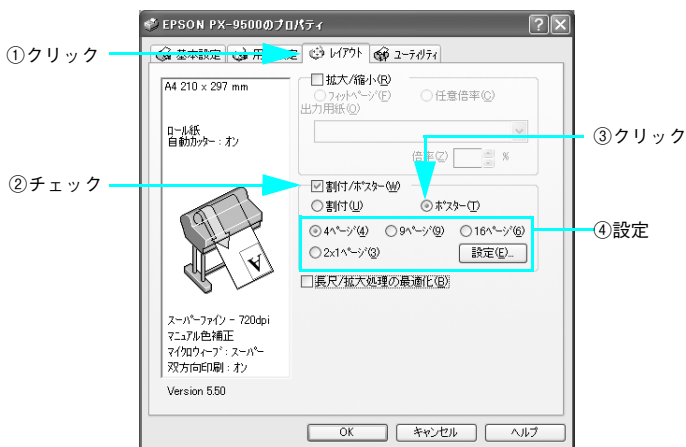
ポスター印刷機能は、印刷データを自動的に拡大分割して印刷できる機能です。印刷結果をつなぎ合わせると、大きなポスターやカレンダーを作ることができます。Mac OS では、この機能は使用できません。

! 注意	Windows98/Me では、仕上がりサイズが 2.3m を超える印刷はできません。

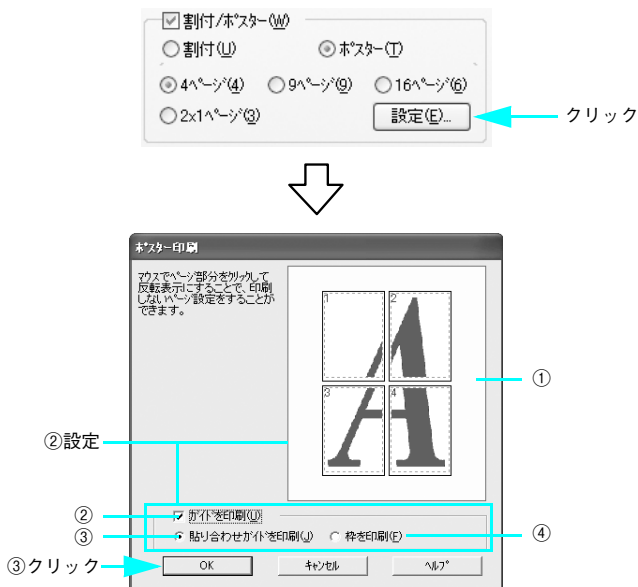
- ポスター印刷機能は、定形の単票紙またはロール紙のみで使用できます。
- フチなし印刷はできません。

1 プリンタドライバの設定画面を表示します。

本書 16 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2 [基本設定] タブをクリックし、[ロール紙] または [単票紙] を選択します。

3 ［用紙サイズ］から、印刷に使用する用紙のサイズを選択します。

4 ［レイアウト］タブをクリックして、［割付 / ポスター］をチェックし、［ポスター］をクリックして、何分割で印刷するかを設定します。

分割数が多いほど、印刷に使用する用紙の枚数が増え、大きなポスターを作成できます。

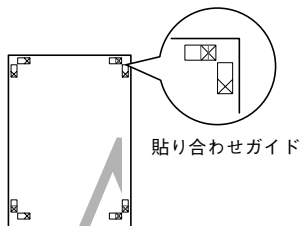
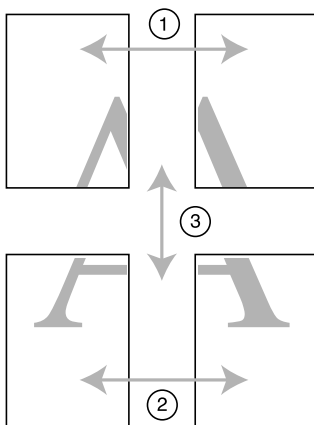
5 ［設定］をクリックして、①から④の項目を設定し、［OK］をクリックして元の画面に戻ります。

①	印刷面の選択	各ページをクリックすることで、分割したページの印刷する / しないを選択します。全体の中の一部を印刷したいときに便利です。印刷しない部分は、グレーで表示されます。
②	ガイドを印刷	貼り合わせるときに便利なガイドや枠線を印刷します。
③	貼り合わせガイドを印刷	貼り合わせるときに用紙を重ねられるように、部分的に重複して印刷します。また、貼り合わせるためのガイドも印刷します。
④	枠を印刷	余白部分を切り取る際の枠線を印刷します。

貼り合わせ後の仕上がりサイズについて
［枠を印刷］を選択したときとしないときの仕上がりサイズは同じになりますが、［貼り合わせガイドを印刷］を選択した場合は、重ね合わせ分だけ小さくなります。

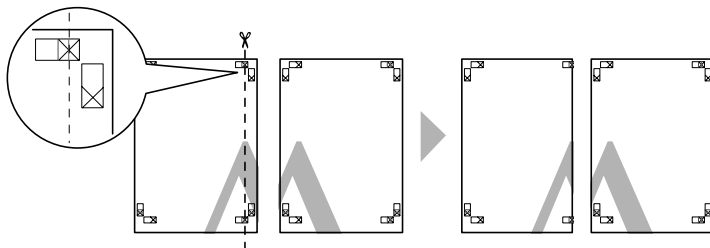
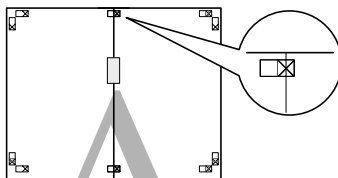
6 そのほかの設定を確認し、［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

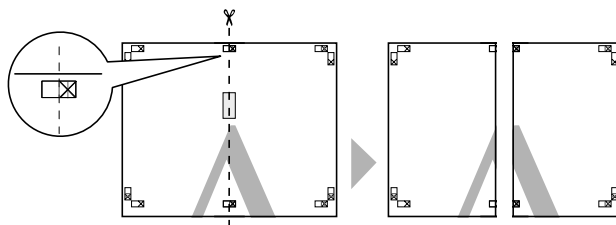
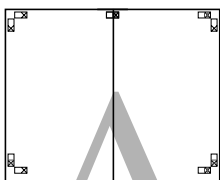
以上でポスター印刷は終了です。

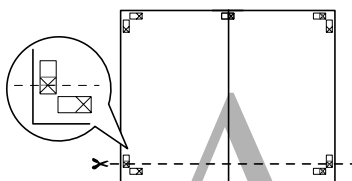
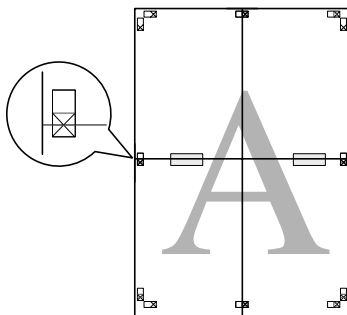
貼り合わせガイド印刷時の用紙の貼り合わせ方

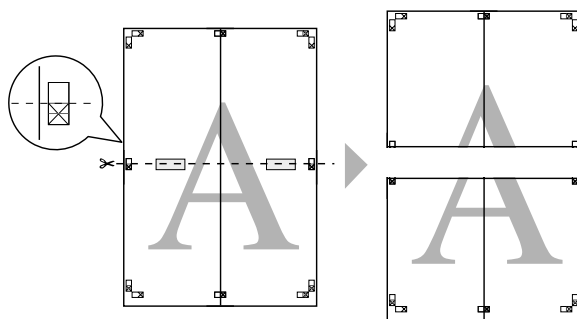
［貼り合わせガイド印刷］を選択して印刷すると、下図のような貼り合わせガイドを印刷します。ここでは、その貼り合わせガイドを使用して、4 枚の用紙を貼り合わせる方法を説明します。

4 枚の用紙を貼り合わせる場合は、下図の順番で貼り合わせます。

貼り合わせ手順

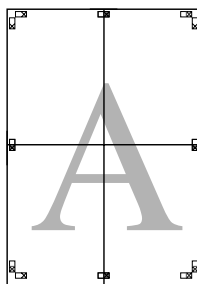
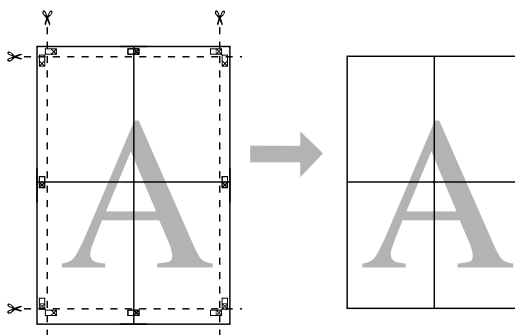
1. **上段 2 枚の用紙を用意して、まず左側の用紙の貼り合わせガイド（縦方向の青線）を結ぶ線で切り落とします。**

   モノクロ印刷の場合、貼り合わせガイドは黒線になります。

2. **切り落とした左側の用紙を、右側の用紙の上に重ねます。このとき、貼り合わせガイドの×印を図のように重ね、裏面にテープを貼って仮止めします。**

3. **2 枚の用紙を重ねたまま、貼り合わせガイド（縦方向の赤線）を結ぶ線で切り落とします。**

   モノクロ印刷の場合、貼り合わせガイドは黒線になります。

4 **2 枚の用紙の切り落とした辺を貼り合わせます。**
裏面にテープなどを貼り、つなぎ合わせてください。

5 **下段の 2 枚の用紙も、1 〜 4 に従って貼り合わせます。**

6 **上段の用紙の貼り合わせガイド（横方向の青線）を結ぶ線で切り落とします。**
モノクロ印刷の場合、貼り合わせガイドは黒線になります。

7 **切り落とした上段の用紙を、下段の用紙の上に重ねます。このとき、貼り合わせガイドの×印を図のように重ね、裏面にテープを貼って仮止めします。**

8 **2 枚の用紙を重ねたまま、貼り合わせガイド（横方向の赤線）を結ぶ線で切り落とします。**

モノクロ印刷の場合、貼り合わせガイドは黒線になります。

9 **2 枚の用紙の切り落とした辺を貼り合わせます。**

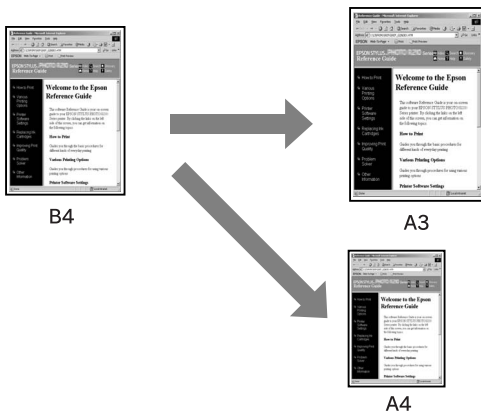
裏面にテープなどを貼り、つなぎ合わせてください。

10 **すべての用紙を貼り合わせたら、外側の切り取りガイドに合わせて余白を切り取ります。**

これで、大きなポスターの完成です。

拡大 / 縮小印刷

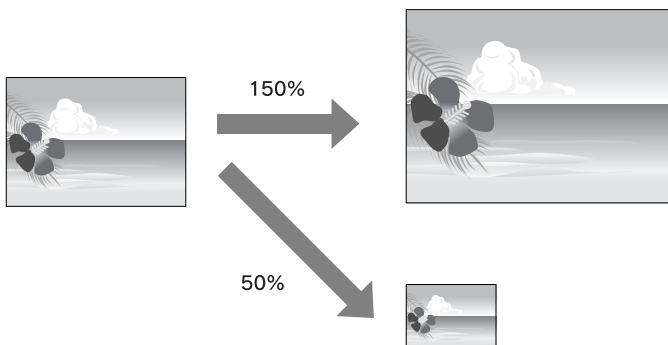
原稿を拡大または縮小して印刷できます。設定方法には以下の 2 種類があります。

フィットページ印刷

印刷する用紙サイズを選択するだけで自動的に用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小して印刷できます。

本書 255 ページ「フィットページ印刷（Mac OS X 以外）」

任意倍率設定

定形外の用紙サイズの場合など、拡大 / 縮小率を任意に設定して印刷できます。

本書 259 ページ「任意倍率設定印刷」

フィットページ印刷（Mac OS X 以外）

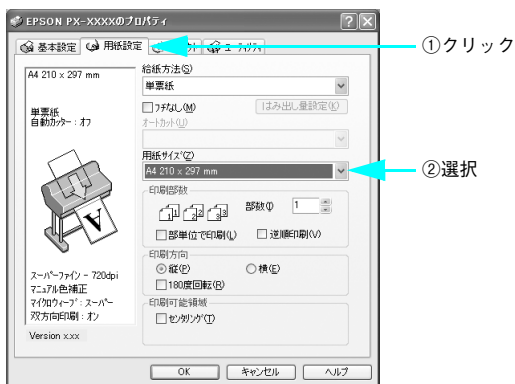
プリンタにセットした用紙サイズを選択するだけで、拡大 / 縮小率を自動的に設定して印刷できます。

- フィットページ印刷機能は、ロール紙の長尺モードで印刷する場合は設定できません。
- Mac OS X では、フィットページ印刷はできません。

Windows の場合

1 プリンタドライバの設定画面を表示します。

本書 16 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2 ［用紙設定］タブをクリックして、［用紙サイズ］でデータサイズと同じ用紙サイズを設定します。

3 ［レイアウト］タブをクリックして、［拡大 / 縮小］をチェックし、［フィットページ］をクリックして、［出力用紙］からプリンタにセットした用紙サイズを選択します。

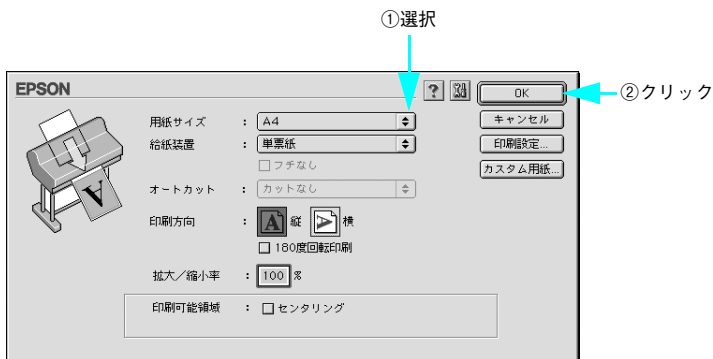
［用紙設定］画面で設定してある用紙サイズ（＝原稿のサイズ）に対して、拡大 / 縮小率が自動的に設定されます。

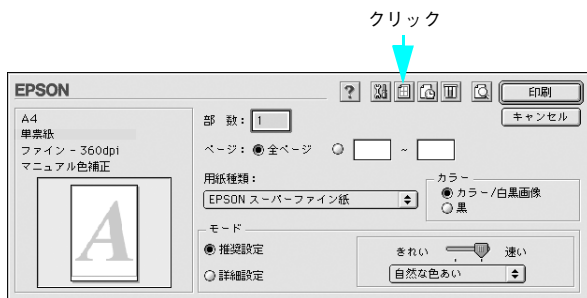
4 そのほかの設定を確認し、［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

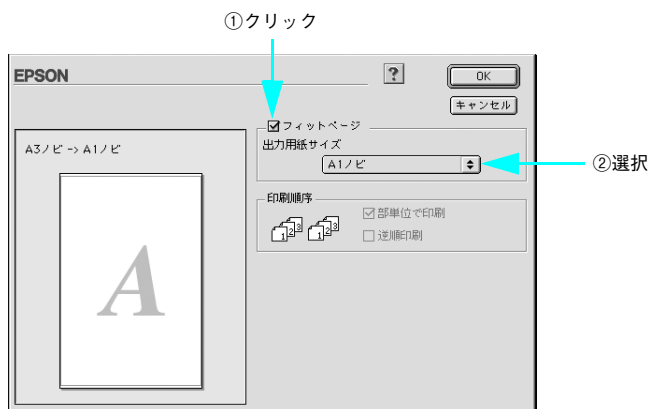
以上でフィットページ印刷は終了です。

Mac OS 9 の場合

1. **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**
☞ 本書 76 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2. **［用紙サイズ］で、データサイズと同じ用紙サイズを設定して、［OK］をクリックします。**

3. **プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。**
☞ 本書 76 ページ「プリンタドライバの起動方法」

4. **をクリックします。**

［用紙設定］画面から［印刷設定］をクリックして表示される［印刷設定］画面には、は表示されません。必ず以下のページに記載されている方法で［印刷］画面を表示してください。
☞ 本書 76 ページ「プリンタドライバの起動方法」

5 ［フィットページ］をチェックして、［出力用紙サイズ］からプリンタにセットした用紙サイズを選択します。

［用紙設定］画面で設定してある用紙サイズ（＝原稿のサイズ）に対して、拡大/縮小率が自動的に設定されます。

6 ［OK］をクリックして画面を閉じ、そのほかの設定を確認して、印刷を実行します。

以上でフィットページ印刷は終了です。

任意倍率設定印刷

拡大 / 縮小率を自由に設定して印刷できます。

任意倍率印刷機能は、フチなし印刷またはロール紙の長尺モードで印刷する場合、設定できません。

Windows の場合

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

本書 16 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2 **［レイアウト］タブをクリックして、［拡大 / 縮小］をチェックし、［任意倍率］をクリックして、［出力用紙］を選択し、［倍率］を設定します。**

［出力用紙］は、プリンタにセットした用紙サイズを選択します。
倍率は、数値を直接入力するか、右側の三角マークをクリックして設定してください。
10 ～ 400% の間で倍率を指定できます。

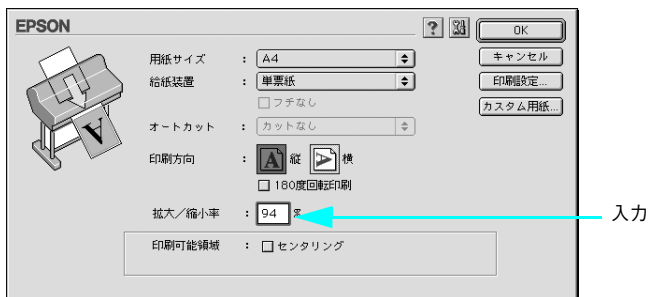
3 **そのほかの設定を確認し、［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で任意倍率設定印刷は終了です。

Mac OS 9 の場合

1. **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**
☞ 本書 76 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2. **［用紙サイズ］で、プリンタにセットした用紙サイズを選択します。**

3. **［拡大 / 縮小率］を入力します。**
25 ～ 400% の間で倍率を指定できます。

4. **そのほかの設定を確認し、［OK］をクリックして画面を閉じ、［印刷］画面を表示して印刷を実行します。**

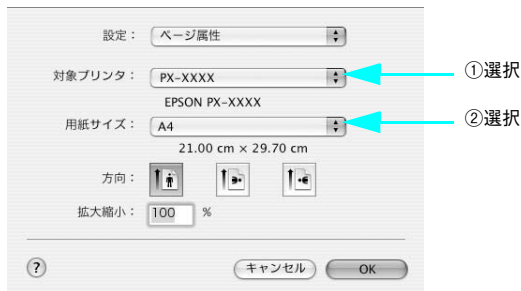
以上で任意倍率設定印刷は終了です。

Mac OS X の場合

1. **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**

☞ 本書 116 ページ「プリンタドライバの起動方法」

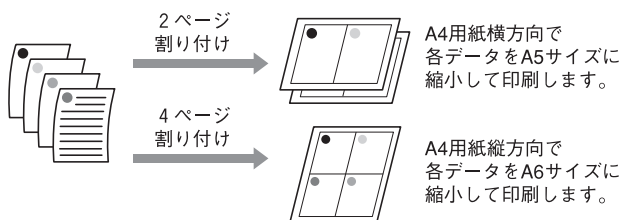
2. **［対象プリンタ］と［用紙サイズ］を選択します。**

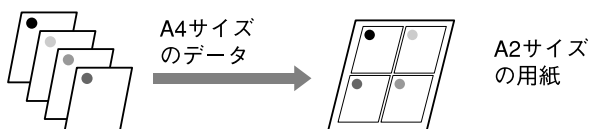
［用紙サイズ］は、プリンタにセットした用紙サイズを選択します。

3. **［拡大 / 縮小］を入力します。1 ～ 100000% の間で倍率を指定できます。**

4. **そのほかの設定を確認し、［OK］をクリックして画面を閉じ、［印刷］画面を表示して印刷を実行します。**

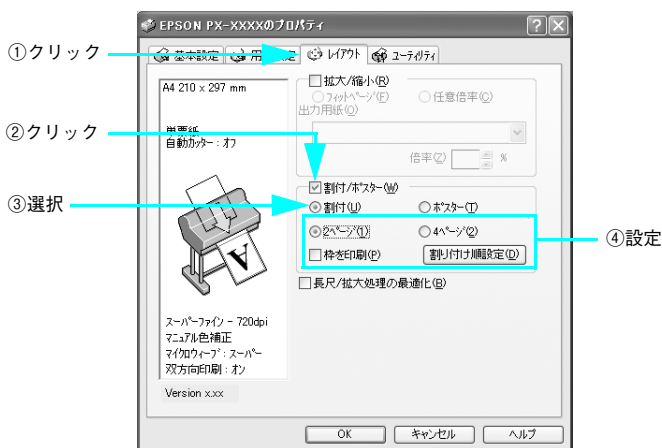
以上で任意倍率設定印刷は終了です。

割付印刷（Mac OS 9 以外）

1 枚の用紙に複数ページ分の連続したデータを割り付けて印刷できます。
A4 サイズで作成した連続データを割り付け印刷すると以下のように印刷されます。

Windows ではプリンタドライバの機能で、Mac OS X では OS の機能で割り付け印刷をします。

- Windows での割付印刷機能は、単票紙またはロール紙をフチありで印刷する場合のみ使用できます。そのほかの場合は、画面がグレーアウトされて設定できません。
- Windows では、拡大 / 縮小機能（フィットページ機能）を同時に使用することで、印刷データと異なるサイズの用紙にも割り付けて印刷できます。
  本書 254 ページ「拡大 / 縮小印刷」

Windows の場合

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**
☞ 本書 16 ページ「プリンタドライバの起動方法」

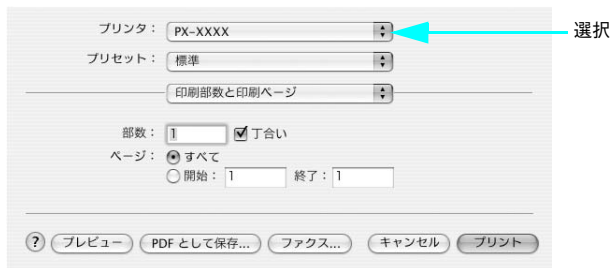
2 **［レイアウト］タブをクリックして、［割付 / ポスター］をチェックし、［割付］を選択して、割り付けるページ数や割り付け順を設定します。**

［枠を印刷］をチェックすると、割り付けたページに枠線が印刷されます。

3 **そのほかの設定を確認し、［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で任意倍率設定印刷は終了です。

Mac OS X の場合

1. **プリンタドライバの［印刷］画面を表示します。**
☞ 本書 116 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2. **［プリンタ］で、使用するプリンタを選択します。**

3. **リストから［レイアウト］を選択し、割り付けるページ数や割り付け順を設定します。**

［枠線］で［なし］以外を選択すると、割り付けたページに、選択した線種で枠線が印刷されます。

4. **そのほかの設定を確認し、［プリント］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で割付印刷は終了です。

定形サイズ以外の用紙に印刷

プリンタドライバに用意されていない用紙サイズを自分で設定して印刷できます。

定形紙（A4など）

不定形紙

以下の大きさの用紙サイズを自分で設定して印刷できます。

	PX-7500/PX-7500S	PX-9500/PX-9500S
用紙幅	203mm ～ 610mm	203mm ～ 1118mm
用紙長さ*	Windows 2000/XP：最大 15000mm Windows 98/Me： 最大 2300mm Mac OS 9： 最大 2301.2mm Mac OS X： 最大 15240mm	Windows 2000/XP： 最大 15000mm Windows 98/Me： 最大 2300mm Mac OS 9： 最大 2301.2mm Mac OS X： 最大 15240mm

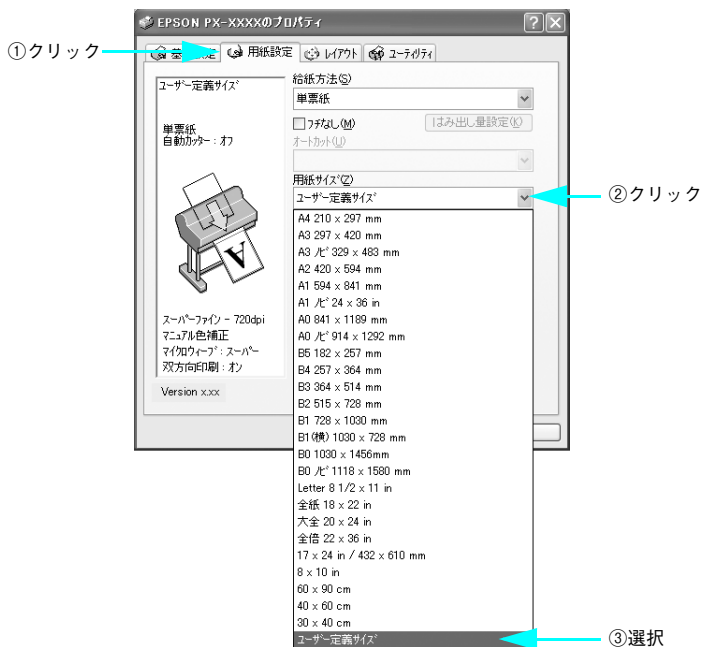
＊ 長尺印刷対応のアプリケーションソフトを使用すれば、「用紙長さ」以上の印刷も可能です。ただし、実際に印刷可能な長さは、アプリケーションソフトの仕様、プリンタにセットした用紙の長さ、コンピュータの環境などにより変わります。

- Mac OS X では、Mac OS X v10.2.3 以降でこの機能を使用できます。
- Mac OS X では、プリンタにセットできる最大サイズよりも大きな用紙サイズを［カスタム用紙サイズ］として設定できますが、正しく印刷できません。
- 印刷に使用するアプリケーションソフトによって、出力可能サイズに制限がある場合があります。

Windows の場合

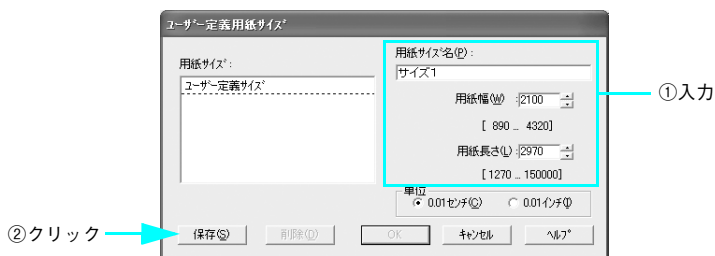
1. **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

本書 16 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2. **［用紙設定］タブをクリックして、［用紙サイズ］から［ユーザー定義サイズ］を選択します。**

3 ［用紙サイズ名］と［用紙幅］・［用紙長さ］を入力してから、［保存］をクリックします。

- ［用紙サイズ名］の入力可能文字数は、全角 12 文字・半角 24 文字です。
- 数値の単位は、［0.01 センチ］または［0.01 インチ］のどちらかを選択します。画面右側の「単位」で選択します。
- 指定できる用紙サイズの範囲は次の通りです。

OS	項目	PX-7500/PX-7500S	PX-9500/PX-9500S
Windows 2000/XP	用紙幅	89mm ～ 610mm	89mm ～ 1118mm
	用紙長さ	127mm ～ 15000mm	127mm ～ 15000mm
Windows 98/Me	用紙幅	89mm ～ 610mm	89mm ～ 1118mm
	用紙長さ	127mm ～ 2300mm	127mm ～ 2300mm

印刷可能な用紙のサイズは、本書 265 ページを参照してください。

参考

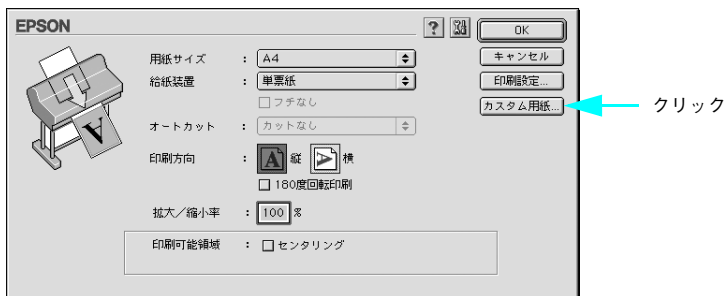
- 以前に登録した内容を変更したいときは、画面左のリストから用紙サイズ名をクリックします。
- 登録されている用紙サイズを削除したいときは、画面左のリストから用紙サイズ名を選択して［削除］をクリックします。
- 登録できる用紙サイズは 100 個です。
- A4 未満の用紙サイズを設定できますが、プリンタにセットできる最小用紙サイズは A4 です。A4 未満の用紙サイズを設定したときは、拡大印刷機能を使って A4 サイズ以上の用紙に印刷してください。

4 ［OK］をクリックします。

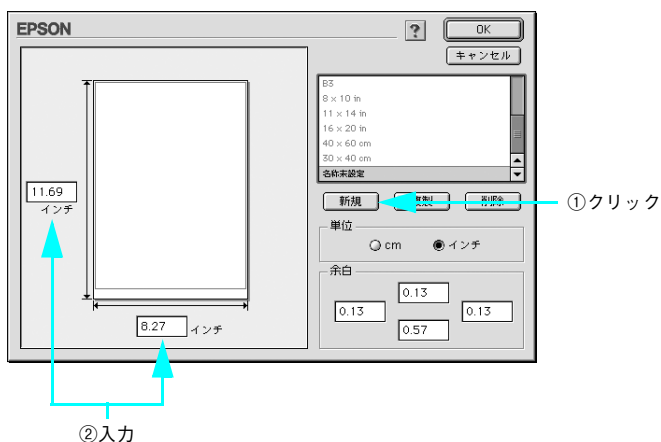
これで用紙サイズのリストボックスに、設定した用紙サイズが登録されました。
この後は、通常印刷する手順と同様に印刷してください。

Mac OS 9 の場合

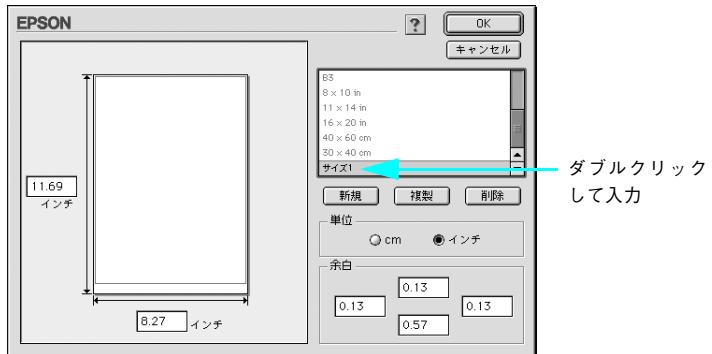
1. **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**
   ☞ 本書 76 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2. **［カスタム用紙］をクリックします。**

3. **［新規］をクリックしてから、用紙サイズを入力します。**
   - 数値の単位は、［cm］または［インチ］のどちらかを選択します。画面右側の［単位］で選択します。
   - 指定できる用紙サイズの範囲は次の通りです。

項目	PX-7500/PX-7500S	PX-9500/PX-9500S
用紙幅	89mm ～ 610mm	89mm ～ 1118mm
用紙長さ	127mm ～ 2301.2mm	127mm ～ 2301.2mm

印刷可能な用紙のサイズは、本書 265 ページを参照してください。

- 以前に登録した内容を変更したいときは、画面右のリストから用紙サイズ名をクリックします。
- 登録されている用紙サイズを複製したいときは、画面右のリストから用紙サイズ名を選択して［複製］をクリックします。
- 登録されている用紙サイズを削除したいときは、画面右のリストから用紙サイズ名を選択して［削除］をクリックします。
- 設定画面では、余白の設定もできます。余白の入力欄に直接入力するか、左のプレビュー部でグレーのラインをドラッグしたまま移動して設定します。
- A4 未満の用紙サイズを設定できますが、プリンタにセットできる最小用紙サイズは A4 です。A4 未満の用紙サイズを設定したときは、拡大印刷機能を使って A4 サイズ以上の用紙に印刷してください。

4 リスト内の［名称未設定］と表示されている部分をダブルクリックして、登録したい名称を入力します。

用紙サイズ名の入力可能文字数は、全角 15 文字、半角 31 文字です。

- 本機で印刷できないサイズを登録して印刷すると、自動的に拡大／縮小（フィットページ）されます。
- 登録できる用紙サイズは 100 個までです。

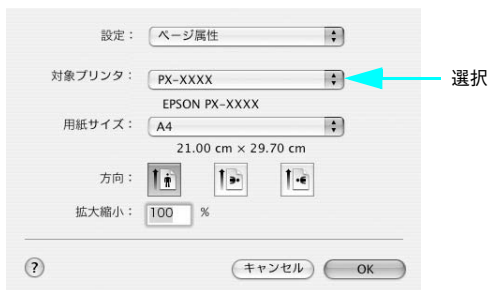
5 ［OK］をクリックします。

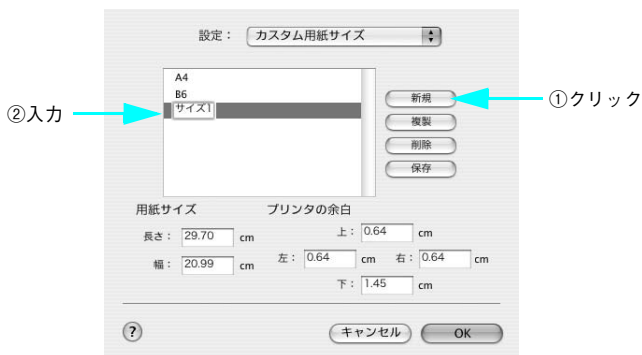
これで用紙サイズのポップアップメニューに、設定した用紙サイズが登録されました。この後は、通常印刷する手順と同様に印刷してください。

Mac OS X の場合（v10.2.3 以降のみ）

1 **プリンタドライバの［用紙設定］画面を表示します。**

☞ 本書 116 ページ「プリンタドライバの起動方法」

2 **［対象プリンタ］を選択します。**

3 **［設定］で［カスタム用紙サイズ］を選択します。**

4 **［新規］をクリックし、用紙サイズ名を入力します。**

5 ［用紙サイズ］の［長さ］と［幅］、［プリンタの余白］を入力してから、［保存］をクリックします。

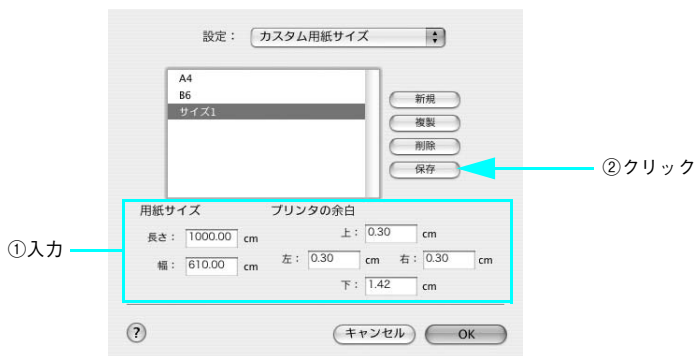
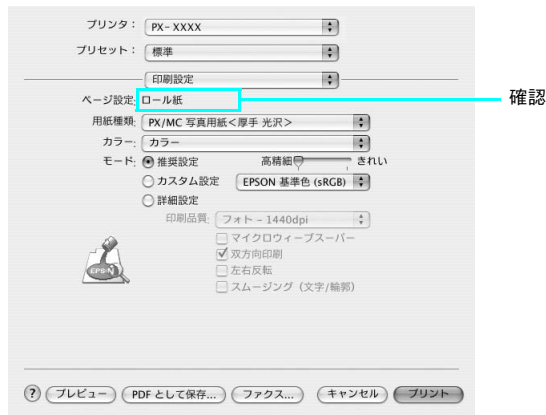
- 指定できる用紙サイズの範囲は次の通りです。

項目	PX-7500/PX-7500S	PX-9500/PX-9500S
用紙幅	89mm ～ 610mm	89mm ～ 1118mm
用紙長さ	127mm ～ 15240mm	127mm ～ 15240mm

印刷可能な用紙のサイズは、本書 265 ページを参照してください。

- ［用紙サイズ］と［プリンタの余白］は、印刷方法に応じて以下のように設定してください。

印刷方法（[ページ設定]）	［用紙サイズ］	［プリンタの余白］
単票紙	印刷可能な用紙サイズ	上左右　：各 3mm 下　　　：14.2mm
ロール紙	印刷可能な用紙サイズ	上下左右　：各 3mm
ロール紙（長尺）	印刷可能な用紙サイズ	上下　　：0mm 左右　　：各 3mm
ロール紙（フチなし、自動拡大）	フチなし印刷対応の用紙幅 本書 151 ページ「フチなし印刷の対応用紙」	上下左右　：0mm
ロール紙（フチなし、原寸維持）* ロール紙（フチなし、長尺）*	フチなし印刷対応の用紙幅 +6mm 本書 151 ページ「フチなし印刷の対応用紙」	上下左右　：0mm

* ［用紙サイズ］と［プリンタの余白］を設定後、［印刷設定］画面の［ページ設定］で、どちらか 1 つを選択してください。

- ［用紙サイズ］と［プリンタの余白］を設定すると、印刷方法が決定されます。決定された印刷方法は、［印刷設定］画面の［ページ設定］の欄に表示され、確認できます。

- ［長さ］には　1524.00cm　よりも大きい長さを入力できますが、実際には1524.00cm までしか印刷できません（1524.00cm 以上のカスタム用紙サイズを設定して印刷した場合には、デフォルトの用紙サイズが適用され、はみ出したデータは印刷されません）。
- 長さは1524.00cmまで設定できますが､使用するアプリケーションによっては、1524.00cm 以下でも正しく印刷できないことがあります。
- 以前に登録した内容を変更したいときは、画面右のリストから用紙サイズ名をクリックします。
- 登録されている用紙サイズを複製したいときは、画面右のリストから用紙サイズ名を選択して［複製］をクリックします。
- 登録されている用紙サイズを削除したいときは、画面右のリストから用紙サイズ名を選択して［削除］をクリックします。
- OS のバージョンにより､カスタム用紙の設定方法が異なります。詳細は OS 付属のマニュアルやヘルプなどでご確認ください。
- A4 未満の用紙サイズを設定できますが､プリンタにセットできる最小用紙サイズは A4 です。A4 未満の用紙サイズを設定したときは、拡大印刷機能を使って A4 サイズ以上の用紙に印刷してください。

6 ［OK］をクリックします。

これで用紙サイズのポップアップメニューに、設定した用紙サイズが登録されました。この後は、通常印刷する手順と同様に印刷してください。

エプソン純正専用紙以外の用紙に印刷する前に

エプソン純正専用紙以外の用紙を使う場合は、用紙（ユーザー用紙）の特性に合わせた設定を行ってから印刷してください。設定と印刷を行うには 2 つの方法があります。

- 本機の設定メニューでユーザー用紙を登録し、登録した設定を使用して印刷する。
- プリンタドライバの［用紙調整］画面を開いてユーザー用紙の設定を行う（［手動設定］（Windows）／［詳細設定］（Mac OS）画面の設定の一部として保存することもできます）。

- 用紙の切り取りやすさ、張りの度合い、インクの定着性、厚みなど、用紙の特性をあらかじめ確認してからユーザー用紙の設定を行ってください。用紙の特性については、用紙の取扱説明書や用紙の購入先にお問い合わせください。
- 本体メニューで設定されている場合は、パネル本体側の設定が最優先されます。
- MAXART リモートパネルを使用すると、コンピュータ上でユーザー用紙の登録や、印刷時のプリンタの設定ができます。詳しくは、以下のページを参照してください。

Windows：☞ 本書 71 ページ「MAXART リモートパネル」
Mac OS 9：☞ 本書 111 ページ「MAXART リモートパネル」
Mac OS X：☞ 本書 145 ページ「MAXART リモートパネル」

ユーザー用紙として登録した用紙に印刷をしたときに印刷のムラが発生する場合は、単方向で印刷してください。プリンタドライバの［双方向印刷］のチェックを外すと、単方向印刷を行います。

本機でのユーザー用紙設定

本機の設定メニューでは、ユーザー用紙を 10 種類まで登録ができます。以下の手順に従ってください。また、MAXART リモートパネルを使うと、ユーザー用紙の登録や用紙調整がコンピュータ上で行えます。
ここで選択した登録番号は、プリンタ使用時に操作パネルのディスプレイの下段に表示されます。

どの階層で［ポーズ］ボタン（◯／Ⅱ）を押しても、設定モードから抜けて印刷可能状態に戻ります。ただし、その時点での設定（未変更分を含む）がユーザー設定となります。

1 **使用する用紙をプリンタにセットし、［用紙選択］ボタン（ ◁ ）で用紙を選択します。**
実際に印刷を行う用紙を必ずセットしてください。

> **！注意** ロール紙の種類によってはカットできないものやカッターに損傷を与えるものがありますので、［ロール紙カッターオフ］を選択してください。詳細は、各用紙の取扱説明書や用紙の購入先にお問い合わせください。また、エプソン純正専用紙に関しては、使い方ガイド（冊子）「用紙について」をご覧ください。

2 **［Menu］ボタン（ ▷ ）を押して設定モードに入り、［ユーザー用紙設定］を選択します。**
① ［用紙送り］ボタン（ ▽ / △ ）を数回押して、［ユーザー用紙設定］を選択します。
② ［Menu］ボタン（ ▷ ）を押します。
③「用紙番号選択 (1-10)」を選択し、［Menu］ボタン（ ▷ ）を押します。

3 **ユーザー用紙の設定を登録する番号を選択します。**
ユーザー用紙の設定は 10 種類まで登録できますので、任意の番号（1 ～ 10）を選択してください。エプソン純正専用紙に合わせて初期状態では［標準］に設定されています。
① ［用紙送り］ボタン（ ▽ / △ ）を押して、任意の番号（1 ～ 10）を選択します。
② ［実行］ボタン（ ⏎ ）を押して、決定します。
③ ［用紙選択］ボタン（ ◁ ）を押して、前のメニューに戻ります。

これ以降の手順で設定する設定値は、ここで有効となった登録番号で記憶されます。

- エプソン純正専用紙を使う場合は、［標準］に戻してから［ポーズ］ボタン（◯／Ⅱ）を押して設定モードから抜けます。
- 登録番号とこれ以降で設定する設定値は、メモを取るなどして記録に残すことをお勧めします。
- すでに登録してあるユーザー用紙の設定を実際に使用する場合は、印刷を始める前にここで登録番号を選択してから［ポーズ］ボタン（◯／Ⅱ）を押して設定モードから抜けます。
- MAXART リモートパネルを使用すると、コンピュータ上で登録番号を変更できます。

4 **必要に応じて、プリントヘッドと用紙の間隔の広さ（プラテンギャップ）を設定します。**

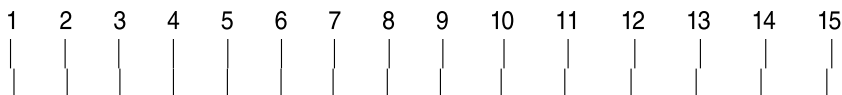
①［用紙送り］ボタン（▽/△）を押して、［プラテンギャップ］を選択します。
②［Menu］ボタン（▷）を押します。
③［用紙送り］ボタン（▽/△）を押して、［プラテンギャップ］を選択します。
④［実行］ボタン（↵）を押して、決定します。
⑤［用紙選択］ボタン（◁）を押して、前のメニューに戻ります。

プラテンギャップとは、プリントヘッドと用紙の距離のことです。プラテンギャップを正しく調整すると、印刷品質が向上します。また、厚い用紙に印刷する場合にプラテンギャップが狭すぎると、プリントヘッドと用紙が接触して、プリントヘッドや用紙を傷つけてしまう場合があります。

用紙の厚さ	［プラテンギャップ］の設定
厚い用紙	［最大］
	［より広くする］
	［広くする］
標準的な厚さの用紙	［標準］
薄い用紙	［狭くする］

5 **用紙厚を検出するためのパターン印刷を行います。**

①［用紙送り］ボタン（▽/△）を押して、［用紙厚検出パターン］を選択します。
②［Menu］ボタン（▷）を押します。
③「実行」と表示されますので、［実行］ボタン（↵）を押します。
パターンの印刷中は「印刷中」とディスプレイに表示されます。メッセージが消えたら、次へ進みます。

<印刷例>

6 **印刷されたパターンを見て、もっとも線のズレが少ない番号（1 ～ 15）を選択します。**

①［用紙送り］ボタン（▽/△）を押して、用紙厚番号を選択します。
上記の印刷例では「4」を選択します。
②［実行］ボタン（↵）を押して、決定します。
③［用紙選択］ボタン（◁）を押して、前のメニューに戻ります。

7 **必要に応じて用紙カット時のカット方法を選択します。**

用紙の厚さに応じて、以下のように選択します。

用紙厚	薄く腰がない ◀──▶ 厚く腰が強い			
設定	［薄紙］	［標準］	［厚紙＆カット高速］	［厚紙＆カット低速］

① ［用紙送り］ボタン（▽/△）を押して、［カット方法］を選択します。
② ［Menu］ボタン（▷）を押します。
③ ［用紙送り］ボタン（▽/△）を押して、［カット方法］を選択します。
④ ［実行］ボタン（↵）を押して、決定します。
⑤ ［用紙選択］ボタン（◁）を押して、前のメニューに戻ります。

8 **必要に応じて用紙送り補正値を設定します。**

補正値は、用紙送り 1m に対する割合（-0.7 ～ 0.7%）で設定します。
① ［用紙送り］ボタン（▽/△）を押して、［用紙送り補正］を選択します。
② ［Menu］ボタン（▷）を押します。
③ ［用紙送り］ボタン（▽/△）を押して、補正値を選択します。
④ ［実行］ボタン（↵）を押して、決定します。
⑤ ［用紙選択］ボタン（◁）を押して、前のメニューに戻ります。

9 **必要に応じて乾燥時間を設定します。**

インクが乾燥するまでプリントヘッドの往復移動を停止する時間（乾燥時間 0.0 ～ 10.0 秒）を設定します。
プリンタは、プリントヘッドが左右に移動しながら印刷します。用紙に付着したインクが乾かないうちに、プリントヘッドが用紙上を移動して続きの印刷を行うと、印刷結果にインク垂れやにじみが起こる場合があります。このような問題は、乾燥時間を長めに調整することで解決する場合があります。
① ［用紙送り］ボタン（▽/△）を押して、［乾燥時間］を選択します。
② ［Menu］ボタン（▷）を押します。
③ ［用紙送り］ボタン（▽/△）を押して、［乾燥時間］を選択します。
④ ［実行］ボタン（↵）を押して、決定します。
⑤ ［用紙選択］ボタン（◁）を押して、前のメニューに戻ります。

インクの乾燥中に［用紙選択］ボタン（◁）を 3 秒以上押すと、乾燥を中断して指定の動作を行います。
☞ 本書 445 ページ「ボタン」

⑩ **必要に応じて吸着力を設定します。**

プリンタは、用紙とプリントヘッドの距離を適正に保つために、用紙に合った圧力で用紙を吸引しながら印刷を行います。ここでは、用紙をプラテン上で安定させるための吸着力を選択します。ここでの設定は、ユーザー用紙の設定すべてに適用されます。
薄い用紙を使用するとき、吸引力が強すぎるとプリントヘッドと用紙の距離が広くなりすぎるために印刷結果が低下したり、正しく用紙送りができない場合があります。そのような場合に用紙の吸引力を弱めに調整します。
通常は［標準］のまま使用してください。
薄い用紙で、プリンタ内部に貼り付いてしまって印刷できないときのみ［-1］〜［-4］のいずれかを選択します。［標準］がもっとも吸着力が強く、［-1］、［-2］、［-3］、［-4］の順に吸着力が弱くなります。
①［用紙送り］ボタン（▽/△）を押して、［吸着力］を選択します。
②［Menu］ボタン（▷）を押します。
③［用紙送り］ボタン（▽/△）を押して、設定値を選択します。
④［実行］ボタン（↵）を押して、決定します。
⑤［用紙選択］ボタン（◁）を押して、前のメニューに戻ります。

⑪ **必要に応じて印字調整を設定します。**

マイクロウィーブモードの調整をします。マイクロウィーブとは、1 行ごとのムラを少なくし、より高品質なグラフィックスイメージを表現する機能です。
［標準］がもっとも低い設定値で、［1］、［2］の順に高くなります。
印字速度を優先する場合は、設定値を下げます。
印刷品質を優先する場合は、設定値を上げます。
①［用紙送り］ボタン（▽/△）を押して、［M/W 印字調整］を選択します。
②［Menu］ボタン（▷）を押します。
③［用紙送り］ボタン（▽/△）を押して、設定値を選択します。
④［実行］ボタン（↵）を押して、決定します。
⑤［用紙選択］ボタン（◁）を押して、前のメニューに戻ります。

⑫ **操作をすべて終了したら、［ポーズ］ボタン（◯/II）を押して設定モードから抜けます。**

以上でセットした用紙固有の情報が登録されました。セットした用紙に印刷する場合は、続いて印刷を実行してください。
ユーザー用紙の設定は 10 種類登録できます。ほかの設定を登録するには ❶ からの手順を繰り返してください。
登録した複数のユーザー用紙の設定を使い分けるには、印刷を実行する前に、設定モードの［ユーザー用紙設定］メニューに入り ❸ の［用紙番号選択（1-10)］で登録番号（1 〜 10）を選択してください。

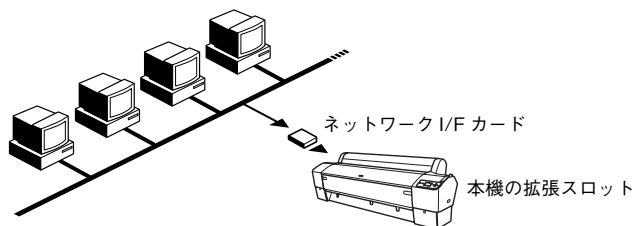
用紙の情報については、用紙の取扱説明書や用紙の購入先にお問い合わせください。

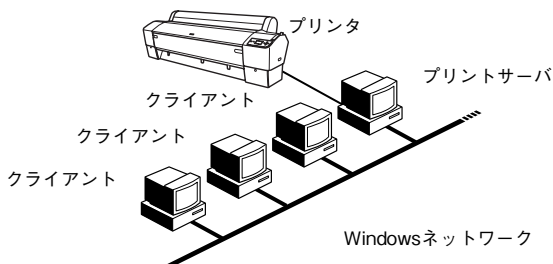
簡単なネットワーク共有の方法

ここでは、ネットワーク環境で本機を共有する手順について説明します。

ネットワーク接続の形態

本機は、以下の 2 つの方法によりネットワーク上での共有が可能です。

オプションのネットワーク I/F（インターフェイス）カードによる共有

本機の拡張スロットに、オプションのネットワーク I/F カードを装着することにより、異なる OS が混在するネットワークや特定のネットワーク上で本機を共有できます。インストールや使い方などの詳細は、オプションのネットワーク I/F カードの取扱説明書をご覧ください。

ネットワークコンピュータを 経由した共有

コンピュータに直接（ローカル）接続されたプリンタをネットワーク共有として設定することで、ほかのコンピュータからもネットワークプリンタ（共有プリンタ）として使用できます。
上記の設定方法は、すでにコンピュータのネットワーク環境が構築されていること、プリンタを使用するすべてのコンピュータにプリンタドライバがインストールされていることが前提となります。このプリンタ共有形態では、共有するプリンタを接続するコンピュータがサーバ * の役割をします。ここでは、そのコンピュータをプリントサーバと呼びます。

* サーバ：ネットワーク環境下において、クライアントにサービスを提供する機能を持つハードウェアやソフトウェア。

Windows☞ 本書 280 ページ「Windows でのプリンタの共有」
Mac OS 9☞ 本書 292 ページ「Mac OS 9 でのプリンタの共有」
Mac OS X☞ 本書 296 ページ「Mac OS X でのプリンタ共有」

Windows でのプリンタの共有

Windows にローカル（直接）接続されたプリンタを、ほかの Windows でネットワークプリンタ（共有プリンタ）として使用できます。

以降の説明では、共有するプリンタを接続する Windows をプリントサーバ、そのプリンタを利用する Windows をクライアントと呼びます。

プリントサーバ側の設定

Windows XP/2000 の場合

Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとして、Windows 2000 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとしてログオンする必要があります。

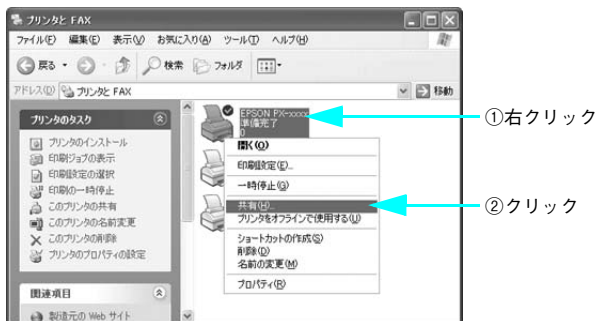
1 Windowsの[スタート]メニューから[プリンタとFAX]または[プリンタ]を開きます。

- **Windows XP の場合**

①［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③［プリンタと FAX］をクリックします。

- **Windows 2000 の場合**

［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 本機のアイコンを右クリックし、表示されたメニューの［共有］をクリックします。

参考

Windows XP で以下の画面が表示された場合は、［危険性を理解した上でウィザードを使わない設定を選択する場合はここをクリックしてください。］をクリックします。

EPSON PX-xxxx のプロパティ

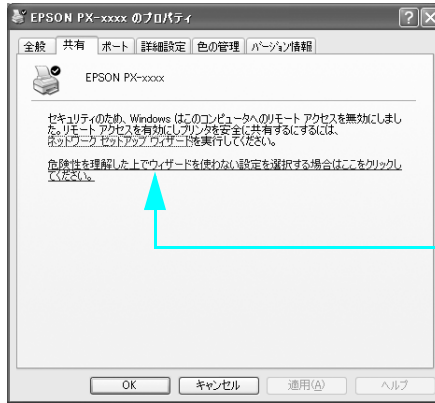
全般　共有　ポート　詳細設定　色の管理　バージョン情報

EPSON PX-xxxx

セキュリティのため、Windows はこのコンピュータへのリモート アクセスを無効にしました。リモート アクセスを有効にしプリンタを安全に共有するには、ネットワーク セットアップ ウィザードを実行してください。

危険性を理解した上でウィザードを使わない設定を選択する場合はここをクリックしてください。

クリック

OK　キャンセル　適用(A)　ヘルプ

以下の画面が表示されますので［ウィザードを使わずにプリンタ共有を有効にする］を選択して［OK］をクリックします。

プリンタ共有を有効にする

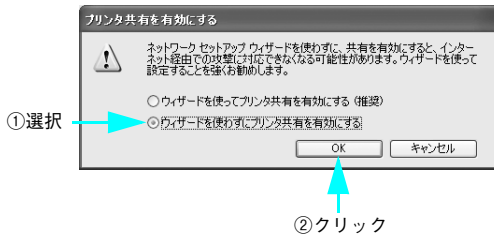
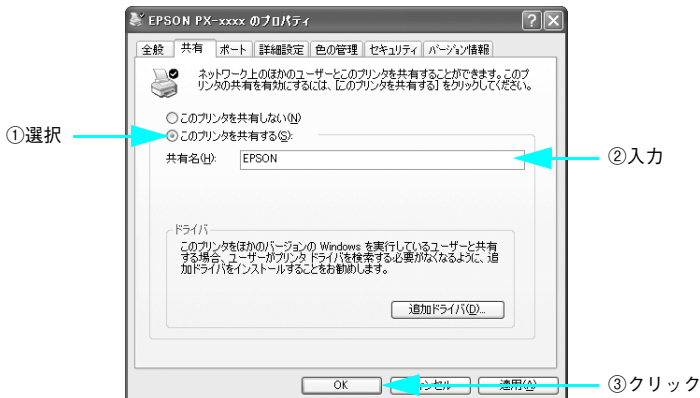
ネットワーク セットアップ ウィザードを使わずに、共有を有効にすると、インターネット経由での攻撃に対応できなくなる可能性があります。ウィザードを使って設定することを強くお勧めします。

ウィザードを使ってプリンタ共有を有効にする（推奨）

ウィザードを使わずにプリンタ共有を有効にする

OK　キャンセル

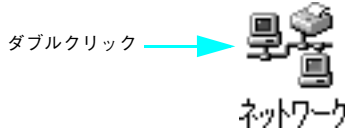
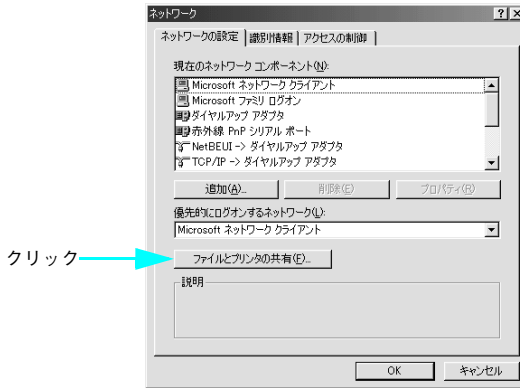
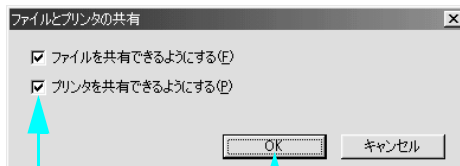
①選択

②クリック

3 ［このプリンタを共有する］または［共有する］を選択して［共有名］を入力し、［OK］をクリックします。

- エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や -（ハイフン）を使用しないでください。
  良い例：PX_9500、PX9500 など
  悪い例：PX □ 9500、PX-9500
- Windows XP/2000 の［追加ドライバ］はクリックしないでください。
- ［セキュリティ］タブをクリックして、ネットワークプリンタに対するセキュリティ（クライアントのアクセス許可）を設定してください。印刷が許可されないクライアントは、プリンタを共有できません。詳しくは Windows のヘルプをご覧ください。
- 共有プリンタをクライアント側からモニタさせる場合には、EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ機能の設定で［共有プリンタをモニタさせる］をチェックしてください
  ☞ 本書 64 ページ「モニタの設定」

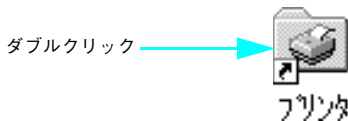
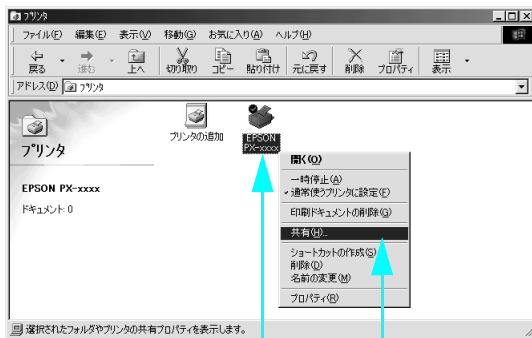
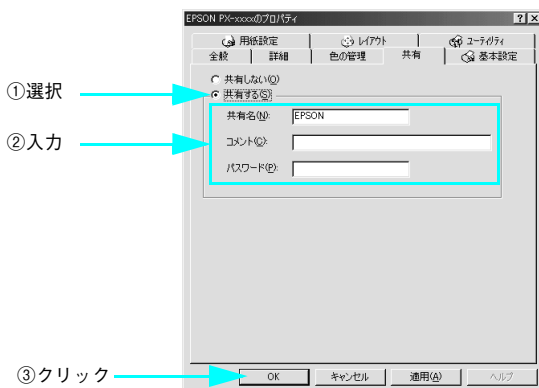
以上でプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。
☞ 本書 286 ページ「クライアント側の設定」

Windows 98/Me の場合

1. 画面左下の［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックします。

2. 表示された画面の［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

3. ［ファイルとプリンタの共有］をクリックします。

4. ［プリンタを共有できるようにする］をチェックし、［OK］をクリックします。

5. ネットワークの設定画面で［OK］をクリックします。

- Windows の CD-ROM を要求する画面が表示された場合は Windows の CD-ROM をコンピュータにセットし、［OK］をクリックして画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、6 の手順から設定してください。

6 コントロールパネルで［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

7 本機のアイコンを右クリックして、表示されたメニューの［共有］をクリックします。

8 ［共有する］を選択して、必要に応じて各項目を入力し、［OK］をクリックします。

- エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や -（ハイフン）を使用しないでください。
  良い例：PX_9500、PX9500 など
  悪い例：PX □ 9500、PX-9500
- 共有プリンタをクライアント側からモニタさせる場合には、EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ機能の設定で［共有プリンタをモニタさせる］をチェックしてください
  本書 64 ページ「モニタの設定」

以上でプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。

☞ 本書 294 ページ「クライアント側の設定」

クライアント側の設定

Windows XP/2000 の場合

Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとして、Windows 2000 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとしてログオンする必要があります。

1 Windowsの[スタート]メニューから[プリンタとFAX]または[プリンタ]を開きます。

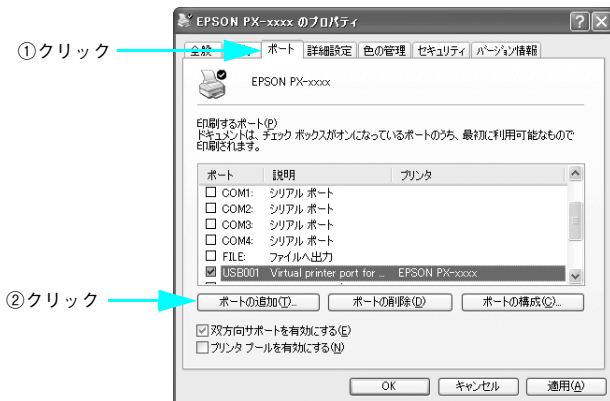
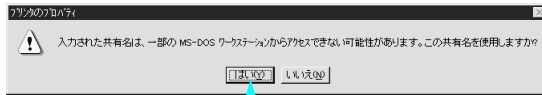
- **Windows XP の場合**

①［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷ へ進みます。
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③［プリンタと FAX］をクリックします。

- **Windows 2000 の場合**

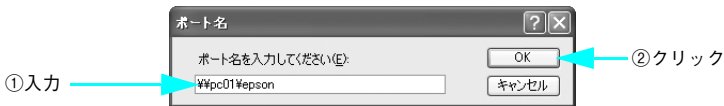
［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 本機のアイコンを右クリックして、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］タブをクリックして、［ポートの追加］をクリックします。

下記の画面の表示がされたら、［はい］をクリックして、次のステップに進んでください。

❹ ［Local Port］を選択して［新しいポート］をクリックします。

❺ **プリンタを共有しているコンピュータ名と共有されているプリンタの共有名を、以下の書式で入力し、［OK］をクリックします。**

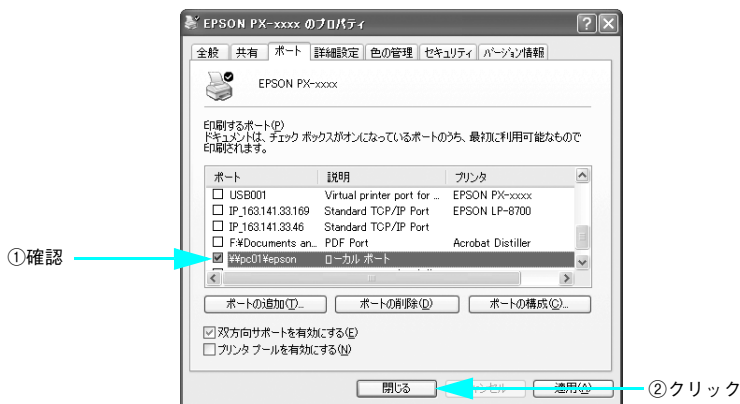
すべての文字は半角文字で入力します。書式や名称が正しくないと次のステップに進めません。

「¥¥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名¥共有プリンタ名」

コンピュータの名前は以下の方法で確認できます。各コンピュータのアイコンにつけられている名前がコンピュータ名です。

- Windows XP では［スタート］から［マイネットワーク］を選択して開き、［ネットワークタスク］の［ワークグループのコンピュータを表示する］をクリックします。
- Windows 2000 では［マイネットワーク］をダブルクリックして開き、さらに［近くのコンピュータ］をダブルクリックします。

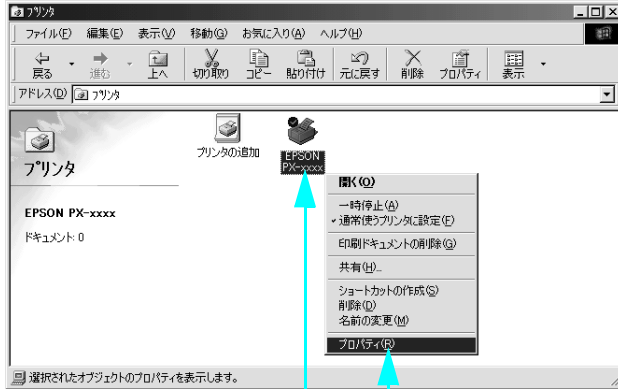
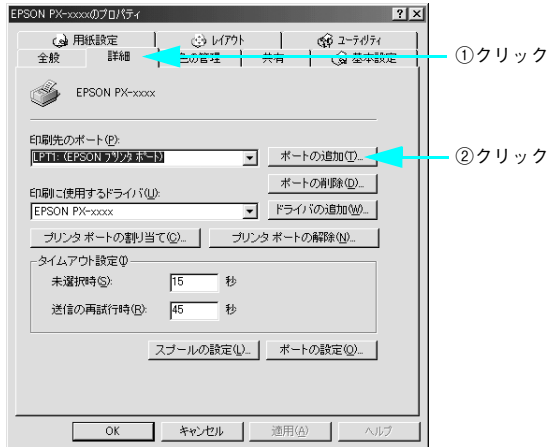
さらに目的のコンピュータ名のアイコンをダブルクリックして開くと、共有プリンタ名を確認できます。ダブルクリックして開いた画面内のプリンタアイコンにつけられている名称が共有プリンタ名です。

6 ［閉じる］をクリックします。

7 「印刷するポート」の一覧に設定した名前が表示され、チェックされていることを確認して、［閉じる］をクリックします。

以上でクライアント側の設定は終了です。

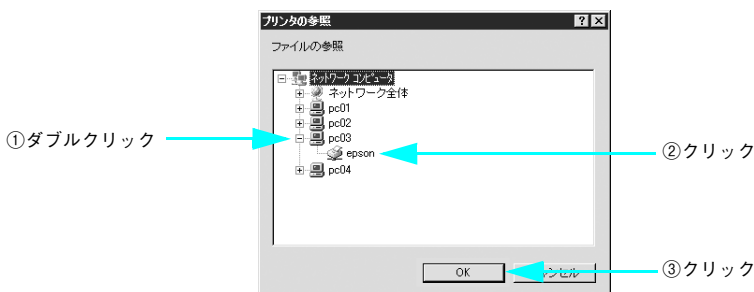
Windows 98/Me の場合

1. **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］を開きます。**
   画面左下の［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2. **本機のアイコンを右クリックし、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。**

3. **［詳細］タブをクリックして、［ポートの追加］をクリックします。**

4 ［ネットワーク］を選択してから、［参照］をクリックします。

ご利用の環境のネットワーク構成図が表示されます。

5 共有する本機を接続しているコンピュータをダブルクリックし、共有プリンタ名をクリックして、［OK］をクリックします。

共有プリンタ名を確認してください。

6 共有プリンタ名を確認して［OK］をクリックします。

［プリンタへのネットワークパス］の欄に［￥￥共有プリンタを接続しているコンピュータ名（プリントサーバ）￥共有プリンタ名］が入力されます。

7 ［印刷先のポート］が 6 で設定されたポートになっていることを確認して、［OK］をクリックします。

以上でクライアント側の設定は終了です。

Mac OS 9 でのプリンタの共有

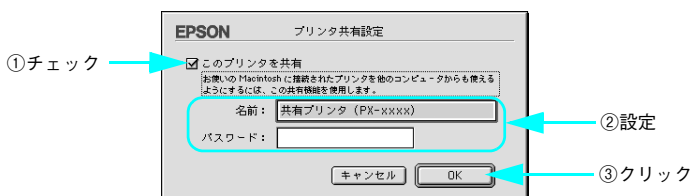
Mac OS 9 にローカル（直接）接続されたプリンタを、ほかの Mac OS 9 でネットワークプリンタ（共有プリンタ）として使用できます。

- Mac OS X と Mac OS 9 の間ではプリンタを共有できません。
- 以降の説明では、共有するプリンタを接続するコンピュータをプリントサーバ、そのプリンタを利用するコンピュータをクライアントと呼びます。

プリントサーバ側の設定

1. **画面左上のアップルメニューから［セレクタ］をクリックして選択します。**

2. **［AppleTalk］の設定が［使用］になっていることを確認して、本機のアイコンをクリックしてから［設定］をクリックします。**

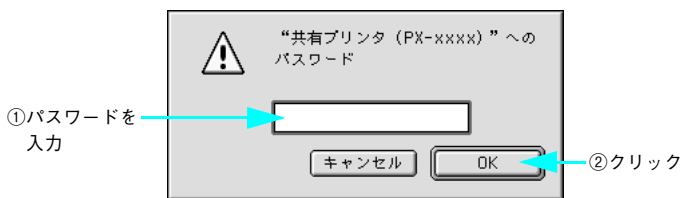
3. **［このプリンタを共有］をチェックして、［OK］をクリックします。**
共有名は、ネットワーク上で表示される名称です。パスワードを入力すると、ほかのコンピュータから共有プリンタに接続する際にパスワードの入力が必要になります。

4. **画面左上のクローズボックスをクリックして画面を閉じると設定は終了です。**

以上でプリントサーバ側の設定は終了です。

クライアント側の設定

1. 画面左上のアップルメニューから［セレクタ］をクリックして選択します。

2. ［AppleTalk］の設定が［使用］になっていることを確認して、本機のアイコンをクリックして、［ポートを選択］の一覧に表示された共有プリンタの名前をクリックして選択します。

- プリンタの名称が変更されている可能性があります。プリンタを直接接続しているコンピュータで名称を確認してください。
- 以下の画面が表示された場合は、パスワードを入力して［OK］をクリックします。

3. 画面左上のクローズボックスをクリックして画面を閉じると設定は終了です。

以上でクライアント側の設定は終了です。

プリンタを接続しているコンピュータとクライアント側のコンピュータとでは、インストールされているフォントが異なる場合があります。セレクタで［情報］をクリックすると、プリンタを接続しているコンピュータにインストールされているフォントのうち、お使いのコンピュータにはインストールされていないフォントが表示されます。印刷するデータによってはフォントが置き換わり、レイアウトなど見た目が変わることがあります。解消するためには、置き換わってしまったフォントをご利用のコンピュータにインストールする必要があります。

Mac OS X でのプリンタ共有

Mac OS X にローカル（直接）接続されたプリンタを、ほかの Mac OS X でネットワークプリンタ（共有プリンタ）として使用できます。

- Mac OS X と Mac OS 9 の間ではプリンタを共有できません。
- 以下の説明では、共有するプリンタを接続するコンピュータをプリントサーバ、そのプリンタを利用するコンピュータをクライアントと呼びます。

プリントサーバ側の設定

1 ［システム環境設定］アイコンをクリックします。

2 ［共有］アイコンをクリックします。

3 ［プリンタ共有］をチェックします。

4 ［システム環境設定］メニューから［システム環境設定を終了］を選択して画面を閉じます。

以上でプリントサーバ側の設定は終了です。

クライアント側の設定

1 **「プリントセンター」または「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。**

☞ 使い方ガイド（冊子）「プリンタの追加」

2 **プリンタの一覧が表示されることを確認し、メニューから［プリントセンターの終了］を選択します。**

プリンタの一覧が表示されない場合は、次の手順で環境設定を確認してください。

①「プリントセンター」または「プリンタ設定ユーティリティ」メニューから［環境設定］を選択します。

②［ほかのコンピュータに接続されているプリンタを表示する］がチェックされていることを確認します。

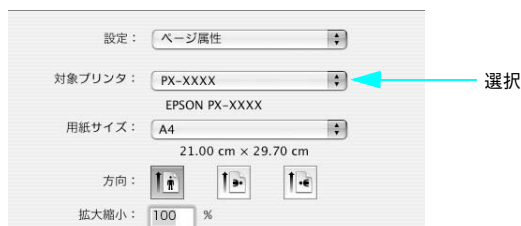
以上でクライアント側の設定は終了です。

クライアント側から印刷するときは

クライアントから印刷する時は、以下の手順でプリンタを選択します。

1. **アプリケーションソフトを起動し、［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［ページ設定］などの用紙設定関連コマンド）を選択します。**

2. **［対象プリンタ］リストをクリックします。［共有プリンタ］にカーソルを合わせ、プリンタを選択します。**
リストに表示されるプリンタの詳細は、下記をご覧ください。
☞ 使い方ガイド（冊子）「①対象プリンタ」

<例>

3. **［用紙サイズ］と［方向］を設定し、［OK］をクリックします。**
この後の印刷手順については、以下のページをご覧ください。
☞ 使い方ガイド（冊子）「印刷の基本手順」

以上でクライアント側からの印刷設定は終了です。

オプションと消耗品

ここでは、オプションと消耗品を紹介します。

オプションと消耗品の紹介

本機をより幅広くお使いいただくために、以下のオプション（別売品）と消耗品を用意しています（2005 年 5 月現在）。

エプソン純正専用紙

本機でご利用いただけるエプソン純正専用紙に関する最新の情報は、インターネットからエプソンのホームページでご覧ください。
　http://www.i-love-epson.co.jp
☞ 使い方ガイド（冊子）「用紙について」

ロール紙

対象機種の欄について
75：PX-7500、75S：PX-7500S、95：PX-9500、95S：PX-9500 を表す
○： 対応用紙
×： 非対応用紙
Pk：フォトブラックのみに対応する用紙

	用紙名称	型番	用紙幅×長さ	対象機種			
				75	75S	95	95S
写真用紙	PX/MC 写真用紙ロール <厚手光沢>	PXMC16R1	約 406mm × 30.5m	Pk	×	Pk	×
		PXMC24R1	約 610mm × 30.5m	Pk	×	Pk	×
		PXMC36R1	約 914mm × 30.5m	×	×	Pk	×
		PXMC44R1	約 1118mm × 30.5m	×	×	Pk	×
	PX/MC 写真用紙ロール <厚手半光沢>	PXMC16R2	約 406mm × 30.5m	Pk	×	Pk	×
		PXMC24R2	約 610mm × 30.5m	Pk	×	Pk	×
		PXMC36R2	約 914mm × 30.5m	×	×	Pk	×
		PXMC44R2	約 1118mm × 30.5m	×	×	Pk	×
	PX/MC 写真用紙ロール <厚手絹目>	PXMC10R3	約 254mm × 30.5m	Pk	×	Pk	×
		PXMC16R3	約 406mm × 30.5m	Pk	×	Pk	×
		PXMC24R3	約 610mm × 30.5m	Pk	×	Pk	×
		PXMC36R3	約 914mm × 30.5m	×	×	Pk	×
		PXMC44R3	約 1118mm × 30.5m	×	×	Pk	×

	用紙名称	型番	用紙幅×長さ	対象機種			
				75	75S	95	95S
写真用紙	PX/MC 写真用紙 ロール ＜厚手微光沢＞	PXMC16R4	約 406mm × 30.5m	Pk	×	Pk	×
		PXMC24R4	約 610mm × 30.5m	Pk	×	Pk	×
		PXMC36R4	約 914mm × 30.5m	×	×	Pk	×
		PXMC44R4	約 1118mm × 30.5m	×	×	Pk	×
	MC 写真用紙 ロール ＜光沢＞	MCSP24R1	約 610mm × 30.5m	Pk	×	Pk	×
		MCSP36R1	約 914mm × 30.5m	×	×	Pk	×
		MCSP44R1	約 1118mm × 30.5m	×	×	Pk	×
	MC 写真用紙 ロール ＜半光沢＞	MCSP24R2	約 610mm × 30.5m	Pk	×	Pk	×
		MCSP36R2	約 914mm × 30.5m	×	×	Pk	×
		MCSP44R2	約 1118mm × 30.5m	×	×	Pk	×
	MC フォト スタンダード紙 ロール ＜光沢＞	MCSPA2R8	約 420mm × 30.5m	Pk	○	Pk	○
		MCSP24R8	約 610mm × 30.5m	Pk	○	Pk	○
		MCSP36R8	約 914mm × 30.5m	×	×	Pk	○
		MCSP44R8	約 1118mm × 30.5m	×	×	Pk	○
	MC フォト スタンダード紙 ロール ＜半光沢＞	MCSPA2R9	約 420mm × 30.5m	Pk	○	Pk	○
		MCSP24R9	約 610mm × 30.5m	Pk	○	Pk	○
		MCSP36R9	約 914mm × 30.5m	×	×	Pk	○
		MCSP44R9	約 1118mm × 30.5m	×	×	Pk	○

	用紙名称	型番	用紙幅×長さ	対象機種			
				75	75S	95	95S
マット紙	MC 厚手マット紙ロール	MCSP24R4	約 610mm × 25m	○	○	○	○
		MCSP36R4	約 914mm × 25m	×	×	○	○
		MCSP44R4	約 1118mm × 25m	×	×	○	○
	PX マット紙ロール＜薄手＞	PXMCA2R9	約 420mm × 40m	○	○	○	○
		PXMCB2R9	約 515mm × 40m	○	○	○	○
		PXMCA1R9	約 594mm × 40m	○	○	○	○
		PXMCB1R9	約 728mm × 40m	×	×	○	○
	PX/MC プレミアムマット紙ロール	PXMC17R5	約 432mm × 30.5m	○	○	○	○
		PXMC24R5	約 610mm × 30.5m	○	○	○	○
		PXMC36R5	約 914mm × 30.5m	×	×	○	○
		PXMC44R5	約 1118mm × 30.5m	×	×	○	○
画材紙	Textured Fine Art/PX/MC コットン画材用紙ロール	PXMC17R6	約 432mm × 15.2m	○	×	○	×
		PXMC24R6	約 610mm × 15.2m	○	×	○	×
		PXMC44R6	約 1118mm × 15.2m	×	×	○	×
	MC 画材用紙ロール	MCSP24R6	約 610mm × 18m	○	×	○	×
		MCSP36R6	約 914mm × 18m	×	×	○	×
		MCSP44R6	約 1118mm × 18m	×	×	○	×
合成紙	MC マット合成紙 2 ロール	MCSP17R10	約 432mm × 40m	×	○	×	○
		MCSP24R10	約 610mm × 40m	×	○	×	○
		MCSP36R10	約 914mm × 40m	×	×	×	○
		MCSP44R10	約 1118mm × 40m	×	×	×	○
	MC マット合成紙 2 ロール＜のり付き＞	MCSP24R10N	約 610mm × 30.5m	×	○	×	○
		MCSP36R10N	約 914mm × 30.5m	×	×	×	○
		MCSP44R10N	約 1118mm × 30.5m	×	×	×	○

	用紙名称	型番	用紙幅×長さ	対象機種			
				75	75S	95	95S
フィルム	光沢フィルムロール	PMSP24R5	約 610mm × 20m	Pk	×	Pk	×
		PMSP36R5	約 914mm × 20m	×	×	Pk	×
		PMSP44R5	約 1118mm × 20m	×	×	Pk	×
クロス	MC/PM クロスロール＜防炎＞	MCPM24R1	約 610mm × 20m	×	○	×	○
		MCPM44R1	約 1118mm × 20m	×	×	×	○
校正紙	PX プルーフ用紙ロール＜微光沢＞	KA3NROLPRF	約 329mm × 15.2m	Pk	×	Pk	×
		PXMC17R7	約 432mm × 30.5m	Pk	×	Pk	×
		PXMC24R7	約 610mm × 30.5m	Pk	×	Pk	×
		PXMC36R7	約 914mm × 30.5m	×	×	Pk	×
		PXMC44R7	約 1118mm × 30.5m	×	×	Pk	×
普通紙	PX 上質普通紙ロール	PXMCA2R8	約 420mm × 45m	○	○	○	○
	普通紙ロール	PMSP24R6	約 610mm × 45m	○	○	○	○
		PMSP36R6	約 914mm × 45m	×	×	○	○
		PMSP44R6	約 1118mm × 45m	×	×	○	○

単票紙

対象機種の欄について
75：PX-7500、75S：PX-7500S、95：PX-9500、95S：PX-9500 を表す
○： 対応用紙
×： 非対応用紙
Pk：フォトブラックのみに対応する用紙

	用紙名称	型番	用紙幅・サイズ	対象機種			
				75	75S	95	95S
写真用紙	写真用紙＜光沢＞	KA3N20PSK	A3 ノビ	Pk	×	Pk	×
	写真用紙＜絹目調＞	KA3N20MSH	A3 ノビ	Pk	×	Pk	×
マット紙	フォトマット紙 / 顔料専用	KA3N20MM	A3 ノビ	○	○	○	○
	PX マット紙＜薄手＞	KA2100SWM	A2	○	○	○	○
	スーパーファイン紙	KA4250NSF	A4	○	○	○	○
		KA4100NSF	A4	○	○	○	○
		KA3100NSF	A3	○	○	○	○
		KA3N100NSF	A3 ノビ	○	○	○	○
画材紙	画材用紙 / 顔料専用	KA3N20MG	A3 ノビ	○	×	○	×
	Velvet Fine Art Paper	KA3N20VFA	A3 ノビ	○	×	○	×
	UltraSmooth Fine Art Paper	KA3N25USFA	A3 ノビ	○	×	○	×
ボード紙	PX/MC プレミアムマットボード紙	PXMCB2MB	B2	○	○	○	○
		PXMCB1MB	B1	×	×	○	○
校正紙	PX プルーフ用紙＜微光沢＞	KA3N100PRF	A3 ノビ	Pk	×	Pk	×
普通紙	両面上質普通紙＜再生紙＞	KA4250NPD	A4	○	○	○	○
		KA3250NPD	A3	○	○	○	○

インクカートリッジ

本機では、以下のインクカートリッジを使用します。
PX-7500S/PX-9500S と PX-7500/PX-9500 では、下表の通り使用するインクカートリッジが異なります。

インクの色	標準 110ml タイプ型番		大容量 220ml タイプ型番 *1	
	PX-7500S/ PX-9500S *3	PX-7500/ PX-9500	PX-7500S/ PX-9500S *3	PX-7500/ PX-9500
フォトブラック	-	ICBK38 *2	-	ICBK39 *2
マットブラック	ICMB40	ICMB40 *1 *2	ICMB41	ICMB41 *2
シアン	ICC40	ICC38	ICC41	ICC39
マゼンタ	ICM40	ICM38	ICM41	ICM39
イエロー	ICY40	ICY38	ICY41	ICY39
グレー	-	ICGY38	-	ICGY39
ライトシアン	-	ICLC38	-	ICLC39
ライトマゼンタ	-	ICLM38	-	ICLM39
ライトグレー	-	ICLGY38	-	ICLGY39

*1 オプション（別売）です。購入時は同梱されていません。
*2 マットブラックを使用するときは、マットブラックインクを別途購入してください。ブラックインクの種類を変更するには、オプション（別売）の「ブラックインクコンバージョンキット」が必要です。
*3 PX-7500S/PX-9500S では、各色 2 本ずつインクをセットしてください。すべてのスロットにインクがセットされていないと、印刷できません。

本製品に添付のプリンタドライバは純正インクカートリッジの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるおそれがあります。

ブラックインクコンバージョンキット

型番	名称
ICCVK38	ブラックインクコンバージョンキット

100回使用すると寿命となります。寿命が近い場合や寿命になったコンバージョンキットをセットするとディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージの指示に従ってください。

☞ 本書 351 ページ「ブラックインク種類変更（PX-7500/PX-9500 のみ）」
☞ 本書 396 ページ「エラーメッセージ一覧」

メンテナンスタンク

型番	名称
PXMT2	PX-7500/PX-9500 用のメンテナンスタンク
PXMT3	PX-7500S/PX-9500S 用のメンテナンスタンク

交換方法は、以下を参照してください。

☞ 本書 361 ページ「メンテナンスタンクの交換」

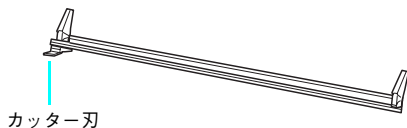
カッター替え刃

型番	名称
PXSPB1	ペーパーカッター替え刃

☞ 本書 439 ページ「用紙がきれいに切り取れなくなったら（カッターの交換）」

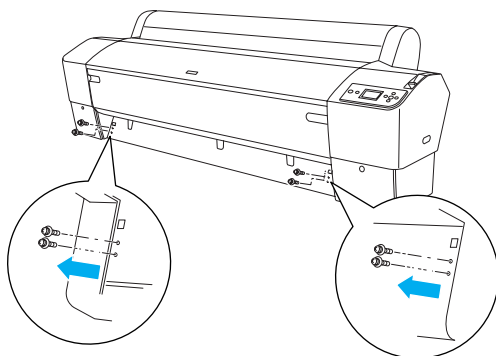
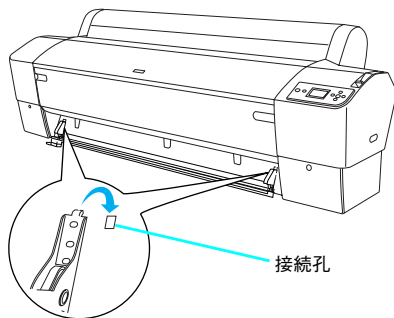
マニュアルカッターユニット

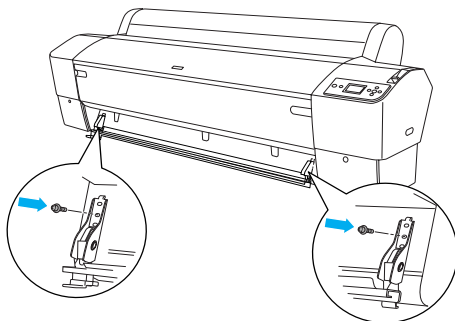
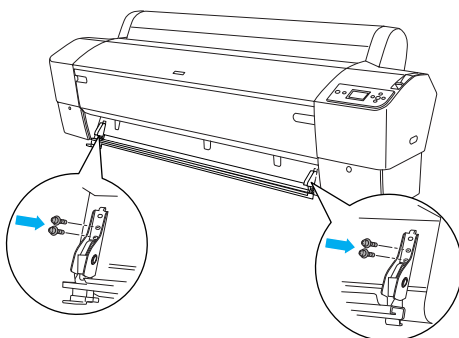
型番	名称
PX70MCU	PX-7500/PX-7500S 用マニュアルカッターユニット
PM10MCU	PX-9500/PX-9500S 用マニュアルカッターユニット
PM10MCUB	マニュアルカッターユニット替え刃（PX-7500/PX-7500S/PX-9500/PX-9500S 共通）

マニュアルカッターユニットの取り付け

⚠注意　マニュアルカッターユニット取り扱い時には、カッターの刃でけがをしないように十分に注意してください。なお、子供の手に触れないようにご注意ください。

！注意　マニュアルカッターユニットの取り付けは、本書で記載している手順に従ってください。マニュアルカッターユニットの取扱説明書やマニュアルカッターユニットに貼られているラベルの記載に従うと、正しく取り付けることができません。

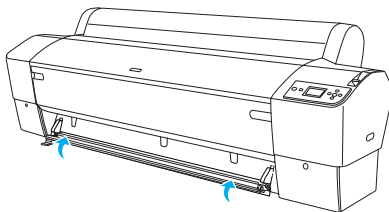
1. プリンタ本体の電源をオフにします。

2. ペーパーガイドのネジ（4 本）を取り外します。

3 マニュアルカッターユニットを両手で持ち、フックをプリンタの接続孔にかけます。

4 ❷ で取り外したネジ（4 本）で固定します。

- **マニュアルカッターユニットの左右に 2 箇所ずつ穴がある場合**
  左右ともペーパーガイドの 1 番下の穴のみをネジで固定します。
  残ったネジ 2 本は、マニュアルカッターユニットを取り外した際に必要となりますので、保管しておいてください。

- **マニュアルカッターユニットの左右に 3 箇所ずつ穴がある場合**
  左右ともペーパーガイドの下から 2 箇所をネジで固定します。

> **!注意** マニュアルカッターユニットをプリンタから取り外したときは、必ずネジをプリンタ本体のペーパーガイドに取り付けておいてください。

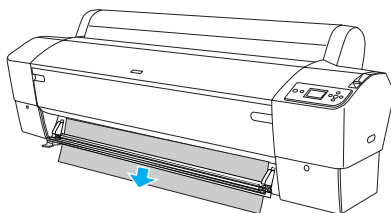
以上でマニュアルカッターユニットの取り付けは終了です。

マニュアルカッターユニット使用方法

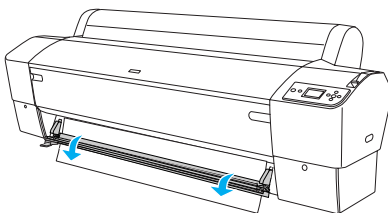
1 カッター刃を左右に移動し、マニュアルカッターユニットを手前に持ち上げます。

2 印刷終了時に、プリンタの内蔵カッターでロール紙がカットされないように、ロール紙の［オートカット］を［カットなし］に設定します。

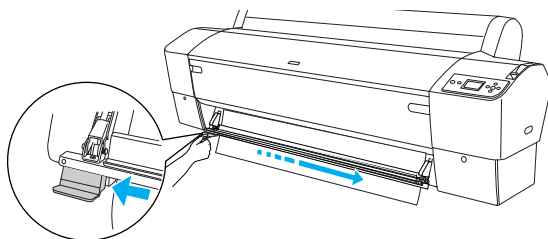
- **操作パネルから印刷する場合（ステータスシート、ノズルチェックやギャップ調整のパターンなど）**
  操作パネルの［用紙選択］ボタン（◁）を押して、「ロール紙カッターオフ」（）を選択します。
- **プリンタドライバから印刷する場合**
  プリンタドライバの［用紙設定］画面で、［オートカット］を［カットなし］に設定します。

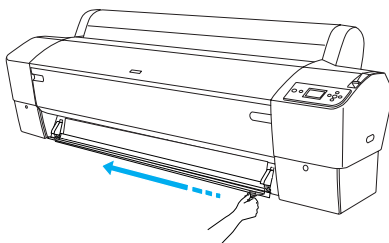
3 印刷を実行します。

ロール紙が、マニュアルカッターユニットの下を通過していることを確認します。

4 印刷が終了したら、［設定実行］ボタンを３秒押します。

用紙セット位置までロール紙が排紙されます。［用紙送り］ボタンで、カット位置の微調整ができます。

5 **マニュアルカッターユニットを下に倒します。**

6 **カッター刃を左側から右側に移動させて用紙をカットします。**

このときロール紙の左端をカッター刃の溝に差し込むようにします。

！注意	ロール紙がセットされていない状態で、カッター刃を左側から右側に移動させないでください。カッター刃の寿命が短くなります。

7 **カッター刃を右側から左側に戻します。**

8 **プリンタの［ポーズ］ボタンを押します。**

印刷開始位置までロール紙が戻ります。
以上でロール紙のカットは終了です。

スピンドル

型番	名称
PX70RPSD（PX-7500/PX-7500S 用）	ロール紙スピンドル、2 インチ /3 インチ紙管兼用 （本製品に 1 本同梱されています）
PX90RPSD（PX-9500/PX-9500S 用）	
PX70HSD（PX-7500/PX-7500S 用）	ハイテンションスピンドル、2 インチ /3 インチ紙管兼用
PX90HSD（PX-9500/PX-9500S 用）	

!注意

ロール紙の種類によってはハイテンションスピンドル（オプション）を使用しないと正常に印刷できないものがあります。ハイテンションスピンドルを使用する必要があるかについてはロール紙の取扱説明書をご覧ください。また指定のロール紙以外で使用すると印刷品質に影響したり、プリンタが故障する原因となります。

☞ 使い方ガイド（冊子）「用紙について」

インターフェイスカード

型番	名称・説明
PRIFNW7	100BASE-TX 、10BASE-T マルチプロトコルネットワーク I/F カード 本機を Ethernet でネットワーク環境に接続するためのインターフェイスカードです。IPX/SPX、TCP/IP、NetBEUI、AppleTalk、Rendezvous に対応しています。接続には、Ethernetツイストペアケーブル（カテゴリー5以上）が別途必要です。

インターフェイスケーブル

USB インターフェイスケーブル

USB インターフェイスコネクタ装備のコンピュータと本機を接続する場合は、オプションの USB ケーブルを使用してください。

型番	名称
USBCB2	EPSON USB ケーブル

USB ハブ（複数の USB 機器を接続するための中継機）を使用して接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続してご使用いただくことをお勧めします。また、お使いのハブによっては動作が不安定になるものがありますので、そのような場合はコンピュータの USB ポートに直接接続してください。

接続方法は、セットアップガイドを参照してください。

IEEE1394 インターフェイスケーブル

型番	名称
FWCB3	IEEE1394 ケーブル（6 ピン - 6 ピン /2.9m）

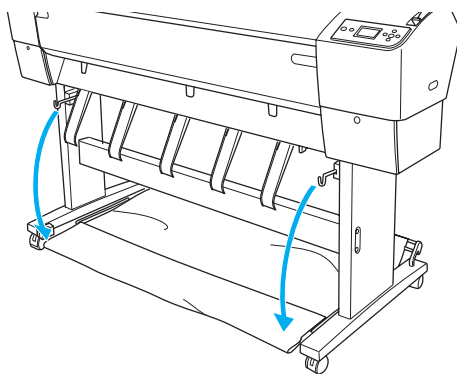
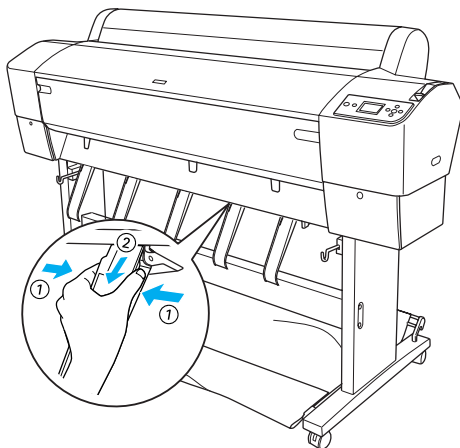
接続方法は、セットアップガイドを参照してください。

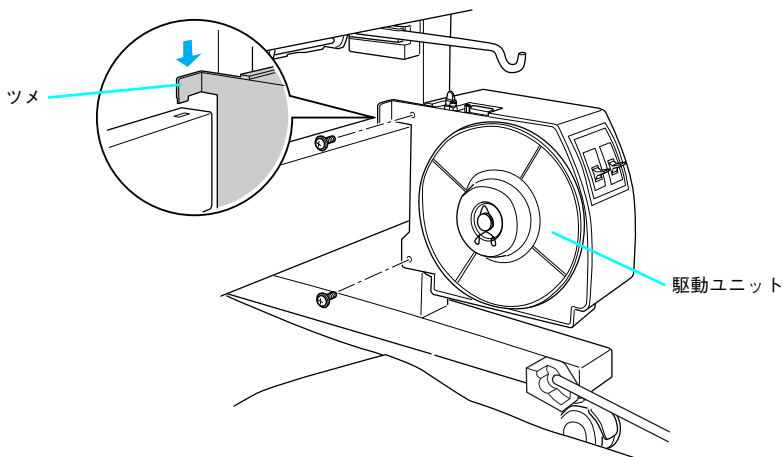
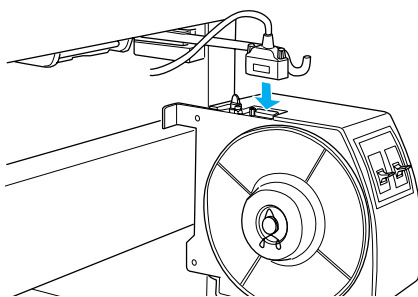
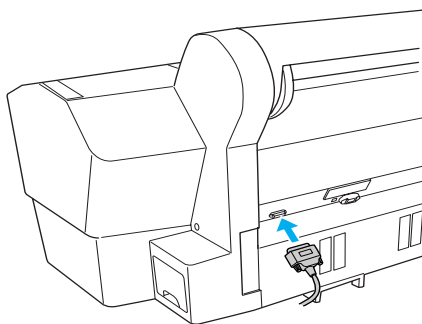
自動巻取りユニット（PX-9500/PX-9500S のみ）

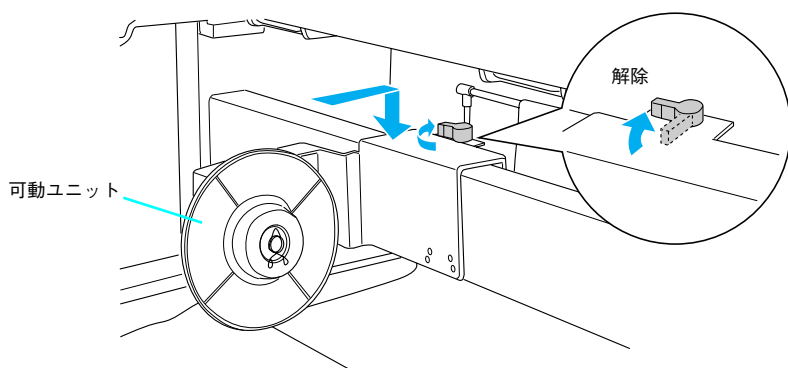
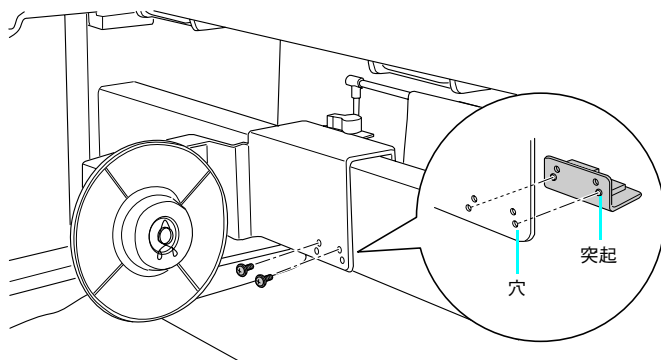
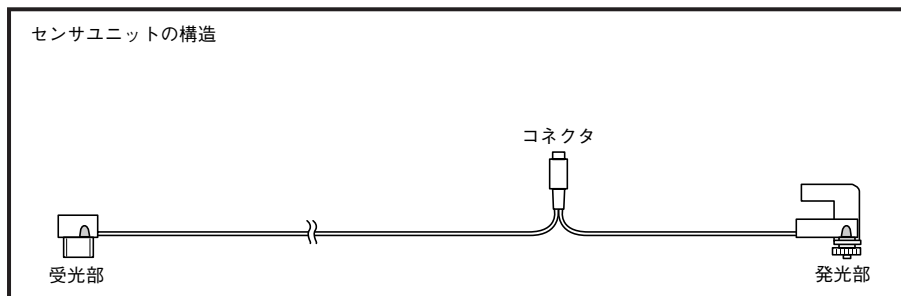
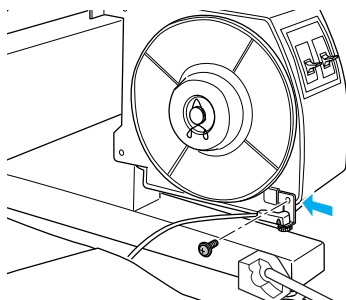
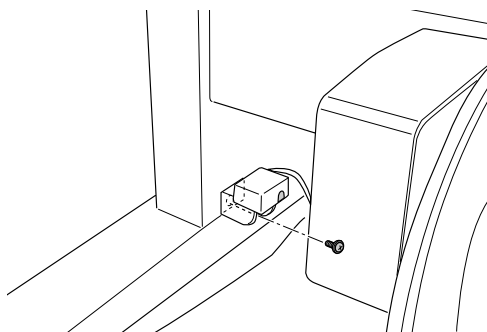
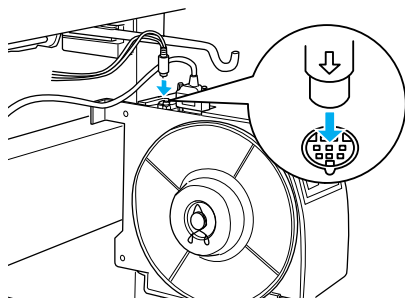
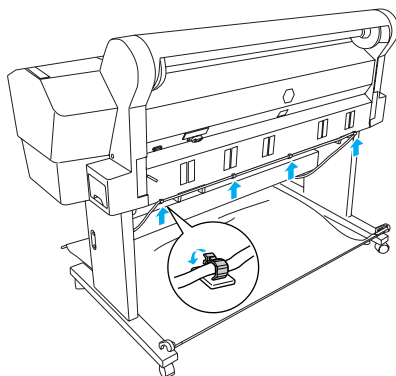
型番	名称
PXARFU1	自動巻き取りユニット（PX-9500/PX-9500S のみ）

自動巻き取りユニット本体の取り付け

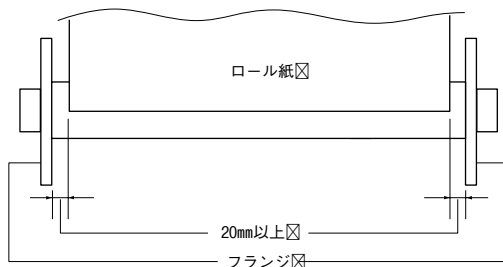
1. **プリンタ本体の電源をオフにします。**

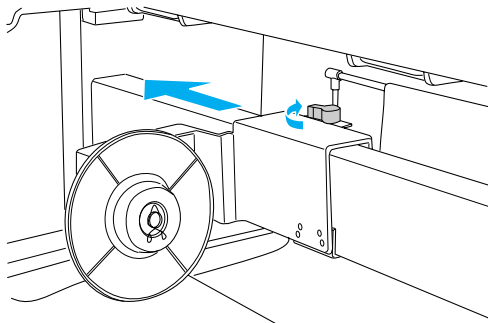
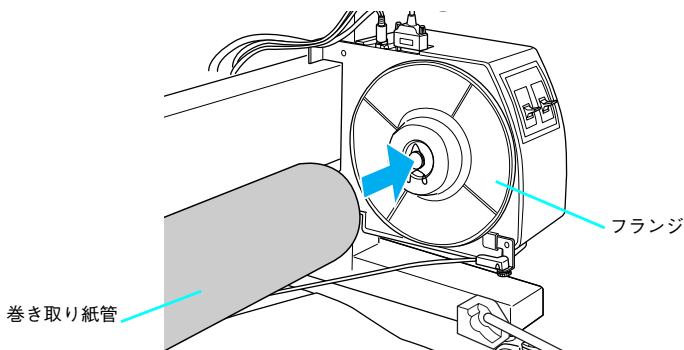
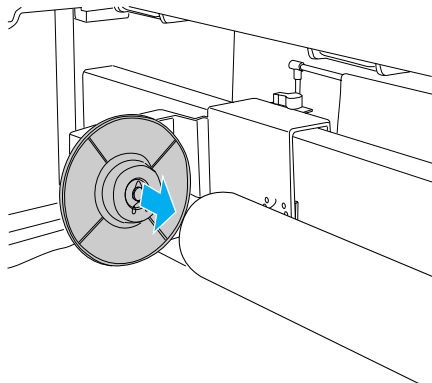
2. **紙受け用バスケットを外します。**
作業の妨げにならないように上部トレイフックから外して下に畳んで置きます。

3. **プリンタ本体同梱の排紙サポートを取り付けている場合は、すべての排紙サポートを取り外します。**
購入時に本体に取り付けられていたホルダ部分も取り外してください。

4 **駆動ユニットを脚部に取り付けます。**

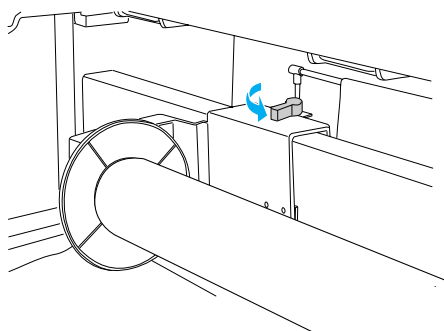
① 駆動ユニットのツメを脚部の穴に掛け、駆動ユニット固定用ネジ（太いネジ）2 本で固定します。

② 接続ケーブルのメス側コネクタを駆動ユニットに接続します。

③ 接続ケーブルを背面に回してプリンタ本体に接続します。

5 **可動ユニットを脚部に取り付けます。**

① 可動ユニットのロックを解除し、脚つなぎに掛けます。

② ストッパ金具を下からはめ込み、ストッパ金具固定用ネジ 2 本で固定します。

6 センサユニットを取り付けます。

① 発光部を駆動ユニットにセンサユニット固定用ネジ 1 本で固定します。

② 受光部を左脚にセンサユニット固定用ネジ 1 本で固定します。
受光部の突起を脚部の穴にはめ込んでからネジ止めします。

③ センサユニットのコネクタを駆動ユニットに接続します。

④ ケーブルをプリンタ本体の脚つなぎに配線し、止め具で固定します。

3 インチ巻き取り紙管の取り付け

同梱の 3 インチ巻き取り紙管を取り付けます。

! 注 意 ロール紙の紙端とフランジの間に、図のように隙間（ゆとり）を確保してください。紙管と同サイズのロール紙は、正常な巻き取りができません。

* 同梱の 3 インチ紙管は 46 インチ幅ですので、最大 44 インチ（1118mm）幅のロール紙を巻き取ることができます。

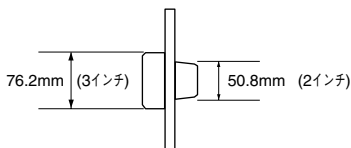
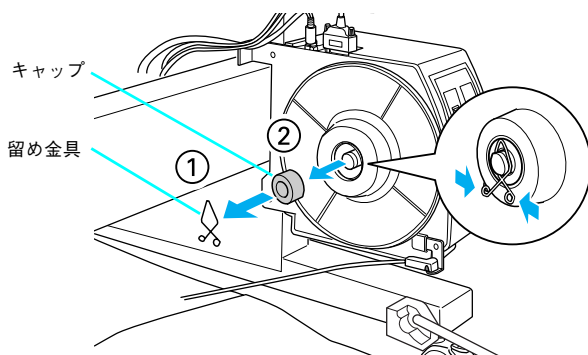
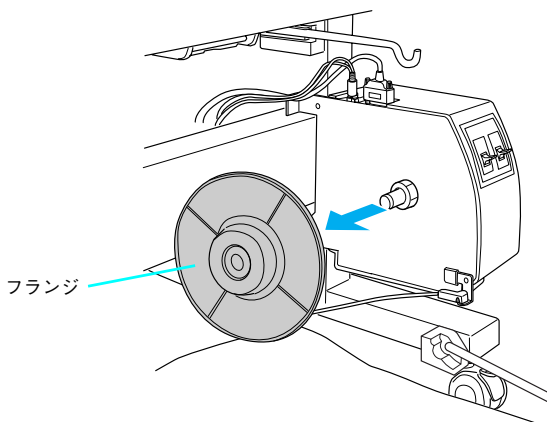
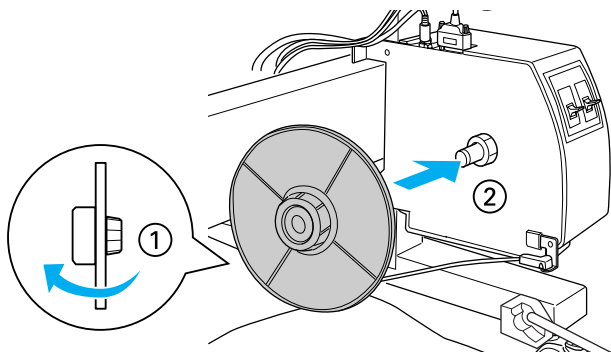
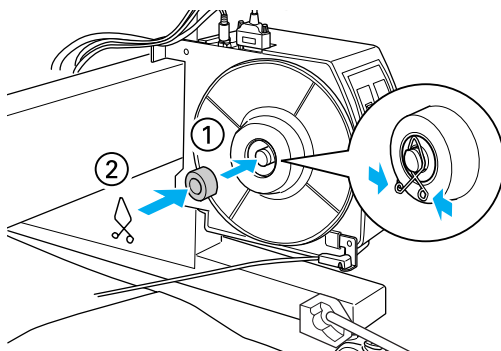
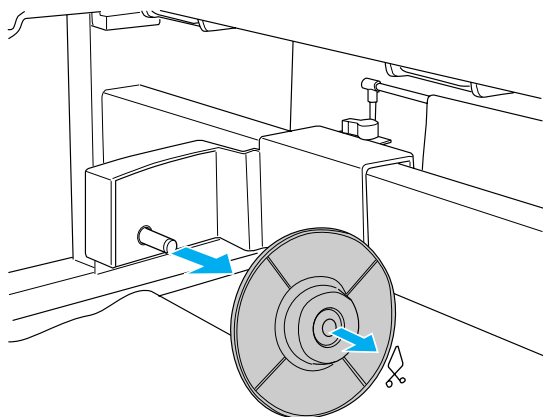
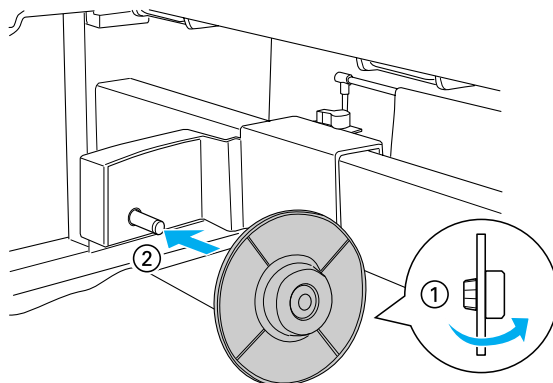
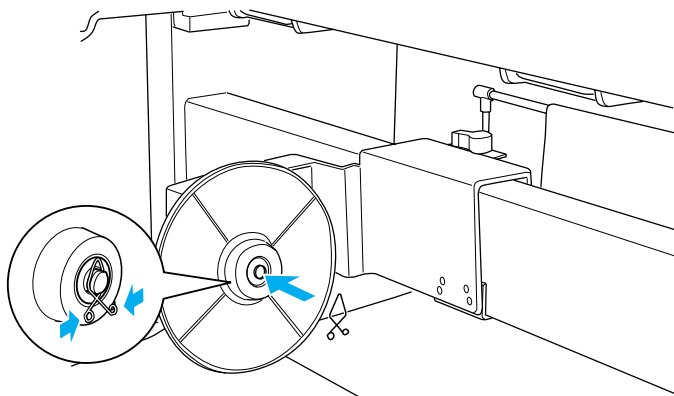
1 可動ユニットのロックを解除して左端に移動させます。

2 巻き取り紙管を駆動ユニットのフランジに差し込みます。

3 可動ユニット側のフランジを差し込み、巻き取り紙管の側面に合わせます。

4 可動ユニットのロックを固定します。

> **!注意** 紙管がぐらつかないこと、きちんと固定されていることを必ず確認してください。

使用済みロール紙の紙管を代用する方法

2インチ巻き取り紙管として、使用済みロール紙の紙管を使用できます。

!注意 変形していたり、表面に損傷部のある紙管は、巻き取り紙管として使用できません。

2インチ巻き取り紙管を取り付ける場合は、駆動ユニットと可動ユニットのフランジを裏返します。

参考 フランジの外径は図の通りです。

1 駆動ユニットの留め金具とキャップを外します。

2 フランジを取り外します。

3 フランジを裏返して、駆動ユニットに取り付けます。

4 キャップと留め金具を取り付けます。

5 可動ユニットの留め金具とフランジを取り外します。

6 フランジを裏返して、可動ユニットに取り付けます。

7 留め金具を取り付けます。

8 **2 インチ巻き取り紙管の取り付け方法は、3 インチ巻き取り紙管の場合と同じです。**

以降の作業は、319 ページ「3 インチ巻き取り紙管の取り付け」を参照してください。

使用方法

■ 操作パネル

センサランプ

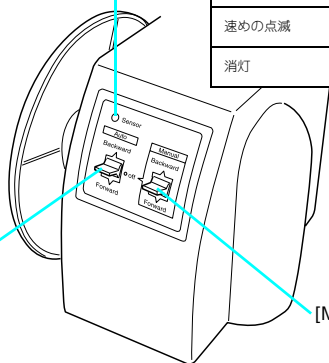
自動巻き取りユニットの状態を示します。

センサ	状態
点灯	センサユニットの発光部と受光部の位置が合っています。
遅めの点滅	（印刷している場合） 印刷によりロール紙のたるみが発生しています。しばらくすると巻き取り動作が開始されます。
	（印刷していない場合） センサユニットの発光部と受光部の間に障害物があるか、発光部と受光部の位置が合っていない可能性があります。
速めの点滅	巻き取り動作が停止しています。
消灯	電源が入っていません。

[Manual］スイッチ

［Auto］スイッチが［off］の場合に機能します。
手動でロール紙を巻き取ることができます。

Backward： Backward 側に（印刷面を内側にして）用紙を巻き取ります。

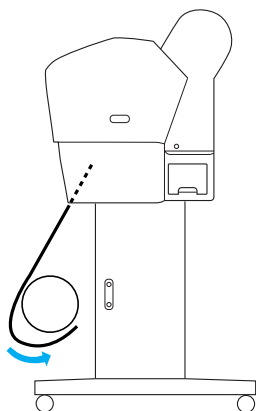
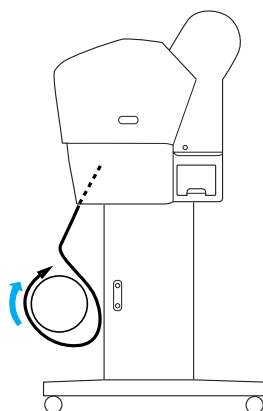
Forward ： Forward 側に（印刷面を外側にして）用紙を巻き取ります。

[Auto] スイッチ

センサの検知エリアにロール紙が送り出されたときに、自動でロール紙を巻き取ります。

Backward： Backward 側に（印刷面を内側にして）ロール紙を巻き取ります。

Forward ： Forward 側に（印刷面を外側にして）ロール紙を巻き取ります。

off ： センサの検知エリアにロール紙が送り出されてもロール紙を巻き取りません。

Forward　印刷面を外側にして巻き取る

Backward　印刷面を内側にして巻き取る

■ ロール紙のセット

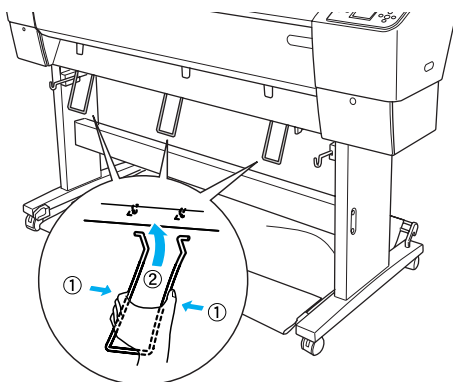
⚠警告

巻き取り紙管は正しく、しっかり固定してください。
落下により、けがをするおそれがあります。

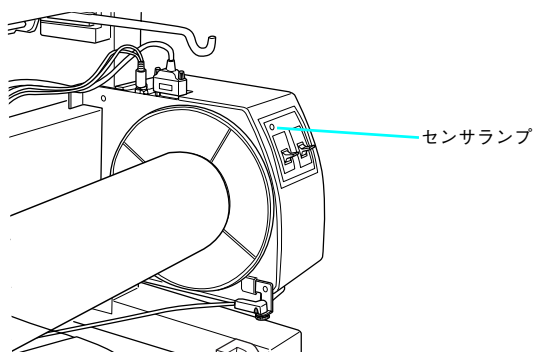
ロール紙をセットする前に、ロール紙の先端部が垂直にカットされていることを確認してください。先端部が波打っていたり、でこぼこにカットされていると、正しく巻き取れません。

☞ 使い方ガイド（冊子）「ロール紙のカット」
以降の作業は、プリンタにロール紙をセットしてから行ってください。

- Forward で巻き取る場合

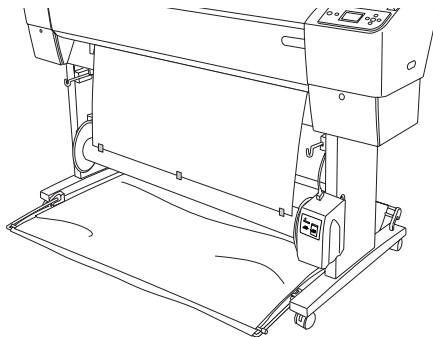
1. **自動巻き取りユニットに同梱されている排紙サポートを取り付けます。**

2. **プリンタの電源をオンにします。**

3. **センサランプが点灯していることを確認します。**

点滅している場合はセンサユニットの発光部と受光部の間に障害物があるか、発光部と受光部の位置が合っていない可能性があります。

4. **プリンタの［用紙選択］ボタン（◁）を押して［ロール紙カッターオフ］を選択します。**

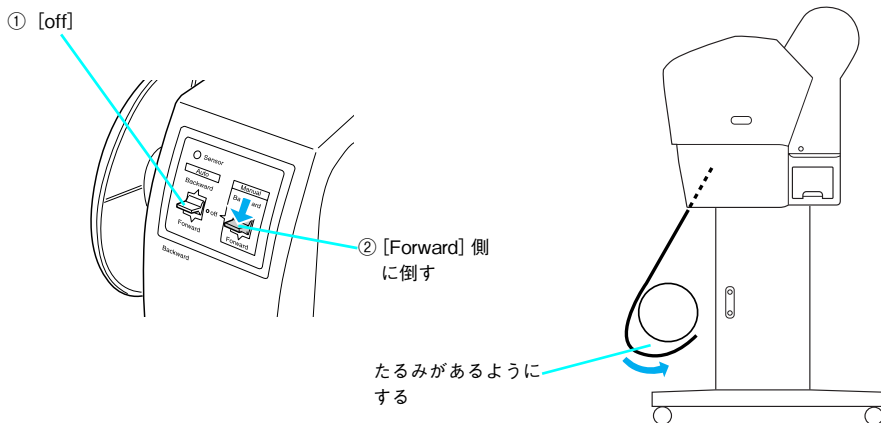
自動巻き取りユニットは［ロール紙カッターオフ］が選択されている場合のみロール紙を巻き取ります。

5. **プリンタの［用紙送り］ボタン（▽）を押して、ロール紙を紙送りします。**

6 **ロール紙の先端部を巻き取り、紙管に市販のテープなどで 3 カ所を止めます。**

7 **プリンタの［用紙送り］ボタン（▽）を押して、ロール紙をたるませます。**

8 **巻き取り紙管に一回転分以上、ロール紙を巻き取ります。**

① 駆動ユニット上の操作パネルの［Auto］スイッチを［off］にします。

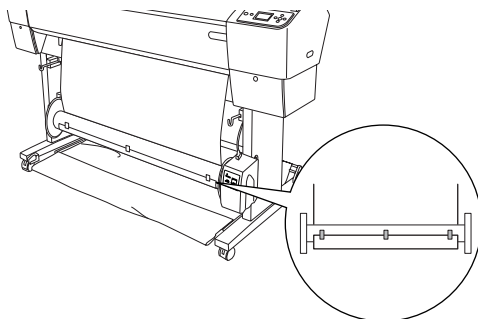
② ［Manual］スイッチを［Forward］側に倒して、一回転分以上ロール紙を巻き取ります。

巻き付け後に、ロール紙と巻き取り紙管の間に十分なたるみがあるようにしてください。

- Backward で巻き取る場合

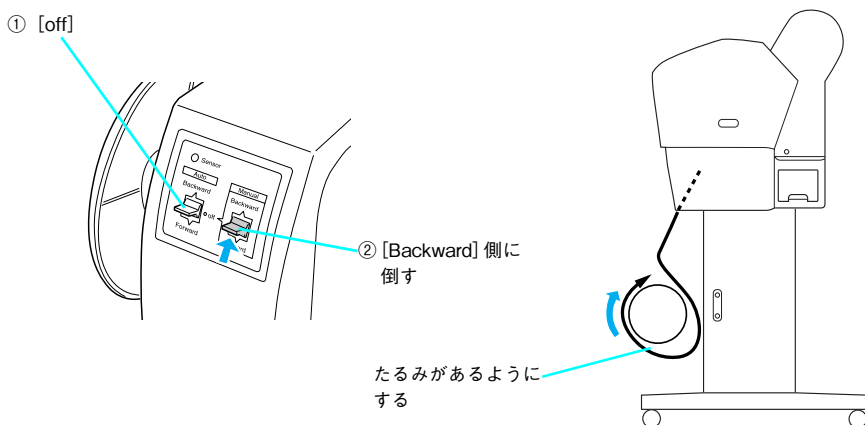
1 プリンタの電源をオンにします。

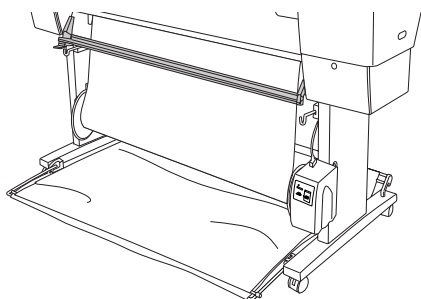
2 ロール紙を引き出します。

326 ページの ❸ ～ ❺ と同様にして、ロール紙を紙送りします。

3 ロール紙の先端部を巻き取り紙管の裏側から引き出し、市販のテープなどで 3 箇所を止めます。

4 プリンタの［用紙送り］ボタン（▽）を押して、ロール紙をたるませます。

5 巻き取り紙管に一回転分以上、ロール紙を巻き取ります。

① 駆動ユニット上の操作パネルの［Auto］スイッチを［off］にします。
② ［Manual］スイッチを［Backward］側に倒して、一回転分以上ロール紙を巻き取ります。

巻き付け後に、ロール紙と巻き取り紙管の間に十分なたるみがあるようにしてください。

- **マニュアルカッターユニットを使用する場合**
  オプションのマニュアルカッターユニットを使用する場合は、マニュアルカッターユニットの下にロール紙を通してから巻き取り紙管にセットしてください。

- **紙受け用バスケットについて**
  - 自動巻き取りユニットを使用するときは、紙受け用バスケットを取り外してください。
  - 紙受け用バスケットを使用して前方排紙を行う場合は、自動巻き取りユニットをプリンタから取り外してください。後方排紙は、自動巻き取りユニットを取り付けたままでも行えますが、この場合は、駆動ユニット側のフランジを取り外してください。

■ 動作確認

セットしたロール紙が正しく巻き取られるか確認します。

⚠注意

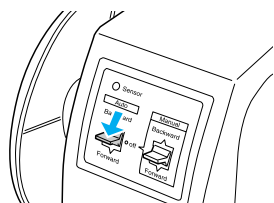
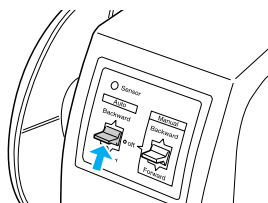
- 動作中は巻き取りユニットに触れないでください。
  手や髪の毛などが巻き込まれてけがをするおそれがあります。
- 動作中は、センサの検知エリアに入らないでください。
  巻き取り動作が開始するため、用紙を無理に巻き取ろうとして正常な印刷ができなくなります。

1 印刷終了時に、プリンタの内蔵カッターでロール紙がカットされないように、ロール紙の [オートカット] を [カットなし] に設定します。

- **操作パネルから印刷する場合（ステータスシート、ノズルチェックやギャップ調整のパターンなど）**
  操作パネルの [用紙選択] ボタン（◁）を押して、「ロール紙カッターオフ」（ ）を選択します。

- **プリンタドライバから印刷する場合**
  プリンタドライバの[用紙設定]画面で、[オートカット]を[カットなし]に設定します。

② 巻き取り方向のスイッチを設定します。

Forward で巻き取る場合

Backward で巻き取る場合

③ 印刷を実行し、正しく巻き取られていることを確認します。

印刷されたロール紙がたるむとセンサが感知し、自動的に巻き取りを開始します。

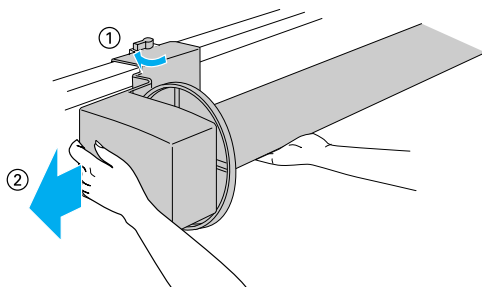
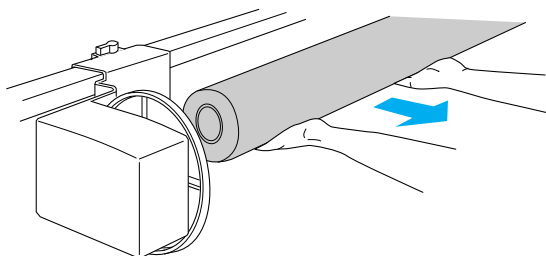
■ 巻き取り後の紙管の取り外し

巻き取り後の紙管は以下の手順で取り外してください。

① ロール紙を切り離します。

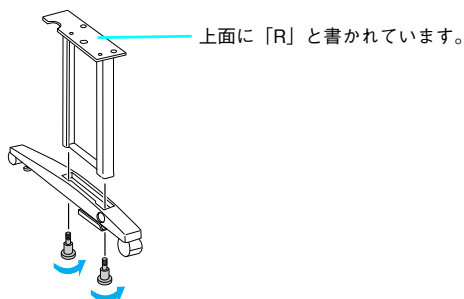
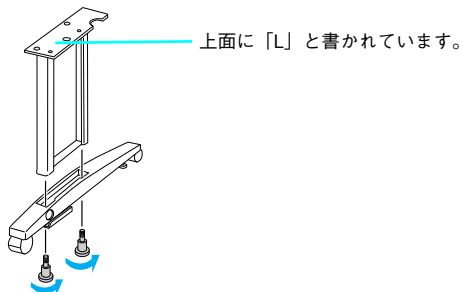
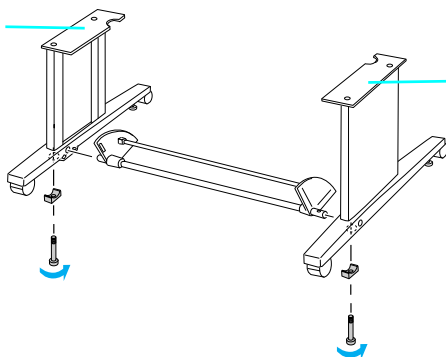
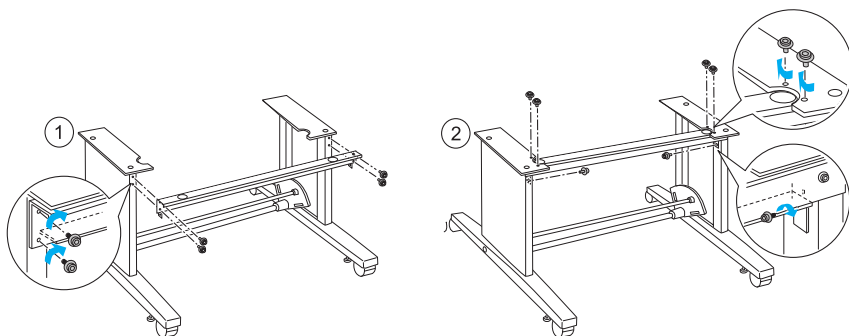
①［用紙選択］ボタンを押して［ロール紙自動カット］を選択します。
②［用紙選択］ボタンを３秒以上押すと、ロール紙がカットされます。
内蔵カッターでカットできないロール紙は、ハサミやオプションのマニュアルカッターユニットで切り離してください。
☞ 本書 308 ページ「マニュアルカッターユニット」

② 可動ユニットのロックを解除し、可動ユニットを巻き取り紙管から取り外します。

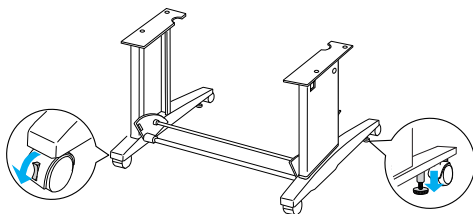
巻き取り紙管を落とさないように片手で支えてください。

③ 巻き取り後の巻き取り紙管を可動ユニットから取り外します。

専用スタンド（PX-7500/PX-7500S のみ）

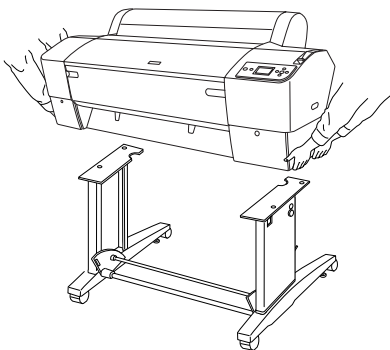
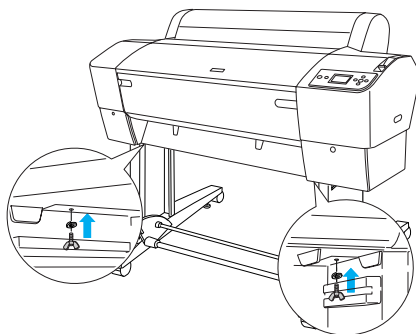
型番	名称・説明
PX75STD	専用スタンド（PX-7500/PX-7500S 用）

スタンドの組み立て

1. 右の脚に右の支柱を差し込み、支柱取付ボルト２本を同梱の六角レンチ（大）で固定します。

2. ❶ と同様にして、左側の脚を組み立てます。

3. **脚つなぎのパイプを、脚側面の穴に奥まで差し込み、脚つなぎカラー、脚つなぎ取り付けボルトを六角レンチ（大）で固定します。**

4. **支柱つなぎの穴と、支柱背面の穴を合わせ、支柱つなぎの切り欠き部分を支柱に差し込みます。図のように支柱つなぎ取付ボルトを 10 箇所に、六角レンチ（小）を使って固定します。**

以上で、専用スタンドの組み立ては終了です。
軽く左右に揺らし、しっかり固定されていることを確認してください。
次にプリンタ本体を取り付けます。以降のページを参照してください。

プリンタ本体の取り付け

1. **専用スタンドの前方のキャスター（2箇所）をロックし、後方のスタンド固定用ネジ（2箇所）を伸ばして、スタンドが動かないように固定します。**

2. **プリンタ本体を持ち上げて、プリンタ後方の角を専用スタンドの角に合わせて載せます。**

   必ず2人以上で持ち上げてください。

3. **プリンタ本体と専用スタンドを蝶ボルトとバネ座金で固定します。**

以上で、プリンタ本体の取り付けは終了です。
軽く左右に揺らし、しっかり固定されていることを確認してください。
紙受け用バスケットの取り付けは、以下を参照してください。
☞ 使い方ガイド（冊子）「紙受け用バスケットの取り付け」

通信販売（消耗品 / オプション品）のご案内

エプソン製品の消耗品 / オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライの通信販売をご利用ください (2006 年 3 月現在)。

インターネットでのご注文	ホームページ	http://epson-supply.jp
お電話でのご注文	電話番号	0120-251-528（フリーコール） ※電話番号をよくお確かめの上おかけください。
	受け付け時間	月～金曜日　9:00 ～ 18:15 土曜日　　　9:00 ～ 17:00 （祝祭日、弊社指定休日を除く）

お届け方法、お支払い方法など詳細につきましては、上記のホームページまたはお電話でご確認ください。

メンテナンス

ここでは、日常のメンテナンスについて説明します。

インク残量の確認

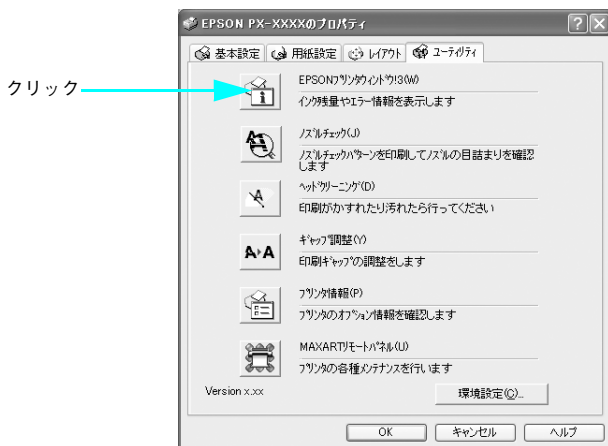
EPSON プリンタウィンドウ !3（Windows）または EPSON プリンタウィンドウ（Mac OS）を使用すると、プリンタの状態を確認して、インク残量などを画面上に表示できます。

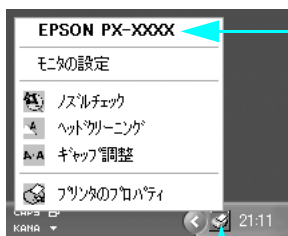
Windows の場合

2 通りの方法でインク残量を確認できます。

[方法 1]

プリンタドライバのプロパティ画面を開き、［ユーティリティ］の［EPSON プリンタウィンドウ !3］をクリックします。

[方法 2]

［モニタの設定］画面で［呼び出しアイコン］を設定しておくと、Windows のタスクバーに EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンが表示されます。このアイコンを右クリックして、メニューから本機をクリックします。

本書 65 ページ「［モニタの設定］画面」

印刷中に問題が起こったときは

インクがなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ!3 の［プリンタ詳細］ウィンドウにエラーメッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。

＜ PX-9500 の場合＞

①［対処方法］
インクがなくなったり、何らかの問題が起こった場合に表示されます。［対処方法］をクリックすると対処方法が順を追って表示されます。
②［閉じる］
［閉じる］をクリックすると、ウィンドウを閉じることができます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

Mac OS 9 の場合

インク残量を確認するために、3 通りの方法で［インク残量］モニタを開くことができます。

［方法 1］

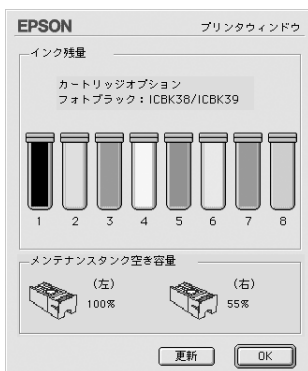
［印刷］画面を開いて をクリックします。

＜ PX-9500 の場合＞

［方法 2］

［印刷］画面または［用紙設定］画面の をクリックして［ユーティリティ］画面を開きます。［ユーティリティ］画面の アイコンをクリックします。

[方法 3]

セレクタで［バックグラウンドプリント］を［入］に設定している場合は、印刷実行時に［EPSON Monitor IV］が起動します。［EPSON Monitor IV］の をクリックします。

Mac OS X の場合

インク残量を確認するために、以下の方法で［インク残量］モニタを開くことができます。［アプリケーション］フォルダー［EPSON Printer Utility］アイコンの順にダブルクリックして［EPSON Printer Utility］画面を開き、［EPSON プリンタウィンドウ］をクリックします。

＜ PX-9500 の場合＞

インクカートリッジの交換

ここでは、インクカートリッジの交換方法を説明します。

！注意

- PX-7500/PX-9500 でマットブラックとフォトブラックの切り替えをする場合は、通常のインクカートリッジの交換とは手順が異なります。切り替えを行うときは必ず「ブラックインクコンバージョンキット」を使用して、本書 351 ページ「ブラックインク種類変更（PX-7500/PX-9500 のみ）」の手順に従って交換してください。
- プリンタの電源が入っていない状態でインクカートリッジを交換した場合、インク残量の検出が正しく行われず、インクエンドランプが点灯する前にインクがなくなったり、正常な印刷ができなくなります。インクカートリッジの交換は、必ず本書に従って交換してください。

インクがなくなった / 残り少なくなったときは

インクエンドランプの点滅は、インクが残り少ないことを示しています。また、インクがなくなったときや残り少なくなったときには、コンピュータの画面にメッセージが表示されます。エプソンプリンタウィンドウ（!3）がインストールされていないと表示されません。インクがなくなるまで印刷できますが、インクの残りが少なくなったときはできるだけ早くインクカートリッジを交換することをお勧めします。すべてのインクカートリッジのうち 1 個でもインクが終わると印刷ができなくなります。印刷の途中でインクが終わってしまった場合は、ディスプレイにインクなしのアイコンが表示されているインクカートリッジを交換すると印刷を続行できます。

＊ 画面上の［対処方法］をクリックすると交換手順が表示されますので、その表示に従うと簡単に交換できます。

インクカートリッジの種類

本機では、以下のインクカートリッジを使用します。

インクの色	標準 110ml タイプ型番		大容量 220ml タイプ型番 *1	
	PX-7500S/ PX-9500S *3	PX-7500/ PX-9500	PX-7500S/ PX-9500S *3	PX-7500/ PX-9500
フォトブラック	-	ICBK38 *2	-	ICBK39 *2
マットブラック	ICMB40	ICMB40 *1 *2	ICMB41	ICMB41 *2
シアン	ICC40	ICC38	ICC41	ICC39
マゼンタ	ICM40	ICM38	ICM41	ICM39
イエロー	ICY40	ICY38	ICY41	ICY39
グレー	-	ICGY38	-	ICGY39
ライトシアン	-	ICLC38	-	ICLC39
ライトマゼンタ	-	ICLM38	-	ICLM39
ライトグレー	-	ICLGY38	-	ICLGY39

*1 オプション（別売）です。購入時は同梱されていません。
*2 マットブラックを使用するときは、マットブラックインクを別途購入してください。ブラックインクの種類を変更するには、オプション（別売）の「ブラックインクコンバージョンキット」が必要です。
*3 PX-7500S/PX-9500S では、各色 2 本ずつインクをセットしてください。すべてのスロットにインクがセットされていないと、印刷できません。

本製品に添付のプリンタドライバは純正インクカートリッジの使用を前提に調整されています。純正品以外を使うと、印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるおそれがあります。

！注意

- 本製品のプリンタドライバは、本製品対応の純正インクカートリッジを前提に色調整されていますので、本製品対応の純正品以外を使うと印刷品質が低下したり、プリントヘッドの目詰まりやインク漏れなどの故障の原因となる可能性があります。また、インク残量を検出できない場合もあります。
- PX-7500/PX-7500S とPX-9500/PX-9500S とでは、インクの種類が異なりますのでご注意ください。

インクカートリッジに関するご注意

⚠注意	
	インクカートリッジを交換するときは、インクが目に入ったり皮膚に付着しないように注意してください。 目に入ったり皮膚に付着した場合は、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。
	インクカートリッジを分解しないでください。 分解したカートリッジは使用できません。また、分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。
	一度取り付けたインクカートリッジは強く振らないでください。 強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れることがあります。
	インクカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。また、インクは飲まないでください。

取り扱い上のご注意

- インクカートリッジは、使用前に水平方向に（約 5 秒ほど）よく振ってください。
- 良好な品質の印刷結果を得るために、インクカートリッジは、**開封後 6ヵ月以内**に使い切ってください。
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、**3時間以上室温に放置して**から使用してください。
- インクカートリッジは、個装箱に印刷されている有効期限までに使用することをお勧めします。期限を過ぎたものをご使用になると印刷品質に影響を与える場合があります。
- インクカートリッジの緑色の基板部分（IC チップ）には触らないでください。正常に動作・印刷ができなくなるおそれ があります。
- インクカートリッジのインク供給孔には触らないでください。インク供給部からインクが漏れることがあります。
- インクカートリッジは IC チップでインク残量などカートリッジ固有の情報を管理しているため、途中で抜いても再使用可能です。
- インクカートリッジにインクを補充しないでください。インクカートリッジは IC チップにインク残量を記憶しています。このため、インクを補充しても IC チップ内の残量値が書き換わることはなく、使用できるインク量は変わりません。
- インクカートリッジを落とすなど、強い衝撃を与えないでください。カートリッジからインクが漏れることがあります。

- インクは印刷時だけでなくプリントヘッドのクリーニング操作時などでも消費されます。
- インクカートリッジを取り外した状態で、プリンタを放置しないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジは、全色セットしてください。全色セットしていないと印刷できません。

交換時のご注意

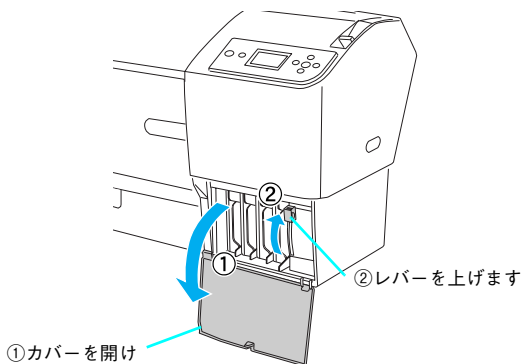
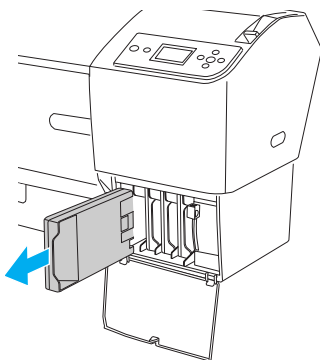
- プリンタの電源がオフの状態でインクカートリッジを交換しないでください。インク残量が正しく検出されず、正常に印刷できません。
- 交換中はプリンタの電源をオフにしないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- インク充てん中は、プリンタの電源をオフにしないでください。充てんが不十分で印刷できなくなるおそれがあります。
- 使用済みのインクカートリッジは、インク供給孔部にインクが付いている場合がありますのでご注意ください。
- 交換手順の最後にインクを充てんします（これによりインクを消費します）が、充てんに必要な容量のインクが残っていない場合は、カートリッジを新品に交換する必要があります。このときに新品がないと、プリンタが使用できない状態になります。念のため、交換後に装着するインクカートリッジの予備をあらかじめ用意しておいてください。
- 交換作業が数回目の場合は、メンテナンスタンクの空き容量が不足する可能性があります。特に、短期間で頻繁に交換すると、メンテナンスタンク内のインクが蒸発しないため、メンテナンスタンクがすぐにいっぱいになってしまいます。空き容量が足りない場合は新品に交換する必要があるため、あらかじめメンテナンスタンクの予備を用意しておいてください。

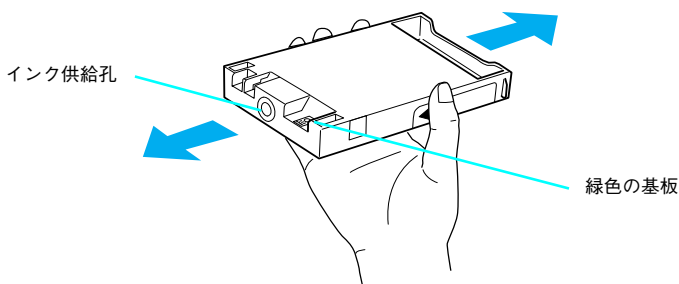
保管時のご注意

- インクカートリッジは、冷暗所で保管してください。
- 交換したインクカートリッジにインクが残っている場合、インクカートリッジの個装箱に印刷されている有効期限内であれば、再び交換して使用できます。
- カートリッジは、インクの供給孔部にホコリが付かないように注意して、プリンタと同じ環境下で保管してください。袋などに入れる必要はありません。また、供給孔内部には弁があるため、ふたや栓をする必要はありませんが、供給孔部で周囲を汚さないように注意してください。

インクカートリッジの交換手順

! 注意	PX-7500/PX-9500でマットブラックとフォトブラックの切り替えをする場合は、通常のインクカートリッジの交換とは手順が異なります。切り替えを行うときは必ず「ブラックインクコンバージョンキット」を使用して、本書 351ページ「ブラックインク種類変更（PX-7500/PX-9500 のみ）」の手順に従って交換してください。

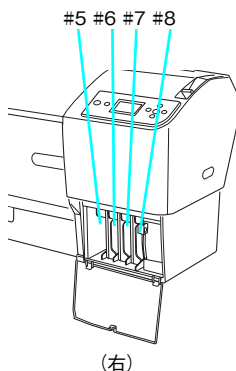
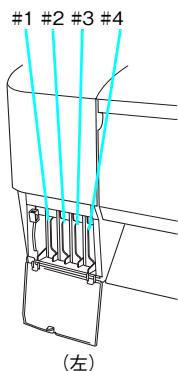
1. **インクカートリッジ収納ボックスのカバーを押してカバーを開け、インクレバーを上げます。**

2. **カートリッジスロットから交換するインクカートリッジを外します。**

! 注意	インク供給部からインクが漏れることがあります。手や服を汚さないように注意してください。

3 インクカートリッジを袋から取り出し、図のように持って振ります。水平方向に（5秒ほど）よく振ってください。

! 注意

- インクカートリッジの緑色の基板部分（IC チップ）には触らないでください。正常に動作・印刷ができなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジのインク供給孔には触らないでください。インク供給部からインクが漏れることがあります。

4 カートリッジスロットにインクカートリッジを取り付けます。

色によって装着するスロットが決まっています。図と表に従って装着してください。

（左）　（右）

	PX-7500/PX-9500	PX-7500S/PX-9500S
#1	ライトグレー	マットブラック
#2	ライトマゼンタ	マットブラック
#3	ライトシアン	マゼンタ
#4	グレー	マゼンタ
#5	フォトブラック / マットブラック *	シアン
#6	シアン	シアン
#7	マゼンタ	イエロー
#8	イエロー	イエロー

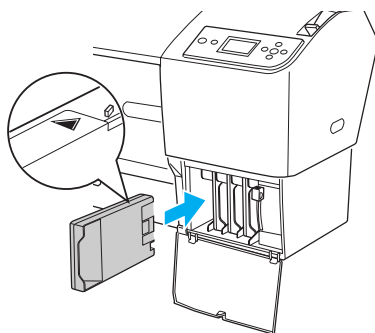
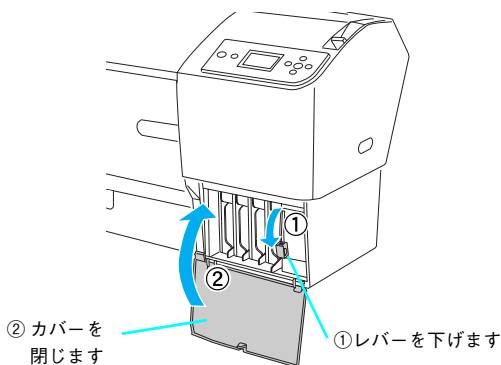
* ＃ 5 のスロットはフォトブラック、マットブラックの交換ができます（PX-7500/PX-9500 のみ）。ブラックインクの種類を切り替えるときは、ブラックインクコンバージョンキット（別売）が必要です。

☞ 本書 351 ページ「ブラックインク種類変更（PX-7500/PX-9500 のみ）」

シアン、マゼンタ、イエローの各インクカートリッジの種類は、PX-7500/PX-7500S と PX-9500/PX-9500S で異なります。

☞ 本書 343 ページ「インクカートリッジの種類」

5 **インクカートリッジの▲マークを上にして、プリンタ側に向けて挿入します。**

インクカートリッジはスロットの奥までしっかり挿入してください。インクカートリッジが挿入されると、操作パネルのインクエンドランプが消灯しますので、インクエンドランプを確認してください。

6 **インクレバーを下げ、インクカートリッジ収納ボックスのカバーを閉じます。**

レバーを押し下げ、カバーが固定されるまで閉じてください。印刷の途中でインクカートリッジを交換した場合は、印刷を再開してください。

インクカートリッジの回収にご協力ください

弊社は、環境保全活動の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」をエプソン製品取扱い店に設置し、使用済みインクカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みインクカートリッジは、最寄りの回収ポストまでお持ちいただきますようご協力をお願いいたします。
最寄りの回収ポスト設置店舗については、エプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）をご覧ください。

使用済みインクカートリッジ回収によるベルマーク運動

弊社は、プリンタの使用済みインクカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。
学校単位で使用済みインクカートリッジを回収していただき、弊社は回収数量に応じた点数を学校へ提供するシステムになっています。
この活動により資源の有効活用と廃棄物の減少による地球環境保全を図り、さらに教育支援という社会貢献活動を行っております。
詳細についてはエプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/products/toner/) をご覧ください。

ブラックインク種類変更（PX-7500/PX-9500 のみ）

PX-7500/PX-9500 では、フォトブラックとマットブラックの使い分け（ブラックインクの種類変更）ができます。通常のインク交換手順と異なりますので、必ず次の手順に従って交換してください。

作業前に以下のページを参照して、インクカートリッジに関するご注意を確認してください。

☞ 本書 344 ページ「インクカートリッジに関するご注意」

ブラックインク以外の同じ種類のインクを交換する場合は、本書 108 ページ「インクカートリッジの交換」をご覧ください。

- ブラックインク種類変更の操作（インク交換からインク充てん終了まで）には約 10 ～ 12 分かかります。
- ブラックインク種類変更を行うと各色約 15 ～ 20ml のインクが消費されます。必要なとき以外は種類変更を行わないでください。
- 印刷途中でインクがなくなった場合は、ブラックインク種類変更を行わないでください。印刷途中で異なる黒色のインクカートリッジに交換すると、エラー状態になり印刷が中断されます。

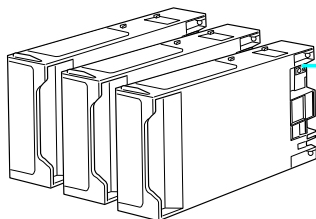
交換に必要なもの

■ 新しく装着するインクカートリッジ

場合によっては、交換対象でないインクカートリッジや、新品のメンテナンスタンクが必要になることがあります。以下の項目を参照してください。

☞ 本書 342 ページ「インクカートリッジの交換」
☞ 本書 361 ページ「メンテナンスタンクの交換」

■ ブラックインクコンバージョンキット（別売：型番 ICCVK38）

ブラックインクコンバージョンキットは、コンバージョンカートリッジ 3 本のセットです。

緑色の基板部分（IC チップ）には触らないでください。
正常に動作できなくなるおそれがあります。

ブラックインクコンバージョンカートリッジは、100 回の使用で寿命となります。

交換作業の流れ

まず、交換作業の大まかな流れを説明します。流れを把握してから作業を始めることをお勧めします。

① 操作パネルで、すべてのインク残量および、メンテナンスタンクの空き容量を確認します。
② 操作パネルで、メンテナンスメニューの「K インク交換」を選択します。
③ 右側のすべてのインクカートリッジを引き抜きます。
④ プリンタ内部のインク流路に残っているインクをメンテナンスタンクに排出します。インクの排出には「ブラックインクコンバージョンキット」が必要です。
⑤ インクカートリッジをセットし、インクを充てんします。
⑥ プリンタドライバのインク情報を更新します。

！注意

- ブラックインク種類変更の操作が終了するまで、プリンタから離れないでください。作業の途中で放置した場合、インク充てんのやり直しなどでインクを余分に消費してしまうことがあります。
- インク交換には時間がかかり、その間は印刷できません。プリンタをネットワーク共有している場合は接続ケーブルを抜いておくことをお勧めします。

■ インク残量とメンテナンスタンクの空き容量の確認

ブラックインクの種類変更には、十分なインク残量とメンテナンスタンクの空き容量が必要です。操作パネルのディスプレイ表示を目安にして確認します。

<table>
<tr><th colspan="3">インクカートリッジ</th><th colspan="2" rowspan="2">メンテナンスタンク</th></tr>
<tr><th></th><th>標準 110ml タイプ</th><th>大容量 220ml タイプ</th></tr>
<tr><td></td><td>ブラックインクを交換するために十分なインクがあります。</td><td rowspan="2">ブラックインクを交換するために十分なインクがあります。</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">ブラックインクを交換するために十分な空きがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td rowspan="2">新品と交換してから、ブラックインクの種類を変更してください。</td></tr>
<tr><td></td><td>新品と交換してから、ブラックインクの種類を変更してください。</td><td></td><td>新品と交換してから、ブラックインクの種類を変更してください。</td></tr>
</table>

インク残量とメンテナンスタンクの空き容量は、プリンタドライバの EPSON プリンタウインドウでも確認できます。

Windows：☞ 本書 61 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3」
Mac OS 9：☞ 本書 104 ページ「EPSON プリンタウィンドウ」
Mac OS X：☞ 本書 141 ページ「EPSON プリンタウィンドウ」

ブラックインクの交換

1 ［Menu］ボタンと［用紙送り］ボタンを押してインクセット交換モードにします。

プリンタ設定	←最初の設定メニューです

↓［用紙送り］ボタンを数回押します

メンテナンス

↓［Menu］ボタンを押します

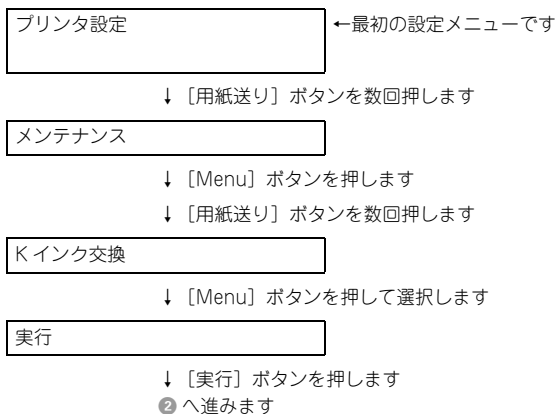
↓［用紙送り］ボタンを数回押します

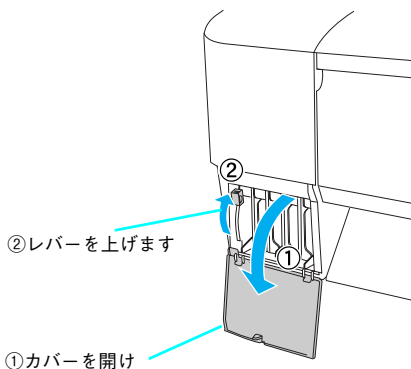
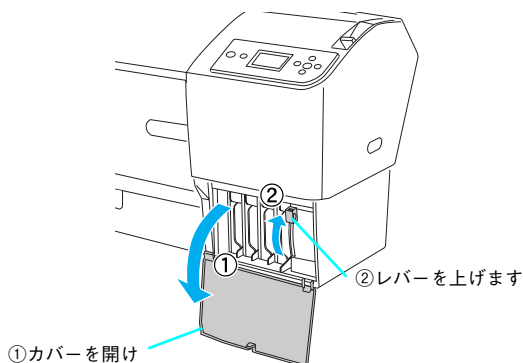
K インク交換

↓［Menu］ボタンを押して選択します

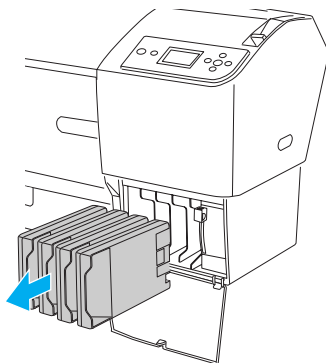
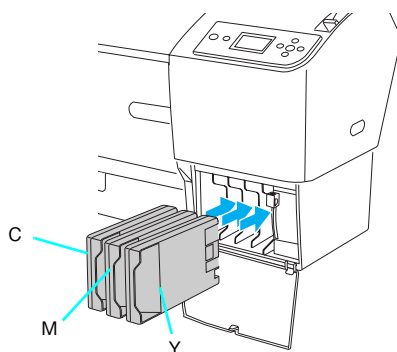
実行

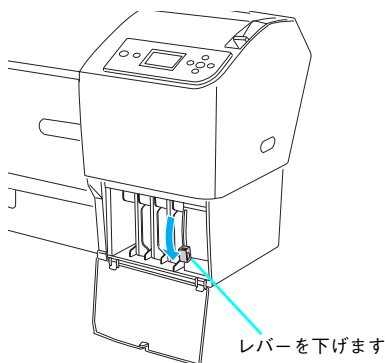
↓［実行］ボタンを押します

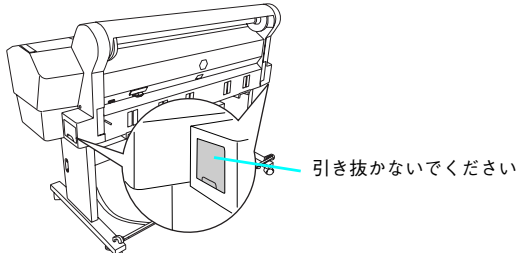
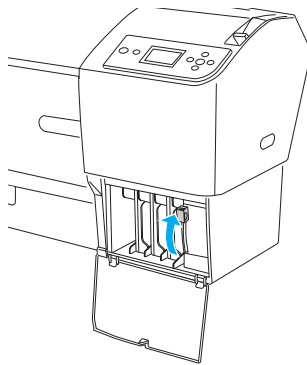
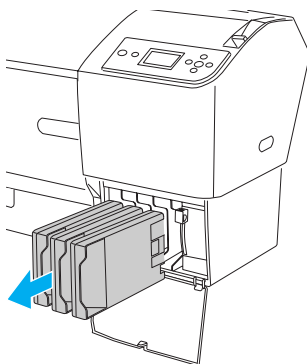
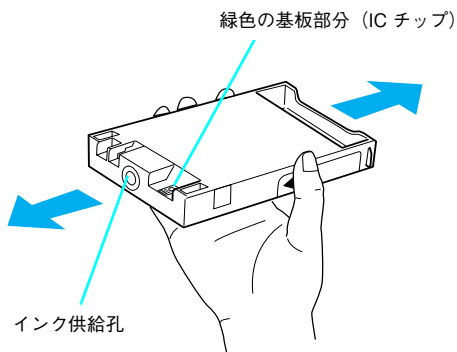
2 へ進みます

5 までの間は作業を中止できます。中止する場合は［ポーズ］ボタンを押してください。

2 ディスプレイに「左側のカバーを開けてください」、「左側のインクレバーを上げてください」と表示されたら、インクカートリッジ収納ボックス（左）のカバーを開けて、インクレバーを上げます。

3 「右側のカバーを開けてください」、「右側のインクレバーを上げてください」と表示されたら、インクカートリッジ収納ボックス（右）のカバーを開けて、インクレバーを上げます。

ディスプレイに「新しいインクカートリッジと交換してください」と「左側（右側）のインクレバー上げてください」が交互に表示された場合、または、ディスプレイに「左側（右側）のメンテナンスタンクを交換してください。」と表示された場合は、下記をご覧ください。

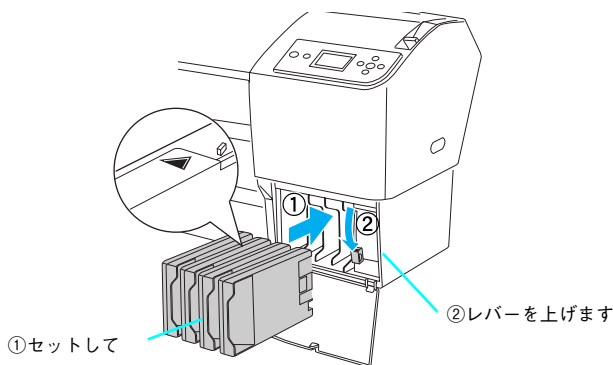
☞ 本書 396 ページ「操作パネルにエラーメッセージが表示される」

4 「右側のインクカートリッジ（4 本）を抜いてください」と表示されたら、右側カートリッジスロットのインクカートリッジを取り外します。

5 **「CMY のコンバージョンカートリッジをセットしてください」と表示されたら、コンバージョンカートリッジを #6 ～ #8 のカートリッジスロットにセットします。**

カートリッジは▲マークを上にして、プリンタ側に向けて奥までしっかり挿入してください。

6 **「右側のインクレバーを下げてください」と表示されたら、右側のインクレバーを下げます。**

インクレバーを下げると、「インク排出中 nn%」と表示され、インクの排出が始まります。

！注意　インクはメンテナンスタンクに排出されます。排出が完了するまでメンテナンスタンクを絶対に引き抜かないでください。引き抜くとインクがこぼれます。
PX-7500 の場合、メンテナンスタンクは向かって右側のみに装着されています。

7 「右側のインクレバーを上げてください」と表示されたら、右側のインクレバーを上げます。

8 「CMY のコンバージョンカートリッジを抜いてください」と表示されたら、コンバージョンカートリッジを取り出します。

9 新たにセットするブラックインクカートリッジを用意し、図のように持って振ります。水平方向に（5秒ほど）よく振ってください。

！注意

- インクカートリッジの緑色の基板部分（IC チップ）には触らないでください。正常に動作・印刷ができなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジのインク供給孔には触らないでください。インク供給部からインクが漏れることがあります。

10 **「右側のインクカートリッジ（4 本）を挿してください」と表示されたら、新たにセットするブラックインクカートリッジと、一旦抜いたインクカートリッジ（#6 ～ #8）を右側のインクカートリッジ収納ボックスのスロットにセットし、インクレバーを下げます。**

カートリッジは▲マークを上にして、プリンタ側に向けて奥までしっかり挿入してください。

11 **「右側のインクレバーを下げてください」、「左側のインクレバーを下げてください」と表示されたら、左右のインクレバーを下げます。**

12 **「右側のインクレバーを上げてください」、「左側のインクレバーを上げてください」と表示されたら左右のインクレバーを上げます。**

インクの充てんが始まります。充てんには約 10 ～ 11 分かかります。インクの充てん中は「インク充てん中 nn%」と表示されます。

！注意	インク充てん中は、プリンタから離れずに、操作パネルの指示に従ってインクレバーを上げ下げしてください。

13 **表示されるメッセージに従って、インクレバーを数回上げたり下げたりします。**

必ずディスプレイに表示されるメッセージに従ってください。メッセージに従わずにインクレバーを上げたり下げたりした場合、インク充てんが正常に行われない可能性があります。必ず守ってください。

14 **左右のインクカートリッジ収納ボックスのカバーを閉じます。**

ディスプレイに「印刷可能」と表示されたら充てんは終了です。

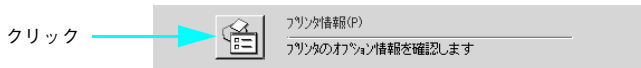
次に、プリンタドライバのインク情報を更新します。インク情報を更新しないと印刷ができません。
次ページへ進んでください。

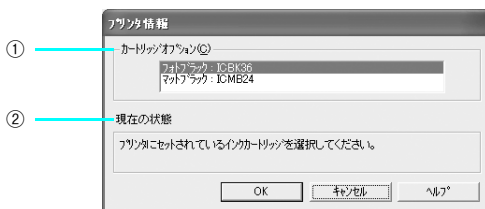
インク情報の更新（PX-7500/PX-9500 のみ）

ブラックインクを交換した場合は、必ずプリンタドライバのインク情報を更新してください。更新しないと正常な印刷結果が得られません。

■ Windows の場合

1 プリンタドライバのプロパティ画面で［ユーティリティ］タブをクリックします。

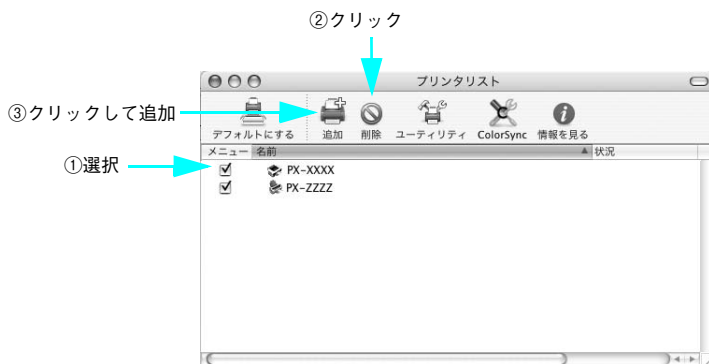
2 ［プリンタ情報］をクリックします。

3 装着しているブラックインクカートリッジの組み合わせを［カートリッジオプション］で選択して、［OK］をクリックします。

- フォトブラックの場合は、［フォトブラック：ICBK38/39］を選択します。
- マットブラックの場合は、［マットブラック：ICMB40/41］を選択します。

EPSON プリンタウインドウ !3 をセットアップしておくと、[プリンタ情報] 画面を開く際に新しいインク情報が取得されて、「カートリッジオプション」に自動的に反映されます。

■ Mac OS 9 の場合

アップルメニューから［セレクタ］を開き、プリンタドライバのアイコンとポートを選択し直してください。選択し直すことで、プリンタドライバがプリンタのインク情報を取得します。

■ Mac OS X の場合

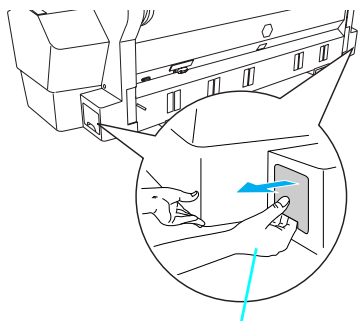
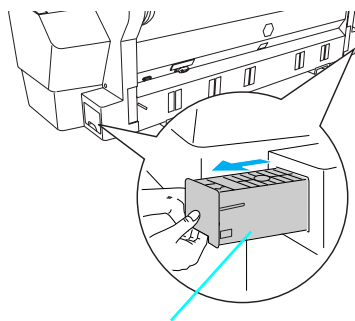
プリンタ設定ユーティリティを開き、表示されているプリンタ名を削除し、追加し直してください。追加し直すことで、プリンタドライバがプリンタのインク情報を取得します。

インクカートリッジの保管

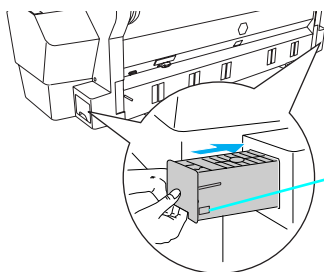
- 交換したインクカートリッジにインクが残っている場合、インクカートリッジの個装箱に印刷されている有効期限内であれば、再び交換して使用できます。
- カートリッジは、インクの供給孔部にホコリが付かないように注意して、プリンタと同じ環境下で保管してください。袋などに入れる必要はありません。また、供給孔内部には弁があるため、ふたや栓をする必要はありませんが、供給孔部で周囲を汚さないように注意してください。
- カートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。また、インクは飲まないでください。

メンテナンスタンクの交換

ディスプレイに「メンテナンスタンク交換」と表示された場合は、メンテナンスタンクを交換してください。
PX-7500/PX-7500S の場合、メンテナンスタンクは向かって右側のみに装着されています。
PX-9500/PX-9500S の場合は、プリンタ右側と左側の両方にメンテナンスタンクが 1 つずつ装着されています。
本機で使用できるメンテナンスタンクの当社純正品は、以下の通りです。

名称	型番
PX-7500/PX-9500 用のメンテナンスタンク	PXMT2
PX-7500S/PX-9500S 用のメンテナンスタンク	PXMT3

1 メンテナンスタンクを取り外します。

プリンタ本体を押さえて、メンテナンスタンクを図のように引き出します。

メンテナンスタンクが傾かないように、メンテナンスタンクの下に手を添えて取り出します。

2 新しいメンテナンスタンクをセットします。

新しいメンテナンスタンクをセットする際、緑色の基板部分（IC チップ）には触らないでください。正常に動作しなくなるおそれがあります。

メンテナンスタンクのリサイクルについて

弊社では環境保全活動の一環として、使用済メンテナンスタンクのリサイクル、再資源化を行っています。「使用済みカートリッジ回収ポスト」を回収協力販売店に設置し、集まった使用済みメンテナンスタンクを定期的に回収しています。ぜひ回収ポストに入れてくださいますようご協力をお願いいたします。

カッターの交換

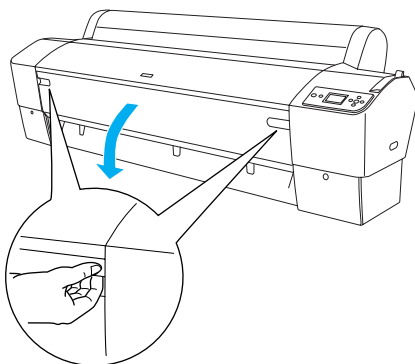
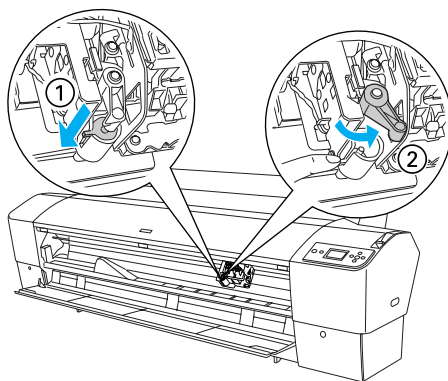
用紙がきれいに切り取れなくなったり、カット部に毛羽立ちなどが発生したら、カッターを交換してください。本機で使用できるカッターの当社純正品は、以下の通りです。

名称	型番
ペーパーカッター替え刃	PXSPB1

！注意
- カッター交換作業は短時間で行ってください。プリントヘッドがカッター交換位置に置いたままで放置すると、ヘッドが目詰まりする原因となります。
- カッター刃を傷付けないように取り扱ってください。落下したり硬い物に当たると刃が欠けることがあります。

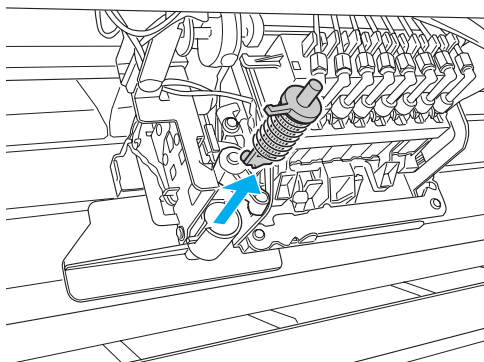
1. **プリンタの電源がオンになっていることを確認します。**

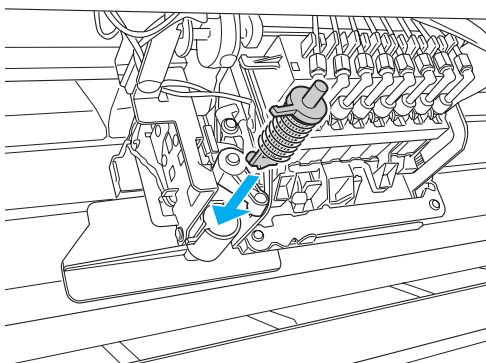
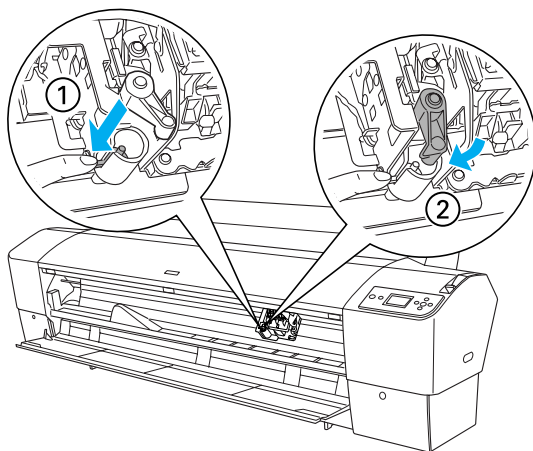
2. **［用紙選択］ボタンを 3 秒以上押し続け、［カッター交換］モードにします。**

3. **フロントカバーを開けます。**
カッター交換位置までプリントヘッドが移動し、交換位置で停止しています。
ディスプレイには、「カッターを交換してください。ラベルを見ながら交換してください。」と表示されます。

4 **①カッター押さえのツマミを軽く押しながら、②カッター押さえのレバーを図の方向に回転させます。**

! 注意	カッターホルダにはバネが組み込まれています。カッター押さえのツマミを強く押したり、急に離すとカッターが飛び出すおそれがありますので注意してください。また、奥まで押し込むとカッターの刃がプリンタ内部を傷付けるおそれがありますので、軽く押すようにしてください。

5 **カッターを取り出します。**

取り出したカッターを、プリンタ内部に落とさないように注意してください。

⚠注意	カッター取り扱い時には、カッターの刃でけがをしないように十分に注意してください。なお、子供の手に触れないようにご注意ください。

	使用済みのカッターは、袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

6 **新しいカッターを箱から取り出し、カッターを図のように差し込みます。**
ガイドに沿って奥まで差し込みます。
カッターホルダに組み込まれているバネを飛ばさないように取り付けてください。

7 **①カッター押さえのツマミを軽く押しながら、②カッター押さえのレバーを元の位置に戻します。**

！注意

- カッターホルダにはバネが組み込まれています。カッター押さえのツマミを強く押したり、急に離すとカッターが飛び出すおそれがありますので注意してください。また、奥まで押し込むとカッターの刃がプリンタ内部を傷付けるおそれがありますので、軽く押すようにしてください。
- カッター押さえのレバーが元の位置に戻っていることを確認してください。レバーが戻っていないと用紙をカットできません。

8 フロントカバーを閉じます。

プリントヘッドが右端に移動します。

お使いの環境によって、カッター交換中にプリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりしてしまう場合があります。より良い印刷品質を得るために、カッター交換後にノズルチェックパターン印刷をして目詰まりしていないか確認することをお勧めします。

☞ 本書 368 ページ「ノズルチェック」

以上でカッター交換作業は終了です。

プリントヘッドの調整

白い線が入る、印刷が汚いなどの印刷状態の場合はプリントヘッドの調整を行う必要があります。本機には、プリントヘッドを常に良好な状態に保ち、最良の印刷結果を得るために、以下のようなメンテナンス機能があります。

手動クリーニング機能

印刷の状況に応じて、手動でクリーニングを行います。

調整項目	内容
ノズルチェック 本書 368 ページ「ノズルチェック」	ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドのノズルが目詰まりしていないか確認します。 • ドライバユーティリティから • MAXART リモートパネルから • 本機の操作パネルから
ヘッドクリーニング 本書 372 ページ「ヘッドクリーニング」	印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。 • ドライバユーティリティから • MAXART リモートパネルから • 本機の操作パネルから
パワークリーニング 本書 375 ページ「パワークリーニング」	ヘッドクリーニングを数回繰り返してもノズルが詰まっている場合に、より強力なクリーニングを行います。 • 本機の操作パネルから • MAXART リモートパネルから
自動ノズル抜け検出 本書 459 ページ「[プリンタ設定]メニュー」	印刷データを受信後、印刷開始前に毎回自動的にノズルチェックパターンを印刷するかどうかを設定します。 [自動クリーニング]が[ON]に設定されている場合にのみ有効です。 • 本機の操作パネルから
自動クリーニング 本書 459 ページ「[プリンタ設定]メニュー」	[ノズルチェック]または[自動ノズル抜け検出]の結果、ノズルが目詰まりしている場合は、自動的にヘッドクリーニングを行います。 • 本機の操作パネルから

本機が自動的に行うクリーニング機能（自動メンテナンス機能）

本機は、自動的に以下のクリーニングを行っています。

セルフクリーニング	プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にすべてのインクを微量吐出してノズルの乾燥を防ぐ機能です。電源を ON にしたときや印刷を開始するときなどに行われます。
キャッピング	プリントヘッドの乾燥を防ぐために、自動的にプリントヘッドにキャップ（フタ）をする機能です。プリントヘッドが右端に位置しているときはキャッピングされています。

プリントヘッドの位置調整機能

手動でプリントヘッドのズレを修正します。

ギャップ調整 本書 378 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」	印刷した画像が荒れている、ぼやけた印象になる場合は、ギャップ調整でプリントヘッドの位置を調整できます。 • ドライバユーティリティから • MAXART リモートパネルから • 本機の操作パネルから

MAXART リモートパネルは、以下の方法で起動します。

Windows の場合

- デスクトップ上のアイコンをダブルクリックする
- ［スタート］メニューから［プログラム］または［すべてのプログラム］－［MAXART リモートパネル］－［MAXART リモートパネル］を選択する
- プリンタドライバの［ユーティリティ］画面で「MAXART リモートパネル」をクリックする

Mac OS 9 の場合

- デスクトップ上のアイコンをダブルクリックする
- ［Applications］フォルダを開き、［MAXART リモートパネル］アイコンをクリックする

* プリンタドライバからは MAXART リモートパネルを起動できません。

Mac OS X の場合

- デスクトップ上のアイコンをダブルクリックする
- ［Applications］フォルダを開き、［MAXART リモートパネル］アイコンをクリックする
- ［EPSON Printer Utility］アイコンをダブルクリックし、［MAXART リモートパネル］アイコンをクリックする

MAXART リモートパネルからの操作の詳細については、MAXART リモートパネルを起動した画面にある［ヘルプ］をクリックし、ヘルプをご覧ください。

ノズルチェック

ノズルチェックとは、プリントヘッド[*1]のノズル[*2]が目詰まりしているかを確認するためのパターンを印刷する機能です。ノズルチェックパターンの印刷がかすれたり、すき間が空く場合は、ヘッドクリーニングを実行して、目詰まりを除去してください。

[*1] プリントヘッド：用紙にインクを吹き付けて印刷する部分。外部からは見えない位置にある。

[*2] ノズル：インクを吐出するための、非常に小さな孔（あな）。

ノズルチェックを行うには、２つの方法があります。

- プリンタドライバから行う
- 本機の操作パネルから行う

インクエンドランプの点灯中は実行できません。

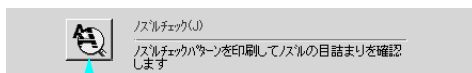
プリンタドライバから行う

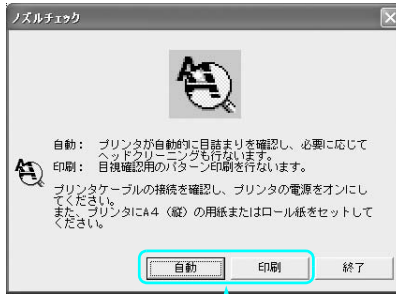
ここでは Windows を例に説明します。

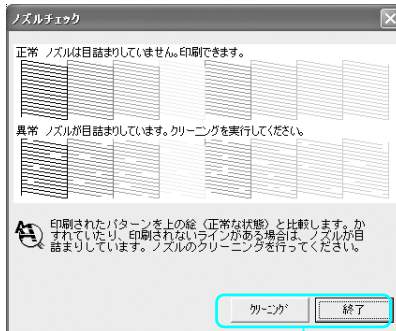
1 A4 サイズ以上のエプソン純正専用紙をセットします。

使用する用紙に合わせて、給紙方法も正しく設定してください。

2 プリンタドライバの［ユーティリティ］画面を開きます。

3 ［ノズルチェック］をクリックします。

クリック

4 ［自動］または［印刷］をクリックします。
ノズルチェックパターンが印刷されます。

［自動］をクリックした場合は、ノズルチェックパターン印刷後、ノズルが目詰まりしていると自動的にクリーニングします。これで手順は完了です。
［印刷］をクリックした場合は、手順 5 へ進みます。

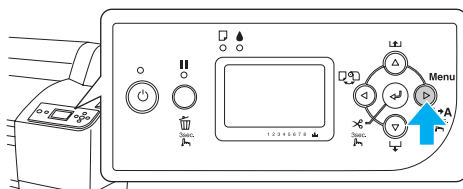
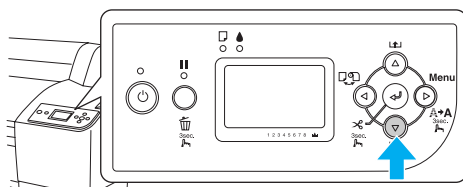
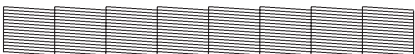
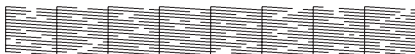
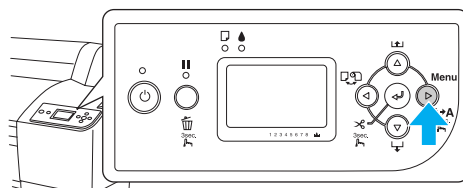
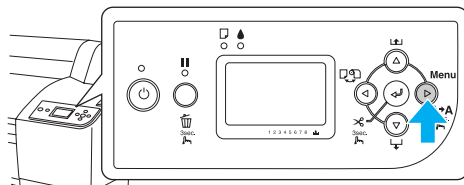
5 印刷されたノズルチェックパターンの線がかすれたり消えたりしていないかを確認して、問題がない場合は［終了］を、問題があった場合は［クリーニング］をクリックします。
画面は機種によって異なることがあります。

ノズルチェックパターン印刷直後に、印刷またはクリーニングを行う場合は、ノズルチェックパターン印刷が完全に終了していることを確認してから実行してください。

本体の操作パネルから行う

1. A4 サイズ以上のエプソン純正専用紙をセットします。

使用する用紙に合わせて、給紙装置も正しく設定してください。

2. [用紙選択] ボタン（ ◁ ）を押して、セットした用紙に合わせて用紙種類を選択します。

3. [Menu] ボタン（ ▷ ）を押して、パネル設定モードに入ります。

4. [用紙送り] ボタン（ ▽ ） を 1 回押して「テスト印刷」が表示されたら、[Menu] ボタン（ ▷ ）を押します。

5. 「ノズルチェック」が表示されたことを確認し、[Menu] ボタン（ ▷ ）を押します。

6 「印刷」と表示されたら、［実行］ボタン（ ⏎ ）を押します。

7 印刷されたノズルチェックパターンを確認します。

＜良い例＞	＜悪い例＞
ノズルチェックパターンが欠けていません。ノズルは目詰まりしていません。	ノズルチェックパターンが欠けています。ノズルが目詰まりしています。「ヘッドクリーニング」を行ってください。 ☞ 本書 372 ページ「ヘッドクリーニング」

！注意

連続して 2 回クリーニングしても目詰まりが解消されず、3 回目のクリーニングを実行しようとすると「パワークリーニングを実行しますか？」というメッセージが表示されます。「いいえ」を選択すると、通常のヘッドクリーニングを実行します。

「はい」を選択してパワークリーニングを実行すると、インク残量を自動的にチェックします。一定量以下の場合は、クリーニングを中止します。

また、パワークリーニングを実行するときは、インクレバー操作があるので、パネルのメッセージに従ってレバーの上げ下げをしてください。

☞ 本書 375 ページ「パワークリーニング」

パワークリーニングを行っても目詰まりが解消されない場合は、プリンタの電源をオフにして一晩以上放置してください。時間をおくことによって、目詰まりしているインクが溶解する場合があります。

それでも改善されない場合は、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングとは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。印刷がかすれたり、すき間が空くようになったら、次の手順に従ってヘッドクリーニングしてください。

ヘッドクリーニングを行うには、２つの方法があります。

- プリンタドライバから行う
- 本機の操作パネルから行う

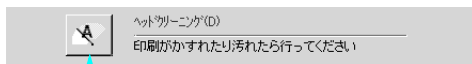
!注意

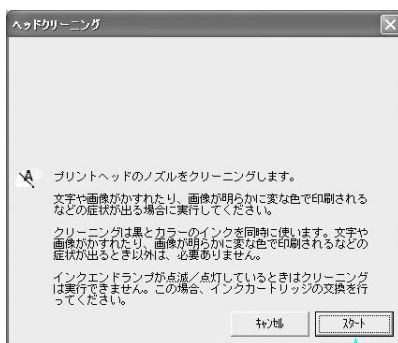
- ヘッドクリーニングはすべてのインクカートリッジのインクを同時に使います（モノクロ印刷などでブラック系のインクのみを使用している場合でも、ヘッドクリーニングをするときはカラーのインクも消費します）。
- 文字がかすれたり、画像が明らかに変な色で印刷されるなどの症状が出るとき以外は、必要ありません。
- 厚紙をセットした状態でヘッドクリーニングを実行することはできません。
- ヘッドクリーニングをした後は、必ずノズルチェックパターン印刷などで印刷結果を確認してください。
- ヘッドクリーニングは、インクエンドランプが点滅または点灯時には行えません。まずインクカートリッジを交換してください（クリーニングに必要なインクが残っている場合は、本体の操作パネルからヘッドクリーニングができる場合があります）。
本書 342 ページ「インクカートリッジの交換」

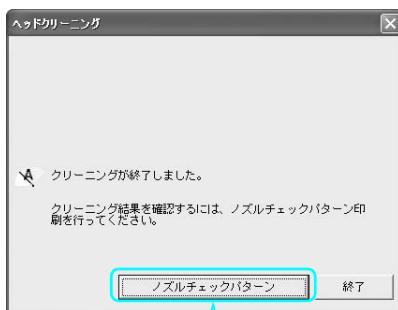
プリンタドライバから行う

ここでは Windows を例に説明します。

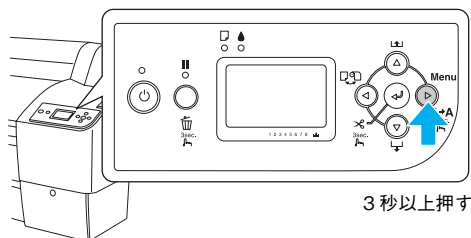
1 プリンタドライバの［ユーティリティ］画面を開きます。

2 ［ヘッドクリーニング］をクリックします。

3 **［スタート］をクリックします。**

ヘッドクリーニングが始まります。ヘッドクリーニングは約 2 分間続きます。

次の画面が表示されたら、ヘッドクリーニングは終了です。

4 **［ノズルチェックパターン］をクリックし、印刷結果を確認します。終了する場合は［終了］をクリックします。**

本書 368 ページ「ノズルチェック」

本機の操作パネルから行う

1 印刷可能な状態で本機の［Menu］ボタンを 3 秒以上押します。

プリンタのポーズランプが点滅し、ヘッドクリーニング（約 1 分）が始まります。ポーズランプが消灯すれば、クリーニングは終了です。

2 ノズルチェックパターン印刷を実行し、印刷結果を確認します。

ノズルチェックパターンが欠けていないか確認します。

☞ 本書 368 ページ「ノズルチェック」

! 注意

連続して 2 回クリーニングしても目詰まりが解消されず、3 回目のクリーニングを実行しようとすると「パワークリーニングを実行しますか？」というメッセージが表示されます。「いいえ」を選択すると、通常のヘッドクリーニングを実行します。

「はい」を選択してパワークリーニングを実行すると、インク残量を自動的にチェックします。一定量以下の場合は、クリーニングを中止します。

また、パワークリーニングを実行するときは、インクレバー操作があるので、パネルのメッセージに従ってレバーの上げ下げをしてください。

☞ 本書 375 ページ「パワークリーニング」

パワークリーニングを行っても目詰まりが解消されない場合は、プリンタの電源をオフにして一晩以上放置してください。時間をおくことによって、目詰まりしているインクが溶解する場合があります。

それでも改善されない場合は、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。

パワークリーニング

ヘッドクリーニングを数回繰り返してもノズルが詰まっている場合は、以下の手順でパワークリーニングを行ってください。

パワークリーニングを行うには、2 つの方法があります。

- MAXART リモートパネルから行う
  Windows☞ 本書 71 ページ「MAXART リモートパネル」
  Mac OS 9☞ 本書 111 ページ「MAXART リモートパネル」
  Mac OS X☞ 本書 145 ページ「MAXART リモートパネル」
- 本機の操作パネルから行う

! 注意

- パワークリーニング中は、プリンタから離れないでください。操作パネルの指示に従ってインクレバーの上げ下げが必要です。指示に従わないと「ポーズボタンを押すと、インク充てんを始めます。充てん中にしていただく作業があります。離れないでください」と表示されます。この場合は［ポーズ］ボタン（○/II）を押して再開してください。
- パワークリーニングは、通常のヘッドクリーニングに比べてインクを多く使用します。

本機の操作パネルから行う

プリンタの電源をオンにすると、操作パネルに「パワークリーニング　この操作にはレバーの上げ下げが必要です。実行しますか？」と表示されることがあります。このメッセージは前回のパワークリーニングから 20 日以上経過したり、30 日以上プリンタを使用しなかったときなどに表示されます。パワークリーニングすることをお勧めします。特にプリンタを長期間使用しなかったときは、パワークリニーングしてください。

1. **［Menu］ボタン（ ▷ ）を押して、パネル設定モードに入ります。**
2. **［用紙送り］ボタン（ ▽ / △ ）を数回押して「メンテナンス」が表示されたら、［Menu］ボタン（ ▷ ）を押します。**
3. **［用紙送り］ボタン（ ▽ / △ ）を数回押して「パワークリーニング」が表示されたら、［Menu］ボタン（ ▷ ）を押します。**
4. **「この操作にはインクレバーの上げ下げが必要です」と表示されたら、［Menu］ボタン（ ▷ ）を押します。**

5 「実行」と表示されたら、［実行］ボタン（ ）を押します。

パワークリーニングが始まります。ディスプレイに「しばらくお待ちください xx%」とクリーニングの進行状況が表示されます。パワークリーニングは約 7 分かかります。

6 ディスプレイに表示されるメッセージに従って、左右のインクレバーを数回上げたり下げたりします。

ポーズランプが消灯すれば、パワークリーニングは終了です。

7 ノズルチェックパターン印刷を実行し、印刷結果を確認します。

ノズルチェックパターンが欠けていないか確認します。

本書 368 ページ「ノズルチェック」

自動メンテナンス機能

本機には、プリントヘッドを常に良好な状態に保ち、最良の印刷品質を得るための「セルフクリーニング機能」と「キャッピング機能」があります。

セルフクリーニング機能

セルフクリーニングとは、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能で、プリンタの電源投入時（ウォーミングアップ時）などに定期的に行われます（インクカートリッジすべてのインクを微量吸引して、ノズルの乾燥を防ぎます）。

- セルフクリーニング中に［電源］ボタンを押しても、クリーニングが終了するまで電源はオフになりません。クリーニング中はプリンタの電源プラグを抜かないでください。

キャッピング機能

キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために、自動的にプリントヘッドにキャップ（フタ）をする機能です。キャッピングは、以下のときに実行されます。

- 印刷終了後（印刷データが途絶えて）、数秒経過したとき
- 印刷停止状態になったとき

プリントヘッドが右端にあれば、キャッピングされています。

- キャッピングされていない状態で長時間放置すると、印刷不良の原因になります。プリンタを使用しないときは、プリントヘッドがキャッピングされていることを確認してください。プリントヘッドが右端に位置していない場合（キャッピングされていない場合）は、一度、プリンタの電源をオン / オフしてください。プリンタの［電源］ボタンをオフにすることによって、確実にキャッピングされます。
- 用紙が詰まったときやエラーが起こったときなど、キャッピングされていないまま電源をオフにした場合は、再度電源をオンにしてください。しばらくすると、自動的にキャッピングが行われますので、キャッピングを確認した後で電源をオフにしてください。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。
- プリンタの電源がオンの状態で、電源コードをコンセントから抜いたり、ブレーカーを落とさないでください。キャッピングされない場合があります。

プリントヘッドのギャップ調整

画像にズレがあるなどの印刷状態の場合はギャップ調整を行ってください。
ギャップ調整とは、印刷時のプリントヘッドのズレを修正する作業です。

ギャップ調整を行うには、3 つの方法があります。

- プリンタドライバから行う
- MAXART リモートパネルから行う
- 本機の操作パネルから行う

ギャップ調整は通常はプリンタドライバから自動で行ってください。それでも印刷結果が改善されない場合には MAXART リモートパネルから自動で行ってください（コンピュータやソフトウェアが手元にない場合は、本機の操作パネルから手動でギャップ調整ができます）。

!注意

ギャップ調整は、以下のエプソン純正専用ロール紙（普通紙を除く）を使用してください。

- PX-7500/PX-7500S：A1 幅以上のロール紙
- PX-9500/PX-9500S：B0 幅以上のロール紙

- ギャップ調整は、指定サイズ以上の用紙で行った場合、PX-7500/PX-7500S では約 5 ～ 13 分、PX-9500/PX-9500S では約 6 ～ 20 分かかります。
- 指定サイズより小さいサイズの用紙でもギャップ調整できます。ただし、ギャップ調整はセットした用紙幅の分だけ行われるため、大きいサイズの用紙を使用するとプリンタの印刷可能領域の全域でギャップ調整できます。そのため、指定サイズ以上の用紙の使用をお勧めします。

プリンタドライバから行う

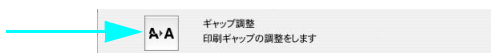
1 以下のエプソン純正専用紙（普通紙を除く）をセットします。

- PX-7500/PX-7500S：A1 幅以上のロール紙
- PX-9500/PX-9500S：B0 幅以上のロール紙

使用する用紙に合わせて、給紙方法も正しく設定してください。

2 プリンタドライバの［ユーティリティ］画面を表示します。

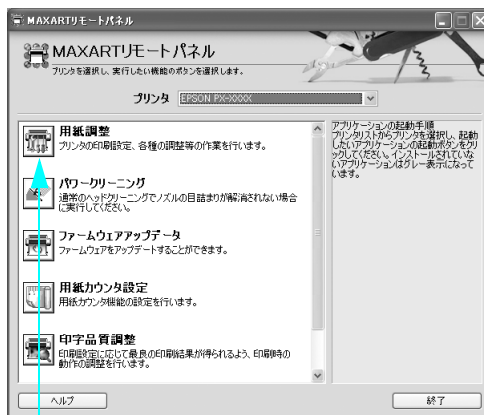
3 ［ギャップ調整］をクリックします。

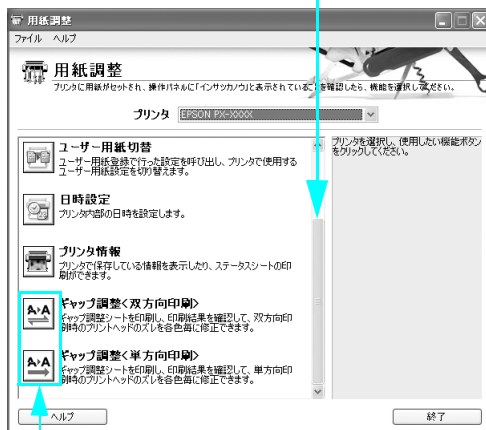
画面の指示に従ってギャップ調整を行います。

MAXART リモートパネルから行う

1. **以下のエプソン純正専用紙（普通紙を除く）をセットします。**

- PX-7500/PX-7500S：A1 幅以上のロール紙
- PX-9500/PX-9500S：B0 幅以上のロール紙

使用する用紙に合わせて、給紙方法も正しく設定してください。

2. **MAXART リモートパネルの画面で、[用紙調整] をクリックします。**

3 **[ギャップ調整] をクリックします。**

目的に応じて選択し、画面の表示に従ってギャップ調整を行います。

双方向印刷は印刷速度を早くしたい場合に使用します。
単方向印刷は画質を重視する印刷に向いています。

本機の操作パネルから行う

1 **以下のエプソン純正専用紙（普通紙を除く）をセットします。**

- PX-7500/PX-7500S：A1 幅以上のロール紙
- PX-9500/PX-9500S：B0 幅以上のロール紙

使用する用紙に合わせて、給紙方法も正しく設定してください。

2 **［用紙選択］ボタン（◁）を押し、セットした用紙に合わせて用紙種類を選択します。**

3 **［Menu］ボタン（▷）を押して設定モードに入り、「ギャップ調整」を選択し、［Menu］ボタン（▷）を押します。**

4 「用紙厚選択」が選択されていることを確認し、［Menu］ボタン（ ▷ ）を押します。

ギャップ調整するためには最初に用紙厚を設定する必要があります。使用する用紙の厚さが0.2mmまたは1.2mmの場合は、「標準」を選択します。0.2mmまたは1.2mm以外の用紙を使う場合は、以下の手順で用紙の厚さに合わせて設定します。用紙厚は0.1～1.5mmの範囲で0.1mm単位で設定します。
用紙の厚さについては、以下のページをご覧ください。
☞ 使い方ガイド（冊子）「エプソン純正専用紙」

① ［用紙送り］ボタン（ ▽ / △ ）を押して、用紙厚を選択します。
② ［実行］ボタン（ ↵ ）を押して、決定します。
③ ［用紙選択］ボタン（ ◁ ）を押して、前のメニューに戻ります。

5 ［用紙送り］ボタン（ ▽ / △ ）を押して「調整」を選択し、［Menu］ボタン（ ▷ ）を押します。

6 ［用紙送り］ボタン（ ▽ / △ ）を押して「手動」を選択し、［Menu］ボタン（ ▷ ）を押します。

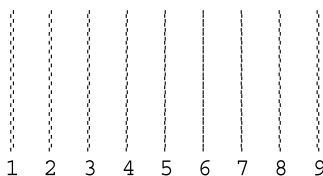
以降は選択するギャップ調整方法により、手順が異なります。以下を参照して目的の手順に進んでください。

プリントヘッドと用紙には、わずかな距離（プラテンギャップ）があるため、温度や湿度、プリントヘッドの移動による慣性力、プリントヘッドの移動方向の違い（右から左と左から右）などによって、各インクの着弾位置が合わなくなる場合があります。その結果、粒状感が出たり、ピントがズレたような印刷結果になる場合があります。問題を解消するために以下のギャップ調整を行います。

- UNI-D
  まずは、UNI-Dでの調整を行います。ブラックを基準に、ブラック以外のすべてのインクを使って色ごとの印刷位置のズレを単方向印刷で調整を行います。（本書382ページ 7）
- Bi-D 2色
  次に、Bi-D 2色での調整を行います。PX-7500S/PX-9500Sではシアンとマゼンタインクを使い、PX-7500/PX-9500ではライトシアンとライトマゼンタインクを使って双方向印刷時のズレを調整します。（本書383ページ 8）
- Bi-D 全色
  さらに精度の高い調整を行いたい場合は、Bi-D全色での調整を行います。すべてのインクを使い、双方向印刷でギャップ調整を行います。（本書384ページ 9）

❼ 「UNI-D」でギャップ調整を行います。

① [用紙送り] ボタン（▽ / △）を押して、「UNI-D」を選択します。
② [実行] ボタン（↵）を押します。
パターンの印刷中は「印刷中」とディスプレイに表示されます。メッセージが消えたら、次へ進みます。
③ ギャップ調整パターンは 3 パターン× 7 色、合計 21 パターン印刷されます。まず、印刷されたパターン #1 を見てもっとも線のズレが少ない番号を確かめ、その番号を設定します。
下図の例の場合は、「6」を設定します。

< PX-9500 の例 >

以下の設定例は PX-9500 の場合です。

最初のパターン #1 のシアン色「UNI-D #1C」と表示されたら、
① [用紙送り] ボタン（▽ / △）を押して番号を選択します。
② [実行] ボタン（↵）を押して、決定します。

最初のパターン #1 のマゼンタ色「UNI-D #1M」と表示されたら、
① [用紙送り] ボタン（▽ / △）を押して番号を選択します。
② [実行] ボタン（↵）を押して、決定します。

同様の手順で残りすべてのパターンと色の設定を行います。メッセージのパターン番号（#1 ～ #3）と色記号（PK フォトブラック、C シアン、M マゼンタ、Y イエロー、LK グレー、LC ライトシアン、LM ライトマゼンタ、LLK ライトグレー）をディスプレイで確かめながら設定してください。
最もズレの少ない番号がすでに表示されている場合は、そのまま [実行] ボタン（↵）を押してください。

すべてのパターンと色で番号（3 パターン× 7 色、合計 21）を設定したら、[用紙選択] ボタン（◁）を押して元のメニューに戻ります。

❽ 「Bi-D 2 色」でギャップ調整を行います。

① [用紙送り] ボタン（▽/△）を押して、「Bi-D 2 色」を選択します。
② [実行] ボタン（↵）を押します。
パターンの印刷中は「印刷中」とディスプレイに表示されます。メッセージが消えたら、次へ進みます。
② ギャップ調整パターンは 3 パターン印刷されます。印刷されたパターン（#1 ～ #3）を見てもっとも線のズレが少ない番号を確かめ、その番号を設定します。
以下の設定は PX-9500 の場合です。

最初のパターン #1 のライトシアン色「Bi-D 2 色 #1LC」と表示されたら、
① [用紙送り] ボタン（▽/△）を押して番号を選択します。
② [実行] ボタン（↵）を押して、決定します。

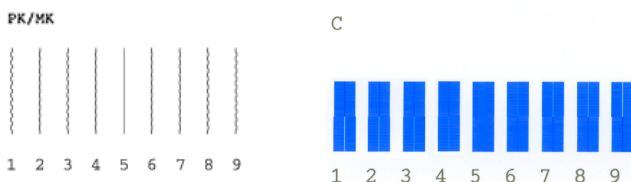
最初のパターン #1 のライトマゼンタ色「Bi-D 2 色 #1LC」と表示されたら、
① [用紙送り] ボタン（▽/△）を押して番号を選択します。
② [実行] ボタン（↵）を押して、決定します。
最もズレの少ない番号がすでに表示されている場合は、そのまま [パネル設定] ボタンを押してください。

すべてのパターンで番号を設定したら、[用紙選択] ボタン（◁）を押して元のメニューに戻ります。

さらに精度の高い調整を行いたい場合は、❾ に進みます。
ギャップ調整を終了する場合は、❿ に進みます。

9 **「Bi-D 全色」でギャップ調整を行います。**

①［用紙送り］ボタン（▽/△）を押して、「Bi-D 全色」を選択します。
②［実行］ボタン（⏎）を押します。
パターンの印刷中は「印刷中」とディスプレイに表示されます。メッセージが消えたら、次へ進みます。
③ギャップ調整パターンは 3 パターン× 8 色、合計 24 パターン印刷されます。印刷されたパターン# 1 を見て下表の通り確認し、その番号を設定します。
下図の例の場合は、「5」を設定します。

< PX-9500 の例>

モード	色記号	確認内容
PX-7500S/ PX-9500S	K	もっとも線のズレが少ない番号
	C、M、Y	もっとも四角と線のズレが少ない番号
PX-7500/ PX-9500	PK/MK、LK	もっとも線のズレが少ない番号
	C、M、Y、LC、LM、LLK	もっとも四角と線のズレが少ない番号

最初のパターン #1 のフォトブラック色「Bi-D 全色 #1Pk」と表示されたら、
①［用紙送り］ボタン（▽/△）を押して番号を選択します。
②［実行］ボタン（⏎）を押して、決定します。

最初のパターン #1 のシアン色「Bi-D 全色 #1C」と表示されたら、
①［用紙送り］ボタン（▽/△）を押して番号を選択します。
②［実行］ボタン（⏎）を押して、決定します。
最もズレの少ない番号がすでに表示されている場合は、そのまま［パネル設定］ボタンを押してください。

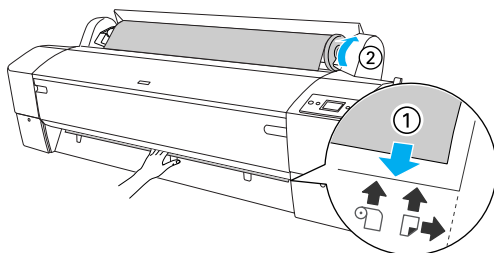
同様の手順で残りすべてのパターンと色の設定を行います。メッセージのパターン番号（# 1 ～# 3）と色記号をディスプレイで確かめながら設定してください。
すべてのパターンで番号（3 パターン× 8 色、合計 24）を設定したら、［用紙選択］ボタン（◁）を押して元のメニューに戻ります。

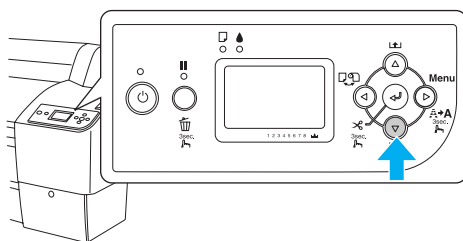
10 **［ポーズ］ボタンを押して、パネル設定モードを終了します。**

排紙 / 給紙ローラのクリーニング

印刷後の用紙にローラの汚れが付いたときは、以下の手順に従って、普通紙を給排紙してローラの汚れをふき取ってください。

1. **プリンタの電源をオンにして、用紙セットレバーを後方に倒します。**

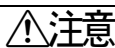
2. **以下のロール紙をセットします。**
PX-7500/PX-7500S：A1 幅以上
PX-9500/PX-9500S：B0 幅以上
☞ 使い方ガイド（冊子）「ロール紙のセット」

3. **用紙セットレバーを手前に戻して、ロール紙カバーを閉じます。**

4. **［用紙送り］ボタン（ ▽ ）を数回押します。**
紙送りされます。

用紙送りを 2 ～ 3 回繰り返し、用紙に汚れが付かなくなったら、ローラのクリーニングは終了です。
クリーニングが終了したら用紙をカットします。
☞ 使い方ガイド（冊子）「ロール紙のカット」

プリンタ本体のお手入れ

プリンタをいつでも良い状態でご使用できるように、定期的（1ヵ月に 1 回程度）にプリンタのお手入れをしてください。

本体が汚れたときは

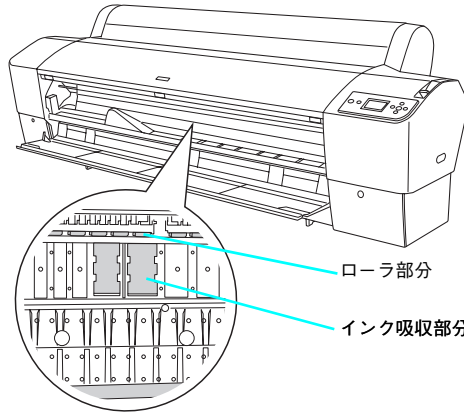
1. **プリンタから用紙を取り除きます。**
2. **プリンタの電源をオフにして、ディスプレイの表示が消えてから電源プラグをコンセントから抜きます。**
3. **柔らかい布を使って、ホコリや汚れを注意深く払います。**
汚れがひどいときは中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってからふいてください。その後乾いた柔らかい布で水気をふいてください。

> ⚠注意　プリンタ内部に水気が入らないように、注意してふいてください。プリンタ内部が濡れると、電気回路がショートするおそれがあります。

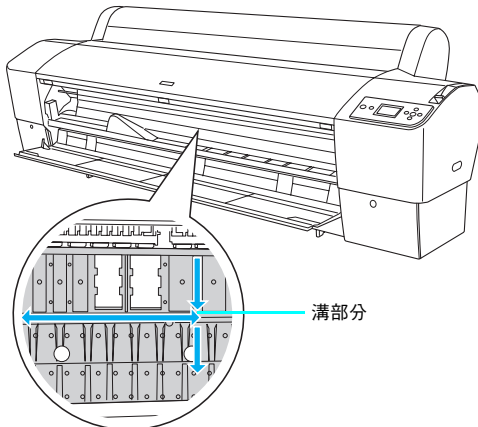
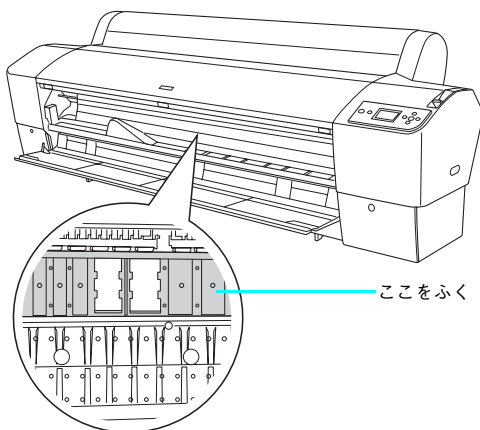
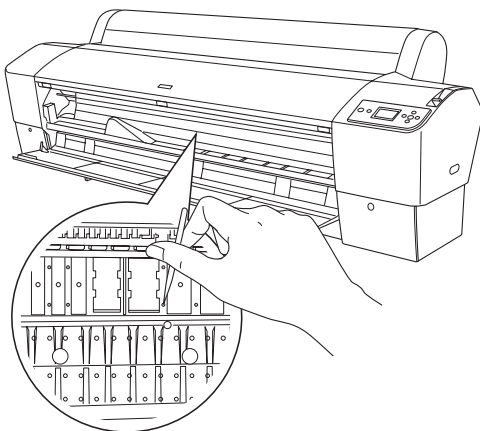
> ！注意　ベンジン / シンナー / アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

本体内部のクリーニング

1. **電源をオフにして、ディスプレイの表示が消えてから、電源プラグをコンセントから抜きます。**
2. **コンセントを抜いたあと、1 分程放置します。**

> ⚠注意　プリンタ内部に水滴が入らないようにしてください。プリンタ内部が濡れたり、異物が混入したりするとプリンタ品質が低下するだけでなく電気回路がショートするおそれがあります 。

!注意 クリーニング後、下図の２箇所には絶対に触れないでください。印刷物の汚れなどの原因になります。

3 **フロントカバーを開け、柔らかい布（ウエスなど）を使って、ホコリや汚れをふき取ります。**

汚れがひどいときは中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってからふいてください。そして、最後に乾いた柔らかい布で水気をふいてください。
下図のグレーの部分を丁寧にふきます。汚れを拡散させないために、下図の矢印の方向でふき取ってください。

4 印刷時に用紙の裏が汚れるような場合は、プラテン（図のグレー部分）を丁寧にふきます。

5 プラテン部に紙粉（白い粉のようなもの）が詰まっている場合は、つまようじのような先が細いもので中に押し込みます。

プリンタの移動・輸送・保管

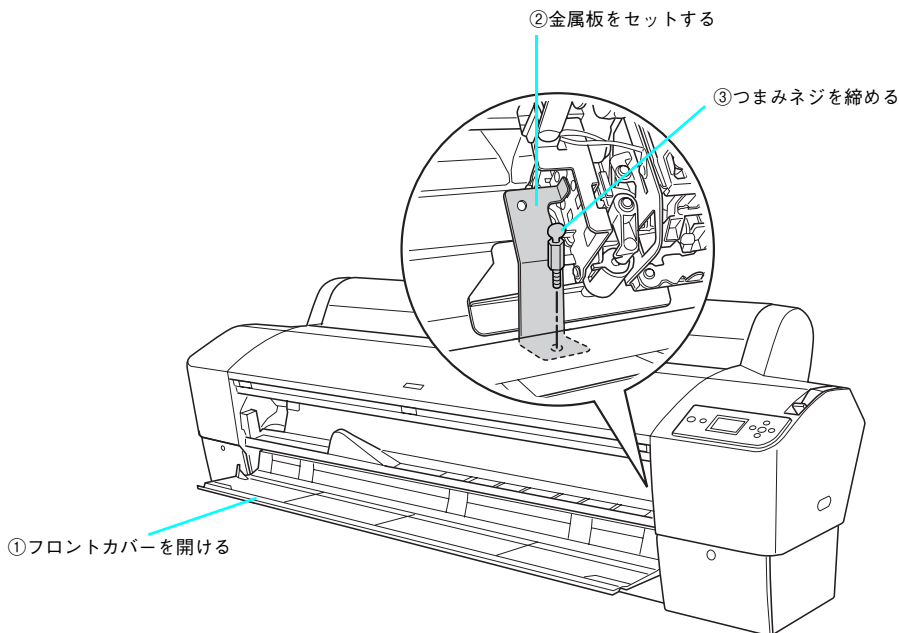
移動・輸送の準備

1. 電源をオンにし、用紙セットレバーを手前に戻します。

2. 左右のインクレバーを上げます。

3. 電源をオフにして、プリンタの電源が切れたことを確認してから電源コードなどのケーブル類をすべて取り外します。

4. スピンドルを取り外します。

5. フロントカバーを開け、金属板を取り付けてネジで固定します。

6. フロントカバーを閉じます。

移動・輸送

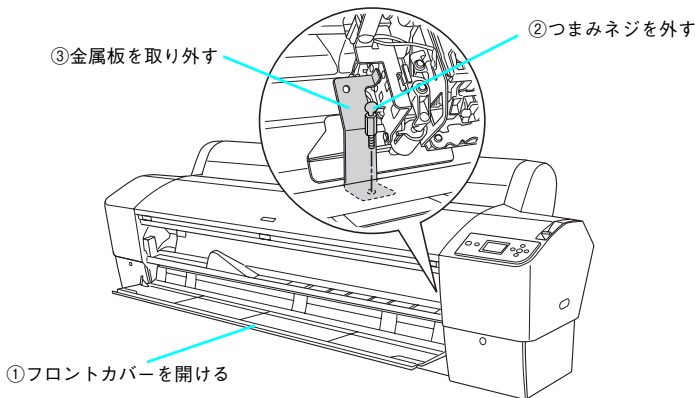
本機を輸送する場合は、購入時と同じ状態に梱包してください。

> **！注意**
> - 移動や輸送は、水平な状態で行ってください。プリンタ本体を傾けたり立てかけたり、上下を逆にしないでください。プリンタ内部でインクが漏れるおそれがあります。また、移動、輸送後の正常な動作が保証できません。
> - 輸送の際は、震動や衝撃からプリンタ本体を守るために、保護材や梱包材を使用して購入時と同じ状態に梱包する必要があります。

移動、輸送後の手順

移動、輸送後は以下の手順で本機を使用可能な状態にしてください。

1. **設置場所に適した場所を確認します。**
   ☞ 使い方ガイド「設置に適した場所」

2. **フロントカバーを開け、金属板を取り外します。**
   取り外したネジと金属板は、再移動・輸送時のために必ず保管しておいてください。

3. **フロントカバーを閉じます。**

4. **電源コードを取り付けて、プリンタの電源をオンにします。**
   ☞ セットアップガイド「1. 保護材を取り外して付属品を取り付けます」

5. **左右のインクレバーを下げ、プリントヘッドの目詰まりがないかをチェックします。**
   ☞ セットアップガイド「2. 用紙をセットして、プリンタに異常がないかを確認します」

6. **ギャップ調整を行います。**
   ☞ 本書 378 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」

プリンタの保管

プリンタを保管するときは、インクカートリッジを取り付けたまま、水平な状態で保管してください。

!注意 プリンタは傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態で保管してください。

プリンタを長期間使用しない場合は

- プリンタを長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりを起こすことがあります。
  ヘッドの目詰まりを防ぐために、定期的に印刷していただくことをお勧めします。また、印刷しない場合でも、月に 1 回はプリンタの電源をオンにして、数分（1 ～ 2 分）おいてください。
- インクカートリッジを取り外した状態で、プリンタを放置しないでください。プリンタ内部のインクが乾燥し、正常に印刷できなくなるおそれがあります。プリンタを使用しない場合も、インクカートリッジは全色を取り付けた状態にしてください。
- プリンタを長期間使用しない場合は、用紙を取り除いてください。用紙を本機にセットしたまま放置すると、紙面に用紙抑えローラの跡が付くことがあります。

長期間使用していないプリンタを使用する場合は

- 長期間使用していないプリンタを使用する場合は、必ずノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの目詰まりの状態を確認してください。ノズルチェックパターンがきれいに印刷できない場合は、ヘッドクリーニングをしてから印刷してください。
  1 カ月以上使用していないプリンタの電源をオンにすると、「パワークリーニング　この操作にはレバーの上げ下げが必要です。実行しますか？」と表示されます。パワークリーニングを行ってから使用してください。
  ☞ 本書 368 ページ「ノズルチェック」
  ☞ 本書 372 ページ「ヘッドクリーニング」
  ☞ 本書 375 ページ「パワークリーニング」
- 長期間使用していないプリンタは、ヘッドクリーニングを数回実行しないと、ノズルチェックパターンが正常に印刷されないことがあります。ヘッドクリーニングを 3 回繰り返してもノズルチェックパターンの印刷結果がまったく改善されない場合は、パワークリーニングを実行してください。
  ☞ 本書 468 ページ「[メンテナンス] メニュー」
  ☞ 本書 372 ページ「ヘッドクリーニング」
- ヘッドクリーニングを繰り返した後、時間をおくことによって、目詰まりを起こしているインクが溶解し、正常に印刷できるようになることがあります。
- 上記の手順を実行しても正常に印刷できない場合は、エプソン修理センターへお問い合わせください。エプソン修理センターのお問い合わせ先は本書の裏表紙をご覧ください。

プリントヘッドの保護について

本機には、「キャッピング機能」があります。
キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために、自動的にプリントヘッドにキャップ（フタ）をする機能です。
キャッピングされていない状態で長時間放置すると、印刷不良の原因になります。プリンタを使用しないときは、プリントヘッドがキャッピングされていることを確認してください。

プリンタドライバのバージョンアップ

プリンタドライバは、アプリケーションソフトのバージョンアップなどに伴い、バージョンアップを行うことがあります。必要に応じて新しいプリンタドライバをご使用ください。プリンタドライバのバージョンは数字が大きいものほど新しいバージョンとなります。

最新ドライバの入手方法

最新のプリンタドライバは、下記の方法で入手してください。

- インターネットの場合は、次のホームページの［ダウンロード］から入手できます。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp
サービス名	ダウンロードサービス

- CD-ROM での郵送をご希望の場合は、「エプソンディスクサービス」で実費にて承ります。
  ☞ 使い方ガイド（冊子）巻末

各種ドライバの最新バージョンについては、エプソンのホームページまたは FAX インフォメーションにてご確認ください。ホームページまたは FAX インフォメーションの詳細は、使い方ガイド（冊子）巻末にてご案内しています。

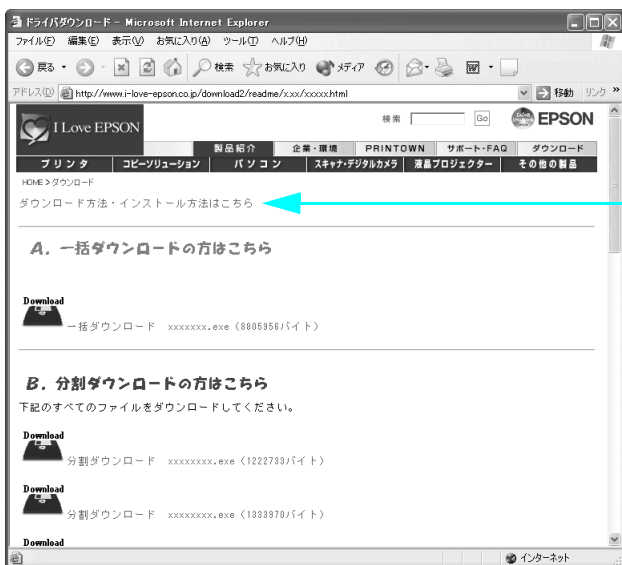
ダウンロード・インストール手順

ホームページに掲載されているプリンタドライバは圧縮*1 ファイルとなっていますので、次の手順でファイルをダウンロードし、解凍*2 してからインストールしてください。

*1 圧縮：1つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。
*2 解凍：圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

インストールを実行する前に、旧バージョンのプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。
Windows☞ 本書 50 ページ「プリンタドライバの削除」
MacOS 9☞ 本書 101 ページ「プリンタドライバの削除」
MacOS X☞ 本書 138 ページ「プリンタドライバの削除」

1. **ホームページ上のダウンロードサービスから対象の機種を選択します。**

2. **プリンタドライバをハードディスク内の任意のディレクトリへダウンロードし、解凍してからインストールを実行します。**
   手順については、ホームページ上の［ダウンロード方法・インストール方法はこちら］をクリックしてください。

画面はインターネットエクスプローラを使用してエプソン販売のホームページへ接続した場合です。

困ったときは

ここでは、トラブル発生時の対処方法を説明をしています。現在の症状がどれに当てはまるのかを以下の項目から選び、該当するページをご覧ください。

操作パネルにエラーメッセージが表示される

通常表示されるメッセージ（パネル設定モード時以外）には、プリンタ本体の状態に関するメッセージとエラーメッセージの 2 種類があります。プリンタの状態に関するメッセージとその意味は以下のページをご覧ください。

☞ 本書 451 ページ「ディスプレイメッセージ一覧」

エラーメッセージ一覧

プリンタにエラー（正常でない状態）が発生したときは、操作パネルのランプ表示とディスプレイメッセージでお知らせます。以下のメッセージ内容を確認し、必要な処置をしてください。ランプ表示の詳細は以下のページをご覧ください。

☞ 本書 447 ページ「ランプ」

エラーメッセージ	内容	対処方法
印刷不可 用紙がセットされているか確認してください	パネル設定モード中に何らかのエラーが発生しているためノズルチェックパターン、ギャップ調整パターンなどを印刷できません。	パネル設定モードを一旦終了してください。その後表示されたエラーを解除してから再度印刷を実行してください。 ☞ 本書 453 ページ「設定メニュー」
クリーニング実行不可 プリンタから厚紙を取り除いてください	厚紙がセットされているためクリーニングが実行できません。	厚紙を取り外してから用紙セットレバーを手前に戻してください（固定状態）。
クリーニング失敗 ポーズボタンを押してください	オートクリーニングを実行しましたが、ノズルがまだ目詰まりしています。	［ポーズ］ボタン（○/II）を押してエラーを解除し、クリーニングをやり直してください。 ☞ 本書 368 ページ「ノズルチェック」 クリーニングが開始されない場合は、コンピュータで印刷を中止し、プリンタの電源を一旦オフにしてからオンにしてください。
検知エラー 異なる種類の用紙をセットしてください	クリーニング用の印字結果を正常に読み取れませんでした。	セットした用紙が汚れていたり、しわになっていたりすると、印字結果を正常に読み取れない場合があります。汚れやしわのない用紙をセットし直してください。また、エプソン純正専用紙の使用をお勧めします。
排紙に失敗しました プリンタから用紙を取り除いてください	用紙が正しく排紙されませんでした。	用紙セットレバーを後ろに倒し、用紙を取り除いてから、用紙をセットしてください。
用紙なし 用紙をセットしてください	用紙がセットされていません。	用紙をセットしてください。 ☞ 使い方ガイド（冊子）「用紙のセット」
	印刷の途中で用紙がなくなりました。	印刷の終了した用紙を取り外し、新しい用紙をセットします。残ったデータが印刷されます。

エラーメッセージ	内容	対処方法
フチなし印刷不可 正しいサイズの用紙をセットしてください	フチなし印刷に対応していない用紙がセットされています。	［ポーズ］ボタン（◯/Ⅱ）を 3 秒以上押してプリンタをリセットし、セットされている用紙を排紙します。排紙後、正しいサイズの用紙をセットしてください。 ☞ 使い方ガイド（冊子）「ロール紙のセット」 ☞ 使い方ガイド（冊子）「単票紙のセット」 ☞ 使い方ガイド（冊子）「用紙の仕様と設定」
	単票紙のサイズが正しく認識されていません。	用紙が波打ったり、たわんでいると用紙サイズを正しく認識できません。用紙を平らな状態に修正してからプリンタにセットしてください。 ☞ 使い方ガイド（冊子）「ロール紙のセット」 ☞ 使い方ガイド（冊子）「単票紙のセット」
	正しいサイズの用紙をセットしている場合は、用紙が正しくセットされていません。	用紙を正しくセットし直してください。 ☞ 使い方ガイド（冊子）「ロール紙のセット」 ☞ 使い方ガイド（冊子）「単票紙のセット」
用紙認識エラー 用紙を正しくセットしてください	単票紙が正しくセットされませんでした。	用紙セットレバーを解除して用紙を取り除いてから、正しくセットし直してください。 ☞ 使い方ガイド（冊子）「単票紙のセット」
斜め給紙されました 用紙を正しくセットし直してください	用紙が斜めに給紙されています。	• 印刷領域に正しく印刷されていない可能性があります。印刷結果を確認してください。 • 次の印刷のために用紙を正しくセットし直してください。 ☞ 使い方ガイド（冊子）「ロール紙のセット」 ☞ 使い方ガイド（冊子）「単票紙のセット」 ☞

<table>
<tr><th>エラーメッセージ</th><th>内容</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>用紙カットエラー
カッターの状態を確認してください
［Menu］ボタンを押してください</td><td rowspan="2">ロール紙が正しくカットされませんでした。</td><td rowspan="2">• フロントカバーを開けて、カットされなかった用紙片を取り除きます。「用紙を正しくセットし直してください」と表示されたら、用紙セットレバーを解除して用紙をセットし直します。
本書 434 ページ「給紙ミス／紙詰まり」
• カッター刃が磨耗している場合は、交換してください。
本書 439 ページ「用紙がきれいに切り取れなくなったら（カッターの交換）」</td></tr>
<tr><td>用紙カットエラー
カットされなかった用紙を取り除いてください
（①「カットされなかった用紙を取り除いてください」が表示された後、
②「フロントカバーを開けてカッターが正しくセットされているか、ラベルを見ながら確認してください」
③「確認が終了したらフロントカバーを閉じてください」
というメッセージが交互に表示されます。）</td></tr>
<tr><td>ミスマッチエラー
インクカートリッジとドライバの組み合わせを確認してください</td><td>• コマンドで指定したインクの種類と本機に装着しているインクの種類が異なっています。
• 本機が対応していない形式のデータを受信しました。
• 受信コマンドにエラーがあります。</td><td>印刷を中止して、［ポーズ］ボタン（○/Ⅱ）を3秒以上押して本機をリセットしてください。
［ポーズ］ボタン（○/Ⅱ）を押している時間が 3 秒以下のときは、印刷が始まりますのでご注意ください。</td></tr>
<tr><td>用紙設定エラー
ロール紙を正しくセットしてください</td><td>ロール紙に印刷するときに、プリンタにセットした用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっています。</td><td>• 印刷データと同じサイズの用紙をセットしてください。
使い方ガイド（冊子）「ロール紙のセット」
• ［ポーズ］ボタン（○/Ⅱ）を押すと印刷を開始します。ただし、用紙からはみ出した印刷データの部分は印刷されません。</td></tr>
<tr><td>カートリッジエラー
インクカートリッジを確認してください</td><td>間違ったカートリッジがセットされています。</td><td>インクレバーを上げて間違ったカートリッジを抜き、手順に応じた正しいカートリッジをセットし、インクレバーを下げてください。</td></tr>
<tr><td>カートリッジエラー
ブラックインク種類変更を実行しますか？
<しない　　　する></td><td>プリンタにセットされていたものとは異なるブラックインクが挿入されました。</td><td>「しない」を選択してマットブラックインクをセットし直してください。
PX-7500/PX-9500 は、［ポーズ］ボタン（○/Ⅱ）を押すとブラックインク種類変更ができます。</td></tr>
</table>

エラーメッセージ	内容	対処方法
用紙設定エラー 単票紙を正しくセットしてください	単票紙に印刷するときに、プリンタにセットした用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっています。	• 印刷データと同じサイズの用紙をセットしてください。 ☞ 使い方ガイド（冊子）「単票紙のセット」 • ［ポーズ］ボタン（○/⏸）を押すと印刷を開始します。ただし、用紙からはみ出した印刷データの部分は印刷されません。
インクエンド 新しいインクカートリッジをセットしてください	インクがなくなりました。	新しいインクカートリッジを取り付けてください。 ☞ 本書343 ページ「インクカートリッジの種類」 ☞ 本書346 ページ「インクカートリッジの交換手順」
カートリッジ確認 専用インクカートリッジと異なる型番が検出されました	取り付けたインクカートリッジの型番が、本機で使用できる純正の型番ではありません。	本機で使用できる純正型番のインクカートリッジを取り付けてください。 ☞ 本書343 ページ「インクカートリッジの種類」 ☞ 本書346 ページ「インクカートリッジの交換手順」
カートリッジエラー 正しいインクカートリッジをセットしてください	本機では使用できないインクカートリッジがセットされています。	本機で使用できるインクカートリッジを正しくセットしてください。 ☞ 本書343 ページ「インクカートリッジの種類」 ☞ 本書346 ページ「インクカートリッジの交換手順」
カートリッジエラー インクカートリッジを交換してください	装着しているインクカートリッジに不良箇所が発見されました。または、接触不良の可能性があります。	インクレバーを上げて、インクカートリッジをしっかりとセットし直してレバーを下げてください。セットし直しても同じエラーとなった場合は、新しいインクカートリッジに交換してください（不良インクカートリッジは取り付けないでください）。 ☞ 本書343 ページ「インクカートリッジの種類」 ☞ 本書346 ページ「インクカートリッジの交換手順」
カートリッジなし インクカートリッジをセットしてください	インクカートリッジがセットされていないか、外れています。	新しいインクカートリッジを正しく取り付けてください。エラーを起こしたインクカートリッジは取り付けないでください。 ☞ 本書346 ページ「インクカートリッジの交換手順」

エラーメッセージ	内容	対処方法
タンク空き容量なし 左側にあるメンテナンスタンクを交換してください （PX-9500/PX-9500S のみ）	メンテナンスタンクの空き容量がありません。	新しいメンテナンスタンクと交換してください。 ☞ 本書361 ページ「メンテナンスタンクの交換」
タンク空き容量なし 右側にあるメンテナンスタンクを交換してください （PX-9500/PX-9500S のみ）		
タンク空き容量なし メンテナンスタンクを交換してください （PX-7500/PX-7500S のみ）		
タンク空き容量不足 左側にあるメンテナンスタンクを交換してください （PX-9500/PX-9500S のみ）	メンテナンスタンクの空き容量が不足しているため、インクを交換できません。	新しいメンテナンスタンクと交換してください。 ☞ 本書361 ページ「メンテナンスタンクの交換」
タンク空き容量不足 右側にあるメンテナンスタンクを交換してください （PX-9500/PX-9500S のみ）		
タンク空き容量不足 メンテナンスタンクを交換してください （PX-7500/PX-7500S のみ）		
カバーオープン カバーを閉めてください	フロントカバーが空いています。	フロントカバーを閉じてください。
用紙レバー解除 用紙をセットしてください	用紙セットレバーが後ろに倒れています（解除状態）。	用紙セットレバーを手前に戻してください（固定状態）。
用紙レバー 用紙レバーを下げてください		
カートリッジ交換中 インクカートリッジをセットしてください	インクカートリッジの交換中に表示されます。	インクカートリッジを交換してください。 ☞ 本書342 ページ「インクカートリッジの交換」
用紙が詰まりました 詰まった用紙を取り除いてください	用紙が詰まりました。	用紙セットレバーを後ろに倒し、フロントカバーを開けて詰まった用紙を取り除きます。フロントカバーを閉じ、プリンタの電源を一旦オフにして、しばらくたってから再度オンにします。 ☞ 本書 434 ページ「給紙ミス／紙詰まり」

エラーメッセージ	内容	対処方法
タンクなし 左側にあるメンテナンスタンクをセットしてください （PX-9500/PX-9500S のみ）	メンテナンスタンクが取り外されています。	メンテナンスタンクを正しく取り付けてください。 ☞ 本書361 ページ「メンテナンスタンクの交換」
タンクなし 右側にあるメンテナンスタンクをセットしてください （PX-9500/PX-9500S のみ）		
タンクなし メンテナンスタンクをセットしてください （PX-7500/PX-7500S のみ）		
F/W インストール アップデート失敗 再起動してください	ファームウェアのアップデートが失敗しました。	電源を一旦オフにし、しばらくたってから再度電源をオンにしてください。 MAXART リモートパネルで、再度ファームウェアのアップデートを行ってください。
オプションカード カードの種類を確認してください	本機では使用できないインターフェイスカードが取り付けられています。	インターフェイスカードを取り外して、正しいカードを装着してください。 ☞ 本書312 ページ「インターフェイスカード」
サービスコール ｎｎｎｎｎｎｎｎｎ	00010007 または 0001001D が表示されたときは、プリントヘッドが固定されている可能性があります。	ヘッドの左側の金属板を取り外してください。 ☞ セットアップガイド「1. 保護材を取り外して付属品を取り付けます」 すでに金属板を取り外している場合は、電源を一旦オフにし、電源コードをコンセントまたはプリンタ背面の AC インレットにしっかり差し込んで、電源を数回入れ直してください。
	100001C0 が表示されたときは、電源コードがコンセントまたはプリンタ背面の AC インレットに、正しく差し込まれていません。	電源を一旦オフにし、電源コードをコンセントまたはプリンタ背面の AC インレットにしっかり差し込んで、電源を数回入れ直してください。エラーが解除されたら、そのまま使用可能です。再び同じエラーが発生したら、エプソンの修理窓口へ連絡してください。対処方法は以下のページをご覧ください。 ☞ 本書403 ページ「サービスコールが発生したら」
	エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生しました（「nnnnnnnnn」はどんなトラブルが発生したかを示すコードです）。	電源を一旦オフにして電源を数回入れ直してください。エラーが解除されたら、そのまま使用可能です。再び同じエラーが発生したら、エプソンの修理窓口へ連絡してください。対処方法は以下のページをご覧ください。 ☞ 本書403 ページ「サービスコールが発生したら」

エラーメッセージ	内容	対処方法
キャリッジ未解除 プリントヘッドのネジとカナグを取り除いてください	プリントヘッドを固定する金属板（カナグ）が取り付けられています。	プリントヘッドを固定する金属板（カナグ）を取り除いてください。 本書 389 ページ「プリンタの移動・輸送・保管」
プリンタエラー プリンタを再起動してください	エラー復帰途中でプリンタの再起動が必要になっています。	電源を一旦オフにし、しばらくたってから再度電源をオンにしてください。
動作実行不可能 指定された動作を実行できません	エラーが発生したため動作を続行できません。	電源を一旦オフにし、しばらくたってから再度電源をオンにしてください。
インク残量が少なくなりました	インクの残量が少なくなりました。	インクエンドランプが点灯するまで印刷することはできますが、新しいインクカートリッジの用意をしてください。 本書343 ページ「インクカートリッジの種類」
メンテナンスコール ｎｎｎｎ	交換部品の交換時期が近付きました（「nnnn」には交換時期が近付いた部品のコードを示します）。	エプソンの修理窓口へ連絡してください。部品を交換しない限り解除されません。対処方法は以下のページをご覧ください。 本書403 ページ「サービスコールが発生したら」
メンテナンスタンク空き容量が少なくなりました	メンテナンスタンクの空き容量が少なくなりました。	新しいメンテナンスタンクを用意して、交換に備えてください。
コマンドエラー ドライバの設定を確認してください	• 本機が対応していない形式のデータを受信しました。 • 受信コマンドにエラーがあります。	印刷を中止して、［ポーズ］ボタン（○/Ⅱ）を 3 秒以上押して本機をリセットしてください。
	使用するプリンタドライバと、接続されているプリンタが異なっている可能性があります。	印刷を中止し、［ポーズ］ボタン（○/Ⅱ）を 3 秒以上押して本機をリセットしてください。接続されているプリンタと、プリンタドライバが一致しているか確認してください。

メンテナンスコールが発生したら

メンテナンスコールは、本機の交換部品の交換時期が近付いたことを示す警告メッセージです。「メンテナンスコール nnnn」が表示された場合は、すぐにお買い求めの販売店またはエプソン修理センターに連絡してください。連絡の際には、「nnnn」（メンテナンスコール番号）を必ず伝えてください。エプソン修理センターについては、巻末をご覧ください。メンテナンスコールが発生した状態で使い続けると、サービスコールが発生します。

☞ 使い方ガイド（冊子）巻末

サービスコールが発生したら

サービスコールは以下の場合に表示されるエラーメッセージです。

- 輸送用金属板を取り外していない
- 電源コードがコンセントまたはプリンタ背面のACインレットに、正しく差し込まれていない
- エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生した

サービスコールが発生すると、「サービスコール nnnnnnnn」と表示され、プリンタは自動的に印刷を停止します。その場合は、まずヘッド固定用ロックが解除されているかどうか確認してください。ロックが解除されている場合は、電源を一旦オフにし、電源コードがコンセントまたはプリンタ背面の AC インレットに、正しく差し込まれているか確認します。電源プラグをしっかり差し込んでから再度電源をオンにしてください。サービスコールのメッセージが表示されなくなった場合は、しばらくそのままお使いいただくことができます。再度同じサービスコールのメッセージが表示されてプリンタが使用できなくなった場合は、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターに連絡してください。連絡の際には、必ず「nnnnnnnn」（サービスコール番号）を伝えてください。エプソン修理センターについては、巻末をご覧ください。

☞ 使い方ガイド（冊子）巻末

印刷できない

プリンタとコンピュータの接続を確認する

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタ* とコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないか確認してください。

予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。

* コネクタ：インターフェイスケーブルの先端を差し込むところ。

セットアップガイド「コンピュータと接続します」

インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認してください。

使い方ガイド（冊子）「コンピュータとの接続条件」

コンピュータとプリンタはケーブルで直結していますか？

プリンタとコンピュータの接続に、プリンタ切替機、プリンタバッファ* および延長ケーブルを使用している場合、組み合わせによっては正常に印刷できません。プリンタとコンピュータをインターフェイスケーブルで直結し、正常に印刷できるか確認してください。

* プリンタバッファ：コンピュータから送られた印刷データを一時的に蓄えておくメモリ。

セットアップガイド「コンピュータと接続します」

コネクタのピンが折れたりしていませんか？

コネクタ部分のピンが折れていたり曲がったりしていると、プリンタとコンピュータの通信が正しく行われない場合があります。

ネットワーク上の設定は正しいですか？

ネットワーク上のほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。ほかのコンピュータから印刷できる場合は、プリンタまたはコンピュータ本体に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。印刷できない場合は、ネットワークの設定に問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談ください。

本書 278 ページ「簡単なネットワーク共有の方法」

プリンタドライバがインストールされているか確認する

プリンタドライバが正しく登録されていますか？

- **Windows の場合**

  本機が［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダにアイコンとして登録されていますか ? また、アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷するプリンタを選択できない場合もありますので、以下の手順に従って通常使うプリンタとして選ばれているか確認してください。

1 Windowsの［スタート］メニューから［プリンタとFAX］または［プリンタ］を開きます。

- **Windows XP の場合**

  ①［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。
  ［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷ へ進みます。
  ②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
  ③［プリンタと FAX］をクリックします。

- **Windows 98/Me/2000 の場合**

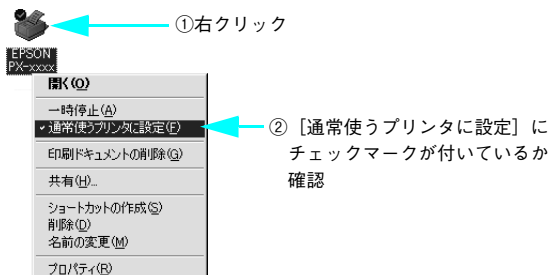
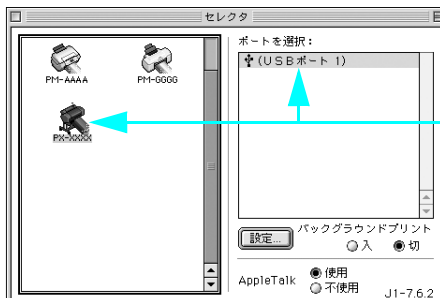
  ［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 ［通常使うプリンタに設定］になっているか確認します。

- **Windows XP の場合**

  ［プリンタと FAX］内のプリンタアイコンにチェックマークが付いていれば、［通常使うプリンタに設定］の状態になっています。チェックマークが付いていない場合は、使用するプリンタ名を右クリックし、表示されたメニューで［通常使うプリンタに設定］を選択します。

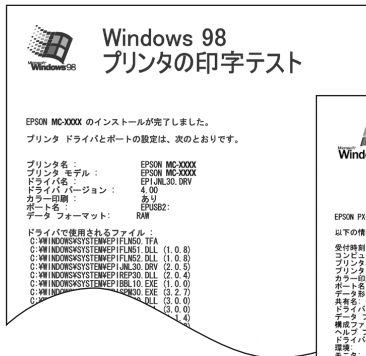
- **Windows 98/Me/2000 の場合**

  使用するプリンタ名を右クリックし、表示されたメニューで［通常使うプリンタに設定］が選択されているか確認します。

- **Mac OS 9 の場合**
  本機がセレクタ画面で正しく選択されているか、選択したポートが実際にプリンタを接続したポートと合っているかを確認してください。

- **Mac OS X の場合**
  本機がプリンタリストに正しく追加されているかを確認してください。

Windows において、プリンタドライバからの印字テストは正常に行えますか？

プリンタドライバからの印字テストを行うことにより、プリンタとコンピュータの接続、およびプリンタドライバの設定が正しいかどうかを確認できます。

① プリンタが印刷可能状態であること（電源が入っていること）を確認し、プリンタに A4 サイズ以上の用紙をセットします。
② ［スタート］から［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを開きます。
③ 本機のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］を選択します。
④ プロパティ画面で Windows 98 の場合は［情報］または［全般］タブを選択し、右下の［印字テスト］をクリックします。Windows XP/2000 の場合は［全般］タブを選択し、右下の ［テストページの印刷］をクリックします。

しばらくすると、テストページの印刷が始まります。下図を参考にして印刷結果が正常かどうかを確認してください。

Windows 98 の例

* テストページに記載されている「ドライババージョン」とは Windows 内部のドライバのバージョンであり、お客様がインストールされた当社のプリンタドライバのバージョンとは異なります。

- テストページが正しく印刷された場合は、プリンタとコンピュータの設定は正常です。続いて本書の次の確認項目へ進んでください。
- テストページが正しく印刷されない場合は、本書のここまでの項目を再度確認してください。

☞ 本書 404 ページ「印刷できない」

エラーが発生していないか確認する

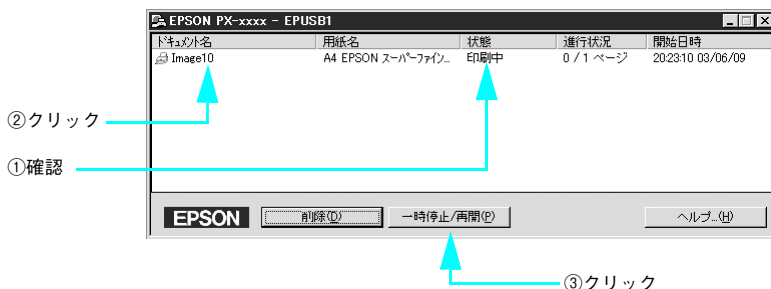
プリンタにエラーが発生していないか、操作パネルのランプ表示とパネルメッセージで確認します。

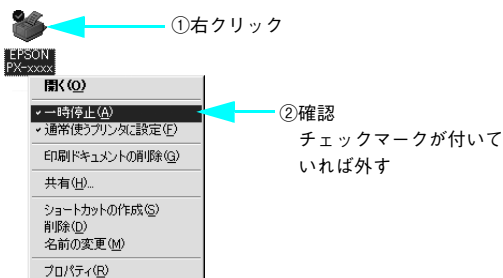
☞ 本書 447 ページ「ランプ」
☞ 本書 396 ページ「操作パネルにエラーメッセージが表示される」

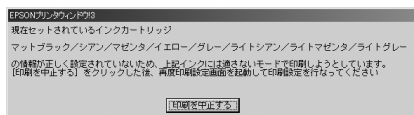
Windows の EPSON スプールマネージャまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になっていませんか？

印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、スプールマネージャまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。

- Windows 98/Me その 1

① タスクバー上の本機のアイコンをクリックしてスプールマネージャを開きます。
② 印刷データの［状態］が［一時停止］になっている場合は、印刷データをクリックして［一時停止 / 再開］をクリックしてください。
印刷の必要のないデータは削除してください。

- Windows 98/Me その 2

① ［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。
② 本機のアイコンを右クリックして、表示されたメニューの［一時停止］にチェック「✔」が付いている場合は、クリックして外します。

- Windows XP/2000
  ①［スタート］から［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを開きます。
  ②本機のアイコンをダブルクリックし、プリンタが一時停止状態の場合は［プリンタ］メニューの［一時停止］をクリックして「✔」を外します。

Windows の場合、以下のメッセージが表示されていませんか？

［印刷を中止する］をクリックし、セットしたインクカートリッジの組み合わせに合わせて、プリンタドライバのカートリッジオプションを切り替えてください。
☞ 本書 70 ページ「プリンタ情報（PX-7500/PX-9500 のみ）」

プリンタを接続したポートと、Windows プリンタドライバのプリンタ接続先の設定が合っていますか？

Windows では通常、プリンタの接続先は、USB インターフェイスの場合は［EPUSBx］（Windows 98/Me）/［USBx］（Windows 2000/XP）に、IEEE1394 インターフェイスの場合は［EP1394D3_xxx］に 設定されています。接続先に誤りがある場合は、ご使用のインターフェイスケーブルに応じて印刷先のポートを変更してください。
☞ 本書 438 ページ「機器のトラブル」

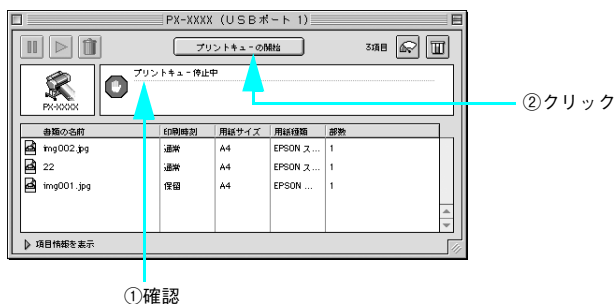
コンピュータのシステムメモリの空き容量は十分ですか？（Mac OS）

Mac OS 用プリンタドライバは、コンピュータ本体のシステムメモリの空きエリアを使用してデータを処理します。コントロールパネルの RAM キャッシュを減らしたり、使用していないアプリケーションソフトを終了して、メモリの空き容量を増やしてください。
印刷時に必要な空きメモリ容量については、以下のページをご覧ください。
☞ 使い方ガイド（冊子）「システム条件」

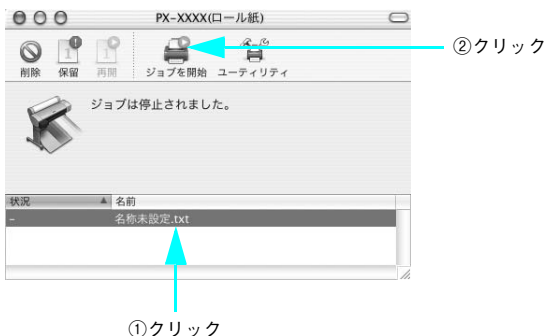
- **Mac OS 9 でのメモリの設定**
  ① アップルメニューから「コントロールパネル」を選択し、その中の「メモリ」を起動します。
  ② メモリのウィンドウで「ディスクキャッシュ」や「仮想メモリ」の設定を変更します。

Mac OS 9 の EPSON Monitor IV で、ステータスが「プリントキュー停止中」になっていませんか？

EPSON Monitor IV の［プリンタ］メニューで［プリントキューの停止］を選択すると、停止が解除されるまで印刷は行われません。

① 画面右上のアプリケーションメニューから［EPSON Monitor IV］を選択します。
② ステータスが「プリントキューの停止中」の場合は、画面上部の［プリンタ］メニューから［プリントキューの開始］をクリックします。

Mac OS X のプリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティで、状況が「停止中」になっていませんか？

プリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティで［ジョブの停止］をクリックすると、停止が解除されるまで印刷は行われません。

① Dock で［プリントセンター］または［プリンタ設定ユーティリティ］のアイコンをクリックします。
② 状況が［停止中］と表示されているプリンタがある場合は、そのプリンタをダブルクリックします。
③ 停止中のジョブをクリックし、［ジョブを開始］をクリックします。

コンピュータの画面に「プリンタが接続されていません。」または「用紙がありません。」などが表示されていませんか？

仕様に合ったインターフェイスケーブルで正しく接続されているか、プリンタのランプがエラーを示していないか確認してください。

☞ 使い方ガイド（冊子）「コンピュータとの接続条件」
☞ 本書 447 ページ「ランプ」

アプリケーションソフトを確認する

ここでは、トラブルが特定のアプリケーションソフトまたは特定のデータだけで起こるものなのかどうかについて判断します。

違うデータを印刷した場合、またはデータ量が少ない場合は正常に印刷が可能ですか？

データが壊れているなどの理由により、特定のデータだけ印刷ができないという可能性があります。ほかのデータを印刷することで確認してください。また、データ量が大きな場合はデータ量を少なくして確認してください。データ量が大きいときにだけ印刷ができない場合は、アプリケーションソフトとメモリの関係、コンピュータのシステムなどに問題がある可能性があります。

Mac OS 9 で、アプリケーションソフトへのメモリの割り当ては適切ですか？

メモリの空き容量を確保した上で、以下の方法で使用するアプリケーションソフトへのメモリの割り当てサイズを増やして、正常な印刷が行えるかどうかを確認してください。

① ハードディスクの中から、メモリの割り当てサイズの変更を行いたいアプリケーションソフトのフォルダをダブルクリックして開きます。

② 開いたフォルダの中の、アプリケーションソフトを起動させるファイル（起動ファイル）をクリックして選択した状態で、画面左上の［ファイル］から［情報を見る］を選択します。

③ 画面上に選択したアプリケーションソフトの情報が表示されますので、そのウィンドウの［メモリ使用条件］の項目の［最小サイズ］と［使用サイズ］を増やしてください。

インクカートリッジの状態を確認する

プリントヘッドは動くが印刷しない場合は、プリンタの動作確認をしてください。

本機は、プリンタ内部で持っているノズルチェックパターンを印刷する機能をもっています。コンピュータと接続していない状態で印刷できるので、プリンタの動作や印刷状態を確認できます。まず、ノズルチェックパターン印刷をしてください。

☞ 本書 368 ページ「ノズルチェック」

オートクリーニングの設定が OFF になっているとき、ノズルチェックパターンが正常に印刷されない場合はプリントヘッドのクリーニングを行ってください。

☞ 本書 372 ページ「ヘッドクリーニング」

- クリーニングが必要な場合の印刷サンプルを掲載していますのでご覧ください。
  ☞ 使い方ガイド（冊子）巻末「トラブルチェック用印刷サンプル」
- プリンタの電源が入っていない状態でインクカートリッジを交換すると、インク残量の検出が正しく行われずインクエンドランプが点灯する前にインクがなくなったり、正常な印刷ができない場合があります。インクカートリッジの交換は、必ず本書に従って交換してください。
  ☞ 本書 342 ページ「インクカートリッジの交換」

プリンタを長期間使用せずにいませんでしたか？

プリンタを長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。プリンタを長期使用しなかった場合の処理については、以下のページをご覧ください。

☞ 本書 391 ページ「プリンタを長期間使用しない場合は」

もう一度コンピュータを確認する

システム条件を確認しましょう。

お使いのコンピュータのシステム条件によっては、本機をご利用になれない場合もあります。もう一度システム条件の確認をしてください。

☞ 使い方ガイド（冊子）「システム条件」

OS は正常に動作していますか？

以下の方法で、簡単な OS のチェック、修復ができます。詳しい方法はそれぞれの取扱説明書などをご覧ください。

- **Windows Me/98 の場合**
  ［スタート］から［すべてのプログラム］または［プログラム］-［アクセサリ］-［システムツール］-［スキャンディスク］を起動し、Windows XP/Me/98 が入っているドライブのチェック、修復を行ってください。
- **Windows XP/2000 の場合**
  ［マイコンピュータ］の中から、Windows 2000 がインストールされているドライブを選択し、［プロパティ］-［ツール］-［エラーチェック］を行ってください。
- **Mac OS 9 の場合**
  Mac OS に添付の［DiskFirstAid］を実行することにより、OS のチェック、修復が行えます。詳しくは、Mac OS の取扱説明書をご覧ください。

プリンタドライバを再度インストールしてみましょう。

以上のことを確認しても、まったく印刷が行えない場合、プリンタドライバが正常にインストールされていない可能性があります。一度プリンタドライバを削除（アンインストール）してから、再度インストールしてください。

☞ 本書 138 ページ「プリンタドライバの削除」
☞ 本書 101 ページ「プリンタドライバの削除」
☞ 本書 50 ページ「プリンタドライバの削除」
☞ セットアップガイド「プリンタソフトウェアをインストールします」

以上のことを確認しても印刷できない場合は、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターにご相談ください。

☞ 本書 477 ページ「サービス・サポートのご案内」

「インクシステムが違います」と警告が出る

インク交換後、インク情報を更新していますか？

インク交換後にインク情報を更新していない場合、「インクシステムが違います」と警告が出ることがあります。この場合は、インク情報を更新してください。

本書 359 ページ「インク情報の更新（PX-7500/PX-9500 のみ）」

USB 接続または IEEE1394 接続で印刷できない（Windows）

［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダに本機のアイコンはありますか？

- **本機のアイコンがある場合**
  プリンタドライバはインストールされています。次項の［印刷先のポート］（Windows 98/Me）または［印刷するポート］（Windows XP/2000）を確認します。
- **本機のアイコンがない場合**
  プリンタドライバが正常にインストールされていません。プリンタドライバをインストールしてください。
  セットアップガイド「ソフトウェアのインストールをします（Windows）の場合」

［印刷するポート］または［印刷先のポート］が［USBxxx］/［EPUSBx］/［EP1394D3_xxx］になっていますか？

プリンタの電源をオンにして、印刷先のポートを確認します。

- **Windows XP/2000 の場合**
  プリンタドライバの［ポート］画面を開いて、［印刷するポート］で［USBxxx］または［EP1394D3_xxx］が選択されているか確認します（x はポート番号を表す数字）。
- **Windows 98/Me の場合**
  プリンタドライバの［詳細］画面を開いて、［印刷先のポート］に［EPUSBx］または［EP1394D3_xxx］が選択されているか確認します（x はポート番号を表す数字）。

＜例＞ Windows XP の場合

［USBxxx］/［EPUSBx］/［EP1394D3_xxx］の表示がない場合	［USBxxx］/［EPUSBx］/［EP1394D3_xxx］の表示がある場合
プリンタドライバが正しくインストールされていません。プリンタドライバを削除して、インストールし直してください。 ☞ 本書 161 ページ「プリンタドライバの削除」 ☞ セットアップガイド「4. プリンタソフトウェアをインストールします」	プリンタドライバは正常にインストールされています。［USBxxx］/［EPUSBx］または［EP1394D3_xxx］を選択してテスト印刷を実行して、印刷できるかご確認ください。

プリンタドライバの接続先は正しいですか？（Windows 98/Me）

新たに USB 対応プリンタを接続し、ドライバをインストールすると印刷先のポートの設定が変わることがあります。印刷先のポートを確認してください。

Windows 98/Me 使用時は次の点に注意してください。

- EPUSBx の表示がない場合は、USB デバイスドライバがインストールされていません。USB デバイスドライバをインストールしてください。
- USB デバイスドライバをインストールする前に、一旦プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除してください。

EPSON プリンタウインドウ !3 で「通信エラーが発生しました」と表示される

プリンタの電源が入っていますか？

コンセントにプラグが差し込まれているのを確認し、プリンタの電源をオンにします。

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。またケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。

Windows プリンタドライバの設定で双方向通信機能を選択していますか？

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、双方向通信機能を利用して動作可能なユーティリティです。通常は、インストールすることで自動的に設定されますが、プリンタが監視できない場合などに双方向通信機能の設定を確認してください。

- Windows 98/Me の場合、プリンタドライバの［詳細］画面で［スプールの設定］をクリックして［プリンタスプールの設定］画面を開き、［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］が選択されているか確認してください。
- Windows XP/2000 の場合、プリンタドライバの［ポート］画面で［双方向サポートを有効にする］が選択されているか確認してください。

お使いのコンピュータ（またはケーブル）は、双方向通信に対応していますか？

お使いのコンピュータが双方向通信に対応しているかをコンピュータのメーカーに確認してください。EPSON PC シリーズ全機種および NEC PC-9800 シリーズ、各社 DOS/V 系の一部の機種は対応しておりません。

Windows 98/Me/2000/XP をご利用の場合、接続に使用しているインターフェイスケーブルと印刷先のポートの設定が合っていますか？

USB ケーブルをご利用の場合は［USBx］（Windows XP/2000）または「EPUSBx」（Windows 98/Me）を、IEEE1394 ケーブルをご利用の場合は［EP1394D3_xxx］を印刷のポートに設定します。

プリントサーバのコンピュータで、［モニタの設定］画面の［共有プリンタをモニタさせる］がチェックされていますか？

プリントサーバのコンピュータで、［モニタの設定］画面を表示し、［共有プリンタをモニタさせる］がチェックされているか確認してください。チェックされていない場合は、チェックして［OK］をクリックしてください。

本書 64 ページ「モニタの設定」

IPX/SPX プロトコルを使用していませんか？

プリンタとの通信に、IPX/SPX プロトコルは使用できません。コンピュータのネットワークの設定で、IPX/SPX プロトコルがないか確認してください。ある場合は、削除してください。

プリンタにエラーが発生していませんか？

プリンタにエラーが発生していると、コンピュータとプリンタが通信できなくなる場合があります。プリンタにエラーが発生していないか、操作パネルのランプ表示を確認してください。

本書 447 ページ「ランプ」

割付印刷、ポスター印刷ができない

プリンタドライバで、給紙方法を［ロール紙 長尺モード］、またはフチなし印刷の設定をしていませんか？

割付印刷、ポスター印刷時は、給紙方法を［ロール紙 長尺モード］以外に設定し、フチなし印刷の設定はしないでください。［ロール紙 長尺モード］またはフチなし印刷の設定をすると各印刷の設定ができません。

フィットページ印刷ができない

プリンタドライバで、給紙方法を［ロール紙 長尺モード］に設定していませんか？

フィットページ印刷時は、給紙方法を［ロール紙 長尺モード］以外に設定してください。［ロール紙 長尺モード］に設定をするとフィットページ印刷の設定ができません。

任意倍率印刷ができない

プリンタドライバで、給紙方法を［ロール紙 長尺モード］、またはフチなし印刷の設定をしていませんか？

任意倍率印刷時は、給紙方法を［ロール紙 長尺モード］以外に設定し、フチなし印刷の設定はしないでください。［ロール紙 長尺モード］またはフチなし印刷の設定をすると任意倍率印刷の設定ができません。

オプションのネットワーク I/F カード経由で印刷できない

ネットワーク I/F カードは正しく取り付けられていますか？
ネットワークI/Fカードがプリンタ内部のコネクタにしっかりと差し込まれているか確認してください。また、カードはネジで必ず固定してください。

ネットワーク I/F カードとコンピュータの設定条件が合っていますか？
ネットワーク I/F カードとコンピュータの取扱説明書を参照して、適切な条件に設定してください。

ネットワーク I/F カードが有効となる設定になっていますか？
ネットワークI/Fカードによってはカード上のディップスイッチなどで有効/無効を選択するものがあります。カードの取扱説明書で確認してください。

操作パネルで［USB］または［IEEE1394］になっていませんか？
操作パネルの［インターフェイス］の設定が［USB］または［IEEE1394］になっているとオプションのネットワーク I/F カードが使用できません。［ジドウ］または［オプション］に設定してください。
☞ 本書 459 ページ「［プリンタ設定］メニュー」

ネットワーク環境下で印刷ができない

プリンタとコンピュータを 1 対 1 で接続して、印刷をしてみてください。
1 対 1 の接続で印刷ができる場合は、ネットワークの環境に問題があります。システム管理者に相談するか、お使いのシステムやネットワーク I/F カードなどの取扱説明書をご覧ください。1 対 1 の接続で印刷ができない場合は、本書の該当項目をご覧ください。

Mac OS 9 で印刷に時間がかかる、印刷が始まらない

コンピュータ本体のシステムの空きメモリ容量が少ないと、印刷時間がかかったり、印刷がなかなか始まらない場合があります。この場合は、使用していないアプリケーションソフトを終了するなどしてメモリの空き容量を増やすか、コンピュータのメモリを増設してください。

- システムの空きメモリ容量とは、アップルメニューから［このコンピュータについて ...］を選択したときのウィンドウに表示される「最大未使用ブロック：」の値です。
- 印刷に必要な空きメモリ容量については、以下のページをご覧ください。
  ☞ 使い方ガイド（冊子）「システム条件」
- 必要な空きメモリ容量が得られない場合は、暫定的にコンピュータの仮想メモリを使用してください（［システムが使用するメモリ］＋［印刷に必要な空きメモリ容量］以上の値を割り当ててください）。

ご使用の環境にもよりますが、以上の措置により、より快適に使用できる場合があります。

印刷できるが思い通りにいかない

思った通りの印刷ができないときは、まずクリーニングなどをして、プリントヘッドの調整をしてください。詳細は以下のページをご覧ください。
☞ 本書 366 ページ「プリントヘッドの調整」

MAXART リモートパネルはクリーニングなど、プリントヘッドの調整が簡単に行えるユーティリティソフトウェアです。使い方については MAXART リモートパネルのヘルプをご覧ください。
☞ 本書 366 ページ「プリントヘッドの調整」

ヘッドクリーニングを行っても印刷結果が改善されない場合は、以降の項目をご覧ください。

印刷品質のトラブル

プリンタを、長期間使用しないでいましたか？

プリンタを長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。プリンタを長期間使用しなかった場合の処置については、以下のページをご覧ください。
☞ 本書 391 ページ「プリンタを長期間使用しない場合は」

ギャップ調整がされていますか？

双方向印刷をしていて画像がぼけたときは、ギャップ調整をしてください。
☞ 本書 378 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」

ギャップ調整が必要な場合の印刷サンプルを掲載していますのでご覧ください。
☞ 使い方ガイド（冊子）巻末「トラブルチェック用印刷サンプル」

プリンタドライバで設定した用紙種類の設定と実際に使用している用紙種類は同じですか？

プリンタドライバ［基本設定］画面（Windows）/［印刷］画面（Mac OS 9）/［印刷］画面の［印刷設定］（Mac OS X）の用紙種類の設定と実際の用紙種類が合っていなければ印刷品質に影響を及ぼします。設定と実際に印刷する用紙種類は合わせてください。
エプソン純正専用紙以外の用紙を使う場合は、用紙（ユーザー用紙）の特性に合わせた設定を行ってから印刷してください。
☞ 本書 273 ページ「エプソン純正専用紙以外の用紙に印刷する前に」

ノズルチェックパターンは正常に印刷されますか？

プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、特定の色が出なくなり印刷品質に影響する場合があります。ノズルチェックパターンを印刷してみてください。

- クリーニングが必要な場合の印刷サンプルを使い方ガイド（冊子）に掲載していますのでご覧ください。
  ☞ 使い方ガイド（冊子）巻末「トラブルチェック用印刷サンプル」
- プリンタの電源が入っていない状態でインクカートリッジを交換すると、インク残量の検出が正しく行われずインクエンドランプが点灯する前にインクがなくなったり、正常な印刷ができない場合があります。インクカートリッジの交換は、必ず本書に従って交換してください。
  ☞ 本書 342 ページ「インクカートリッジの交換」

印刷される文字が画面表示と異なる

ネットワーク環境で、他機種のプリンタドライバを使って本機に接続していませんか？

本機のプリンタドライバが正しく選択されているか確認してください。また、選択したポートが実際にプリンタを接続したポートと合っているかを確認してください。

☞ 本書 405 ページ「プリンタドライバがインストールされているか確認する」

印刷位置が画面表示と異なる

Mac OS 9でお使いの場合、アプリケーションソフトウェアでページレイアウトの設定をしましたか？

ページレイアウトの設定で用紙サイズと余白（マージン）を確認してください。用紙サイズに対して印刷設定が適切か見直してください。

プリンタドライバで設定した用紙サイズと、実際に使用している用紙サイズは同じですか？

プリンタドライバ［用紙設定］画面の設定と実際の用紙サイズが合っていなければ正しい位置に印刷されません。設定と実際に印刷する用紙のサイズは合わせてください。

適切な用紙を使用していますか？

本機に対応した用紙を使用してください。また、用紙の保管状態や使用環境も印刷結果に影響を及ぼします。用紙の取り扱いと保管については以下を参照してください。

☞ 使い方ガイド（冊子）「使用可能な用紙」
☞ 使い方ガイド（冊子）「用紙の取り扱いと保管」

エプソン純正紙以外の場合、用紙調整を行いましたか？

エプソン純正専用紙以外の用紙を使う場合は、用紙（ユーザー用紙）の特性に合わせた設定を行ってから印刷してください。

本書 273 ページ「エプソン純正専用紙以外の用紙に印刷する前に」

他機種と色味が異なる

機器別にカラーマッチングをしていますか？

プリンタにはそれぞれのカラープロファイルを持っており、同じデータで印刷をしても色味が異なって印刷されます。この色味のズレを可能な限り近付けるのがカラーマッチングです。本機はプリンタドライバでカラーマッチングができます。

エプソンの推奨設定でプリントする場合は機種ごとに印刷色が異なります。印刷色をできるだけ近づけたい場合はカラーマネージメントを利用して印刷してみてください。

また、アプリケーションソフトから、本機のカラープロファイル情報を取り込むこともできます。

本書 193 ページ「色合いを調整して印刷」

本機以外のカラーマッチングについては、その機器やアプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

カラー印刷ができない

ソフトウェアの設定がカラーデータになっていますか？

ソフトウェア上でカラーデータになっているかどうか確認してください。

例）

アプリケーションソフト「Adobe Photoshop」の場合は［モード］メニューをクリックしてカラーになっているかどうかを確認します。

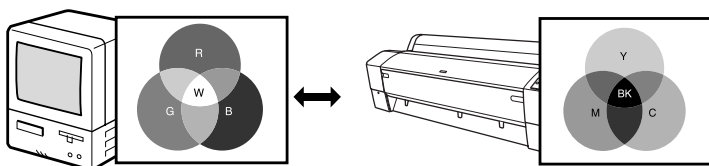
プリンタドライバのインクの設定が［カラー］になっていますか？

プリンタドライバ［基本設定］画面（Windows）/［印刷］画面（Mac OS 9）/［印刷］画面の［印刷設定］（Mac OS X）内のインクの設定が［黒］に設定されていると、カラー印刷ができません。設定が［カラー］になっているか確認してください。

イメージした色と違う色合いで印刷される

出力装置（ディスプレイとプリンタ）の違いによる差です。

ディスプレイ表示とプリンタで印刷した時の色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。

- テレビやディスプレイなどでは、赤（R）・緑（G）・青（B）の“光の三原色”と呼ばれる3色の組み合わせで様々な色を表現します。どの色も光っていない状態が黒、3色すべてが光っている状態が白となります。
- 一方、カラーのグラビア印刷やカラープリンタの印刷は、黄（Y）・マゼンタ（M）・シアン（C）の“色の三原色”を組み合わせています。まったく色を付けないのが白で、3色を均等に混ぜた状態が黒になります。

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画（CMY）→ディスプレイ（RGB）→印刷（CMY）の変更が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチング（色の合わせ込み）を行うのが、ICM（Windows 98/2000）や ColorSync（Mac OS）です。

プリンタドライバのオートフォトファイン !6 機能を有効にしていませんか？

オートフォトファイン !6 は、コントラストや彩度が適切でないデータに対して最適な補正を加えて鮮明に印刷できるようにする機能です。そのためオートフォトファイン !6 を有効にしてあると、表示画面の色合いと異なる場合があります。

☞ 本書 210 ページ「オートフォトファイン !6 による自動調整（Mac OS X 以外）」

ICM（Windows）、または ColorSync（Mac OS）などのカラーネージメントシステムをお使いの場合、モニタのプロファイル設定を行いましたか？

正しくマネージメントを行うためには、入力機器・使用アプリケーションが ICM（Windows）、または ColorSync（Mac OS）に対応している必要があります。また、お使いのモニタのプロファイルを設定する必要があります。

☞ 本書 193 ページ「色合いを調整して印刷」

普通紙を使用していませんか？

カラー印刷の場合は、使用する用紙によって仕上がりイメージが大きく異なります。目的に応じて用紙（専用紙と普通紙など）を使い分けることをお勧めします。

プリンタドライバで設定した用紙種類と実際に使用している用紙種類は同じですか？

プリンタドライバの［基本設定］画面（Windows）/［印刷］画面（Mac OS）の用紙種類の設定と実際の用紙種類が合っていなければ印刷品質に影響を及ぼします。設定と実際に印刷する用紙種類は合わせてください。

双方向印刷（高速印刷）をしていませんか？

双方向印刷の場合、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するので、高速に印刷できます。しかし、速度と引き替えに印刷品質が多少低下する場合があります。より高品質な印刷を行うときは、プリンタドライバ上で、双方向印刷の設定を解除してください。

［速い］で印刷していませんか？

プリンタドライバで［推奨設定］を［速い］に設定していると速度と引き替えに印刷品質が多少低下する場合があります。より高品質な印刷を行うときは、プリンタドライバ上で［きれい］または［高精細］を選択してください。

ノズルチェックパターンは正常に印刷されますか？

プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、特定の色が出なくなり色合いが変わる場合があります。ノズルチェックパターンを印刷してみてください。

- 使い方ガイド（冊子）にクリーニングが必要な場合の印刷サンプルを掲載していますのでご覧ください。
  ☞ 使い方ガイド（冊子）巻末「トラブルチェック用印刷サンプル」
- プリンタの電源が入っていない状態でインクカートリッジを交換すると、インク残量の検出が正しく行われずインクエンドランプが点灯する前にインクがなくなったり、正常な印刷ができない場合があります。インクカートリッジの交換は、必ず本書に従って交換してください。
  ☞ 本書 342 ページ「インクカートリッジの交換」

古くなったインクカートリッジを使用していませんか？

古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。インクカートリッジは、個装箱に記載されている有効期限内（プリンタ装着後は 6ヵ月以内）に使用することをお勧めします。

正しいインクカートリッジをセットしていますか？

本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるなどで色合いが変わる場合があります。必ず正しいインクカートリッジを使用してください。

印刷中にフロントカバーを開けませんでしたか？

印刷中にフロントカバーを開けると、キャリッジが緊急停止するために色ムラが発生します。印刷中はフロントカバーを開けないでください。

長期間プリンタを使用しないでいませんでしたか？

長期間プリンタを使用しないと、インクカートリッジ中のインクが分離してしまい、色合いが変わる場合があります。インクカートリッジを抜き、5 回軽く振ってもう一度セットしてください。

本書 346 ページ「インクカートリッジの交換手順」

罫線が左右にガタガタになる

ギャップ調整された状態で双方向印刷（高速印刷）をしていますか？

双方向印刷の場合、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷を行います。このとき、プリントヘッドのずれ（ギャップ）により、罫線がずれて印刷される場合があります。双方向印刷をしていて縦の罫線がずれるときは、ギャップ調整をしてください。

本書 378 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」

一部のデータが印刷されない

印刷範囲は合っていますか？

アプリケーションやプリンタの設定で印刷範囲の確認をしてください。

プリントヘッドのクリーニングをしていますか？

ヘッドクリーニングを実行してください。
プリントヘッドが目詰まりを起こすと、特定の色が出なくなり印刷されない場合があります。長期間使用していないプリンタは、ヘッドクリーニングを数回実行しないと、正常に印刷されないことがあります。ヘッドクリーニングを 3 回繰り返しても印刷結果が改善されない場合は、パワークリーニングを実行してください。

☞ 本書 468 ページ「［メンテナンス］メニュー」、本書 143 ページ「ヘッドクリーニング」

ロール紙余白を 15mm または 35mm に設定していませんか？

自動回転した場合や用紙幅いっぱいの印刷（24 インチ幅のロール紙に A1 縦サイズの印刷をしたり A2 横サイズの印刷をする場合など）をする場合、パネル設定モードの［ロール紙余白］を 15mm、または 35mm に設定すると、印刷領域からはみ出した用紙右端のデータが印刷されなくなります。［ロール紙余白］を 3mm に設定して印刷してください。

☞ 本書 459 ページ「［プリンタ設定］メニュー」

用紙が斜行していませんか？

通常は用紙が斜行すると印刷が停止しますが、パネル設定の［斜行エラー検出］が［OFF］になっていると用紙が斜行していても印刷してしまい、印刷領域からはみ出します。パネル設定モードの［斜行エラー検出］を［ON］に設定してください。

☞ 本書 459 ページ「［プリンタ設定］メニュー」

用紙幅は適切ですか？

印刷イメージが用紙幅より大きい場合、通常は印刷が停止しますが、パネル設定の［用紙幅検出］が［OFF］になっていると用紙幅を超えても印刷してしまいます。パネル設定モードの［用紙幅検出］を［ON］に設定してください。

☞ 本書 459 ページ「［プリンタ設定］メニュー」

印刷にムラがある、薄い、または濃い

古くなったインクカートリッジを使用していませんか？

古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。インクカートリッジは、個装箱に記載されている有効期限内（プリンタ装着後は6ヵ月以内）に使用することをお勧めします。

正しいインクカートリッジをセットしていますか？

本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるなどで印刷品質に影響する場合があります。必ず正しいインクカートリッジを使用してください。

プリンタドライバで設定した用紙種類の設定と実際に使用している用紙種類は同じですか？

プリンタドライバ［基本設定］画面（Windows）/［印刷］画面（Mac OS 9）/［印刷］画面の［印刷設定］（Mac OS X）の用紙種類の設定と実際の用紙種類が合っていなければ印刷品質に影響を及ぼします。設定と実際に印刷する用紙種類は合わせてください。

双方向印刷（高速印刷）をしていませんか？

双方向印刷の場合、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するので、高速に印刷できます。しかし、速度と引き替えに印刷品質が多少低下する場合があります。より高品質な印刷を行うときは、プリンタドライバ上で、双方向印刷の設定を解除してください。

［速い］で印刷していませんか？

プリンタドライバ上で［推奨設定］を［速い］に設定していると速度と引き替えに印刷品質が多少低下する場合があります。より高品質な印刷を行うときは、プリンタドライバ上で、［きれい］を選択してください。

プリンタドライバでカラー調整をしましたか？

出力装置（この場合はディスプレイとプリンタ）の違いによってカラー出力の色合いが多少違うことがあります。このような場合に、ディスプレイの色をより忠実に再現するためのカラー調整の機能が用意されています。こうした機能を使ってカラー調整をしてみてください。

☞ 本書 205 ページ「プリンタドライバによる色調整」

印刷中にフロントカバーを開けませんでしたか？

印刷中にフロントカバーを開けると、キャリッジが緊急停止するために色ムラが発生します。印刷中はフロントカバーを開けないでください。

以上のチェック項目が原因だと思われる印刷サンプルを、使い方ガイド（冊子）に掲載していますのでご覧ください。

☞ 使い方ガイド（冊子）巻末「トラブルチェック用印刷サンプル」

印刷が汚い、汚れる、にじむ

用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？

本機で使用できる仕様の用紙かどうかを確認してください。エプソン純正専用紙以外の用紙に印刷する場合やラスターイメージプロセッサ（RIP）を使用して印刷する場合の用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙の取扱説明書や用紙の購入先またはRIP の製造元にお問い合わせください。

厚い用紙でプリントヘッドが印刷面をこすっていませんか？

厚い用紙を使用するとプリントヘッドが印刷面をこすってしまうことがあります。このような場合には、パネル設定モードの［プラテンギャップ］を［広くする］から［最大］の間より選択して設定してください。

☞ 本書 459 ページ「［プリンタ設定］メニュー」

薄い用紙で用紙が送れず同じ部分に印刷していませんか？

薄い用紙を使用すると、プリンタ内部に貼り付いてしまって印刷できないことがあります。このような場合には、パネル設定モードの［吸着力］を［弱い］に設定してください。

☞ 本書 467 ページ「［ユーザー用紙設定］メニュー」

普通紙を使用していませんか？

カラー画像の印刷や、より良い品質で印刷するためには、専用紙のご使用をお勧めします。

プリンタの内部が汚れていませんか？

用紙の上端および用紙の裏面が汚れる場合は、プリンタ内部の用紙の通過経路が汚れている可能性があります。プリンタの内部の汚れをきれいにしてください。

☞ 本書 386 ページ「本体が汚れたときは」

ロール紙の余白（マージン）を 3mm に設定していますか？

使用する用紙や環境によっては印刷が汚れる場合があります。パネル設定モードの［ロール紙余白］の設定を［先端 & 後端 15mm］、［先端 35& 後端 15mm］、［四辺 15mm］のいずれかに設定して印刷してください。

☞ 本書 459 ページ「［プリンタ設定］メニュー」

枠線がぼやけていますか？

使用環境の温度あるいは湿度が動作保証外になっている場合に発生することがあります。動作保証環境下で印刷してください。

用紙の余白や、プラテンギャップを調整していますか？

ロール紙を使っている場合は、パネルでの用紙の余白設定を［四辺 15mm］にしてみてください。それでも改善されなければ、プリンタドライバの［用紙設定］画面の［プラテンギャップ］を広めに設定してください。

☞ 使い方ガイド（冊子）「印刷可能領域」
☞ Windows☞ 本書 25 ページ「［用紙調整］画面」
☞ Mac OS 9☞ 本書 92 ページ「［用紙調整］画面」
☞ Mac OS X☞ 本書 128 ページ「［用紙調整］画面」

以上のチェック項目が原因だと思われる印刷サンプルを掲載していますのでご覧ください。

☞ 使い方ガイド（冊子）巻末「トラブルチェック用印刷サンプル」

MC厚手マット紙ロールまたはPX/MCプレミアムマット紙ロールを後方排紙していませんか？

画質の乱れが気になるときは、排紙サポートを手前方向に固定し、印刷し直してみてください。

☞ 使い方ガイド（冊子）「紙受け用バスケットの使い方」

用紙にしわが発生する

用紙に合ったロール紙スピンドルを使用していますか？

オプションのハイテンションスピンドルを使用しないで印刷すると、用紙にしわが発生します。用紙に合ったスピンドルを使用してください。

詳細は、以下のページを参照するか、用紙の取扱説明書をご覧ください。

☞ 使い方ガイド（冊子）「エプソン純正専用紙」

一般の室温環境下で使用していますか？

エプソン純正専用紙は一般の室温環境下（温度：15 ～ 25 ° C、湿度 40 ～ 60%）で使用してください。また、MCマット合成紙2ロールやエプソン純正専用紙以外の薄紙など使用方法に注意が必要な用紙については、用紙の取扱説明書をご覧ください。

エプソン純正紙以外の場合、用紙調整を行いましたか？

エプソン純正専用紙以外の用紙を使う場合は、用紙（ユーザー用紙）の特性に合わせた設定を行ってから印刷してください。

本書 273 ページ「エプソン純正専用紙以外の用紙に印刷する前に」

印刷した用紙の裏側が汚れる

プリンタ内部が汚れていませんか？

プリンタ内部の汚れを取り除いてください。

本書 386 ページ「本体が汚れたときは」

通常は印刷イメージが用紙幅より大きい場合や用紙が斜行すると印刷が停止しますが、パネル設定モードの［用紙幅検出］や［斜行エラー検出］が［OFF］になっているとそのまま印刷され、印刷領域からはみ出すためプリンタ内部が汚れます。プリンタ内部を汚さないためにも、パネル設定の［用紙幅検出］や［斜行エラー検出］は［ON］に設定してください。

本書 459 ページ「［プリンタ設定］メニュー」

印刷結果が粗くなる

プリンタドライバで印刷の設定は合っていますか？

プリンタドライバの画面で画質の設定をしてください。

本書 148 ページ「目的別印刷方法」

プリントヘッドのクリーニングをしていますか？

プリントヘッドのクリーニングをしてください。

プリントヘッドのクリーニングを定期的に行うことでプリンタヘッドの目詰まりを防ぎ、最適の状態に保ちます。クリーニングのためにすべての色のインクを消費します。

本書 143 ページ「ヘッドクリーニング」

インクが出すぎてしまう

インクカートリッジをしっかり振ってからプリンタにセットしていますか？

本機は顔料インクを使用しているため、カートリッジのセットの前にしっかり振って中のインクをよく混ぜて使用してください。

☞ 本書 342 ページ「インクカートリッジの交換」

プリンタドライバで用紙の設定は合っていますか？

お使いの用紙とプリンタの用紙設定を合わせてください。

用紙ごとにインクの吐出量をコントロールしているため、たとえば、写真用紙の設定で普通紙に印刷すると、用紙に対し、インクが過剰な状態で印刷されることがあります。

インクの濃度を濃く設定していませんか？

プリンタドライバの「用紙調整」でインクの濃度を下げてください。

用紙によって、インクが過剰な状態で印刷されることがあります。

Mac OS X☞ 本書 128 ページ「[用紙調整]画面」
Mac OS 9☞ 本書 92 ページ「[用紙調整]画面」
Windows☞ 本書 25 ページ「[用紙調整]画面」

フチなし印刷がうまくいかない

アプリケーションで用紙の設定をしていますか？

アプリケーションで用紙設定をしてから印刷をしてください。

☞ 本書 149 ページ「フチなし印刷」

フチなし印刷時、余白が発生する

プリンタドライバで用紙の設定は合っていますか？

お使いの用紙とプリンタの用紙設定を合わせてください。

☞ 使い方ガイド（冊子）「用紙の仕様と設定 」

フチなし印刷の設定をしていますか？

フチなし印刷のはみ出し量を調整してください。

はみ出し量を「少ない」に設定していると余白が残る場合があります。

☞ 本書 149 ページ「フチなし印刷」

カスタム設定（原寸維持）の場合、アプリケーションでページ設定をしましたか？

カスタム設定でフチなし印刷をする場合、アプリケーションで用紙サイズを左右で6mm 広くする設定をしてください。

本書 155 ページ「カスタム設定（原寸維持）でフチなし印刷する場合」

用紙の保管は適切でしたか？

用紙の保管状況によっては、用紙が伸縮してしまい、フチなしの設定をしても余白が発生することがあります。用紙の保管については用紙の取扱説明書をご覧ください。

フチなし印刷対応用紙を使用していますか？

フチなし印刷対応用紙以外の用紙を使用すると、用紙が伸縮してしまい、フチなしの設定をしても余白が発生することがあります。フチなし推奨用紙を使用することをお勧めします。

本書 151 ページ「フチなし印刷の対応用紙」

給紙ミス／紙詰まり

給紙･排紙がうまくできない

給紙がうまくできないときは、まず、用紙を正しくセットし直してください。

プリンタの操作パネルとプリンタドライバの用紙種類の設定がセットされている用紙と合っていますか？

［用紙選択］ボタンで用紙の種類をプリンタにセットしている用紙に合わせてください。プリンタドライバの［用紙設定］画面の設定をプリンタにセットしている用紙に合わせてください。

用紙セット位置に合わせて用紙をセットしましたか？

以下のページを参照して正しい位置に用紙をセットしてください。

☞ 使い方ガイド（冊子）「ロール紙のセット」
☞ 使い方ガイド（冊子）「単票紙のセット」
☞ 使い方ガイド（冊子）「厚紙のセット」

用紙が正しくセットされている場合は、使用している用紙の状態を確認します。

用紙にシワや折り目がありませんか？

古い用紙や折り目のある用紙は使用しないでください。新しい用紙を使用してください。

用紙に合ったロール紙スピンドルを使用していますか？

用紙の種類によっては、オプションのハイテンションスピンドルを使用しないで印刷すると、用紙にしわが発生します。用紙に合ったスピンドルを使用してください。
詳細は、以下のページを参照するか、用紙の取扱説明書をご覧ください。

☞ 使い方ガイド（冊子）「エプソン純正専用紙」

一般の室温環境下で使用していますか？

エプソン純正専用紙は一般の室温環境下（温度：15 ～ 25°C、湿度 40 ～ 60%）で使用してください。

用紙が湿気を含んでいませんか？

湿気を含んだ用紙は使用しないでください。また、エプソン純正専用紙は、お使いになる分だけ袋から出してください。長期間放置しておくと、用紙が反ったり、湿気を含んで正常に給紙できない原因となります。未使用のロール紙はプリンタ本体から取り外し、膨らまないように巻き直してから梱包されていた個装袋に戻してください。

用紙が波打ったり、たわんでいませんか？

単票紙は、温度や湿度などの環境の変化により波打ったり、たわんでしまい、プリンタ本体が用紙サイズを正しく認識できなくなってしまう場合があります。用紙を平らな状態に修正してからプリンタにセットしてください。

用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？

本機で使用できる仕様の用紙かどうかを確認してください。エプソン純正専用紙以外の用紙に印刷する場合や、ラスターイメージプロセッサ（RIP）を使用して印刷する場合の用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙の取扱説明書や用紙の購入先または RIP の購入先にお問い合わせください。

プリンタに用紙が詰まっていませんか？

プリンタのフロントカバーを開き、プリンタに異物が入っていないか、紙詰まりがないかを調べてください。もし紙詰まりが発生している場合は、以下のページを参照しながら用紙を取り除いてください。

☞ 本書 436 ページ「用紙が詰まった」

用紙を縦長にセットしていますか？

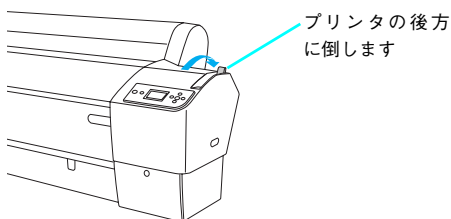
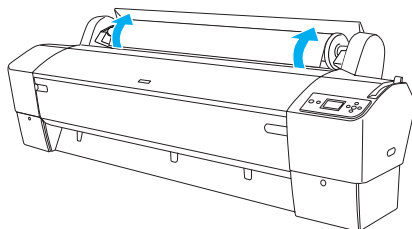
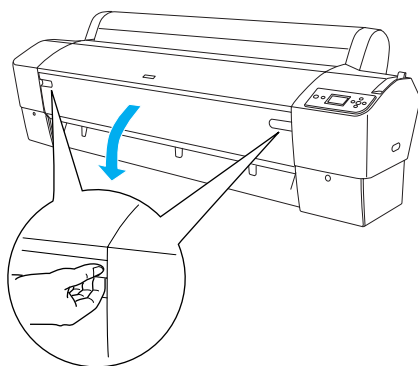
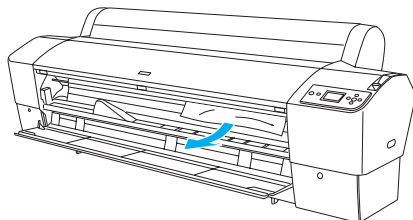
単票紙をセットする場合は、必ず縦長にセットして印刷してください。横長にセットすると、用紙が認識されず、エラーが発生します。

☞ 本書 482 ページ「用紙仕様」

用紙が詰まった

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1. **電源をオフにしてから、ロール紙カバーを開き、給紙スロットにセットされている用紙を市販のカッターなどで切り取ります。**

2. **用紙セットレバーを後方に倒します。**

3. **ロール紙を巻き戻します。単票紙の場合は、給紙スロットからそのまま取り出します。**

4. **プリンタ内部で用紙が詰まっている場合は、フロントカバーを開けます。**

5 **詰まった用紙を取り除きます。**

6 **プリンタの電源を一旦オフにしてから、再度オンにします。**

用紙のセット方法については以下のページをご覧ください。

☞ 使い方ガイド（冊子）「ロール紙のセット」
☞ 使い方ガイド（冊子）「単票紙のセット」

機器のトラブル

電源がオンにならない

本機の電源がオンにならない場合は、次の 3 点を確認してください。

電源プラグがコンセントまたはプリンタ本体から抜けていませんか？

差し込みが浅かったり、斜めになっていないか確認し、しっかりと差し込んでください。

電源コンセントに問題がありませんか？

ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

AC 電源は規定の電圧になっていますか？

コンセントの電圧を確認し、正しい電圧で使用してください。また、タコ足配線や、テーブルタップへの接続、コンピュータの背面などに設けられているコンセントへの接続はしないでください。

以上の 3 点を確認の上で本機の電源がオンにならない場合は、お買い求めの販売店またはエプソンの修理センターにご相談ください。

本書 477 ページ「サービス・サポートのご案内」

USB 接続時にインストールできない（Windows）

ご利用のコンピュータは、USB 接続するためのシステム条件を備えていますか？

本機をUSBケーブルで接続するためには、以下の条件をすべて満たす必要があります。

- Windows 98/Me/2000/XP がプレインストールされているコンピュータ（購入時、すでに Windows 98/Me/2000/XP がインストールされているコンピュータ、または Windows 98 がプレインストールされていて Windows Me/2000/XP にアップグレードしたコンピュータ）
- USBに対応していて、コンピュータメーカーによりUSBポートの動作が保証されているコンピュータ

Windows 95からWindows 98/Me/2000へアップグレードしたコンピュータやUSBポートの動作が保証されていないコンピュータは正常に印刷できません。お使いのコンピュータについてはコンピュータメーカーへご確認ください。

USB 接続時に印刷先のポートにプリンタ名が表示されない

プリンタの電源がオンになっていますか？

プリンタの電源がオフの状態では、コンピュータがプリンタを認識できないため、ポートが正しく表示されません。プリンタの電源をオンにして USB ケーブルを一度抜き差ししてください。

USB ハブに接続すると正常に動作しない

本機は USB ハブの 1 段目（1 台目）に接続されていますか？

USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本機を接続する場合はコンピュータに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続してください。

Windows で USB ハブが正しく認識されていますか？

Windows の［デバイスマネージャ］の〈ユニバーサルシリアルバス〉の下に、USB ハブが正しく認識されているか確認してください。正しく認識されている場合は、コンピュータの USB ポートから、USB ハブをすべて外してから、本機の USB コネクタをコンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。USB ハブの動作に関しては、ハブのメーカーにお問い合わせください。

用紙がきれいに切り取れなくなったら（カッターの交換）

用紙がきれいに切り取れなくなったり、カット部に毛羽立ちなどが発生したら、カッターを交換してください。
交換方法は、以下を参照してください。
☞ 本書 362 ページ「カッターの交換」

Mac OS 9 のセレクタにプリンタドライバが表示されない

本製品に同梱のプリンタドライバは QuickDraw GX には対応していませんので、QuickDraw GX がインストールされている Mac OS のセレクタ画面には、本製品のプリンタドライバは表示されません。

この場合、QuickDraw GX を使用停止にしてから、セレクタ画面を開いてください。

Windows でプリンタドライバのコピーができてしまったら？

同じプリンタドライバを何度もインストールしていませんか？

Windows において、本機のプリンタドライバがインストールされている状態で新たに本機のプリンタドライバをインストールすると、［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダの中に［EPSON PX-9500S（コピー 2）］、［EPSON PX-9500S（コピー 3）］というように、コピーという名称でアイコンが増えていきます。本機のアイコンを残して、コピーのアイコンは削除しても問題はありません。プリンタフォルダ内に本機のアイコンが 1 つでも残っていれば、ほかのアイコンを削除しても、本機のプリンタドライバ自体が削除されることはありません。

その他

モノクロモードで印刷、もしくは黒データで印刷しているがカラーのインクの減りが早い

プリントヘッドのクリーニングをすると、すべての色のヘッドクリーニングが行われ、すべての色のインクが消費されます。また、モノクロモードを選択していてもクリーニングを行うと、黒インク以外のインクも消費されます。

最新のプリンタドライバを入手したい

通常は本製品に同梱されているプリンタドライバで問題なくご利用いただけますが、アプリケーションソフトなどのバージョンアップに伴い、プリンタドライバのバージョンアップが必要な場合があります。

そのような場合は、以下のページを参照し、プリンタドライバを入手してください。
☞ 本書 393 ページ「プリンタドライバのバージョンアップ」

お問い合わせいただく前に

ファームウェアのバージョンアップのご案内

エプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）では最新のファームウェアのバージョンアップ情報をご提供しています。

プリンタドライバのバージョンアップについては、本書 393 ページ「プリンタドライバのバージョンアップ」をご覧ください。

エプソンホームページの Q&A のご案内

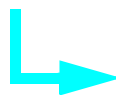
エプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）では機種ごとのトラブルシュートや発売以降に確認された最新の情報が掲載されています。

トラブルが解消されないときは

「困ったときは」の内容やエプソンのホームページで確認をしても、トラブルが解消されない場合は、トラブルの原因を判断してそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

プリンタ本体の故障なのか、ソフトウェアのトラブルなのかを判断するため、プリンタの動作確認をします。

1. **電源をオフにし、プリンタケーブルを外します。**
2. **電源をオンにします。**
3. **プリンタに単票紙をセットし、［用紙選択］ボタンで用紙を選択します。**
4. **［Menu］ボタンを押します。**
5. **［用紙送り］ボタンを押して［テスト印刷］を表示させます。**
6. **［Menu］ボタンを押して、設定項目の階層に入ります。**
   ディスプレイに［ノズルチェック］と表示されます。
7. **再度［Menu］ボタンを押して、設定値の階層に入ります。**
   ディスプレイに［印刷］と表示されます。
8. **［実行］ボタンを押します。**
   ノズルチェックパターンの印刷を開始します。印刷しない場合は、1 からもう一度やり直してください。

正常に印刷ができない　　**正常に印刷できる**

次ページへ

お買い求めの販売店、またはエプソン修理センターへご相談ください。
本書 477 ページ「サービス・サポートのご案内」

プリンタドライバ類のトラブルなのか、アプリケーションソフトのトラブルなのかを判断します。

Windows 標準添付のワードパッド、Mac OS 9 標準添付の Simple Text、Mac OS X 標準添付の Text Edit で簡単な印刷が行えるかどうかを確認します。

Windows

［ファイル］メニュー内の［印刷］を実行

Mac OS 9

Mac OS X

［ファイル］メニュー内の［プリント］を実行

正常に印刷ができない

プリンタドライバのインストール･設定･バージョンに問題があると考えられます。プリンタドライバをインストールし直してください。

正常に印刷できる

- ご使用のアプリケーションソフトでの設定が正しくされていない可能性があります。この場合は、各アプリケーションソフトの取扱説明書を確認して、アプリケーションソフトのお問い合せ先へご相談ください。
- プリンタドライバをバージョンアップさせることにより、正常に印刷できるようになる場合があります。プリンタドライバをバージョンアップしてみてください。

本書 170 ページ「プリンタドライバのバージョンアップ」

それでもトラブルが解消できない場合は、お買い求めの販売店、またはエプソン修理センターへご相談ください。

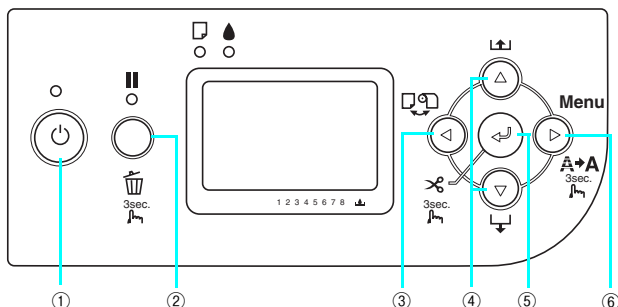
本書 477 ページ「サービス・サポートのご案内」

お問い合せの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、アプリケーションソフトウェアの名称やバージョン、その他周辺機器の型番など）と、本機の名称（PX-7500/PX-7500S/PX-9500/PX-9500S）をご確認のうえ、ご連絡ください。

操作パネルの使い方

ここでは、操作パネルの使い方や設定項目について説明をしています。

操作パネルの各部の名称と役割

ボタン

<table>
<tr><td>①</td><td>[電源] ボタン
(⏻)</td><td>プリンタの電源をオン / オフします。</td></tr>
<tr><td>②</td><td>[ポーズ] ボタン・[リセット] ボタン（ ◯/⏸ ）</td><td>

- 印刷可 / 不可状態を切り替えます。
- 3 秒以上押すと［リセット］ボタンとして機能します。この場合、印刷を中止し、現在稼働中のインターフェイスで受信した印刷データを消去（リセット）します。リセット後、印刷可能状態になるまで時間がかかる場合があります。
- パネル設定モード中に押すと、パネル設定を終了し、印刷可能状態にします。

</td></tr>
<tr><td>③</td><td>[用紙選択] ボタン（ ◁ ）</td><td>

- 用紙種類の選択と、ロール紙選択時の切り離しの有 / 無を設定します。押すたびに、ディスプレイに表示されるアイコンが切り替わります。

<table>
<tr><th>アイコン</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td></td><td>ロール紙自動カット</td><td>ロール紙に印刷します。1 ページ印刷するごとに自動的にカットします。</td></tr>
<tr><td></td><td>ロール紙カッターオフ</td><td>ロール紙に印刷します。ロール紙をカットせずに印刷します。市販のカッターなどを使って切り離してください。</td></tr>
<tr><td></td><td>単票紙</td><td>単票紙に印刷します。</td></tr>
</table>

- パネル設定モード中に押すと、現在の階層から上位階層（設定値→設定項目→設定メニュー→印刷可状態）へ戻ります。
- 3 秒以上押すと、「メンテナンスメニュー」の「カッター交換」モードに入ります。

☞ 本書 362 ページ「カッターの交換」

</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>④</td><td>［用紙送り］ボタン（▽ / △）</td><td>

- ロール紙を正方向（▼）または逆方向（▲）に送ります。3 秒以上押すと速く送ります。
1 回の操作で戻すことができるのは、最大 20cm までとなります。
- ロール紙が検出され、用紙セットレバーが解除位置にある状態で操作すると、ロール紙を給紙経路に吸着する力を 3 段階に調整できます。
☞ 使い方ガイド（冊子）「ロール紙のセット」
- パネル設定モード中に押すと、各階層（設定メニュー、設定項目、設定値）での次の選択肢（▼）または前の選択肢（▲）に切り替えます。

</td></tr>
<tr><td>⑤</td><td>［実行］
ボタン（↵）</td><td>

- パネル設定モード中に設定値の階層で押すと、選択した設定値を有効にしてプリンタに登録したり、選択した機能を実行します。
- ディスプレイに以下のアイコンが表示されている時、このボタンを 3 秒以上押すと、ロール紙のカットや紙送りをします。

<table>
<tr><th>アイコン</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td></td><td>ロール紙自動カット</td><td>ロール紙を紙送りしてカットします。</td></tr>
<tr><td></td><td>ロール紙カッターオフ</td><td>ロール紙を紙送りします。</td></tr>
</table>

参考

ロール紙の種類によっては、本機の内蔵カッターではカットできないものもあります。ロール紙の取扱説明書や用紙の購入先またはラスターイメージプロセッサ（RIP ）の製造元にお問い合わせください。このような用紙については、必ず［ロール紙カッターオフ ］の設定にしてください。印刷終了後、市販のカッターなどでカットしてください。

</td></tr>
<tr><td>⑥</td><td>［Menu］
ボタン（▷）</td><td>

- メニュー移行可能状態（印刷可能状態または用紙なし状態）で押すと、パネル設定モードに入ります。
☞ 本書 453 ページ「設定メニュー」

参考

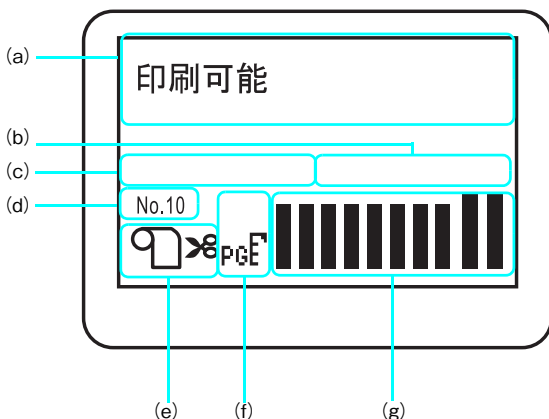
印刷中に押すと、パネル設定モードの［プリンタステータス］メニューに直接入ります。
☞ 本書 462 ページ「［プリンタステータス］メニュー」

- パネル設定モード中に押すと、現在の階層から下位階層（設定メニュー→設定項目→設定値）へ進みます。
- 3 秒以上押すとプリントヘッド（全色）のクリーニングを行います。印刷品質が悪くなったときなどに行います。

</td></tr>
</table>

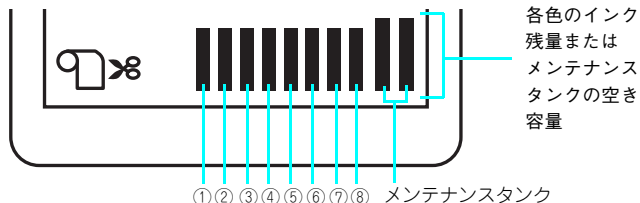
ランプ

①	電源ランプ	点灯	プリンタの電源がオン
		点滅	データ受信中 / プリンタの電源オフ処理中
		消灯	プリンタの電源がオフ
②	ポーズランプ	点灯	パネル設定モード中 / ポーズ中 / エラー発生時など
		消灯	印刷可能状態
③	用紙チェックランプ	点灯	用紙なしエラー/ 用紙セットレバー解除中 / 用紙設定違いなど
		点滅	用紙詰まりエラー / 用紙斜行エラーなど
		消灯	用紙関連の問題が発生していない状態
④	インクエンドランプ	点灯	インクエンド / カートリッジ未装着 / カートリッジ違いなど
		点滅	インク残量少
		消灯	インク関連の問題が発生していない状態

ディスプレイ

<table>
<tr><td>(a)</td><td>メッセージ</td><td>プリンタの状態や、操作・エラーメッセージを表示します。
☞ 本書 396 ページ「操作パネルにエラーメッセージが表示される」
☞ 本書 451 ページ「ディスプレイメッセージ一覧」
また、ディスプレイのメッセージ 2 行目に以下の情報を表示する場合があります（表示可能な場合のみ）。</td></tr>
<tr><td>(b)</td><td>ロール紙残量の表示</td><td>ロール紙の残量を表示します。
<table>
<tr><th>アイコン</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>表示なし</td><td>［ロール紙カウンタ］で OFF を選択した場合</td></tr>
<tr><td></td><td>以下の操作を行うと、左記のマークとロール紙残量を表示します。
• メンテナンスモードの［用紙残量設定］で［ロール紙］を設定
• ［プリンタ設定］メニューの［ロール紙カウンタ］で、プリンタにセットされている［ロール紙長さ］を設定
• 「ロール紙残量なし」の警告をディスプレイに表示するタイミング（ロール紙残量）を設定</td></tr>
</table>
☞ 本書 471 ページ「メンテナンスモード」</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>(c)</td><td>[ロール紙余白] の設定状態</td><td>[ロール紙余白] の設定値を表示します。
<table><tr><th>アイコン</th><th>説明</th></tr><tr><td>表示なし</td><td>[デフォルト] を選択した場合</td></tr><tr><td></td><td>マークの横に [ロール紙余白] で設定した値が表示されます。
• 15mm：[先端 & 後端 15mm] を設定した場合
• 35/15mm：[先端 35& 後端 15mm] を設定した場合
• 3mm：[四辺 3mm] を設定した場合
• 15mm：[四辺 15mm] を設定した場合</td></tr></table>
本書 453 ページ「設定メニュー」</td></tr>
<tr><td>(d)</td><td>[ユーザー用紙設定] の登録番号</td><td>[ユーザー用紙設定] の [用紙番号] で「1」～「10」のいずれかを選択した場合、選択した番号が表示されます。
本書 273 ページ「本機でのユーザー用紙設定」</td></tr>
<tr><td>(e)</td><td>用紙種類とロール紙カット設定</td><td>用紙種類とロール紙カット設定を表示します。
[用紙選択] ボタン（ ◁ ）で設定した、用紙種類とロール紙選択時の切り離しの有 / 無を以下のアイコンで表示します。
本書 445 ページ「ボタン」
<table><tr><th>アイコン</th><th>説明</th></tr><tr><td></td><td>ロール紙に印刷します。1 ページ印刷するごとに自動カットします。</td></tr><tr><td></td><td>ロール紙に印刷します。自動カットをせずに印刷します。</td></tr><tr><td></td><td>単票紙に印刷します。</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>(f)</td><td>[プラテンギャップ] の設定状態</td><td>[プラテンギャップ] の設定状態を表示します。
「ユーザー用紙設定」で選択した登録番号が表示されている場合は、[プラテンギャップ] の設定状態は表示されません。
<table><tr><th>アイコン</th><th>説明</th></tr><tr><td>表示なし</td><td>[標準] を選択した場合</td></tr><tr><td>PGE</td><td>[狭くする] を選択した場合</td></tr><tr><td>PGE</td><td>[広くする] を選択した場合</td></tr><tr><td>PGE</td><td>[より広くする] を選択した場合</td></tr><tr><td>PGE</td><td>[最大] を選択した場合</td></tr></table></td></tr>
</table>

(g) **各色インク残量とメンテナンスタンクの空き容量の目安**

各色のインクカートリッジ残量と メンテナンスタンク空き容量を示します。

- インクカートリッジ残量

十分なインク容量があります。

予備をお買い求めいただく ことをお勧めします。

予備をお買い求めください。(点滅表示)

インクがなくなりました。 交換してください。(点滅表示)

- メンテナンスタンク空き容量

十分な空き容量があります。

予備をお買い求めいただく ことをお勧めします。

予備をお買い求めください。(点滅表示)

メンテナンスタンクの空き 容量がなくなりました。 交換してください。(点滅表示)

インクカートリッジ(PX-7500S/PX-9500S)

①	②	③	④
マットブラック	マットブラック 2	マゼンタ	マゼンタ 2
⑤	⑥	⑦	⑧
シアン	シアン 2	イエロー	イエロー 2

インクカートリッジ(PX-7500/PX-9500)

①	②	③	④
ライトグレー	ライトマゼンタ	ライトシアン	グレー
⑤	⑥	⑦	⑧
フォトブラック / マットブラック	シアン	マゼンタ	イエロー

メンテナンスタンク
PX-7500/PX-7500S の場合は 1 つのみ表示
PX-9500/PX-9500S の場合は左右の 2 つを表示

ディスプレイメッセージ一覧

通常表示されるメッセージ（パネル設定モード時以外）には、プリンタ本体の状態に関するメッセージとエラーメッセージの 2 種類があります。プリンタの状態に関するメッセージとその意味は次の通りです。エラーメッセージについては以下のページをご覧ください。

☞ 本書 396 ページ「操作パネルにエラーメッセージが表示される」

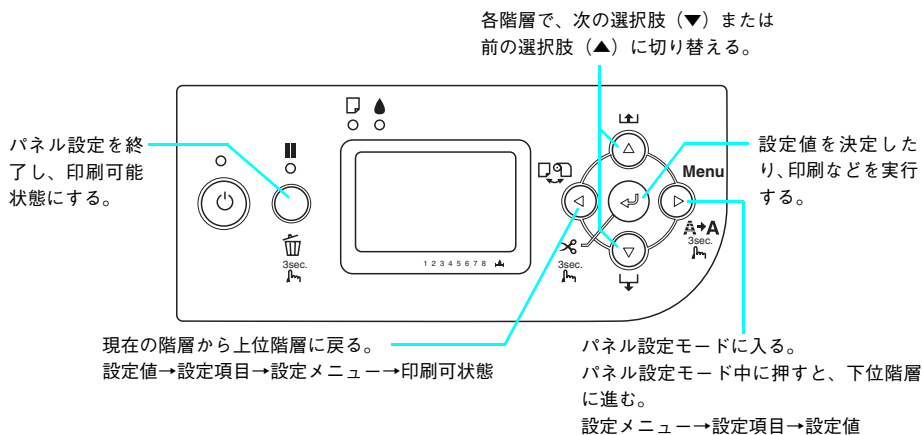
メッセージ	内容
インクカートリッジをセットしてください	インクカートリッジを交換する際に表示されるメッセージです。古いインクカートリッジを取り外して、新しいインクカートリッジを取り付けてください。 ☞ 本書 342 ページ「インクカートリッジの交換」
インクレバー 左側のインクレバーを下げてください	左側のインクレバーを下げてください（ロックします）。 ☞ 本書 342 ページ「インクカートリッジの交換」
インクレバー 右側のインクレバーを下げてください	右側のインクレバーを下げてください（ロックします）。 ☞ 本書 342 ページ「インクカートリッジの交換」
インク乾燥中 ｎｎｎｎ 秒	インク乾燥中です。インク乾燥残り時間 nnnn 秒です。
インク充てん中 ｎｎ％	インクの初期充てん処理中です。処理が nn％進んでいます。
印刷可能	印刷ができます。
印刷中	印刷中です。
パワークリーニング この操作にはインクレバーの上げ下げが必要です 実行しますか？ ＜いいえ＿＿＿＿＿はい＞	パワークリーニングを行うかどうか確認するメッセージです。パワークリーニングを行う場合は、[Menu] ボタン（▷）を押します。クリーニングを行わない場合は、[用紙選択] ボタン（◁）を押します。 約 1 カ月以上プリンタを使わなかった後に電源をオンにしたとき、または連続して 3 回目のヘッドクリーニングをしようとしたときに表示されます。
クリーニング中 しばらくお待ちください	そのまましばらくお待ちください。約 1 カ月以上プリンタを使わなかった後に電源を入れたとき、または連続して 3 回目のヘッドクリーニングをしようとしたときに表示されます。
準備中 しばらくお待ちください	
パワーオフしています しばらくお待ちください	
用紙カット中 しばらくお待ちください	
リセット中 しばらくお待ちください	
ファームウェアアップデート終了	ファームウェアのアップデートが終了しました。
ファームウェアアップデート中	ファームウェアのアップデート中です。処理が終わるまでお待ちください。

メッセージ	内容
ポーズ	ポーズ中です。
ポーズボタンを押してください	［ポーズ］ボタン（◯/⏸）を押してください。
ポーズボタンを押すとインク充てんを始めます 充てん中にしていただく作業があります。離れないでください（約 10 分）	インクの初期充てんを始めます。［ポーズ］ボタン（◯/⏸）を押してください。インクの初期充てん中にしていただく作業があります。プリンタから離れないで、ディスプレイに表示される指示に従ってください。
用紙残量が少なくなりました	プリンタにセットした用紙残量が少なくなりました。

インクの乾燥中に［実行］ボタン（⏎）を 3 秒以上押すと、乾燥を中断して指定の動作を行います。

設定メニュー

通常の印刷に必要なプリンタの設定は、プリンタドライバまたはアプリケーション上で行いますが、それ以外の設定は操作パネル上（パネル設定モード）から実行します。また、プリンタに関する情報を表示したり、ノズルチェックパターン印刷などの機能を実行できます。

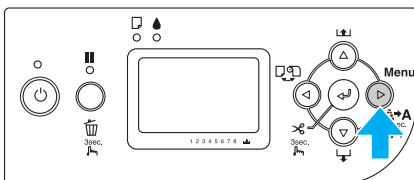
設定メニューの使い方

パネル設定モードには、以下の設定メニューがあります。

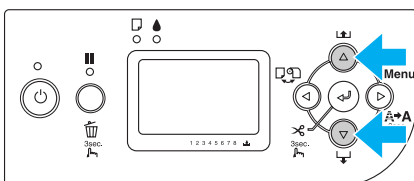
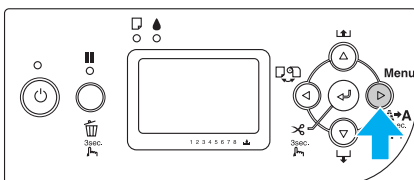
- どの階層で［ポーズ］ボタン（◯／Ⅱ）を押しても、パネル設定モードから抜けて印刷可能状態に戻ります。
- 各階層で［用紙選択］ボタン（◁）を押すと、1 つ上の階層に戻ります。

操作方法の概略は、以下の通りです。

1 ［Menu］ボタン（▷）を押してパネル設定モードに入り、設定メニューを選択します。

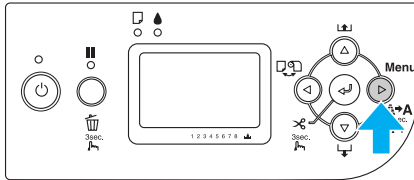
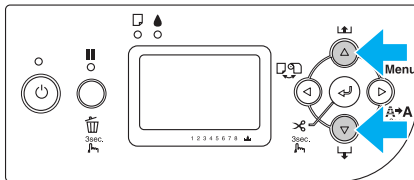
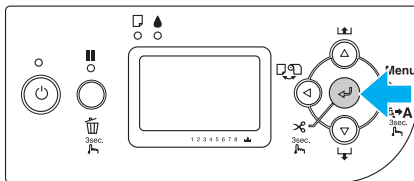
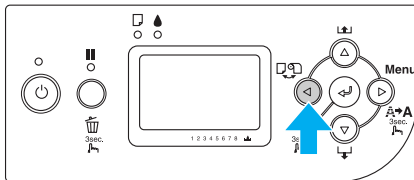
例）「ユーザー用紙設定」メニューを選択します。

① ［Menu］ボタン（▷）を押してパネル設定モードに入ります。

各メニューが表示されます。

② ［用紙送り］ボタン（▽/△）を数回押して、「ユーザー用紙設定」を選択します。

③ ［Menu］ボタン（▷）を押して、「ユーザー用紙設定」メニューに入ります。

設定項目の階層 2 に進みます

2 設定項目を選択します。

例）「ユーザー用紙設定」メニューで「用紙番号」を選択します。

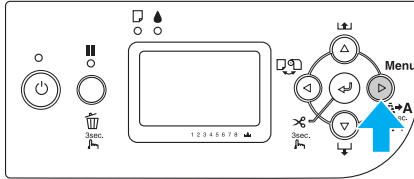
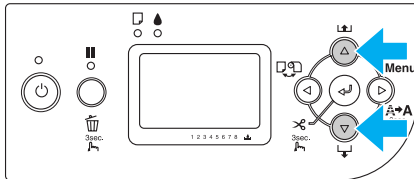
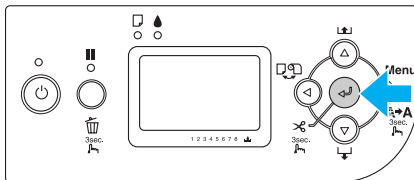
①「用紙番号選択 (1-10)」が選択されていることを確認し、[Menu] ボタン（▷）を押します。

②［用紙送り］ボタン（▽ / △）を数回押して、「用紙番号」を選択します。

③［実行］ボタン（⏎）を押して、「用紙番号」を決定します。

④［用紙選択］ボタン（◁）を押して、1 階層上のメニューに戻ります。

設定値の階層 3 に進みます

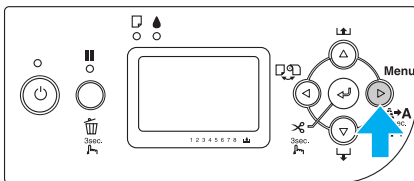
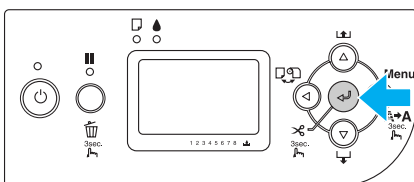
❸ 設定値を選択します。

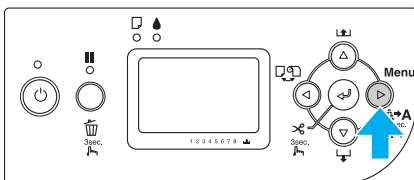
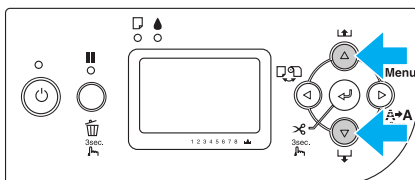
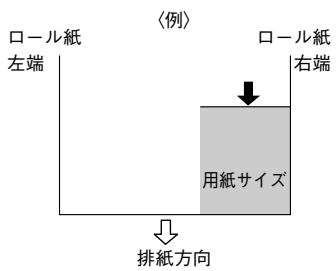
- **設定値が選択できる場合は最初に現在値が表示されます。**

  例）「ユーザー用紙設定」メニューの「プラテンギャップ」の場合

  ①「ユーザー用紙設定」メニューで［用紙送り］ボタン（▽/△）を数回押して、「プラテンギャップ」を選択します。

  ②［Menu］ボタン（▷）を押して、「プラテンギャップ」項目に入ります。

  ③［用紙送り］ボタン（▽/△）を数回押して、「プラテンギャップ」の設定値を選択します。
  現在の設定値には（＊）が表示されます。

  ④［実行］ボタン（↵）を押して、設定値を決定します。

  ⑤［用紙選択］ボタン（◁）を押して、設定項目の階層 ❷ へ戻るか、❹ へ進みます

- **機能を実行する場合は設定値はありません。[印刷] または [実行] と表示されます。**
  例）「テスト印刷」メニューの「ノズルチェック」の場合
  ①「テスト印刷」メニューで［用紙送り］ボタン（▽/△）を数回押して、「ノズルチェック」を選択します。
  ②［Menu］ボタン（▷）を押して、「ノズルチェック」項目に入ります。

  ③「印刷」と表示されている状態で、［実行］ボタン（↵）を押します。

  機能の実行が終了すると、自動的にパネル設定モードから抜けます。ここで操作は終了ですので、再度パネル設定モードに入る場合は、❶ へ戻ります。

- **プリンタの各種情報を表示する場合は、表示情報を選択します。**
  例）「プリンタステータス」メニューの「インク残量」の場合
  ①「プリンタステータス」メニューで［用紙送り］ボタン（▽/△）を数回押して、「インク残量」を選択します。
  ②［Menu］ボタン（▷）を押して、「インク残量」項目に入ります。

③［用紙送り］ボタン（▽/△）を数回押して、選択したスロットのインク残量が表示されます。
スロット #2 のインク残量を表示する場合（PX-7500/PX-9500 のみ）
「ライトマゼンタ　E ＊＊＊＊＊ F」と表示されます。

④［用紙選択］ボタン（◁）を押して、設定項目の階層 ❷ へ戻るか、❹ へ進みます

❹ 操作をすべて終了したら、［ポーズ］ボタン（◯/II）を押してパネル設定モードから抜けます。

設定メニュー一覧

［プリンタ設定］メニュー

は工場出荷時の設定（初期値）です。

設定項目	設定値	説明
プラテンギャップ	狭くする 標準 広くする より広くする 最大	プラテンギャップ（プリントヘッドと用紙の間隔）の広さを調整します。 • 通常は［標準］のまま使用します。 • ［標準］以外を選択した場合は、操作パネルに以下のアイコンが表示されます。 （PGE）：［狭くする］ （PGE）：［広くする］ （PGE）：［より広くする］ （PGE）：［最大］
切り取り線	ON OFF	［用紙選択］ボタン（◁）で［ロール紙カッターオフ］を選択してロール紙を排紙する場合、切り取り線（実線）を印刷できます。 • ［ON］に設定すると、用紙下端に切り取り線（実線）を印刷します。 • ［OFF］に設定すると、切り取り線を印刷しません。 〈例〉 ロール紙左端 ロール紙右端 用紙サイズ 排紙方向
インターフェイス	自動 USB IEEE1394 オプションカード	データを受信するインターフェイスを選択します。 • ［自動］を選択すると、受信データに応じてインターフェイスを自動的に切り替えます。 • データを受信する単一のインターフェイス（［USB］、［IEEE1394］、［オプションカード］）を選択します。指定したインターフェイス（USB インターフェイス、IEEE1394 インターフェイス、オプションスロットに装着したインターフェイスカード）からのみデータを受信します。
コードページ	PC437 PC850	コードページの切り替えをします。PC437（拡張グラフィックス）または PC850（マルチリンガル）の文字コードをセットします。

設定項目	設定値	説明
ロール紙余白	デフォルト 先端 & 後端 15mm 先端 35& 後端 15mm 四辺 15mm 四辺 3mm	ロール紙の余白を設定します。 • ［先端 & 後端 15mm］に設定すると用紙サイズの上下に 15mm、左右に 3mm の余白を確保します。 • ［先端 35& 後端 15mm］に設定すると用紙サイズの上側に 35mm、下側に 15mm、左右に 3mm の余白を確保します。 • ［四辺 15mm］に設定すると用紙サイズの上下左右に 15mm の余白を確保します。 • ［四辺　3mm］に設定すると用紙サイズの上下左右に 3mm の余白を確保します。
用紙幅検出	ON OFF	用紙幅を検出するかどうかを設定します。 • ［ON］にすると用紙幅と用紙先端を検出します。 • ［OFF］にすると用紙幅と用紙先端を検出しません。また、「ロール紙余白」の設定が無効になります。 セットされた用紙より大きなイメージを印刷すると用紙外に印刷してしまいプリンタ内部が汚れますので、通常は［ON］で使用することをお勧めします。
斜行エラー検出	ON OFF	用紙の斜行を検出するかどうかを設定します。 • ［ON］にすると斜行を検出します。 • ［OFF］にすると斜行を検出せず「斜め給紙されました」エラーが発生しなくなります。ただし、用紙が斜行した状態で印刷すると用紙外に印刷してしまいプリンタ内部が汚れますので、通常は［ON］で使用することをお勧めします。
ジョブタイムアウト	OFF 30 秒 60 秒 180 秒 300 秒	設定した時間以上に印刷データの受信が途切れた場合、その印刷ジョブを終了とみなして排紙動作を行います。
カッター位置調整	実行	カッター位置を調整します。印刷実行によりカッター位置調整パターンが印刷されたら、位置のもっともズレが少ないパターン番号を［用紙送り］ボタン（▽ / △）を押して入力し，［実行］ボタン（⏎）を押して決定してます。
マージンリフレッシュ	ON OFF	ロール紙へフチなし印刷時に､プリンタドライバの［オートカット］の設定を［四辺フチなし 1 カット］/［四辺フチなし 2 カット］から［左右フチなし］に切り替えると、用紙の先端部分に前の印刷ジョブの画像が印刷汚れとして残る場合があります。［ON］に設定すると、紙送りしてカット（マージンリフレッシュ）しますので、この印刷汚れをなくすことができます。

設定項目	設定値	説明
自動ノズル抜け検出	OFF ON	印刷データを受信後、印刷開始前に毎回自動的にノズルチェックパターンを印刷するかどうかを設定します。[自動クリーニング］が［ON］に設定されている場合にのみ有効です。 • ［ON］にすると自動的にノズルチェックパターンを印刷します。 • ［OFF］にすると自動的にノズルチェックパターンを印刷しません。
自動クリーニング	ON OFF	［ノズルチェック］または［自動ノズル抜け検出］の結果、ノズルが目詰まりしている場合は、自動的にヘッドクリーニングを行います。 • ［ON］にすると、目詰まりしている場合のみクリーニングを行います。 • ［OFF］にすると、ヘッドクリーニングしません。
サイレントカット	OFF ON	ロール紙をサイレントカットでカットするかどうかを設定します。プリンタドライバの［オートカット］を［四辺フチなし 2 カット］に設定した場合の、ページ終端のカット時のみ、このモードが適用されます。サイレントカットでカットすると、静かできれいにカットでき、紙紛の発生を抑えることができます。ただし、カット時の動作は遅くなります。 • ［ON］にするとサイレントカットでロール紙をカットします。 • ［OFF］にすると通常のカット動作でロール紙をカットします。
設定初期化	実行	パネル設定された項目の内容を初期値に戻します。

［テスト印刷］メニュー

設定項目	設定値	内容
ノズルチェック	印刷	ノズルチェックパターンを印刷します。ノズルチェックパターンは［プリンタ設定］メニューの［自動クリーニング］の設定により異なります。また、ノズルチェックパターンのほかに、ファームウェアバージョン、用紙 / インク使用量、メンテナンスタンクの空き容量も印刷します。 ☞ 本書 368 ページ「ノズルチェック」
ステータスシート	印刷	現在のパネル設定の内容（ステータス）を印刷します。
ジョブ情報	印刷	プリンタ内に保存されている印刷ジョブ（最大 10 ジョブ）に関する情報を印刷します。
ユーザー用紙設定	印刷	［ユーザー用紙設定］メニューに登録されている情報を印刷します。

［プリンタステータス］メニュー

プリンタの現在の状態をパネル上で確認できます。

設定項目	設定値	内容
バージョン	SNOxxxx.xxxx （PX-7500/PX-7500Sの場合） SWOxxxx.xxxx （PX-9500/PX-9500Sの場合）	プリンタのファームウェアバージョンを表示します。
印刷可能枚数 （PX-7500/PX-9500 のみ）	ライトグレー xxxxxxx 枚	直前に印刷したページでのインクの消費量をもとに、ライトグレーインクカートリッジ（スロット＃ 1）であと何枚印刷可能かを表示します。
	ライトマゼンタ xxxxxxx 枚	直前に印刷したページでのインクの消費量をもとに、ライトマゼンタインクカートリッジ（スロット＃ 2）であと何枚印刷可能かを表示します。
	ライトシアン xxxxxxx 枚	直前に印刷したページでのインクの消費量をもとに、ライトシアンインクカートリッジ（スロット＃ 3）であと何枚印刷可能かを表示します。
	ライトブラック xxxxxxx 枚	直前に印刷したページでのインクの消費量をもとに、ライトブラックインクカートリッジ（スロット＃ 4）であと何枚印刷可能かを表示します。
	□ xxxxxxx 枚 □＝フォトブラックまたはマットブラック	直前に印刷したページでのインクの消費量をもとに、フォトブラックまたはマットブラックインクカートリッジ（スロット＃ 5）であと何枚印刷可能かを表示します。
	シアン xxxxxxx 枚	直前に印刷したページでのインクの消費量をもとに、シアンインクカートリッジ（スロット＃ 6）であと何枚印刷可能かを表示します。
	マゼンタ xxxxxxx 枚	直前に印刷したページでのインクの消費量をもとに、マゼンタインクカートリッジ（スロット＃ 7）であと何枚印刷可能かを表示します。
	イエロー xxxxxxx 枚	直前に印刷したページでのインクの消費量をもとに、イエローインクカートリッジ（スロット＃ 8）であと何枚印刷可能かを表示します。

設定項目	設定値	内容
印刷可能枚数（PX-7500S/PX-9500Sのみ）	マットブラック xxxxxxx 枚	直前に印刷したページでのインクの消費量をもとに、マットブラックインクカートリッジ（スロット＃1）であと何枚印刷可能かを表示します。
	マットブラック 2 xxxxxxx 枚	直前に印刷したページでのインクの消費量をもとに、マットブラック 2 インクカートリッジ（スロット＃2）であと何枚印刷可能かを表示します。
	マゼンタ xxxxxxx 枚	直前に印刷したページでのインクの消費量をもとに、マゼンタインクカートリッジ（スロット＃3）であと何枚印刷可能かを表示します。
	マゼンタ 2 xxxxxxx 枚	直前に印刷したページでのインクの消費量をもとに、マゼンタ 2 インクカートリッジ（スロット＃4）であと何枚印刷可能かを表示します。
	シアン xxxxxxx 枚	直前に印刷したページでのインクの消費量をもとに、シアンインクカートリッジ（スロット＃ 5）であと何枚印刷可能かを表示します。
	シアン 2 xxxxxxx 枚	直前に印刷したページでのインクの消費量をもとに、シアン 2 インクカートリッジ（スロット＃ 6）であと何枚印刷可能かを表示します。
	イエロー xxxxxxx 枚	直前に印刷したページでのインクの消費量をもとに、イエローインクカートリッジ（スロット＃7）であと何枚印刷可能かを表示します。
	イエロー 2 xxxxxxx 枚	直前に印刷したページでのインクの消費量をもとに、イエロー 2 インクカートリッジ（スロット＃8）であと何枚印刷可能かを表示します。
インク残量*（PX-7500/PX-9500 のみ）	ライトグレー E ＊＊＊＊＊ F（nn%、0%）*	ライトグレーインク（スロット＃ 1）の残量を表示します。
	ライトマゼンタ E ＊＊＊＊＊ F（nn%、0%）*	ライトマゼンタインク（スロット＃ 2）の残量を表示します。
	ライトシアン E ＊＊＊＊＊ F（nn%、0%）*	ライトシアンインク（スロット＃ 3）の残量を表示します。
	ライトブラック E ＊＊＊＊＊ F（nn%、0%）*	ライトブラックインク（スロット＃ 4）の残量を表示します。
	□ E ＊＊＊＊＊ F（nn%、0%）* □＝マットブラック、またはフォトブラック	マットブラックまたはフォトブラックインク（スロット＃5）の残量を表示します。
	シアン E ＊＊＊＊＊ F（nn%、0%）*	シアンインク（スロット＃6）の残量を表示します。
	マゼンタ E ＊＊＊＊＊ F（nn%、0%）*	マゼンタインク（スロット＃7）の残量を表示します。
	イエロー E ＊＊＊＊＊ F（nn%、0%）*	イエローインク（スロット＃8）の残量を表示します。

設定項目	設定値	内容
インク残量* (PX-7500S/PX-9500Sのみ)	マットブラック E＊＊＊＊＊F(nn%、0%)*	マットブラックインク（スロット＃ 1）の残量を表示します。
	マットブラック2 E＊＊＊＊＊F(nn%、0%)*	マットブラック 2 インク（スロット＃ 2）の残量を表示します。
	マゼンタ E＊＊＊＊＊F(nn%、0%)*	マゼンタインク(スロット＃3)の残量を表示します。
	マゼンタ2 E＊＊＊＊＊F(nn%、0%)*	マゼンタ 2 インク（スロット＃ 4）の残量を表示します。
	シアン E＊＊＊＊＊F(nn%、0%)*	シアンインク（スロット＃ 5）の残量を表示します。
	シアン2 E＊＊＊＊＊F(nn%、0%)*	シアン2インク(スロット＃6)の残量を表示します。
	イエロー E＊＊＊＊＊F(nn%、0%)*	イエローインク(スロット＃7)の残量を表示します。
	イエロー2 E＊＊＊＊＊F(nn%、0%)*	イエロー 2 インク（スロット＃ 8）の残量を表示します。
メンテナンスタンク* (PX-7500/PX-7500S のみ)	E＊＊＊＊＊F (nn%、0%)*	メンテナンスタンクの空き容量を表示します。
メンテナンスタンク* (PX-9500/PX-9500S のみ)	左　E＊＊＊＊＊F (nn%、0%)* 右　E＊＊＊＊＊F (nn%、0%)*	
消費量	インク xxxxx.x ml	インクの使用量（フラッシングおよびクリーニング実行時のインク使用量を含む）をミリリットル（ml）で表示します。
	用紙 xxxxx.x cm	使用した用紙の長さをセンチメートル（cm）で表示します。ただし、手動で用紙送りした分の用紙長は含みません。
消費量クリア	インク　実行	［消費量］-［インク］の表示で使用するインク消費量を 0 に初期化します。初期化後の任意の印刷物でのインク消費量を計測できます。
	用紙　実行	［消費量］-［用紙］の表示で使用する用紙消費量を 0 に初期化します。初期化後の任意の印刷物での用紙の使用量を計測できます。
ジョブ履歴	No.0 ～ No.9 インク　xxxxx.xml 用紙　xxxx.xcm^2	プリンタ内に保存されている印刷ジョブが消費したインク量（ミリリットル）と用紙面積（縦×横平方センチメートル）を表示します。表示できるのは最大 10 ジョブ分で、最新ジョブ番号は No. 0 です。
総印刷枚数	nnnnnn 枚	総印刷枚数（6 桁まで）を表示します。

設定項目	設定値	内容
消耗品寿命	カッター[*] E＊＊＊＊＊F	カッターの寿命を表示します（実際の使用状況によってカッターの摩耗度は異なりますので、あくまでも目安とお考えください）。
	CR モーター E＊＊＊＊＊F	これらの情報はサービスエンジニアがプリンタの保守を行う際に必要となるメンテナンス情報です。プリンタを通常お使いいただく上で必要はありません。
	PF モーター E＊＊＊＊＊F	
	ヘッドユニット E＊＊＊＊＊F	
	クリーニングユニット E＊＊＊＊＊F	
	加圧モーター E＊＊＊＊＊F	

＊　インクの残量、メンテナンスタンクの空き容量、カッターの寿命は、以下の表示の通りです。

パネル表示	インク残量	メンテナンスタンクの空き容量	カッターの寿命（目安）
E ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ F	100 ～ 81% インク満杯状態（フル）	100 ～ 81% 十分な空き容量	100 ～ 81%
E ＊ ＊ ＊ ＊ F	80 ～ 61%	80 ～ 61%	80 ～ 61%
E ＊ ＊ ＊ F	60 ～ 41%	60 ～ 41%	60 ～ 41%
E ＊ ＊ F	40 ～ 21%	40 ～ 21%	40 ～ 21%
E ＊ F	20 ～ニアエンド直前	20 ～ 10%	20 ～ 1%
E F	－	－	1% 未満
nn%	ニアエンド（残量わずか / インクエンドランプ点滅）	10% 未満 空き容量が少ない（10% 未満で廃インクランプ点滅）	－
0%	0% インクエンド（インクエンドランプ点灯）	0% 空き容量なし（廃インクランプ点灯）	－

- インクエンドランプが点滅または点灯したら、新しいインクカートリッジと交換してください。正しく交換を行うと、カウンタは自動的にリセットされます。
  ☞ 本書 342 ページ「インクカートリッジの交換」
- ディスプレイに「タンク空き容量なし」と表示されたら、新しいメンテナンスタンクと交換してください。正しく交換すると、カウンタは自動的にリセットされます。交換方法については以下のページをご覧ください。
  ☞ 本書 307 ページ「メンテナンスタンク」
- カッターの切れが悪くなったり、カッターの寿命（目安）表示が少なくなったら、新しいカッターと交換してください。正しく交換すると、カウンタは自動的にリセットされます。
  ☞ 本書 439 ページ「用紙がきれいに切り取れなくなったら（カッターの交換）」

［ユーザー用紙設定］メニュー

任意の用紙に関する付帯情報をあらかじめ設定して登録できます。

設定項目	設定値	内容
用紙番号選択（1-10）	標準 1 ～ 10	エプソン純正専用紙は［標準］の設定でお使いください。プリンタドライバで選択した用紙種類に応じて、最適な印刷を行います。 任意の用紙に合わせた設定値（プラテンギャップ、用紙厚、カット方法、用紙送り補正、排紙ローラ選択、乾燥時間、吸着力、マイクロウィーブ印字調整）を登録する際に番号（1 ～ 10）を選択したり、印刷時に登録番号で設定値を呼び出して印刷を行います。 ここで選択した登録番号は、プリンタ使用時に操作パネルのディスプレイの下段に表示されます。
プラテンギャップ	狭くする 標準 広くする より広くする 最大	用紙の厚さに合わせて、プラテンギャップ（プリントヘッドと用紙の間隔）の広さを調整します。 通常は［標準］のまま使用します。 ［狭くする］にすると、［標準］より狭くなります。 ［広くする］にすると、［標準］より広くなります。 ［より広くする］にすると、［広くする］より広くなります。 ［最大］にすると、［より広くする］より広くなります。
用紙厚検出パターン	印刷	セットした用紙の厚みを検出するためのパターン印刷を行います。この項目は、用紙番号で［標準］を選択している場合には表示されません。
用紙厚番号選択（1-15）	1 ～ 15	［用紙厚検出パターン］で印刷されたパターンを見て、もっとも線のズレが少ないパターン番号を選択します（［用紙厚検出パターン］実行時のみ表示されます）。 ［ギャップ調整］メニューの［用紙厚選択］で設定した用紙の厚さを初期値として番号で表示します。厚さと番号は下表のように対応しています。 用紙厚 0.1mm ～ 1.5mm ／ 番号 1 ～ 15 この項目は、［用紙番号選択］で［標準］を選択している場合には表示されません。
カット方法	標準 薄紙 厚紙＆カット高速 厚紙＆カット低速	用紙の厚さに合わせて、用紙カット時のカット方法を選択します。 薄くて腰のない用紙の場合は、［薄紙］を選択します。 用紙が厚くなるにしたがって、［標準］、［厚紙 ＆ カット高速］、［厚紙 ＆ カット低速］の順に選択します。
用紙送り補正	0.00% -0.70 ～ 0.70%	用紙送りの補正値を設定します。補正値は、1m に対する割合で設定します。
乾燥時間	0.0 秒 0.0 ～ 10.0 秒	インクが乾燥するまでプリントヘッドの往復移動を停止する時間（乾燥時間）を設定します。インク濃度や用紙によっては、インクが乾燥しにくい場合があります。このような場合は乾燥時間を長めに設定してください。

Nested table in 用紙厚番号選択 row:

用紙厚	番号
0.1mm	1
～	～
1.5mm	15

設定項目	設定値	内容
吸着力	標準 -4 ～ -1	用紙をプラテン上で安定させるための吸着力を選択します。ただし、ここで選択した吸着力の設定は、ユーザー用紙の設定すべてに適用されます。 通常は［標準］のまま使用してください。 薄い用紙で、プリンタ内部に貼り付いてしまって印刷できないときのみ［-4］～［-1］にします。［-1］、［-2］、［-3］、［-4］の順に吸着力が弱くなります。
M/W 印字調整	標準 1 ～ 2	マイクロウィーブモードを調整します。［標準］が最も低い設置値で、［1］、［2］の順に高くなります。 印字速度を優先する場合は、設定値を下げます。 印刷品質を優先する場合は、設定値を上げます。

ユーザー用紙設定に関する詳細な説明は以下のページをご覧ください。

☞ 本書 273 ページ「本機でのユーザー用紙設定」

インクの乾燥中に［用紙選択］ボタン（◁）を 3 秒以上押すと、乾燥を中断して指定の動作を行います。

［メンテナンス］メニュー

パワークリーニング、インクセットの交換、またはロール紙カッターの交換を行う際に設定します。

設定項目	設定値	内容
カッター交換	実行	カッターの交換作業を行います。実行したら、表示されるメッセージに従ってください。手順の詳細は、以下のページをご覧ください。 ☞ 本書 439 ページ「用紙がきれいに切り取れなくなったら（カッターの交換）」
K インク交換	実行	ブラックインクの変更を行います。実行したら、表示されるメッセージに従ってください。手順の詳細は、以下のページをご覧ください。 ☞ 本書 213 ページ「モノクロ印刷の設定」
パワークリーニング	実行	通常のクリーニングよりも強力なクリーニングを行います。
日時設定	YY/MM/DD HH:MM （設定時の日時を表示）	現在の年月日と時分を設定します。
コントラスト調整	0 -20 ～ 20（dec）	操作パネルのディスプレイのコントラストを調整します。

［ギャップ調整］メニュー

プリントヘッドのギャップ調整ができます。

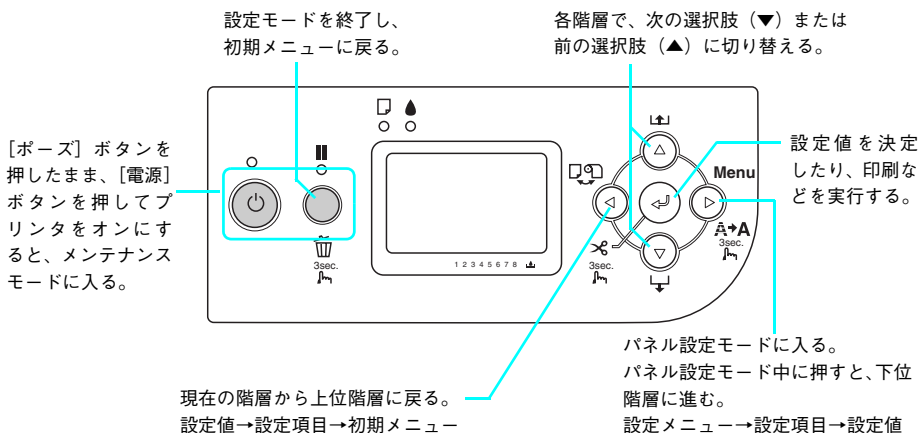
メニュー	設定項目	設定値	内容
用紙厚選択	標準	−	ギャップ調整で使用する用紙の厚さを選択します。 • エプソン純正専用紙を使用する場合は、［標準］を選択してください。用紙厚センサーが用紙厚を検出して、自動的に値を設定します。 薄紙の場合→ 0.2mm 厚紙の場合→ 1.2mm • エプソン純正専用紙以外の用紙を使用する場合は、用紙厚を 0.1mm 単位で設定してください。 この設定項目は、［用紙厚選択］を設定した場合のみ表示されます。
	XXmm （XXは設定値）	0.1 〜 1.5mm	
調整	自動	UNI-D	ブラックを基準に、すべてのインクを使って単方向印刷でギャップ調整を自動で行います。
		BI-D 2 色	ライトシアンとライトマゼンタを使い、双方向印刷でギャップ調整を自動で行います。
		BI-D 全色	すべてのインクを使い、双方向印刷で BI-D ＃ 1 〜＃ 3 のすべてのギャップ調整を自動で行います。
		BI-D #1 〜 #3	BI-D #1 〜 #3 のそれぞれについて、すべてのインクを使い、双方向印刷でギャップ調整を自動で行います。
	手動 *	UNI-D	ブラックを基準に、すべてのインクを使って単方向印刷でギャップ調整を手動で行います。
		BI-D 2 色	2 色のインク（PX-7500/PX-9500 はライトシアンとライトマゼンタ、PX-7500S/PX-9500S はシアンとマゼンタ）を使い、双方向印刷でギャップ調整を手動で行います。
		BI-D 全色	すべてのインクを使い、双方向印刷でギャップ調整を手動で行います。
		UNI-D #1 C 〜 #3 LLK 1 〜 5 〜 9	［UNI-D］を選択した場合に、#1 から #3 までブラックを基準に全色のギャップ調整を行います。調整パターンの中からもっともズレの少ないパターン番号を設定します。
		BI-D 2 色 #1LC 〜 #3 LM （PX-7500/PX-9500） #1C 〜 #3 M （PX-7500S/PX-9500S） 1 〜 5 〜 9	［BI-D 2 色］を選択した場合に、#1 から #3 までのライトシアンとライトマゼンタ（PX-7500/PX-9500 の場合）、またはシアンとマゼンタ（PX-7500S/PX-9500S の場合）のギャップ調整を行います。調整パターンの中からもっともズレの少ないパターン番号を設定します。
		BI-D 全色 #1 MK/PK 〜 #3 LLK （PX-7500/PX-9500） #1 C 〜 #3 M2 （PX-7500S/PX-9500S） 1 〜 5 〜 9	［BI-D 全色］を選択した場合に、#1 から #3 まで全色のギャップ調整を行います。調整パターンの中からもっともズレの少ないパターン番号を設定します。

* ［調整］メニューの［自動］はギャップ調整パターン印刷後、パターンを確認してパネル上で設定してギャップ調整を行います。

ギャップ調整に関する詳細な説明は以下のページをご覧ください。

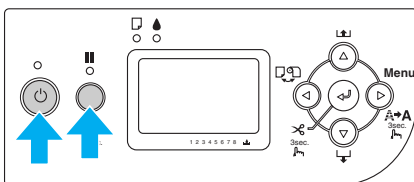
☞ 本書 378 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」

メンテナンスモード

メンテナンスモードの使い方

各階層で［用紙選択］ボタン（◁）を押すと、1 つ上の階層に戻ります。

メンテナンスモードの開始と終了

1. **プリンタの電源をオフにします。**

2. **［ポーズ］ボタン（◯/Ⅱ）を押したまま、［電源］ボタン（⏻）を押してプリンタをオンにします。**

ディスプレイにメンテナンスモードの初期メニューが表示されます。
メンテナンスモードの設定方法は、設定メニューと同じです。
☞ 本書 453 ページ「設定メニューの使い方」

3. **メンテナンスモードを終了するには、［電源］ボタン（⏻）を押してプリンタをオフにします。**

メンテナンスモードのメニュー一覧

設定項目	設定値	説明
ヘキサダンプ	印刷	プリンタに転送されたデータを 16 進法で印刷表示できます。 ［印刷］にすると 16 進ダンプ印刷が始まり、操作パネルに「ヘキサダンプ実行中」と表示されます。
表示言語	日本語 ENGLISH	操作パネルに表示される言語を「日本語」と「英語」から選択できます。
用紙残量設定	OFF ロール紙	用紙残量検出機能のメニューの表示/非表示を選択できます。 ［OFF］にするとプリンタ設定メニューに用紙残量検出機能のメニューを表示しません。 ［ロール紙］にするとプリンタ設定メニューに用紙残量検出機能のメニューを表示します。
単位設定	メートル フィート/インチ	操作パネルやパターン印刷時に使用する長さの単位をメートルとフィートから選択できます。
カット圧調整	0% 100% 150%	用紙をカットする時のカット圧を 0%～150% から選択できます。
SS クリーニング	実行	プリントヘッドの超音波クリーニングを実行します。通常のヘッドクリーニングよりも多いインクを消耗します。
電源ON時のロール紙送り	ON OFF	電源をオンにした後のロール紙の用紙送り動作を選択できます。 ［ON］にすると、カッターオフ設定の状態で電源をオンにした後に用紙送りをします。 ［OFF］にするとカッターオフ設定の状態で電源をオンにした後に用紙送りをしません。
パネル設定初期化	実行	実行すると、パネル設定モードの設定値を工場出荷時の値に戻すことができます。

インク情報メニュー	ライトグレー ライトマゼンタ ライトシアン ライトブラック マットブラック シアン マゼンタ イエロー	IC チップに記録されているインク情報を表示します。 表示される項目は下記になります。 [ロゴ表示]：製造者情報を表示します。 [インク色表示]：インク色を表示します。 [インク種類表示]:インク種類(染料/顔料)を表示します。 [インク容量表示]：インク容量情報を表示します。 [インク残量表示]:インクカートリッジごとの残量を表示します。 [製造年月日表示]：製造年月日を YY/MM（年 / 月）形式で表示します。 [有効期限表示]：有効期限情報を表示します。 [開封後有効期限表示]:開封後の有効期限情報を表示します。 [開封後経過時間表示]:インクカートリッジごとに開封後の経過時間を表示します。

付録

ここでは、より快適にお使いいただくための提案や、本製品をお使いいただくうえで知っておいていただきたいことなどについて説明しています。

プリンタドライバのシステム条件

付属のプリンタドライバを使用するために最小限必要なハードウェアおよびシステム条件は次の通りです。

Windows 98

オペレーティングシステム	Windows 98 日本語版
CPU	Pentium® 以上
主記憶メモリ	32MB 以上
ハードディスク空き容量	100MB 以上
インターフェイス	USB
ディスプレイ	SVGA（800 × 600）以上の解像度

Windows Me

オペレーティングシステム	Windows Me 日本語版
CPU	Pentium® 150MHz 以上
主記憶メモリ	32MB 以上
ハードディスク空き容量	100MB 以上
インターフェイス	USB/IEEE1394
ディスプレイ	SVGA（800 × 600）以上の解像度

Windows 2000

オペレーティングシステム	Windows 2000 日本語版
CPU	Pentium® 133MHz 以上
主記憶メモリ	64MB 以上
ハードディスク空き容量	100MB 以上 （推奨 3GB 以上）
インターフェイス	USB
ディスプレイ	SVGA（800 × 600）以上の解像度

Windows 2000 でインストールする場合は、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンする必要があります。

Windows XP

オペレーティングシステム	Windows XP 日本語版
CPU	Pentium® 300MHz 以上
主記憶メモリ	128MB 以上
ハードディスク空き容量	100MB 以上 （推奨 3GB 以上）
インターフェイス	USB/IEEE1394
ディスプレイ	SVGA（800 × 600）以上の解像度

Windows XP でインストールする場合は、「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーでログオンする必要があります。「制限」アカウントのユーザーではインストールできません。なお、Windows XP をインストールしたときのユーザーは、「コンピュータの管理者」アカウントになっています。

Mac OS 9

システムソフトウェア	Mac OS 9.1 以降 （USB インターフェイスを標準装備している機種）
メモリ空き容量	128MB 以上
ハードディスク空き容量	60MB 以上

Mac OS X v10.2 以降

システムソフトウェア	Mac OS X v10.2 以降
メモリ空き容量	128MB 以上
ハードディスク空き容量	100MB 以上

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートをご案内いたします。

エプソンインフォメーションセンター

エプソンプリンタに関するご質問やご相談に電話でお答えします。

受付時間	使い方ガイド（冊子）巻末の一覧表をご覧ください。
電話番号	使い方ガイド（冊子）巻末の一覧表をご覧ください。

インターネットサービス

エプソン 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp

ショールーム

エプソン製品を見て、触れて、操作できるショールームです。（東京・大阪）

受付時間	使い方ガイド（冊子）巻末の一覧表をご覧ください。
所在地	使い方ガイド（冊子）巻末の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

エプソン製品の使い方、活用の仕方を講習会形式で説明する初心者向けのスクールです。カラリオユーザーには“より楽しく”、ビジネスユーザーには“経費削減”を目的に趣味にも仕事にもエプソン製品を活かしていただけるようにお手伝いします。お問い合わせは使い方ガイド巻末の一覧をご覧ください。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3 年、4 年、5 年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単：エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず以下のページをお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

本書 395 ページ「困ったときは」

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。
保守サービスに関してのご相談、お申込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンター、エプソン修理センター（使い方ガイド（冊子）巻末の一覧表をご覧ください）。
  受付日時、受付時間については、使い方ガイド（冊子）巻末の一覧表をご覧ください。

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスを用意しています。詳細は、お買い求めの販売店または最寄りのエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 • 修理のつど発生する修理代・部品代* が無償になるため予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 * 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 • 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	無償	出張料＋技術料＋部品代 修理完了後、そのつどお支払いください。

* 定期交換に伴う出張基本料・技術料・部品代が、保証期間内・外を問わず有償となります。
  （年間保守契約の場合は、定期交換部品のみ、有償となります）
* 当機種は、輸送の際に専門業者が必要となりますので持込保守および持込修理はご遠慮願います。

マニュアルデータのダウンロードサービス

製品に添付されておりますマニュアル（取扱説明書）の PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。マニュアルを紛失してしまったときなどにご活用ください。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp

プリンタの仕様

プリンタの技術的な仕様について記載しています。

仕様一覧

基本仕様

印刷方式	インクジェット
ノズル配列	PX-7500/PX-9500 ブラック系：180 ノズル× 3 色（合計 540 ノズル） カラー：180 ノズル× 5 色（合計 900 ノズル）
	PX-7500S/PX-9500S ブラック系：180 ノズル× 1 色 2 列（合計 360 ノズル） カラー：180 ノズル× 3 色 2 列（合計 1080 ノズル）
印刷方向	双方向最短距離印刷
解像度（最大）	2880 × 1440dpi
コントロールコード	ESC/P ラスター（コマンドは非公開）
紙送り方式	フリクションフィード
用紙幅（最大）	PX-7500/PX-7500S：432mm（約 24 インチ）、A1 ノビ対応
	PX-9500/PX-9500S：1,118mm（約 44 インチ）、B0 ノビ対応
内蔵メモリ	PX-7500/PX-7500S：64MB
	PX-9500/PX-9500S：128MB
インターフェイス	標準：USB（Rev. 1.1 および 2.0 対応） IEEE1394
	オプション：Type B I/F（1 スロット）

電気関係仕様

定格電圧	AC100V
入力電圧範囲	AC90 ～ 110V
定格周波数	50 ～ 60Hz
入力周波数範囲	49 ～ 61Hz
定格電流	1.0A
消費電力	動作時：約 50W 以下（PX-7500/PX-7500S）、 約 55W 以下（PX-9500/PX-9500S） 低電力モード時：6W 以下 電源ボタンオフ時：1W 以下
絶縁抵抗	10MΩ 以上（DC500V にて AC ラインとシャーシ間）
絶縁耐力	AC1.0kVrms 1 分または AC1.2kVrms 1 秒（AC ラインとシャーシ間）
漏洩電流	0.25mA 以下
適合規格、規制	国際エネルギースタープログラム、高調波電流規格 JIS C61000-3-2、VCCI クラス B

インク仕様

形態	専用インクカートリッジ
顔料インク色	PX-7500/PX-9500 ブラック系：フォトブラック / マットブラック、グレー、ライトグレー カラー：シアン、ライトシアン、マゼンタ、ライトマゼンタ、イエロー
	PX-7500S/PX-9500S ブラック系：マットブラック カラー：シアン、マゼンタ、イエロー
有効期間	個装箱、カートリッジに記載された期限（常温）
印刷品質保証期限	6ヵ月（プリンタ取り付け後）
保存温度	梱包保存時：-30 ～ 40 ℃（40 ℃の場合 1ヵ月以内）
	本体装着時：-20 ～ 40 ℃（40 ℃の場合 1ヵ月以内）
	包輸送時：-30 ～ 60 ℃（60 ℃の場合 120 時間以内、40 ℃の場合 1ヵ月以内）
容量	標準 110ml タイプまたは大容量 220ml タイプ
カートリッジ外形寸法	幅 27.1mm ×奥行き 185mm ×高さ 107mm

！注意

- インクは -15 ℃以下の環境で長時間放置すると凍結します。万一凍結した場合は、室温（25 ℃）で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。
- インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えたりしないでください。

総合仕様

温度	動作時：10 ～ 35 ℃
	保存時：-20 ～ 40 ℃（40 ℃の場合 1ヵ月以内）
	輸送時：-20 ～ 60 ℃（60 ℃の場合 120 時間以内、40 ℃の場合 1ヵ月以内）
湿度	動作時：20 ～ 80%（非結露）
	保存時：20 ～ 85%（非結露）
	輸送時：5 ～ 85%（非結露）
	湿度（%） この範囲以内で使用してください 80 55 30 20 10 15 27 35 温度（℃）
プリンタ質量	PX-7500/PX-7500S：約 49kg（専用スタンド 10.5kg）
	PX-9500/PX-9500S：約 90kg
プリンタ外形寸法	PX-7500/PX-7500S：1,178（幅）× 501（奥行き）× 560（高さ）mm （オプション専用スタンド装着時の奥行き：745mm　高さ：1,180mm）
	PX-9500/PX-9500S：1,702（幅）× 667（奥行き）× 1,196（高さ）mm

用紙仕様

ロール紙	用紙種類	普通紙、再生紙、その他
	ロール紙サイズ	2インチ芯径：外径103mm以内/1本セット可能
		3インチ芯径：外径150mm以内/1本セット可能
	用紙サイズ 2インチ芯径	PX-7500/PX-7500S：203mm～610mm（横）×～45m（縦）（ロール紙サイズ内のこと）
		PX-9500/PX-9500S：203mm～1118mm（横）×～45m（縦）（ロール紙サイズ内のこと）
	用紙サイズ 3インチ芯径	PX-7500/PX-7500S：203mm～610mm（横）×～202m（縦）（ロール紙サイズ内のこと）
		PX-9500/PX-9500S：203mm～1118mm（横）×～202m（縦）（ロール紙サイズ内のこと）
	用紙厚	普通紙、再生紙の場合：0.08～0.11mm（用紙質量64～90gf/m^2）
		その他の用紙種類の場合：0.08mm～0.50mm
	フチなし印刷可能幅	PX-7500/PX-7500S：10インチ、300mm、13インチ（A3ノビ）、16インチ、17インチ、515mm（B2）、594mm（A1）、24インチ
		PX-9500/PX-9500S：10インチ、300mm、13インチ（A3ノビ）、16インチ、17インチ、515mm（B2）、594mm（A1）、24インチ、728mm（B1）、36インチ、44インチ

単票紙	用紙種類	普通紙、再生紙、その他
	用紙サイズ	PX-7500/PX-7500S：A4、A3、A3 ノビ（329 × 483mm）、A2、A1、A1 ノビ（24 × 36 インチ）、B4、B3、B2、Letter（8-1/2 × 11 インチ）、全紙（18 × 22 インチ）、大全（20 × 24 インチ）、全倍（22 × 36 インチ）、8 × 10 インチ、30 × 24 インチ、30 × 45cm、60 × 90cm
		PX-9500/PX-9500S：A4、A3、A3 ノビ（329 × 483mm）、A2、A1、A1 ノビ（24 × 36 インチ）、A0、A0 ノビ（914 × 1292mm）、B4、B3、B2、B1、B1（横）、B0、B0 ノビ（1118 × 1580mm）、Letter（8-1/2 × 11 インチ）、全紙（18 × 22 インチ）、大全（20 × 24 インチ）、全倍（22 × 36 インチ）、8 × 10 インチ、30 × 24 インチ、44 × 36 インチ、30 × 45cm、60 × 90cm
	用紙厚	普通紙、再生紙の場合：0.08 〜 0.11mm（用紙質量 64 〜 90gf/m²）
		その他の用紙種類の場合 • 用紙長さ 279mm 以上 728mm まで：0.08 〜 1.50mm • 用紙長さ 728mm を超え 1580mm まで：0.08 〜 0.50mm • 横入れの場合：0.08 〜 1.50mm まで対応可能（ただし、普通紙および再生紙の単票紙は必ず縦長にセットしてください。）
	フチなし印刷可能幅（左右フチなし印刷）	PX-7500/PX-7500S：10 インチ、300mm、13 インチ（A3 ノビ）、16 インチ、17 インチ、515mm（B2）、594mm（A1）、24 インチ
		PX-9500/PX-9500S：10 インチ、300mm、13 インチ（A3 ノビ）、16 インチ、17 インチ、515mm（B2）、594mm（A1）、24 インチ、728mm（B1）、36 インチ、44 インチ

エプソン純正専用紙については以下のページをご覧ください

☞ 使い方ガイド（冊子）「エプソン純正専用紙」

！注意

- 普通紙および再生紙については、上記仕様の用紙を本機に装着して通紙できますが印刷品質保証するものではありません。
- そのほかの用紙種類については、上記仕様の用紙が本機に装着できますが通紙保証および印刷品質保証するものではありません。
- ロール紙、単票紙とも、しわ、毛羽立ち、破れなどがある用紙は使用しないでください。

Mac OS X をお使いの方へ

Mac OS X で印刷する場合、使用できない機能があります。

プリンタドライバの主な機能	Mac OS X v10.2　以降
プリンタ共有（Mac OS 9 と Mac OS X の間では不可）	○
カスタム用紙サイズ	○ *1
ロール紙印刷	○
フチなし印刷	○
拡大・縮小（任意倍率）	○
印刷可能領域「センタリング」	×
180 度回転印刷	×
オートフォトファイン	×
マイクロウィーブ	○
双方向印刷	○
左右反転印刷	○
ガンマ値変更	○
「色補正なし」	○
フィットページ	×
割付印刷	○
ポスター印刷	×
スプールファイル保存先指定	×
コピー印刷ファイル保存	×
印刷時刻指定機能	○ *2
印刷データをハードディスクに保存後、プリンタへ送信	×
ファイル保存	×
プログレスメータ・インク残量表示機能	×
自動回転	×
自動カッター	○
プレビュー	○
切り取り線印刷機能	○
ロール紙節約	○

*1　Mac OS X v10.2.3 以降
*2　Mac OS X v10.3.0 以降

用語集

以下に説明されている用語の中には、エプソンプリンタ独自の用語で、一般的に使われている語意とは多少異なるものがあります。

A

■ AppleTalk（アップルトーク）

Mac OS の、ネットワーク用通信規約とそのソフトウェア。

B

■ bit（ビット）

コンピュータやプリンタが扱う情報（データ量）の単位で「2 進数（Binary Digit）」の略。実数を 2 つの数字（0 または 1）で表す。

■ Byte（バイト）

コンピュータやプリンタが扱う情報（データ量）の単位。
1Byte=8 Bit（ビット）で構成され、1Byte で英数カナ 1 文字、2Byte で漢字 1 文字を表現する。

C

■ ColorSync（カラーシンク）

アップルコンピュータ社が提供する、Mac OS 用のカラーマネジメント機能の 1 つ。原画（印刷データ）、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色の合わせ込みを行う。ColorSync の機能を 100% 発揮させるためには、使用する機器とソフトウェアのすべてが、ColorSync に対応している必要がある。

D

■ dpi（dot per inch/ ディーピーアイ）

解像度の単位で、25.4mm（1 インチ）幅に印刷できるドット数を示す。

E

■ EtherTalk（イーサトーク）

コンピュータを Ethernet（イーサネット）に接続するための、AppleTalk の通信規約。LocalTalk より通信速度が速い。

I

■ IEEE1394（アイトリプルイー 1394）

Institute of Electrical and Electric Engineers 1394 の略で、FireWire、i.LINK とも呼ばれる。高速向けのシリアルインターフェイスの規格の 1 つで、転送速度は、100Mbps、200Mbps、400Mbps が規格化されている。コンピュータやプリンタなどの接続機器の電源が入ったまま、ケーブルの抜き差しができる。ハブを使用したツリー接続か、機器を数珠つなぎで接続するデイジーチェーン接続で、63 台までの IEEE1394 対応機器を接続できる。

J

■ JIS（ジス）

Japanese Industrial Standard の略で、日本工業規格で規定した、日本国内の文字コードの規格。

K

■ KB（キロバイト）

Kilo Byte の略で、データ量の単位。1KByte=1024 Byte。

M

■ MB（メガバイト）

Mega Byte の略で、データ量の単位。1MB=1024 KB=1024 × 1024 Byte。

O

■ OS

オペレーティングシステム（Operating System）の略。コンピュータのシステムを管理する基本ソフトウェア。

R

■ RAM（ラム）

Random Access Memory の略で、データなどを読み書きできるメモリ。

■ ROM （ロム）

Read Only Memory の略で、データなどの読み出し専用のメモリ。

U

■ USB（ユー・エス・ビー）

Universal Serial Bus の略で、シリアルインターフェイス規格の 1 つ。コンピュータやプリンタなどの接続機器の電源が入ったまま、ケーブルの抜き差しができる。また「USB ハブ」という機器を使用することで、規格上、同時に 127 台までの USB 対応機器を接続できる。USB1.1 では最高 12Mbps で転送速度の遅い規格だったが、USB2.0 では 480Mbps という高速転送が可能になった。

数字

■ 16 進数

16 進法で用いる英数字。一般的には、0 ～ 9 まではそのままの数字で、10 ～ 15 は A ～ F で表す。

ア

■ アイコン

コンピュータの画面上に表示される、ファイルや書類 , フォルダなどを象徴する図柄。

■ 圧縮（データ圧縮）

1 つ、または複数のファイルを 1 つにまとめて、データ容量を小さくすること。圧縮されたデータは展開して、元のデータに戻して使用する（これを「解凍」という）。

■ アプリケーションソフトウェア

コンピュータ上で実務処理などを行うためのソフトウェア。
ワープロソフト、表計算ソフト、画像処理ソフトなどがある。

イ

■ インクカートリッジ

印刷用のインクが入った容器。

■ インクジェットプリンタ

プリントヘッドのノズル部分からインクを用紙に吹きつけて印刷するプリンタ。

■ インストーラ

CD-ROM やフロッピーディスクで供給されるデータやソフトなどを自分のコンピュータのハードディスクにコピーし、さらに、使用できる状態に環境を自動的に整えるソフト。

■ 印刷領域

印刷内容が欠落することなく用紙に印刷されることを保証する領域。この領域を超えて作成されたデータは、印刷されないか、2 ページにまたがって印刷される。

■ インターフェイス

異なる機器が接続される接点（境界面）。また、それらの機器間でデータなどをやりとりするためのハードウェアやソフトウェアの接続仕様。

■ インターフェイスカード

プリンタに標準装備されているインターフェイス（本機の場合は、「USB」と「IEEE1394」）以外に、さらにインターフェイスを増やしたい場合にプリンタに取りつけるカード。目的に合わせてさまざまなカードが用意されている。

■ インターフェイスケーブル

プリンタとコンピュータを接続するケーブル。

■ インターフェイスコネクタ
インターフェイスケーブルを差し込む端子。

■ インチ
長さの単位で、1 インチは約 25.4mm。

オ

■ オプション
本書では、別売りのプリンタ関連用品を意味する。

カ

■ 解像度
画質の細かさを表す指標で、一般に dpi（dot per inch; 25.4mm{1 インチ} あたりのドット数）の単位で表わす。解像度が大きければそれだけ画質も良くなるが、データの容量も多くなり印刷に時間がかかる。

■ 解凍
圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

■ 改頁
印刷位置を次ページ先頭の左マージン位置（印刷開始位置）に移動すること。

■ カラーマッチング
原画（印刷データ）、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色を合わせ込む機能。

キ

■ キャッピング
プリントヘッドの乾燥を防ぐためにプリンタが自動的にプリントヘッドにキャップをする機能。

■ ギャップ調整
黒 / カラーインクの吐出位置を調整する機能。この機能を実行することにより、双方向印刷時の縦罫線のズレや、黒インクとカラーインクの印刷位置のズレを補正する。

■ キャリッジ
プリントヘッドやインクカートリッジを左右に移動させる部分。

■ 給紙
セットされている用紙をページ先頭位置まで紙送りすること。

ク

■ グラフィックアクセラレータ
Windows や Mac OS が動作するコンピュータにおいてグラフィックス表示を高速化する専用ビデオアダプタ。

■ クリック
マウスのボタンを“カチッ”と 1 回押すこと。

■ クリーニング（ヘッドクリーニング）
プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの詰まりを解消する機能。

コ

■ コントロールコード
プリンタの機能を制御するためにコンピュータからプリンタ側へ送られるコード（命令符号）。

シ

■ 充てん
プリントヘッドノズル（インク吐出孔）の先端部分までインクを満たして、印刷できる状態にすること。

■ 初期設定値
電源ボタンをオンしたときに選択される設定。

■ シリアルインターフェイス
データを 1 ビットずつ転送するインターフェイス。

セ

■ セルフクリーニング
プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能。

タ

■ ダウンロード
ホストコンピュータに登録されているデータを、ネットワーク通信などを介して自分のコンピュータに取り出す（コピーする）こと。

■ ダブルクリック
マウスのボタンを、速い操作で 2 回連続して“カチカチッ”と押すこと。

チ

■ チェックボックス
ダイアログボックスやウィンドウ内で、項目（機能）の有効 / 無効を指定するための四角いマーク。クリックで有効⇔無効を切り替える。有効の場合は四角の中に×や ✔ が表示され、無効の場合は四角の中が空白になっている。

テ

■ ディレクトリ
大量のファイルを整理および管理するために考え出された概念。ディレクトリ名は、記憶装置（ハードディスクや CD-ROM など）のどこにファイルが記憶されているかを示す「住所」のような働きをする。

■ デバイス
CPU に接続するすべてのハードウェア装置の意味。

ト

■ ドライブ
CD-ROM、ハードディスク、フロッピーディスクなどの駆動装置。Windows の場合、管理のために各ドライブにアルファベットを割り振りドライブ名としている。

ノ

■ ノズル
インクの吐出孔。インクが乾燥したりしてこの孔が詰まると、印刷品質が悪くなる。

■ ノズルチェックパターン
プリントヘッドのノズル（インク吐出孔）が詰まっていないかどうかを確認するための格子状のパターン（図柄）。格子状のパターンの中に印刷されない箇所（線が途切れている箇所）がある場合は、ノズルが詰まっているので、プリントヘッドのクリーニングを行う必要がある。

ハ

■ 排紙
用紙をプリンタから排出すること。

■ バッファ
コンピュータから送られてきた印刷データを一時的に蓄えておくメモリ。

フ

■ フォーマット
ハードディスクやフロッピーディスクなどを利用する OS に合わせて初期化すること。

■ フォルダ
ディレクトリと同義語。画面上ではディレクトリといわずフォルダと呼ばれる場合が多い。

■ フォント（書体）
字体のこと。明朝体･ゴシック体などがある。

■ プリンタドライバ
アプリケーションソフトウェアの命令をプリンタのコマンドに変換する、システムの一部に組み込むもの（またはソフトウェアの一部）。

■ プリントヘッド
用紙にインクを吹きつけて印刷する部分（ノズル先端部分）。外部からは見えない位置にある。

ヘ

■ ページ先頭位置
用紙の一番初めに印刷される位置。

ホ

■ ポイント
マウスカーソルをメニューの項目に合わせることで、クリックをしなくてもその先の階層メニューが自動的に表示される。

■ ポート
プリンタやモデムなどの周辺機器をコンピュータに接続するために使うコネクタやソケット。

マ

■ マージン
余白のことで、物理的に印刷不可能な用紙上の領域をいう。

■ マイクロウィーブ機能
行ごとのムラを少なくし、より高品質なグラフィックスイメージを表現する、エプソン独自の機能。

メ

■ メモリ
情報（データ）を保存する部分。プログラムのような固定された情報を保持する ROM（Read Only Memory －読み出し専用メモリ）や、一時的に情報を格納する RAM（Random Access Memory －読み書き可能メモリ）などがある。

ラ

■ ラジオボタン
ディスプレイ上に表示されるダイアログボックスやウィンドウの中で、複数の選択肢の中から 1 つを選択するための丸いボタン。選択されていない状態は○、選択されて有効になっている状態は◉で表示される。

索引

A

C

E

I

K

M

U

あ

い

え

お

か

き

く

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

て

に

ね

の

は

ふ

へ

ほ

ま

め

も

ゆ

よ

り

ろ

わ